

新宿区子ども・子育て支援に関する調査  
報告書

令和6年（2024）年3月  
新宿区



# 目次

I.	調査概要	1
1.	調査の目的	3
2.	調査方法	3
3.	調査対象と回収率	3
4.	調査報告書の見方	4
II.	調査結果	5
II-①	就学前児童保護者調査結果	7
II-②	小学生保護者調査結果	101
II-③	小学校5・6年生調査結果	149
II-④	小学校5・6年生保護者調査結果	177
II-⑤	中学生調査結果	217
II-⑥	中学生保護者調査結果	249
II-⑦	青少年調査結果	293
II-⑧	若者調査結果	329
III.	自由意見	359
IV.	調査票	385



## I . 調查概要



## 1. 調査の目的

新宿区では、現行の「新宿区子ども・子育て支援事業計画(第二期)」(令和2年度～令和6年度)の成果を検証するとともに、子どもや子育て家庭、若者など区民の意識と生活実態を把握し、令和7年度からの「新宿区子ども・子育て支援事業計画(第三期)」(令和7年度～令和11年度)策定の基礎資料とすることを目的として調査を実施した。

## 2. 調査方法

- (1) 調査地域: 新宿区全域
- (2) 標本抽出: 住民基本台帳に基づく層化無作為抽出
- (3) 調査方法: 郵送で調査票を配布・回収(はがきによる再依頼を1回)

回答は無記名、インターネットでの回答も可

調査対象③④及び⑤⑥は同一世帯に調査、その他同一世帯の重複調査はなし

- (4) 調査期間: 令和5年9月25日(月)～10月15日(日)
- (5) 令和5年度調査の新たな取組:
  - ・インターネットによる回答を選択できるようにした。
  - ・子どもを対象とした調査票には、子どもに関する施策に子どもからの意見を反映することが必要であること、本調査を意見表明の1つとして捉えていることを明記した。
  - ・ヤングケアラーについての認識や実態、コロナ禍以後の子どもたちの生活の変化についての質問を設けた。

## 3. 調査対象と回収率

	調査対象者	調査数	回収数	回収率
① 就学前児童保護者	区内在住の就学前児童の保護者	2,500	1,247	49.9%
② 小学生保護者	区内在住の小学校1年生から6年生の保護者	2,200	1,042	47.4%
③ 小学校5・6年生	区内在住の小学校5年生及び6年生	800	259	32.4%
④ 小学校5・6年生の保護者	区内在住の小学校5年生及び6年生の保護者	800	322	40.3%
⑤ 中学生	区内在住の中学校1年生から3年生	800	232	29.0%
⑥ 中学生保護者	区内在住の中学校1年生から3年生の保護者	800	328	41.0%
⑦ 青少年	15歳から17歳までの区民	1,000	277	27.7%
⑧ 若者	18歳から39歳までの区民	1,200	235	19.6%
	合計	10,100	3,942	39.0%

#### 4. 調査報告書の見方

- 1) 基数となるべき実数(n[number of cases の略])は、設問に対する回答者数である。
- 2) 集計は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、数値の合計が100%にならない場合がある。
- 3) 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数として算出しているため、複数回答の場合、比率の合計が100%を超えることがある。
- 4) 指定した個数を超えて回答した場合も、矛盾がない場合に限り有効回答としている。
- 5) 図表作成の都合上、選択肢表記や回答の小さい比率は、短縮・省略している場合がある。
- 6) 図表中では、回答者がいない場合は「0」と表示し、経年比較や調査票間の比較により、該当の選択肢がない場合は「-」と表示している。

※使用する機種やセキュリティソフトの設定等によって、インターネット回答フォームにアクセスできない現象が見られました。

ご迷惑をおかけし、申し訳ありませんでした。



## II. 調查結果



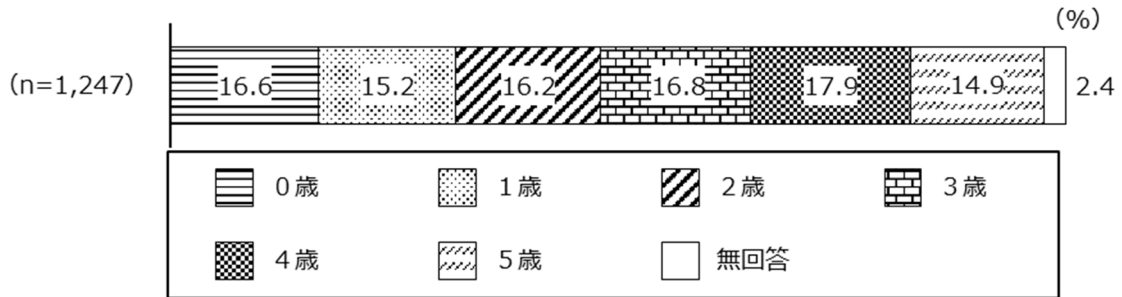
## Ⅱ-① 就学前児童保護者調査結果



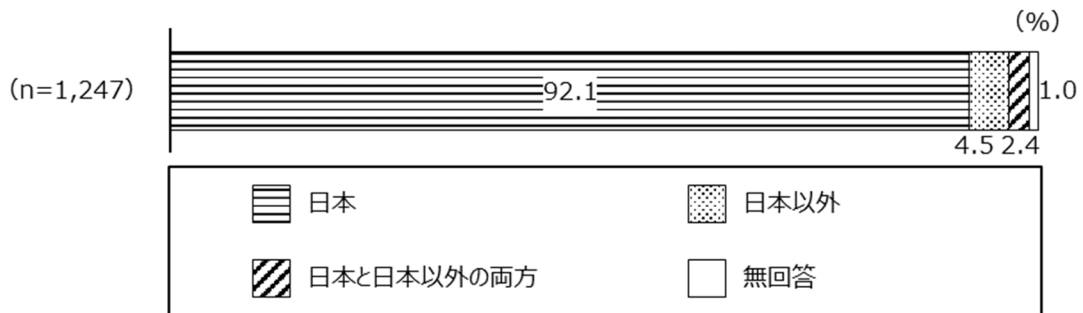
(1) 子どもと家族の状況について

問1 子ども年齢・国籍

図表1 子どもの年齢（令和5年4月1日現在）

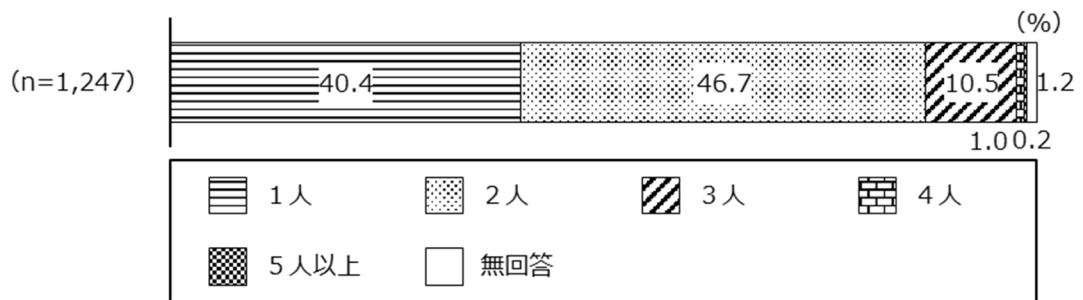


図表2 子どもの国籍

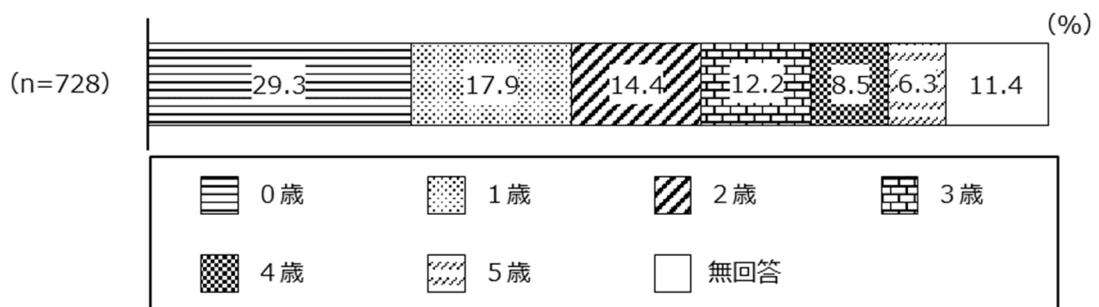


問2 きょうだいの人数・末子の年齢

図表3 きょうだいの人数

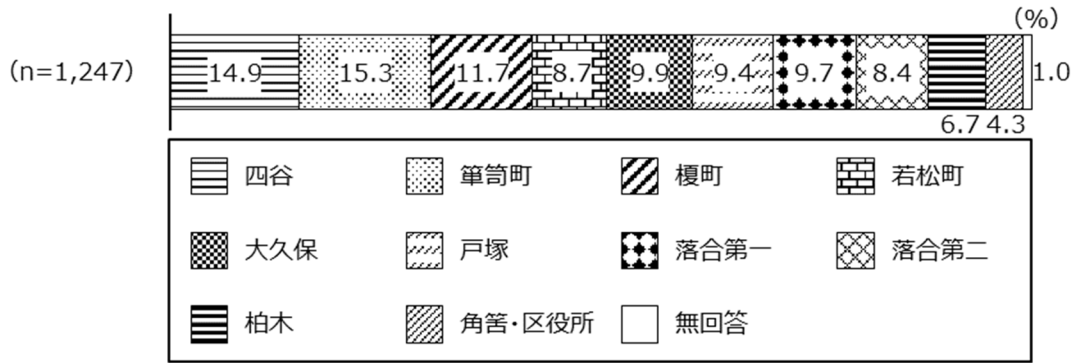


図表4 末子の年齢（令和5年4月1日現在）



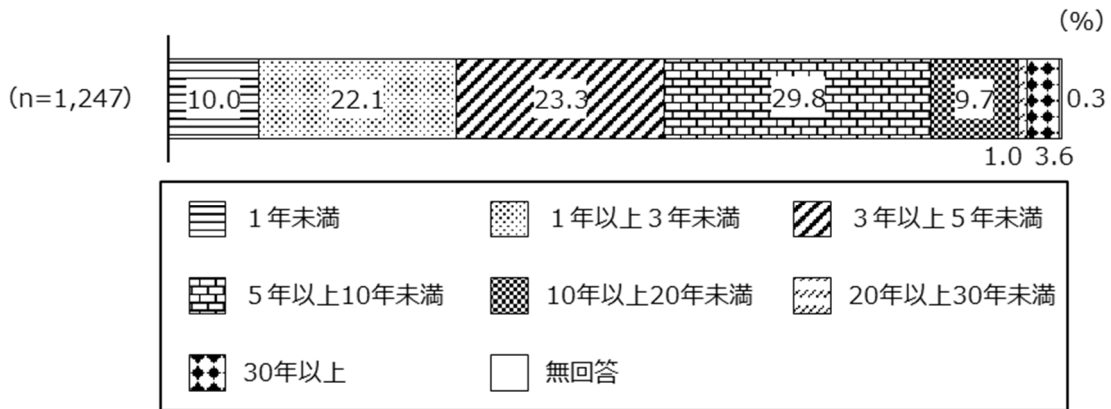
問3 居住地域（特別出張所単位）

図表 5



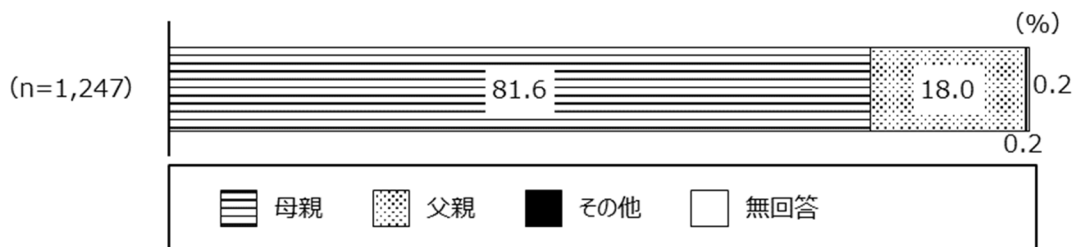
問4 居住年数

図表 6



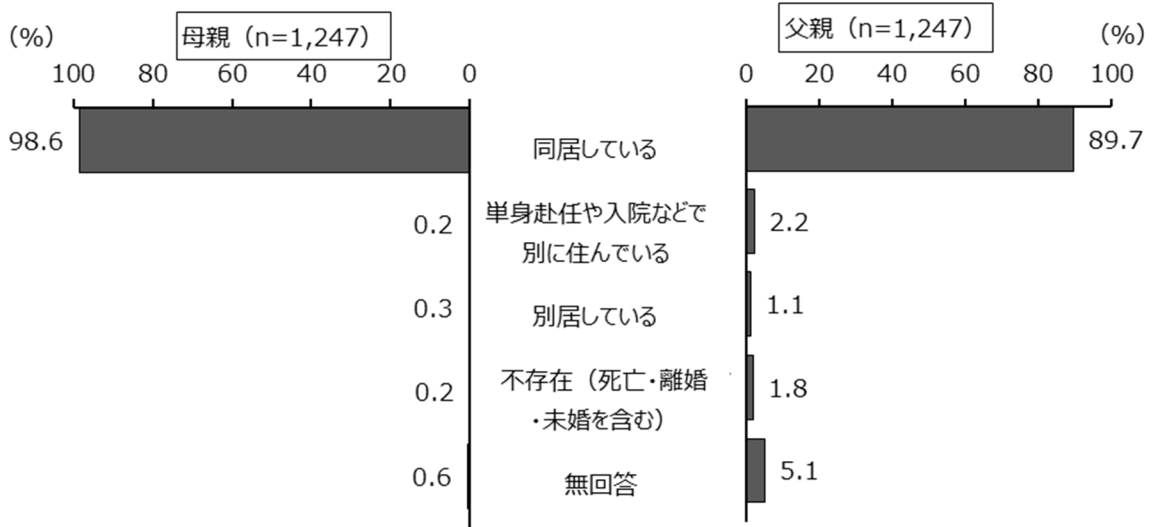
問5 回答者と子どもの関係

図表 7



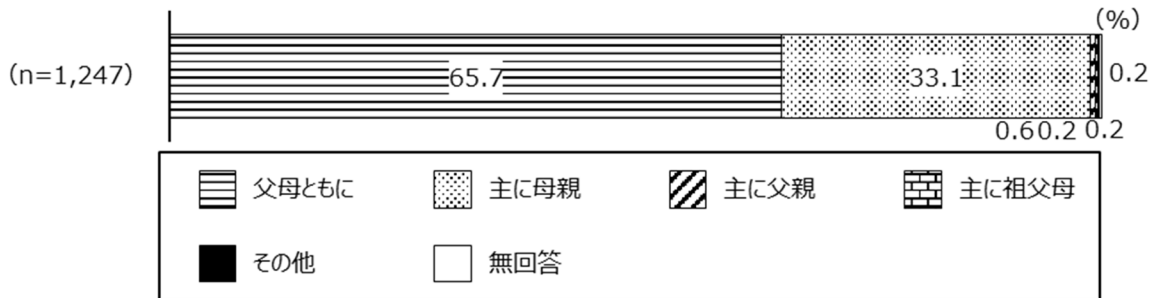
問6 子どもとの同居の状況<父母>

図表 8



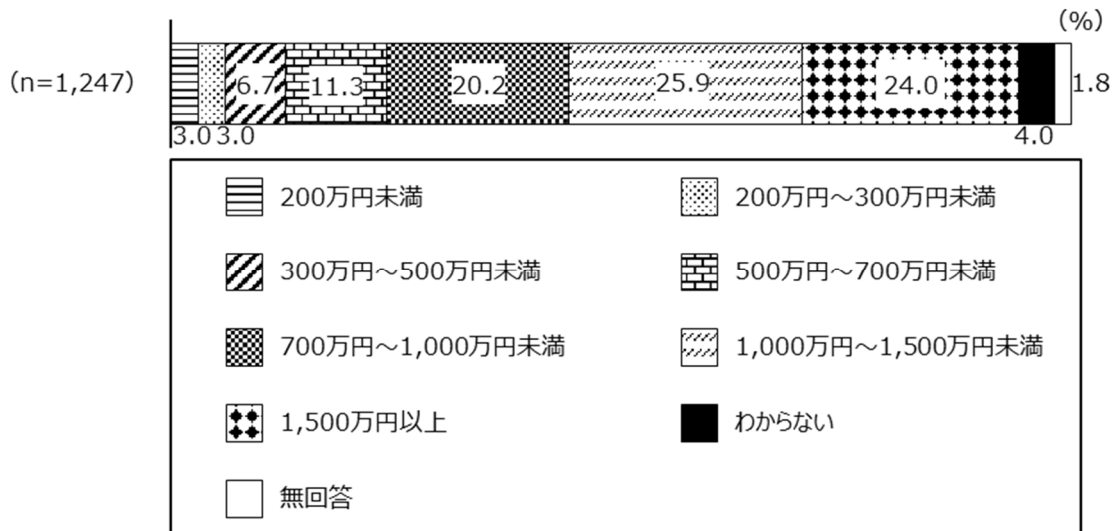
問7 子どもの子育て (教育を含む) を主に行っている人

図表 9



問8 世帯の一年間の収入の合計額 (土地・家屋・株券などの資産売却による収入は除く)

図表 10

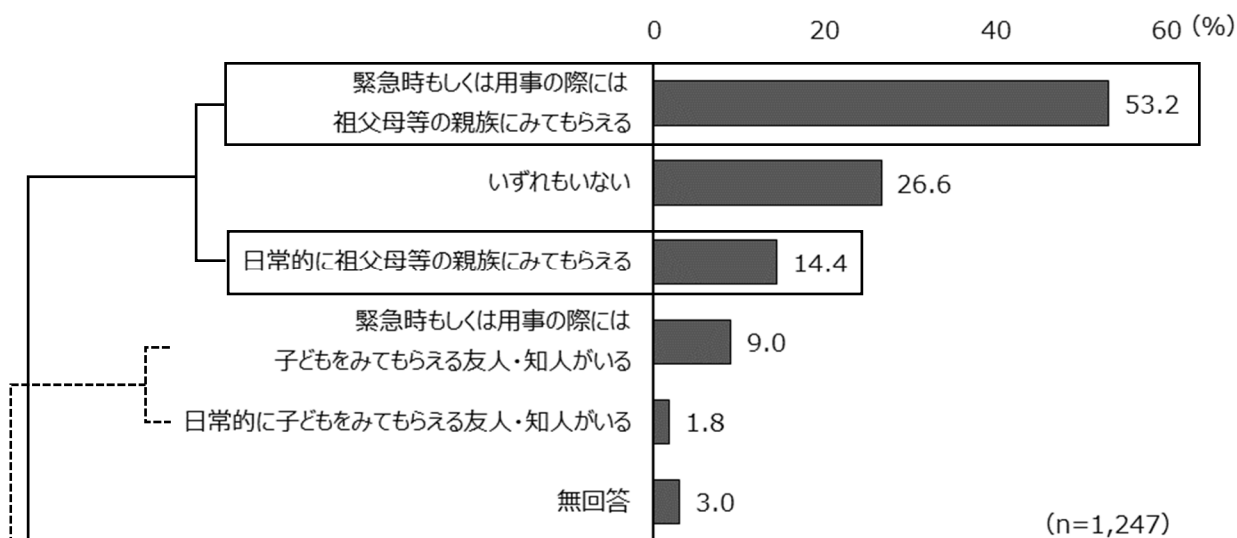


## (2) 子どもの育ちをめぐる環境について

### 問9 日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無（複数回答）

子どもをみてもらえる親族・知人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が53.2%で最も多く、「いずれもない」(26.6%)、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(14.4%)と続く。

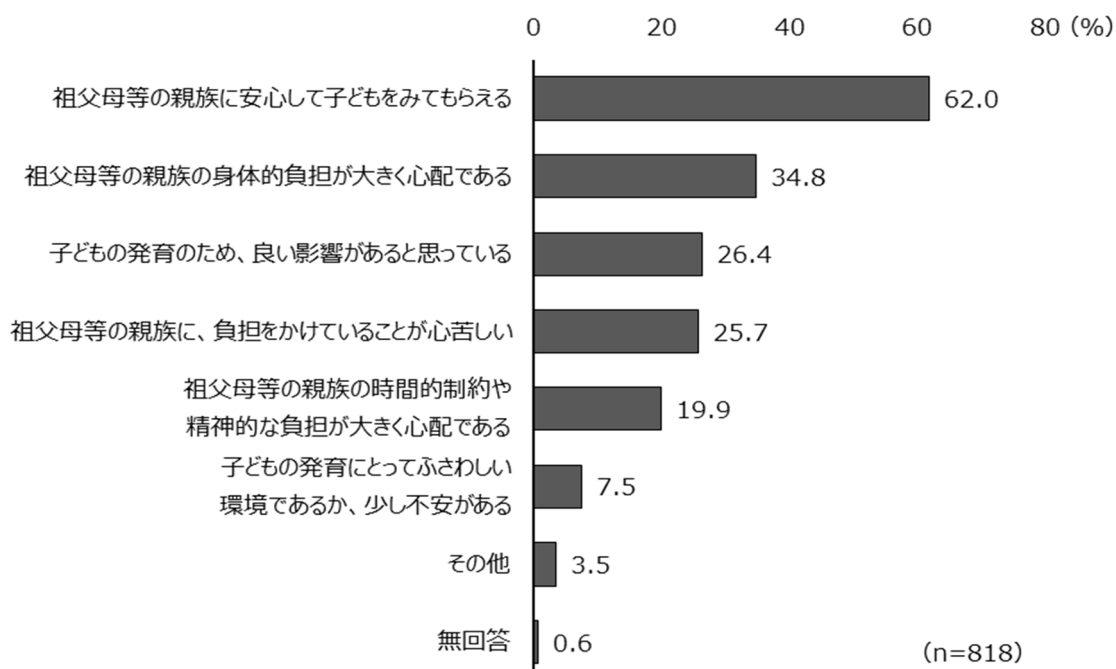
図表 11



#### 問9-1 祖父母等の親族にみてもらっている状況（複数回答）

祖父母等の親族にみてもらっている状況は、「祖父母等の親族に安心して子どもをみてもらえる」が62.0%で最も多く、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」(34.8%)、「子どもの発育のため、良い影響があると思っている」(26.4%)と続く。

図表 12



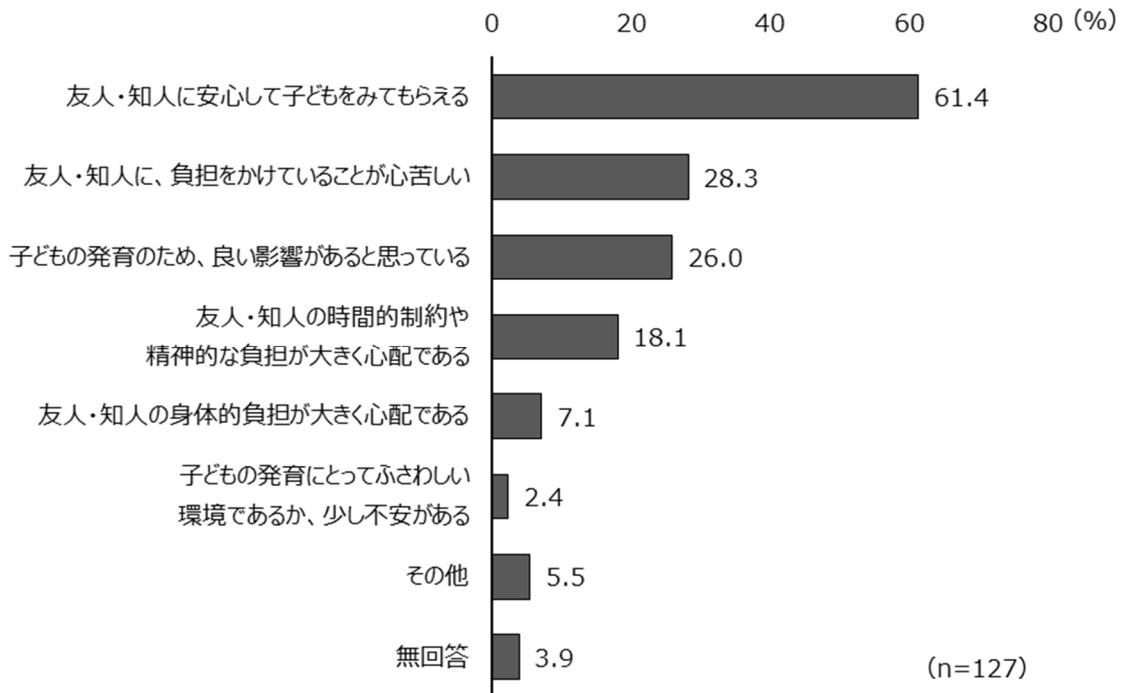
#### 問9-2



問9-2 友人・知人にみてもらっている状況（複数回答）

友人・知人にみてもらっている状況は、「友人・知人に安心して子どもをみてもらえる」が 61.4%で最も多く、「友人・知人に、負担をかけていることが心苦しい」(28.3%)、「子どもの発育のため、良い影響があると思っている」(26.0%)と続く。

図表 13



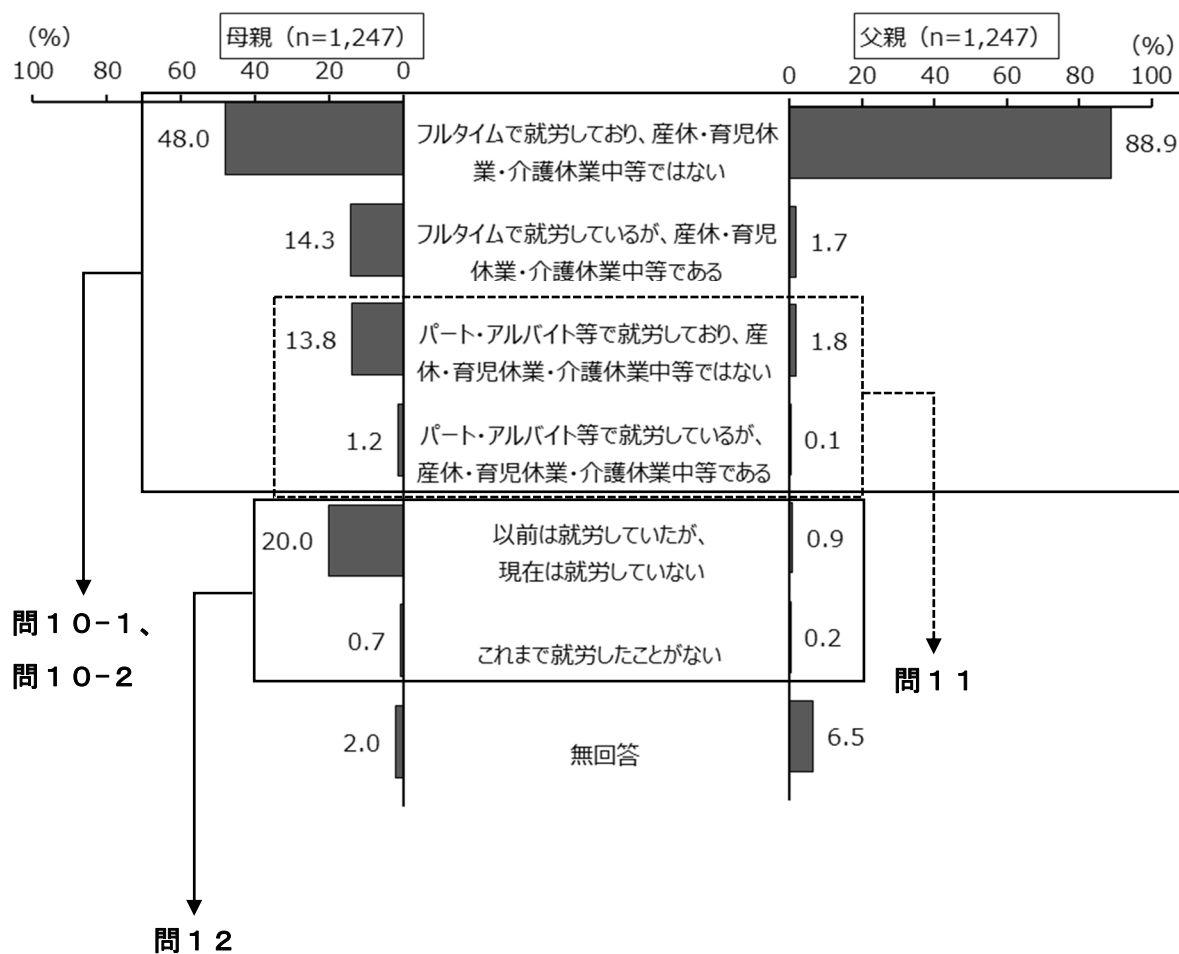
### (3) 子どもの保護者の就労状況について

#### 問10 保護者の就労状況

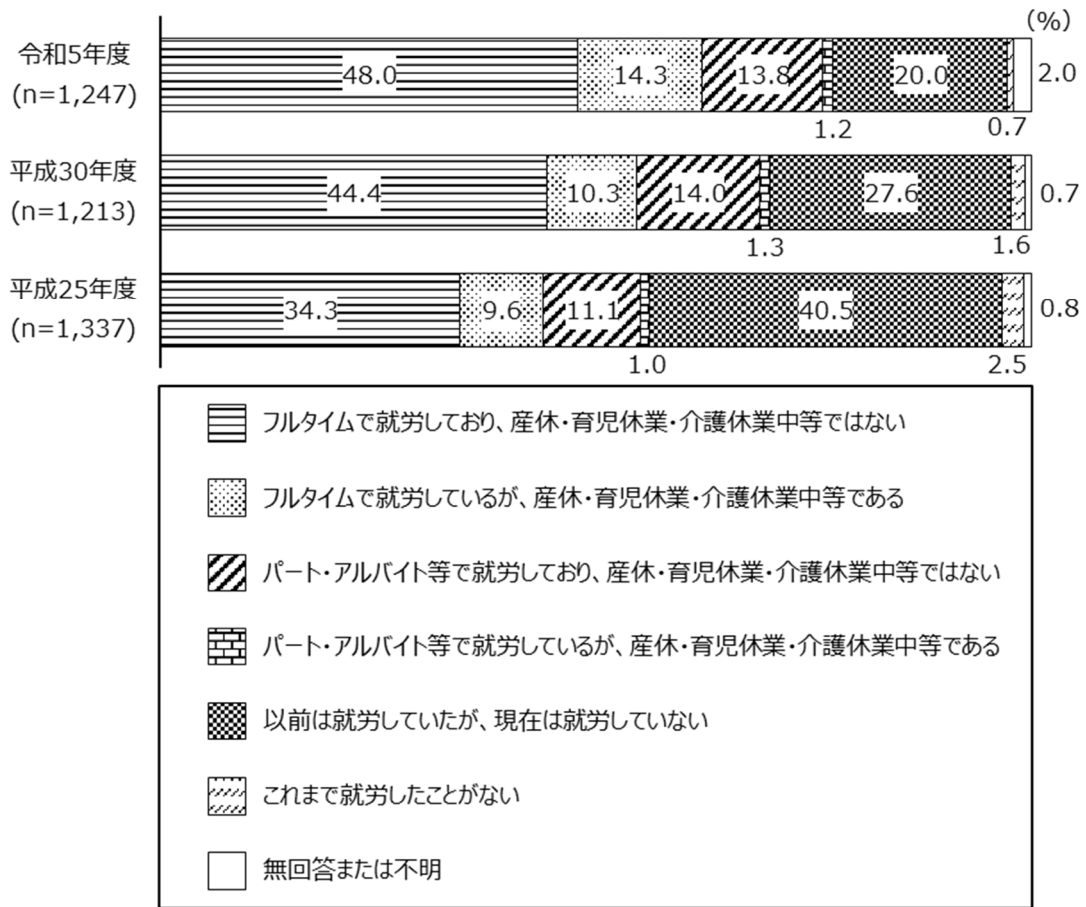
母親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育児休業・介護休業中等ではない」が48.0%で最も多く、「以前は就労していたが、現在は就労していない」(20.0%)、「フルタイムで就労しているが、産休・育児休業・介護休業中等である」(14.3%)と続く。

父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育児休業・介護休業中等ではない」が88.9%で最も多く、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育児休業・介護休業中等ではない」(1.8%)、「フルタイムで就労しているが、産休・育児休業・介護休業中等である」(1.7%)と続く。

図表 14 就労状況<父母>



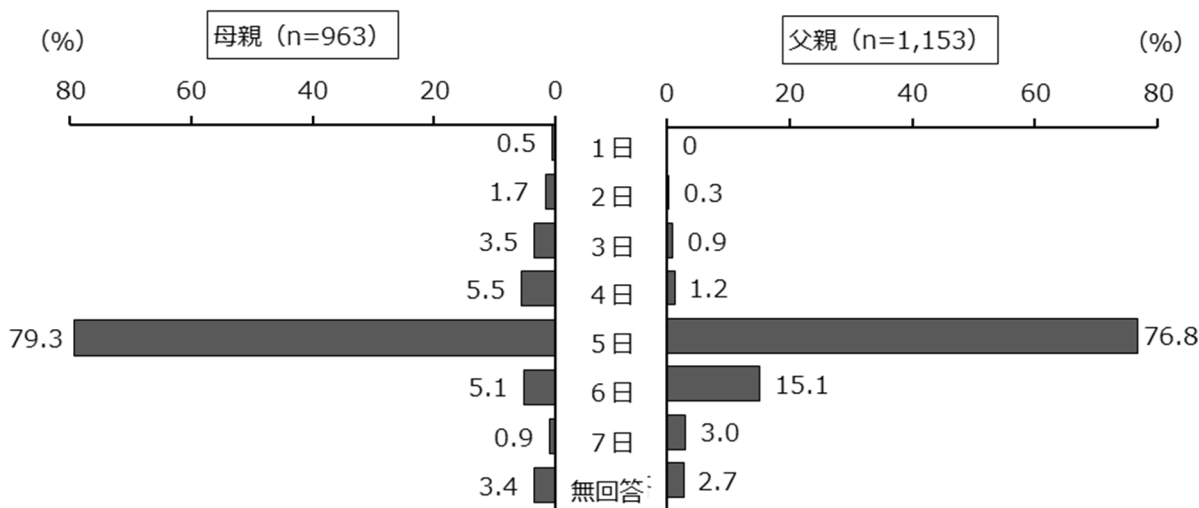
図表 15 母親の就労状況（経年比較）



問 10-1 就労日数・時間

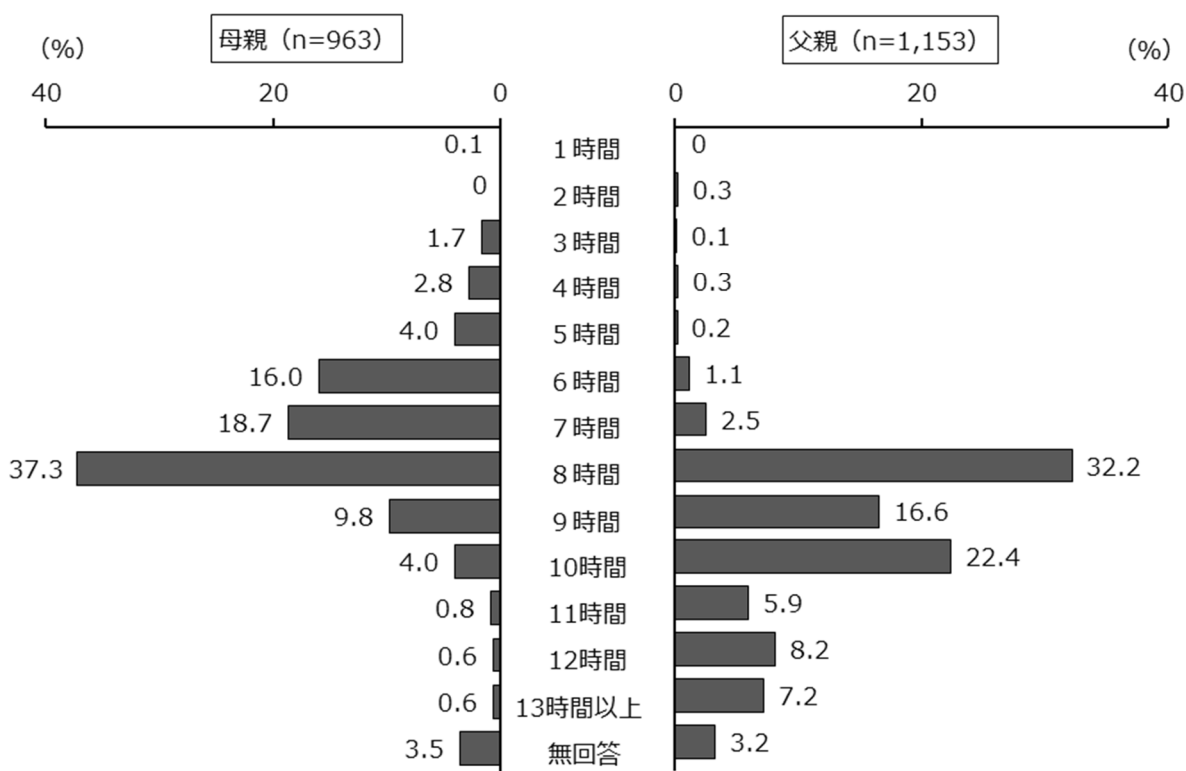
母親の就労日数は、「5日」が 79.3%で最も多く、「4日」(5.5%)、「6日」(5.1%)と続く。  
 父親の就労日数は、「5日」が 76.8%で最も多く、「6日」(15.1%)、「7日」(3.0%)と続く。

図表 16 1週当たりの就労日数<父母>



母親の1日当たりの就労時間は、「8時間」が 37.3%で最も多く、「7時間」(18.7%)、「6時間」(16.0%)、と続く。  
 父親の1日当たりの就労時間は、「8時間」が 32.2%で最も多く、「10時間」(22.4%)、「9時間」(16.6%)と続く。

図表 17 1日当たりの就労時間<父母>

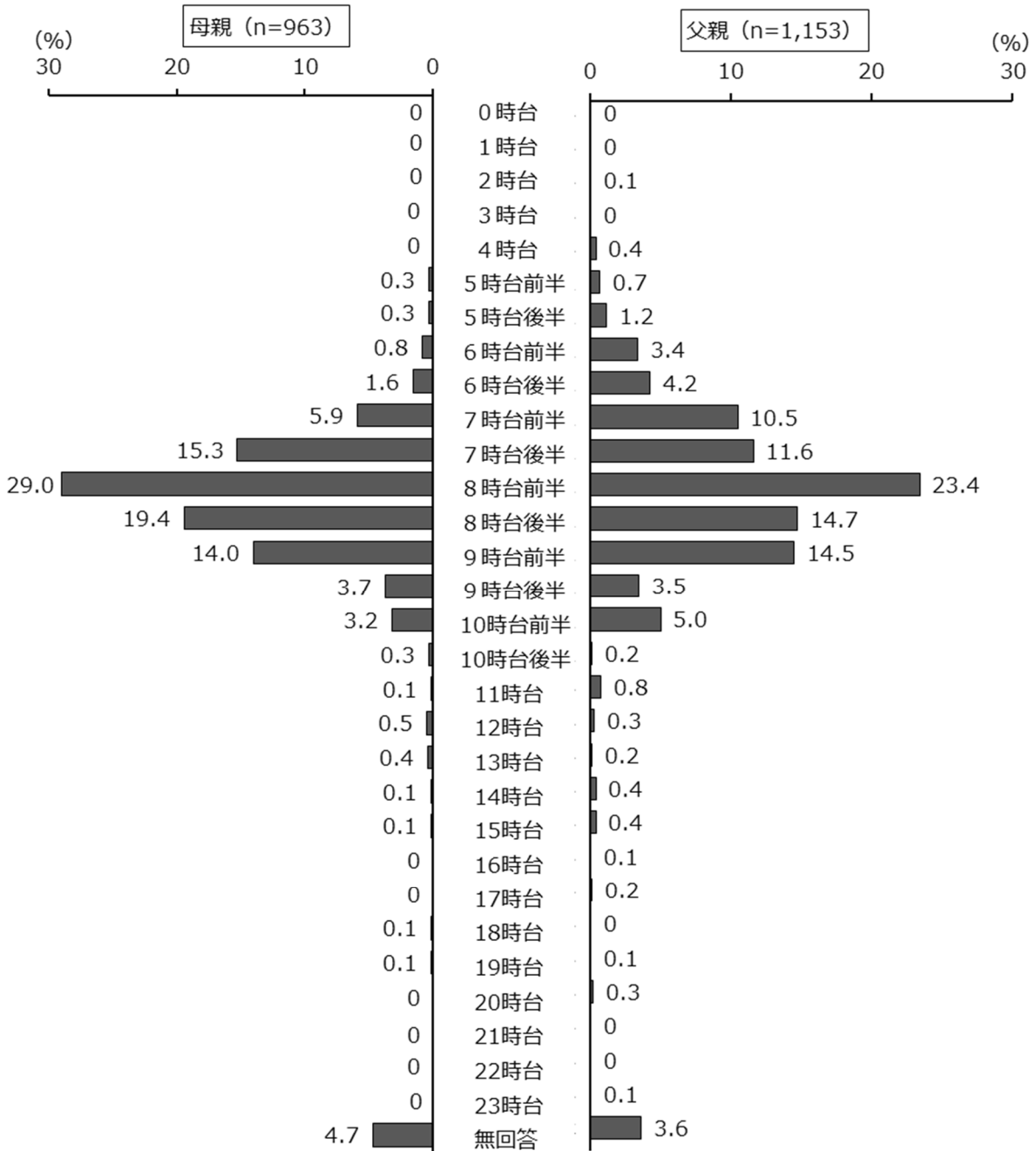


問10-2 家を出る時間・帰宅時間

就労している母親の家を出る時間は、「8時台前半」が 29.0%で最も多く、「8時台後半」(19.4%)、「7時台後半」(15.3%)と続く。

就労している父親の家を出る時間は、「8時台前半」が 23.4%で最も多く、「8時台後半」(14.7%)、「9時台前半」(14.5%)と続く。

図表 18 家を出る時間<父母>

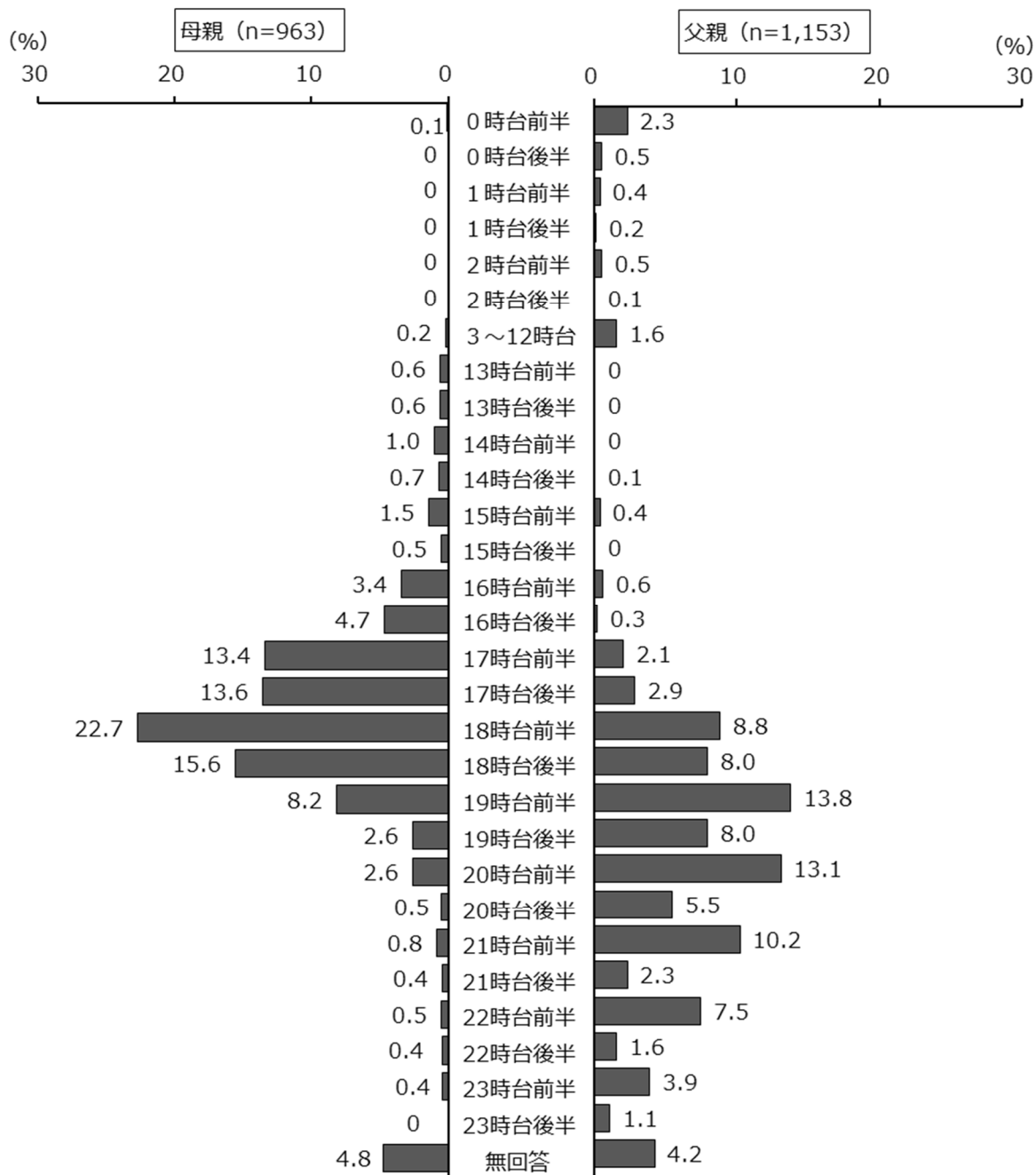


II-① 就学前児童保護者調査結果

就労している母親の帰宅時間は、「18時台前半」が 22.7%で最も多く、「18時台後半」(15.6%)、「17時台後半」(13.6%)と続く。

就労している父親の帰宅時間は、「19時台前半」が 13.8%で最も多く、「20時台前半」(13.1%)、「21時台前半」(10.2%)と続く。

図表 19 帰宅時間<父母>

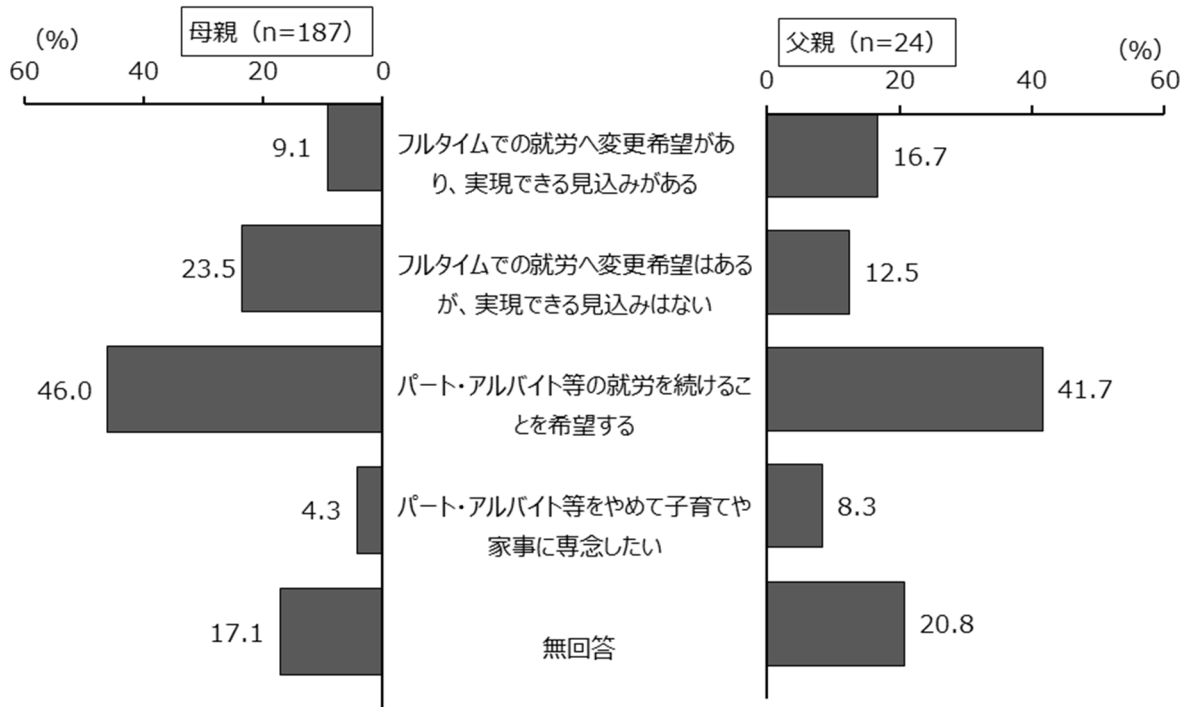


問 1 1 現在、パート・アルバイト等で就労している人のフルタイムへの転換希望<父母>

現在、パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する」が 46.0%で最も多く、「フルタイムでの就労へ変更希望はあるが、実現できる見込みはない」(23.5%)、「フルタイムでの就労へ変更希望があり、実現できる見込みがある」(9.1%)と続く。

現在、パート・アルバイト等で就労している父親のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する」が 41.7%で最も多く、「フルタイムでの就労へ変更希望があり、実現できる見込みがある」(16.7%)、「フルタイムでの就労へ変更希望はあるが、実現できる見込みはない」(12.5%)と続く。

図表 20

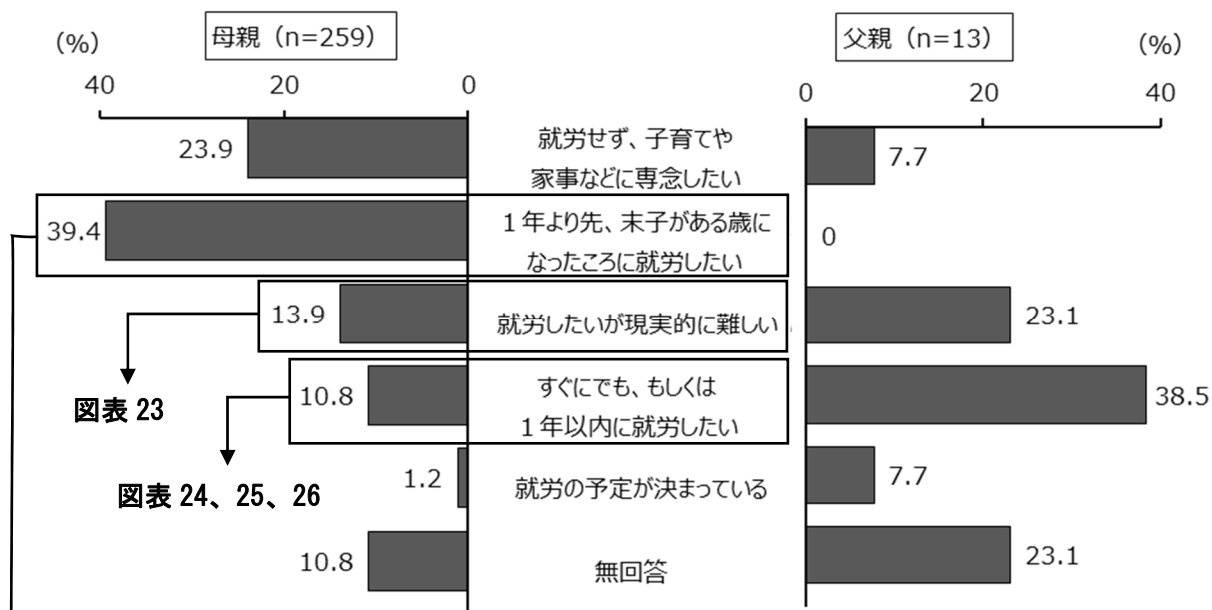


### 問 1 2 現在、就労していない人の就労希望

現在、就労していない母親の就労希望は、「1年より先、末子がある歳になったころに就労したい」が 39.4%で最も多く、「就労せず、子育てや家事などに専念したい」(23.9%)、「就労したいが現実的に難しい」(13.9%)と続く。

現在、就労していない父親の就労希望は、「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」が 38.5%で最も多く、「就労したいが現実的に難しい」(23.1%)、「就労せず、子育てや家事などに専念したい」と「就労の予定が決まっている」がともに 7.7%と続く。

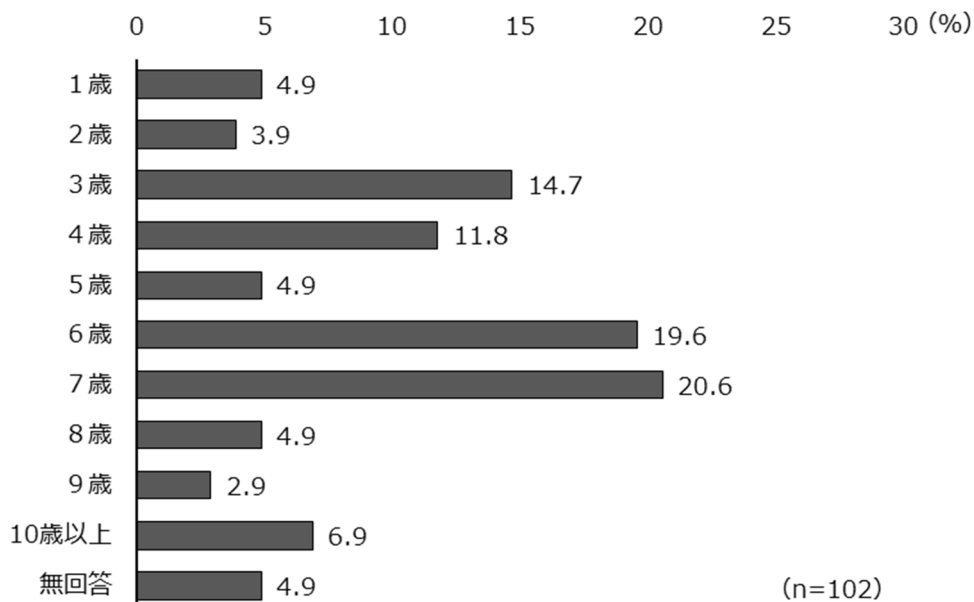
図表 21 現在就労していない人の就労希望<父母>



図表 23

図表 24、25、26

図表 22 「1年より先」に就労を希望する場合の、末子の年齢<母親>





図表 23 就労したいが現実的に難しい理由&lt;母親&gt; (記述式)

(n=36)

家事・育児の負担が大きい、両立が難しいため (16件)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・夫が多忙で育児への協力が得られにくい中で、仕事、家事、子育てのすべてを行うことは難しい。</li> <li>・3人の子どもの用事が多いが、夫の援助は難しいため。</li> <li>・ほぼワンオペで、子どもの習い事や勉強を見るのが期待されているため。</li> <li>・子どもたちがまだ小さいのと、何かあった時に私しか動けないため。</li> </ul>
勤務時間や仕事の内容等、希望にあった仕事が見つけれないため (5件)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が送り迎えを全てすると考えると、かなり融通のきく会社でないといけない。</li> <li>・短時間勤務の仕事が少ない。子育てや家事の時間もしっかり確保したい。</li> </ul>
保育料と給料が同額程度で、働くことが無駄だと思うため (5件)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・収入と保育料がイコールとなるため働くことが無駄になるため</li> <li>・預けるのにお金がかかる。保育料を支払うために働くようなものだから。</li> </ul>
本人や家族が病弱もしくは病気や障害があるため (5件)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケアの必要な重度障害の娘がいるため、公的サポートなど足りない中、継続的就労が難しい。</li> <li>・自分がコロナ後遺症で倦怠感があり、ほとんど家で横になって過ごしている。</li> </ul>
配偶者の転勤があるため (2件)
妊娠しているため (2件)
その他 (7件)

※ 1人の回答につき、複数の意見を含む場合は、それぞれを分類し件数としてカウントしている。

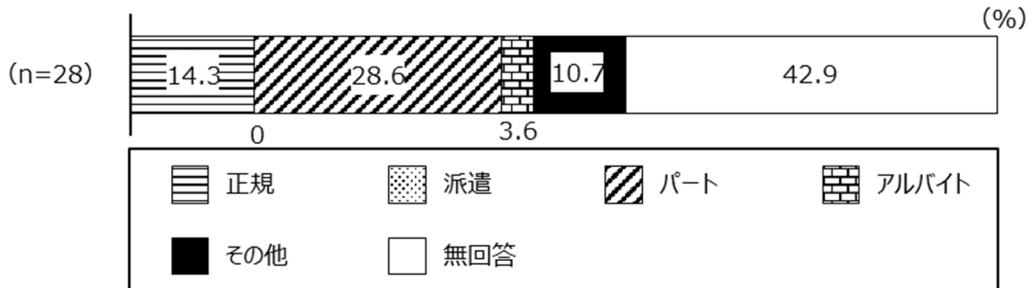
II-① 就学前児童保護者調査結果

現在は就労していないが、今後、就労したい母親の希望する就労形態は、「パート」が 28.6%で最も多く、「正規」(14.3%)、「アルバイト」(3.6%)と続く。

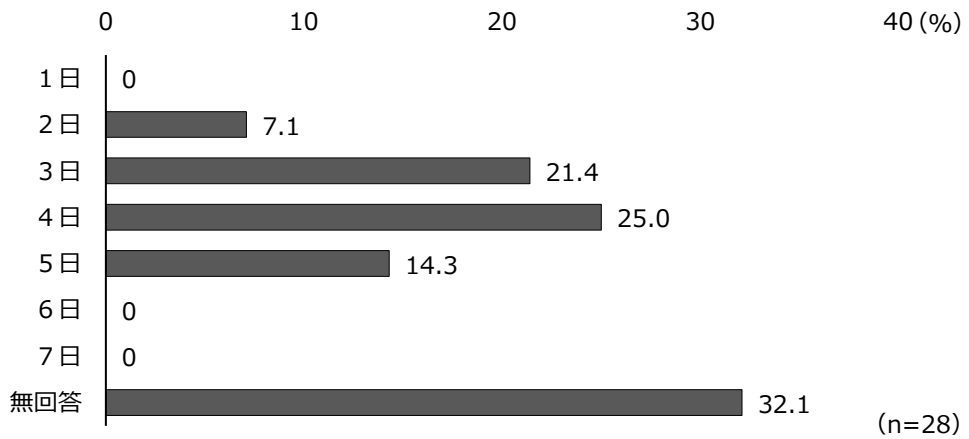
希望する1週当たりの就労日数は、「4日」が 25.0%で最も多く、「3日」(21.4%)、「5日」(14.3%)と続く。

希望する1日当たりの就労時間は、「5時間」が 25.0%で最も多く、「4時間」(21.4%)、「6時間」(10.7%)と続く。

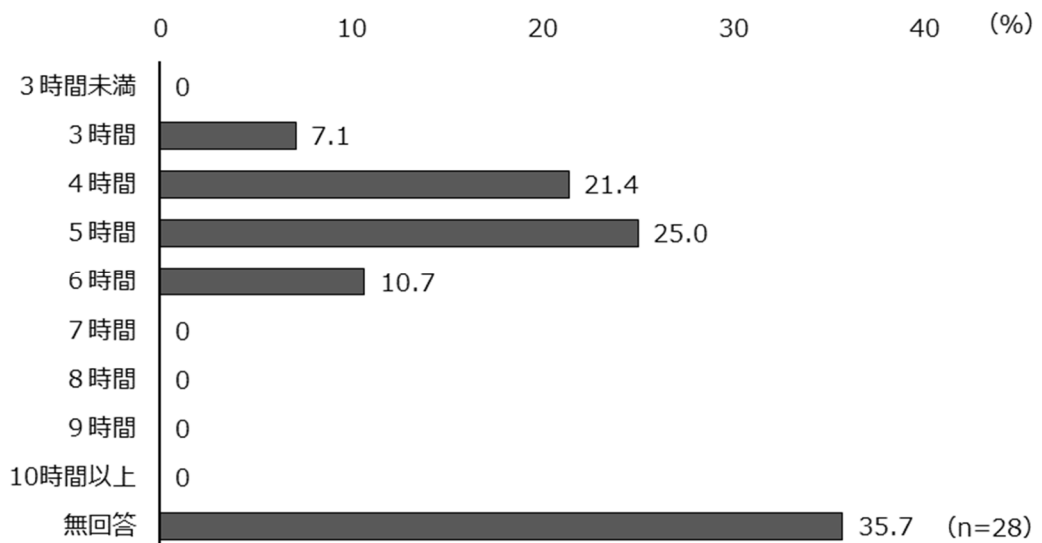
図表 24 今後、就労したい人の希望する就労形態<母親>



図表 25 今後、就労したい人の希望する1週当たりの就労日数<母親>



図表 26 今後、就労したい人の希望する1日当たりの就労時間<母親>



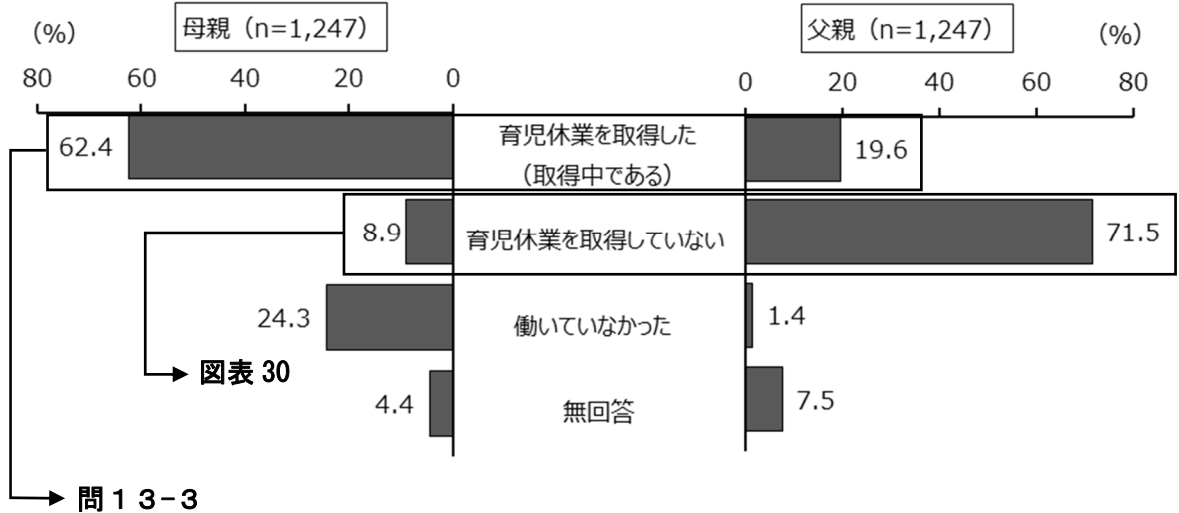
(4) 育児休業や短時間勤務制度など職場での支援制度について

問 1 3 育児休業の取得状況

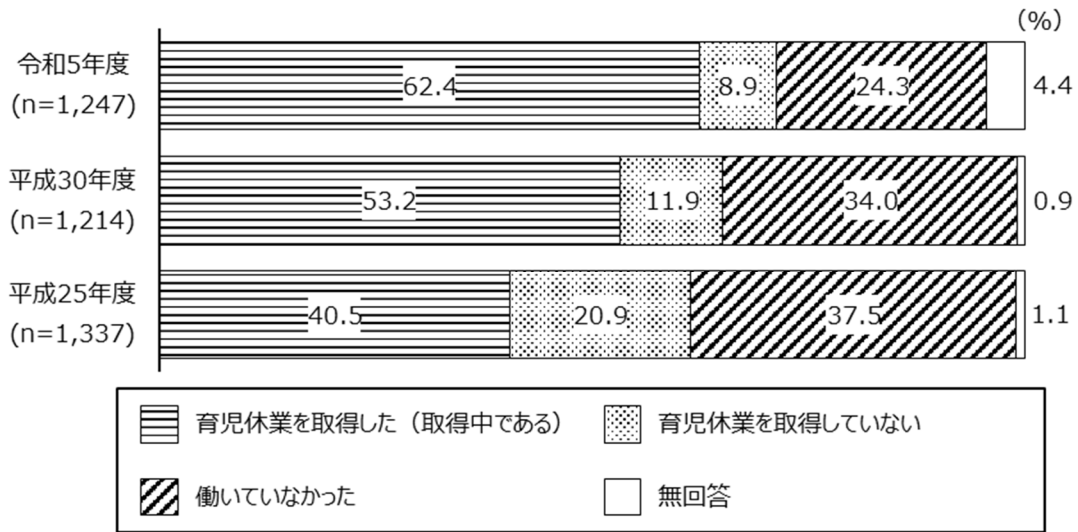
母親の育児休業の取得状況は、「育児休業を取得した(取得中である)」が62.4%で最も多く、「働いていなかった」(24.3%)、「育児休業を取得していない」(8.9%)と続く。

父親の育児休業の取得状況は、「育児休業を取得していない」が71.5%で最も多く、「育児休業を取得した(取得中である)」(19.6%)、「働いていなかった」(1.4%)と続く。

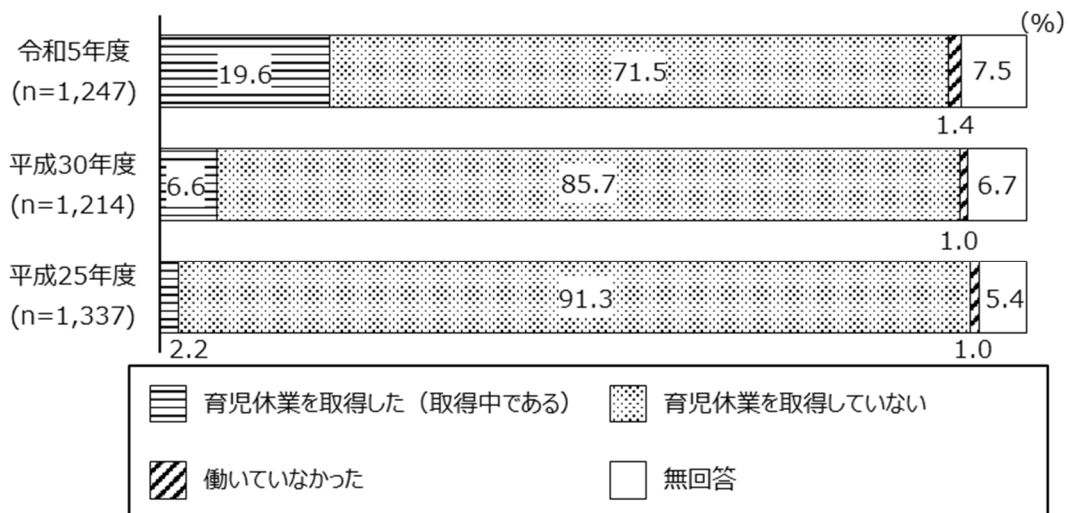
図表 27 育児休業の取得状況<父母>



図表 28 育児休業の取得状況<母親> (経年比較)



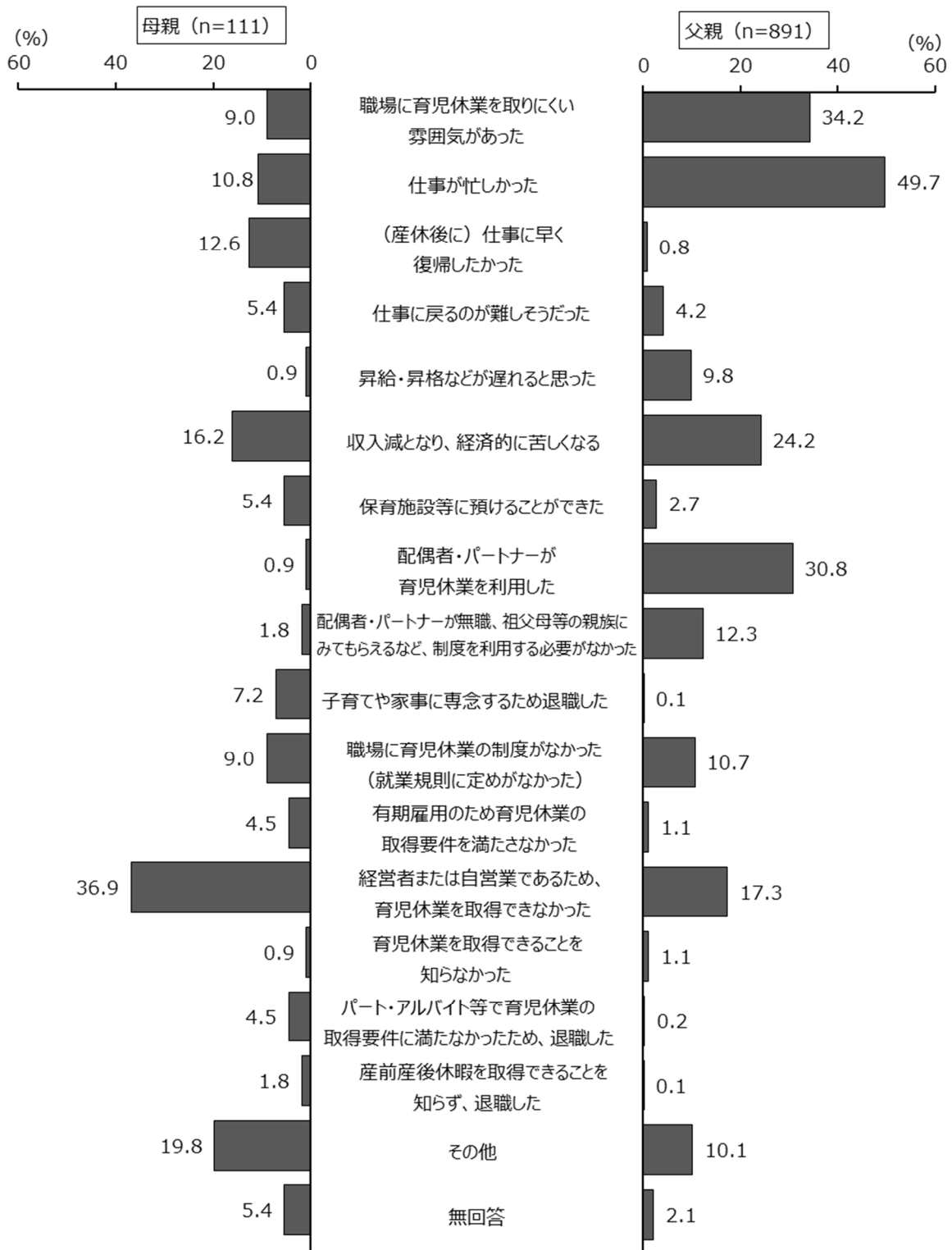
図表 29 育児休業の取得状況<父親> (経年比較)



母親の育児休業を取得していない理由は、「経営者または自営業であるため、育児休業を取得できなかった」が36.9%で最も多く、「収入減となり、経済的に苦しくなる」(16.2%)、「(産休後に)仕事に早く復帰したかった」(12.6%)と続く。

父親の育児休業を取得していない理由は、「仕事が忙しかった」が49.7%で最も多く、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(34.2%)、「配偶者・パートナーが育児休業を利用した」(30.8%)と続く。

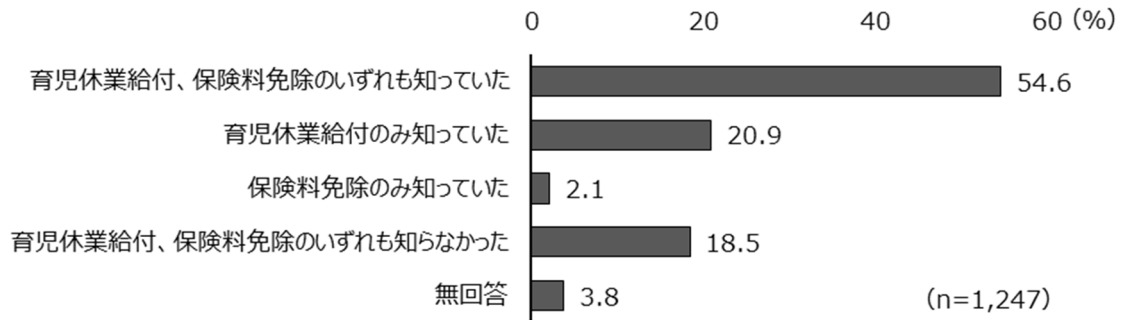
図表 30 育児休業を取得していない理由<父母> (複数回答)



### 問 1 3-1 育児休業給付及び健康保険、厚生年金保険や国民年金の保険料が免除になる仕組みの認知

育児休業給付や保険料免除については、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が 54.6%で最も多く、「育児休業給付のみ知っていた」(20.9%)、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」(18.5%)と続く。

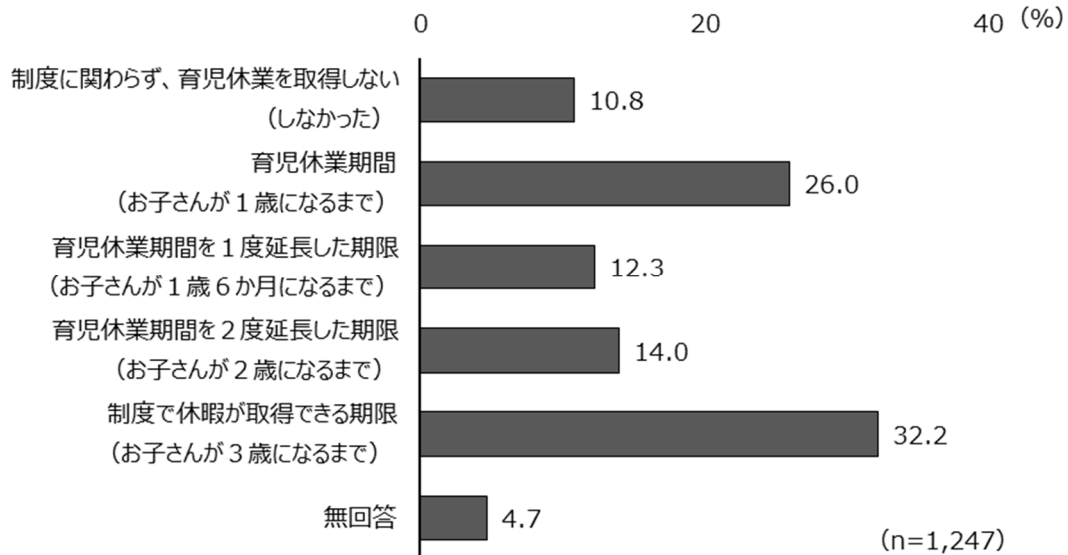
図表 31



### 問 1 3-2 育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の取得希望時期

育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の取得希望時期は、「制度で休暇が取得できる期限(お子さんが3歳になるまで)」が 32.2%で最も多く、「育児休業期間(お子さんが1歳になるまで)」(26.0%)、「育児休業期間を2度延長した期限(お子さんが2歳になるまで)」(14.0%)と続く。

図表 32

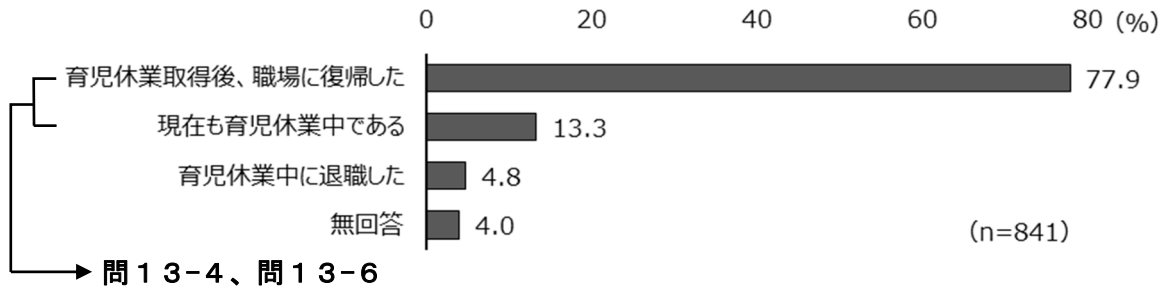


問 1 3-3 育児休業からの職場復帰

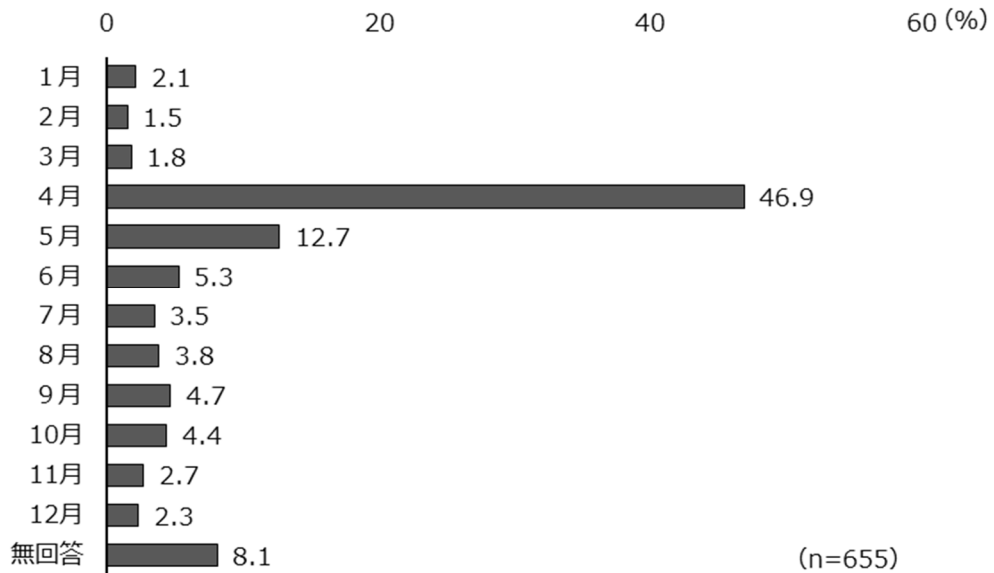
育児休業を取得した人の職場復帰時期は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 77.9%で最も多く、「現在も育児休業中である」(13.3%)、「育児休業中に退職した」(4.8%)と続く。

職場に復帰した月は、「4月」が 46.9%で最も多く、「5月」(12.7%)、「6月」(5.3%)と続く。

図表 33 育児休業からの職場復帰状況



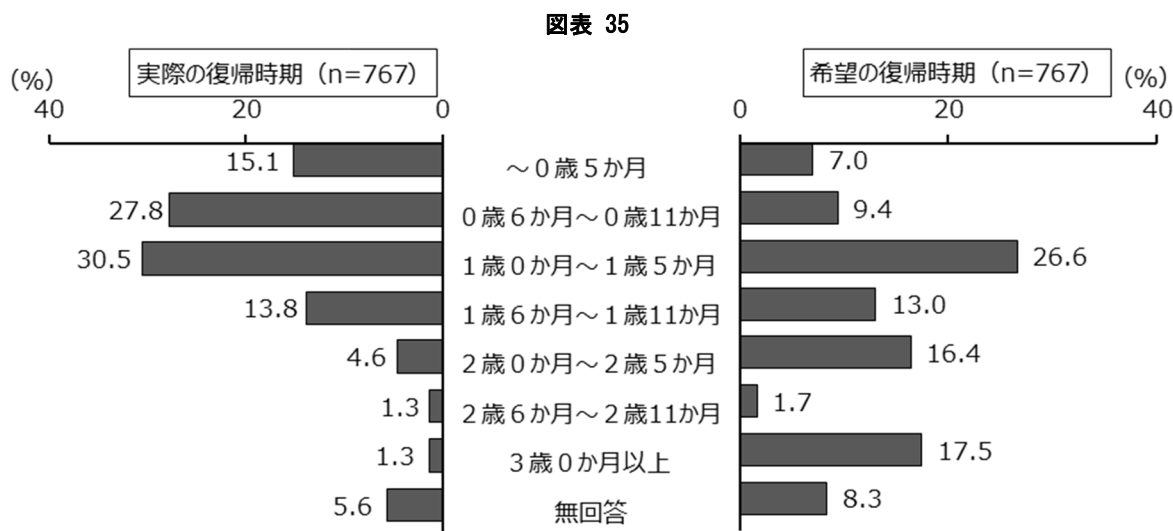
図表 34 職場復帰した月



問 1 3-4 育児休業からの実際の復帰時期（予定を含む）／希望の復帰時期

実際の復帰時期は（予定を含む）、「1歳0か月～1歳5か月」が 30.5%で最も多く、「0歳6か月～0歳11か月」（27.8%）、「～0歳5か月」（15.1%）と続く。

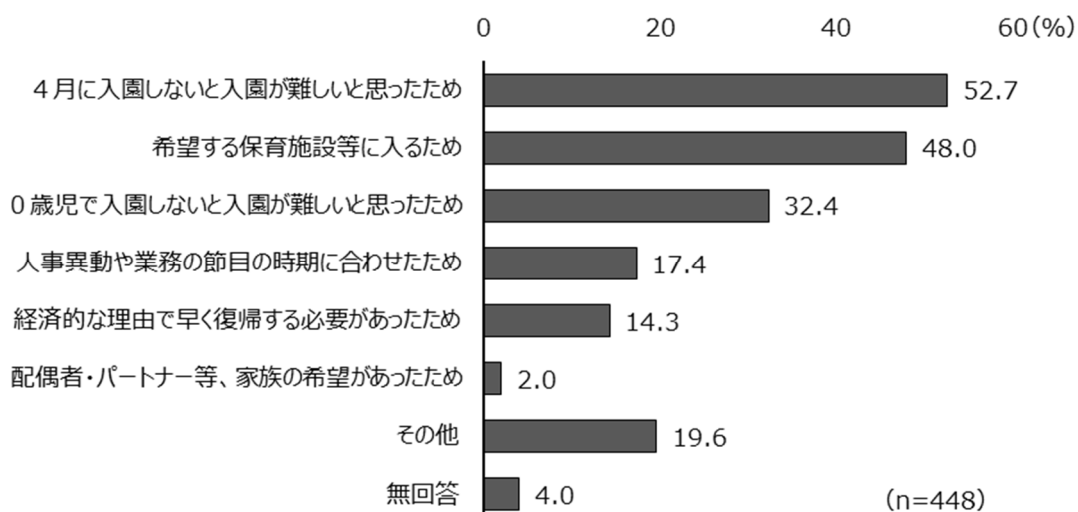
希望の復帰時期は、「1歳0か月～1歳5か月」が 26.6%で最も多く、「3歳0か月以上」（17.5%）、「2歳0か月～2歳5か月」（16.4%）と続く。



問 1 3-5 希望の時期に職場復帰しなかった（予定を含む）理由

職場復帰の時期について、実際には希望の時期より早く復帰した（予定を含む）理由は、「4月に入園しないと入園が難しいと思ったため」が 52.7%で最も多く、「希望する保育施設等に入るため」（48.0%）、「0歳児で入園しないと入園が難しいと思ったため」（32.4%）と続く。

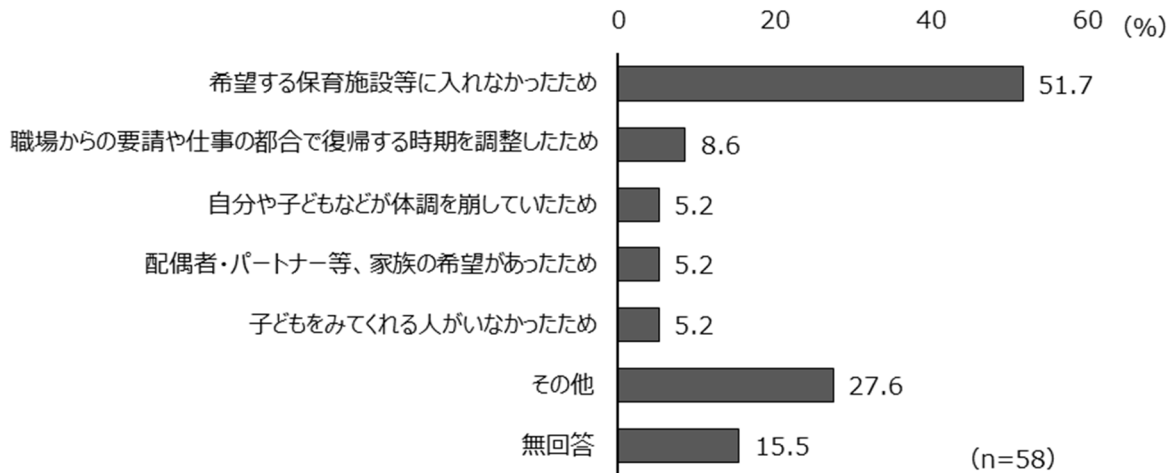
図表 36 希望の時期より早く復帰した理由（複数回答）





実際には希望の時期より遅く復帰した(予定を含む)理由は、「希望する保育施設等に入れなかったため」が51.7%で最も多く、「職場からの要請や仕事の都合で復帰する時期を調整したため」(8.6%)、「自分や子どもなどが体調を崩していたため」、「配偶者・パートナー等、家族の希望があったため」、「子どもをみてくれる人がいなかったため」がともに5.2%と続く。

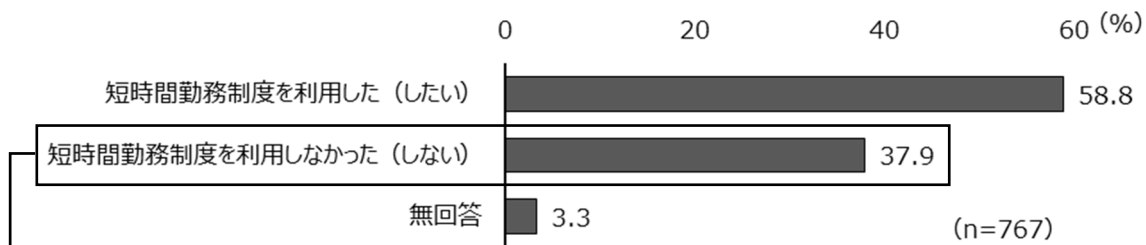
図表 37 希望の時期より遅く復帰した理由(複数回答)



問 1 3-6 職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況

育児休業からの職場復帰後に短時間勤務制度を利用したかについては、「短時間勤務制度を利用した(したい)」は58.8%、「短時間勤務制度を利用しなかった(しない)」は37.9%となっている。

図表 38

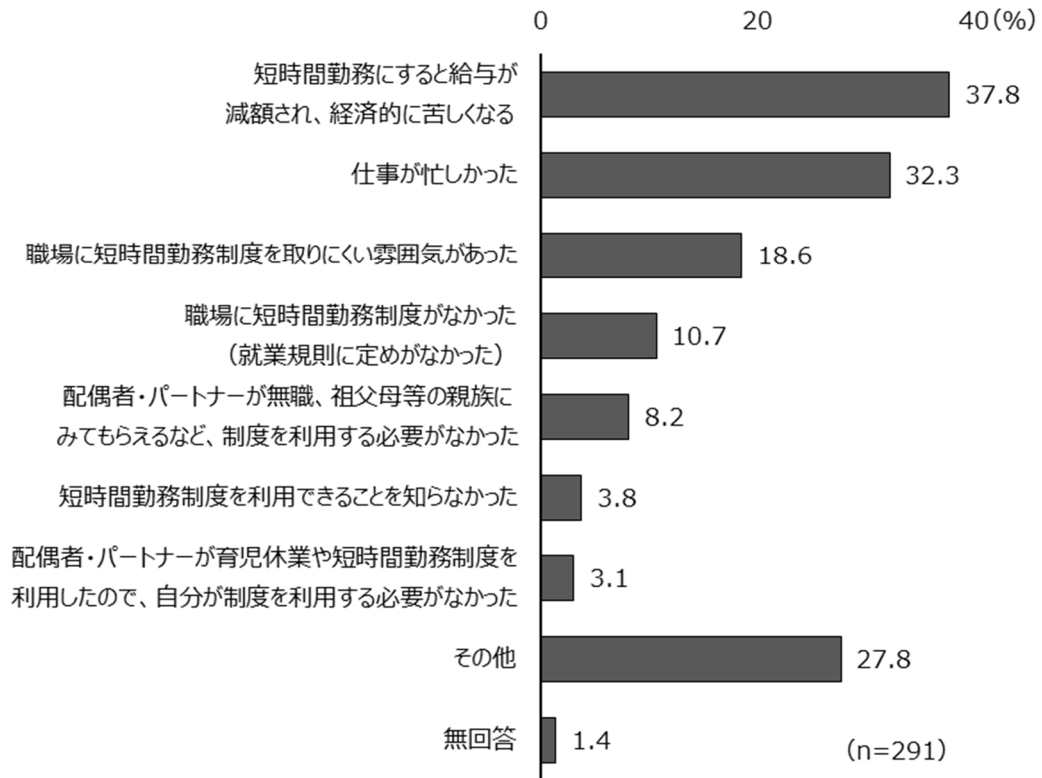


→ 問 1 3-7

問 13-7 短時間勤務制度を利用しなかった（しない）理由（複数回答）

短時間勤務制度を利用しなかった（しない）理由は、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が 37.8%で最も多く、「仕事が忙しかった」(32.3%)、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」(18.6%)と続く。

図表 39

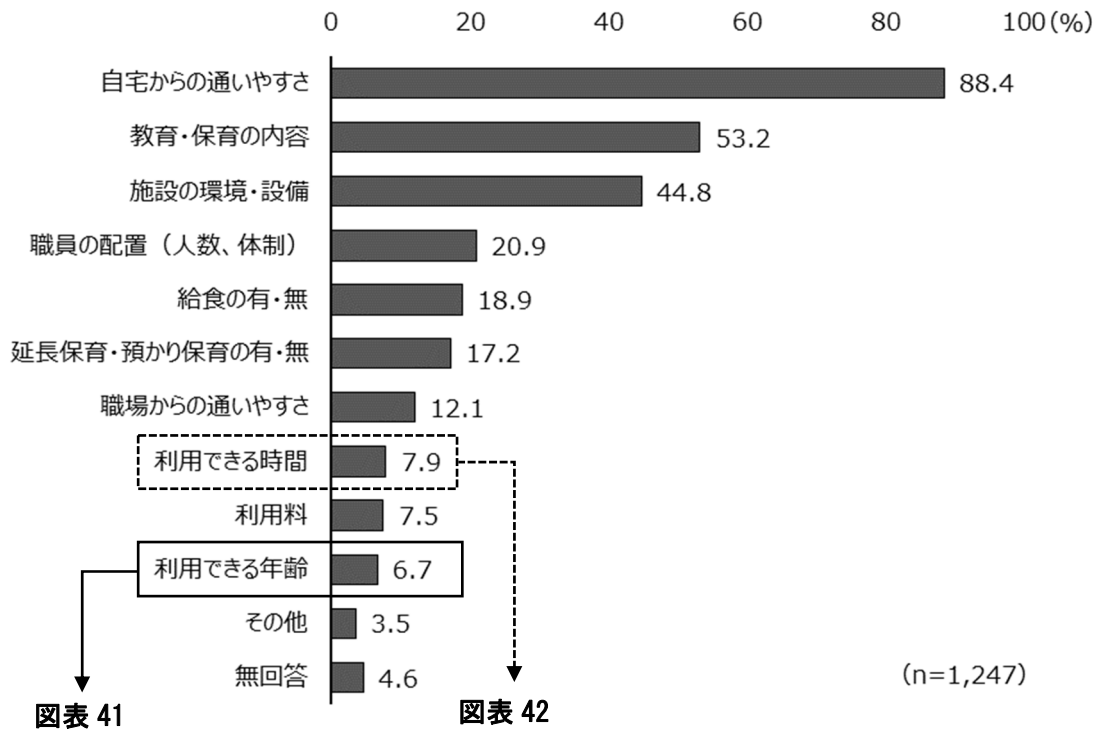


(5) 認可保育所、認定こども園、幼稚園等を選択する際に考慮する点について

問14 認可保育所、認定こども園、幼稚園等を選択する際に考慮する点（3つまで）

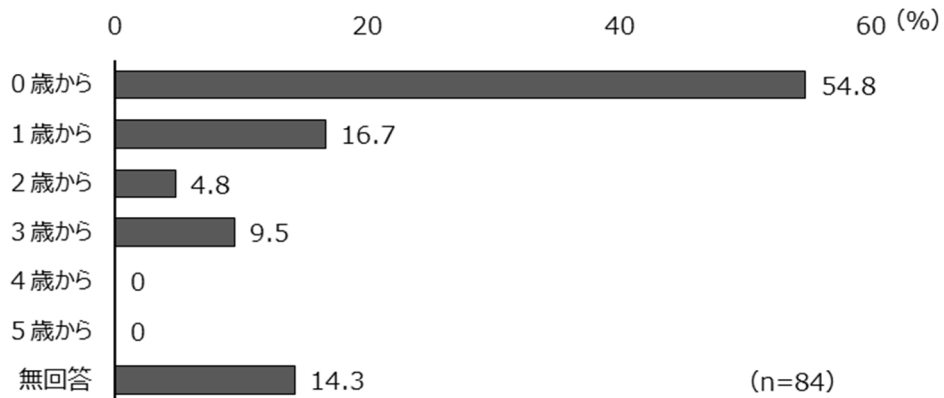
認可保育所、認定こども園、幼稚園等を選択する際に考慮する点は、「自宅からの通いやすさ」が88.4%で最も多く、「教育・保育の内容」(53.2%)、「施設的环境・設備」(44.8%)と続く。

図表 40



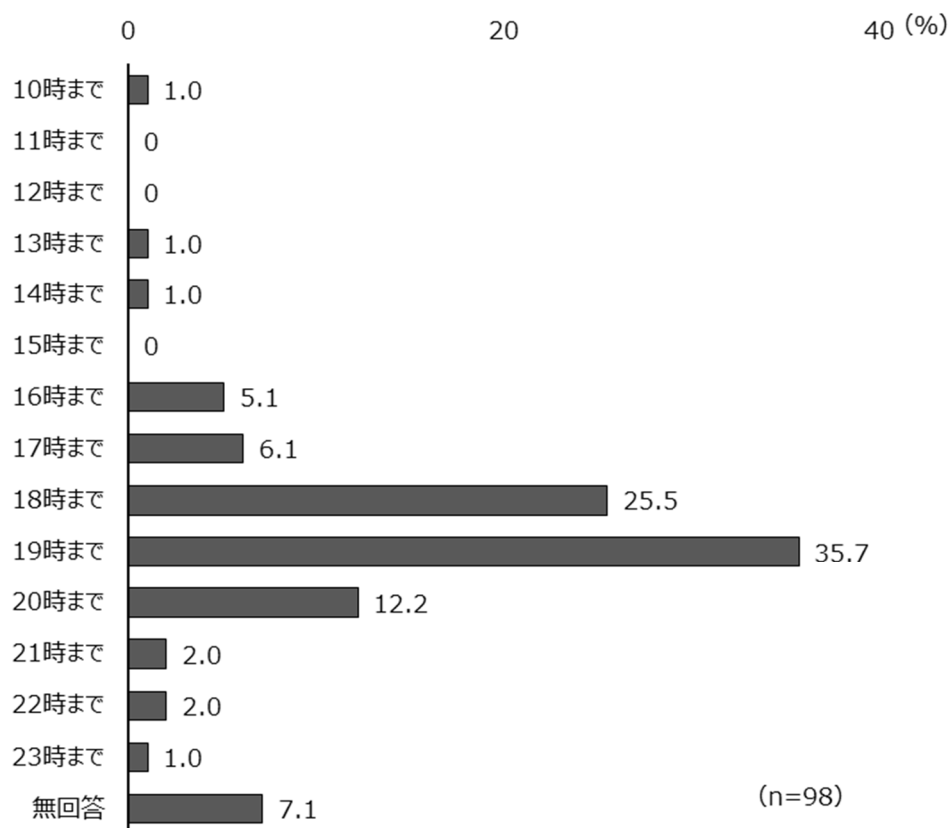
認可保育所、認定こども園、幼稚園等を選択する際に考慮した「希望利用年齢」については、「0歳から」が54.8%で最も多く、「1歳から」(16.7%)、「3歳から」(9.5%)と続く。

図表 41 利用できる年齢を選択した人の希望利用年齢



認可保育所、認定こども園、幼稚園等を選択する際に考慮した「希望利用時間」については、「19時まで」が35.7%で最も多く、「18時まで」(25.5%)、「20時まで」(12.2%)と続く。

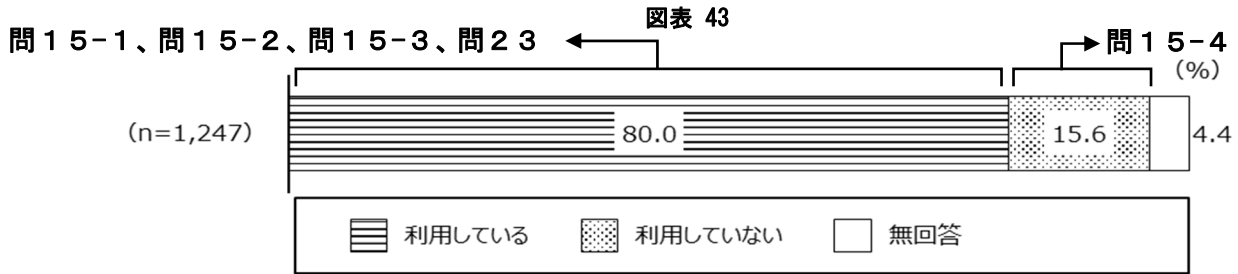
図表 42 利用できる時間を選択した人の希望利用時間



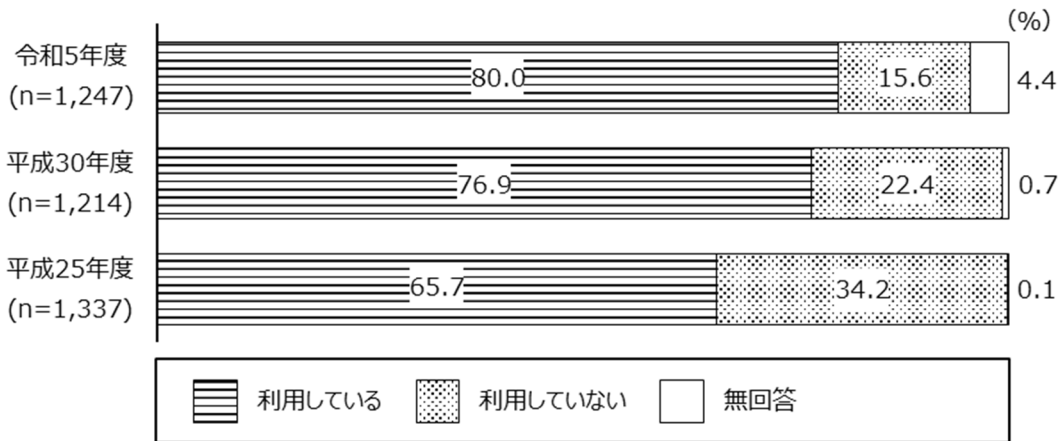
(6) 子どもの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問15 定期的な教育・保育事業の利用状況

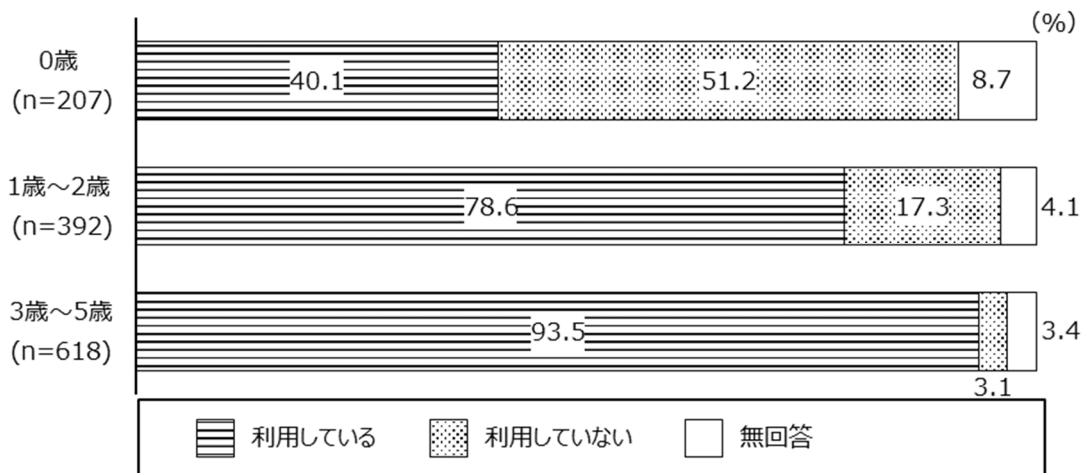
定期的な教育・保育事業の利用状況は、「利用している」が80.0%、「利用していない」は15.6%となっている。



図表 44 定期的な教育・保育事業の利用状況（経年比較）



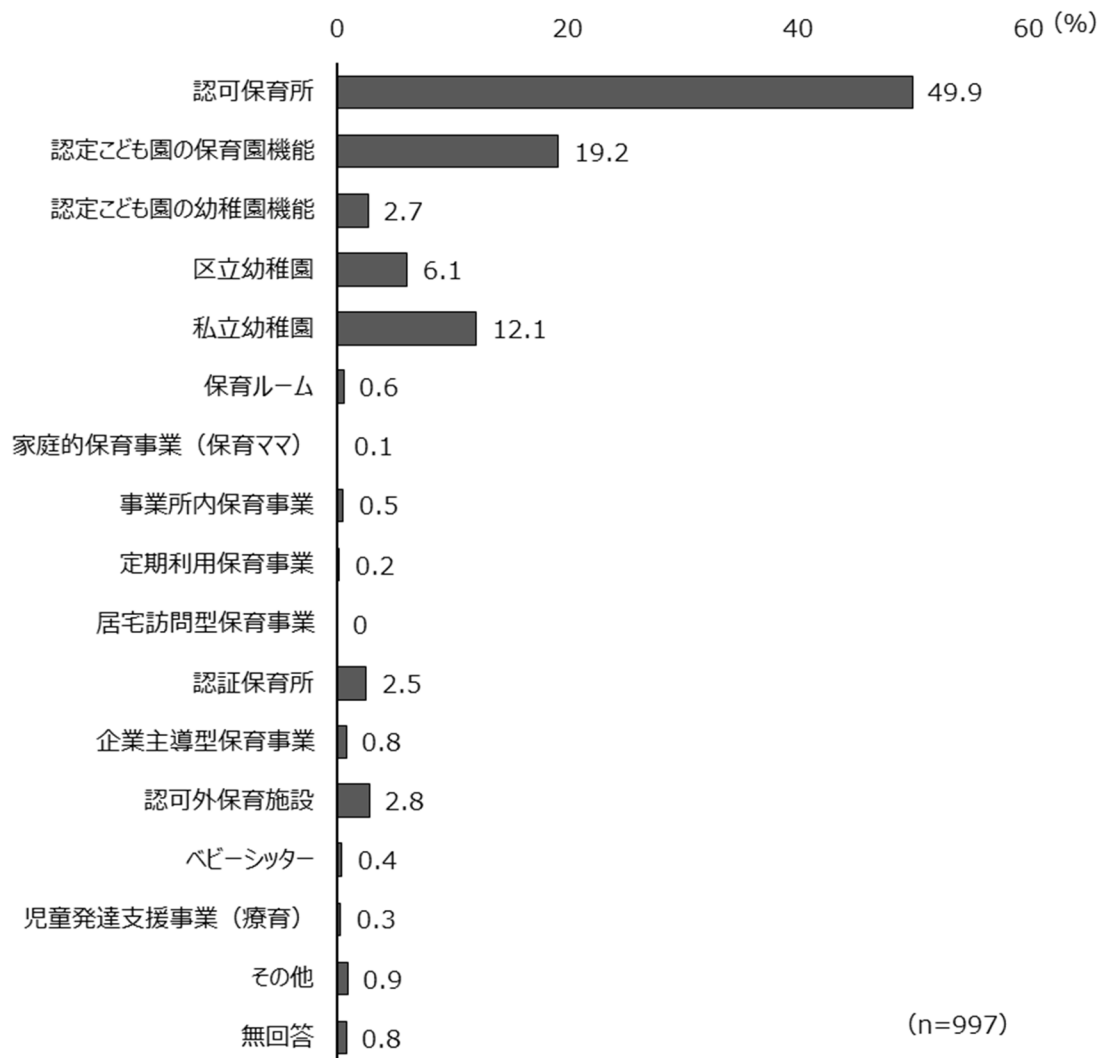
図表 45 定期的な教育・保育事業の利用状況（年齢別）



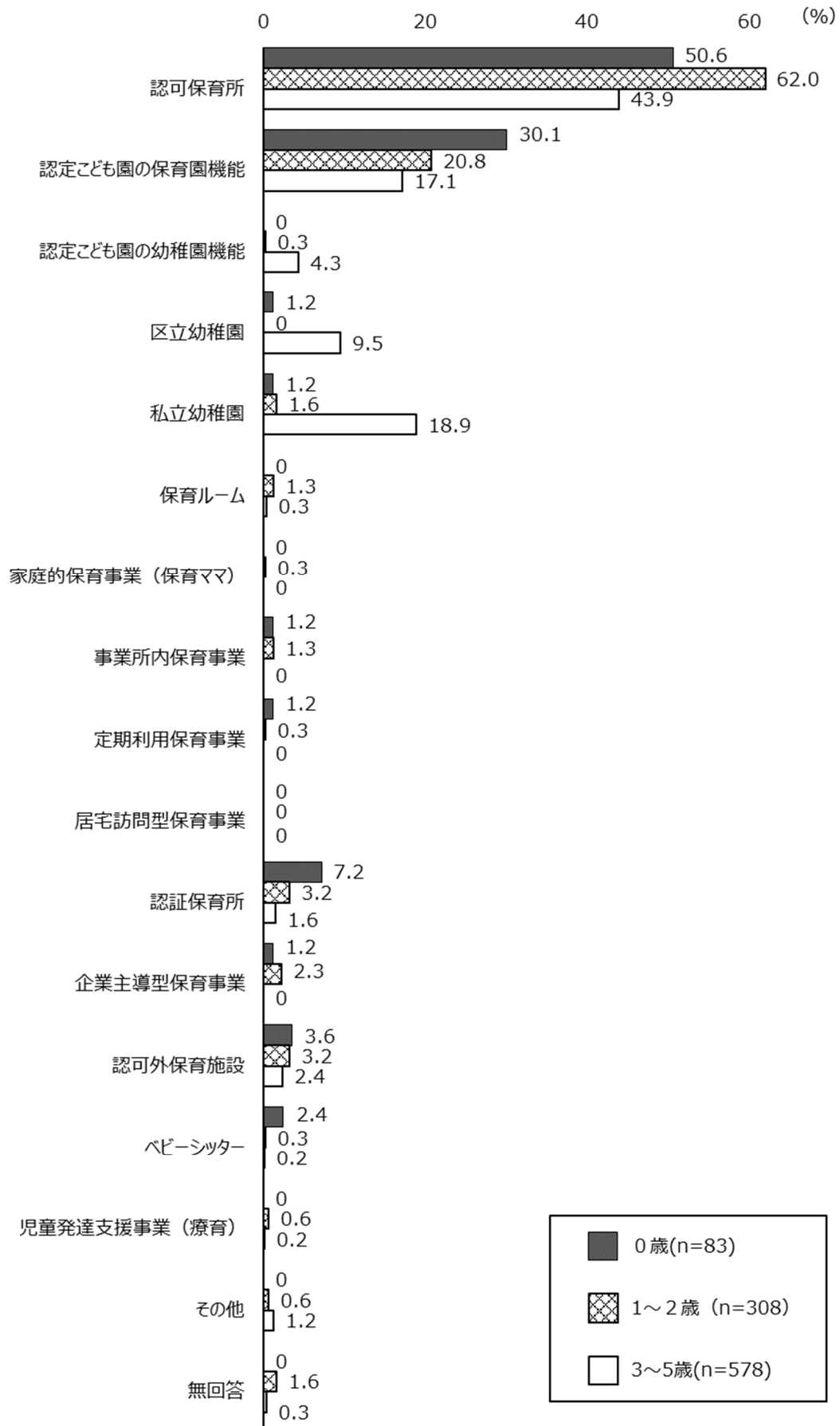
問 15-1 平日に利用している「定期的な教育・保育事業」

平日に利用している定期的な教育・保育事業は、「認可保育所」が 49.9%で最も多く、「認定こども園の保育園機能」(19.2%)、「私立幼稚園」(12.1%)と続く。

図表 46



図表 47 平日に利用している「定期的な教育・保育事業」(年齢別)

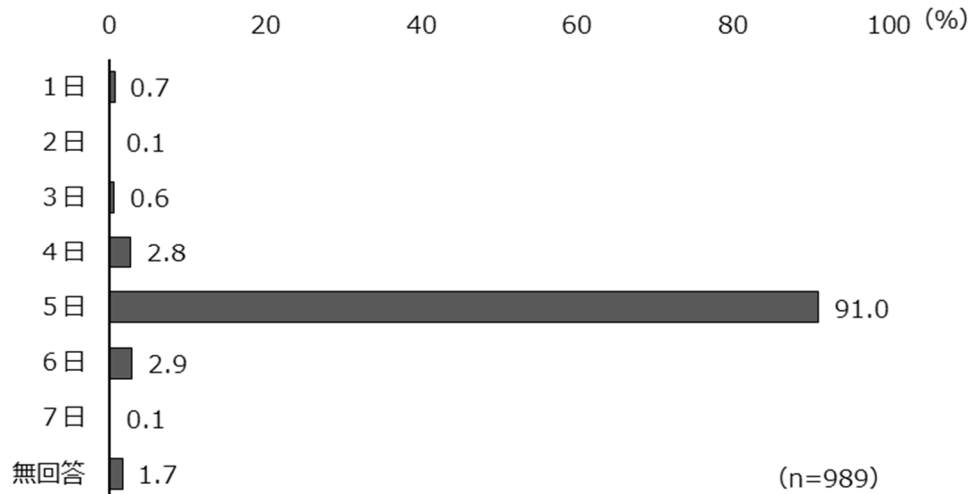


問 15-2 平日に利用している「定期的な教育・保育事業」の利用回数・時間・場所

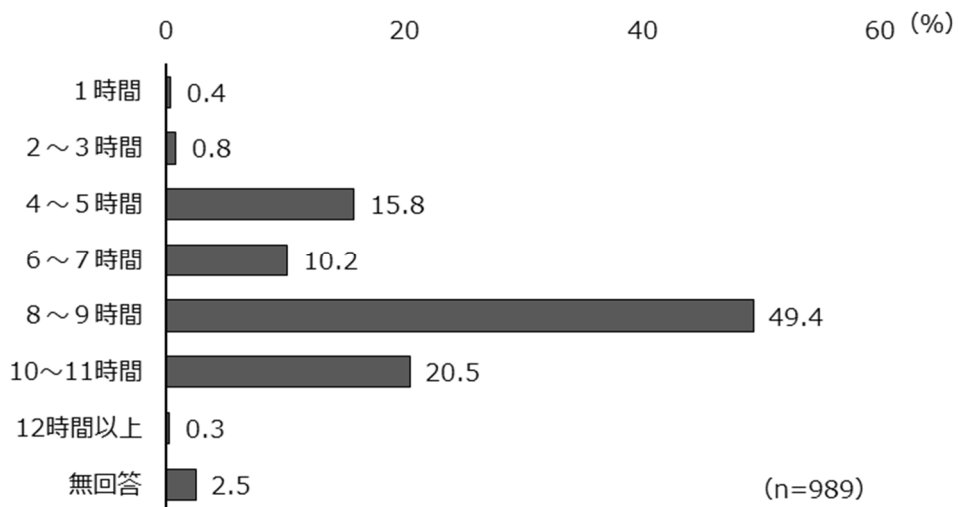
平日の定期的な教育・保育事業の利用について、1週当たりの利用回数は「5日」が 91.0%で最も多く、「6日」(2.9%)、「4日」(2.8%)と続く。

1日当たりの利用時間は、「8～9時間」が 49.4%で最も多く、「10～11時間」(20.5%)、「4～5時間」(15.8%)と続く。

図表 48 1週当たりの利用回数



図表 49 1日当たりの利用時間

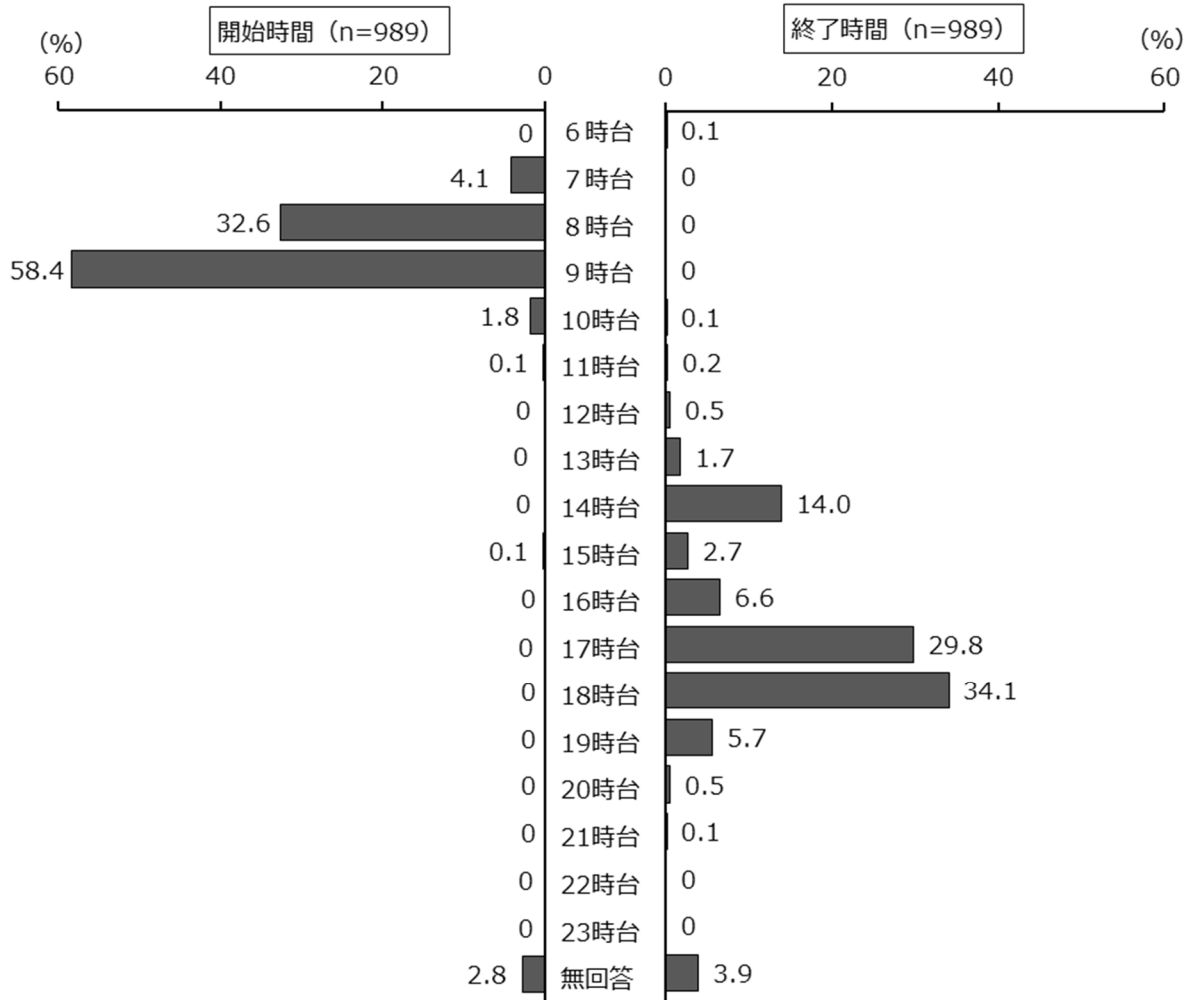




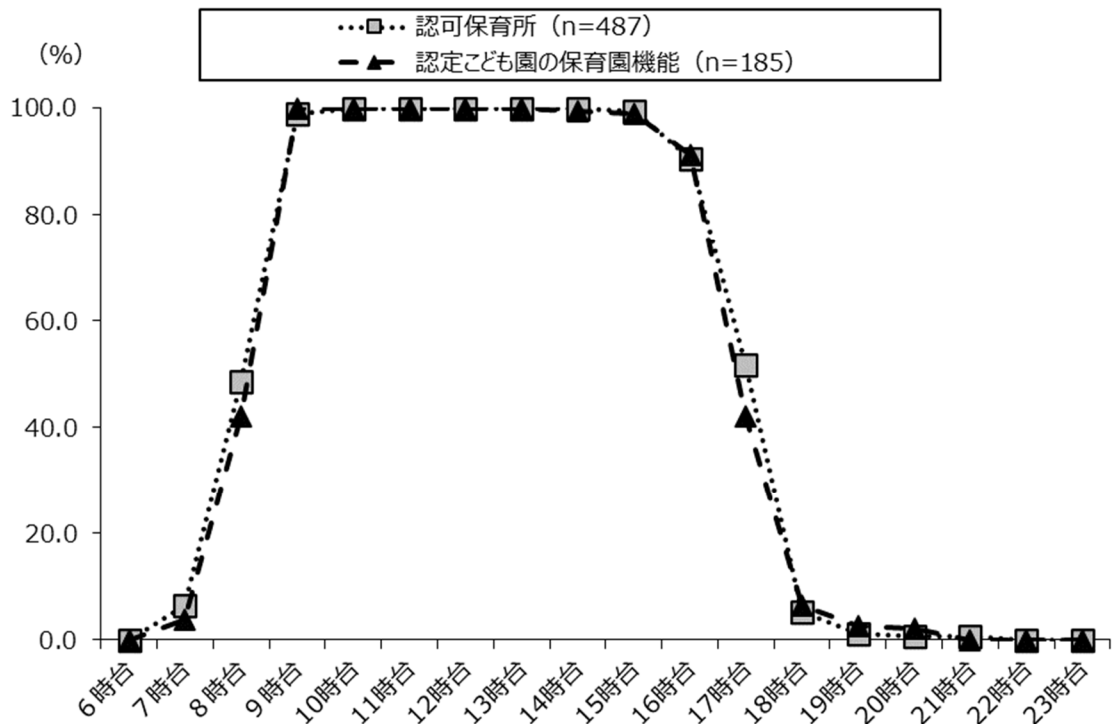
平日の定期的な教育・保育事業の利用について、利用開始時間は「9時台」が 58.4%で最も多く、「8時台」(32.6%)、「7時台」(4.1%)と続く。

利用終了時間は「18時台」が 34.1%で最も多く、「17時台」(29.8%)、「14時台」(14.0%)と続く。

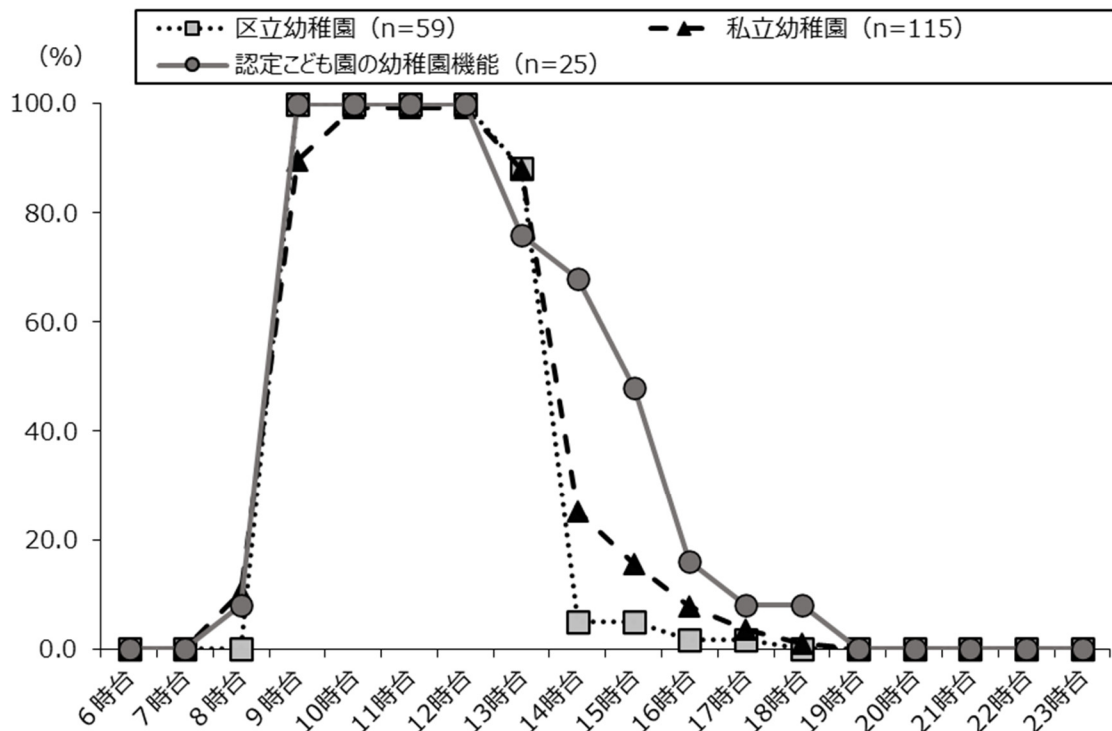
図表 50 現在の利用時間帯<開始時間・終了時間>



図表 51 現在の利用時間帯<認可保育所・認定こども園の保育園機能>

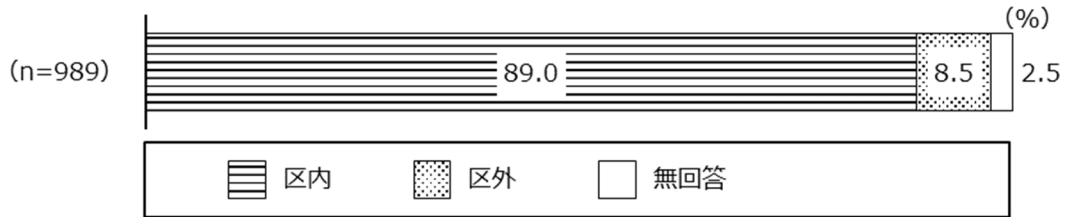


図表 52 現在の利用時間帯<区立幼稚園・私立幼稚園・認定こども園の幼稚園機能>



現在利用している場所は、「区内」は 89.0%、「区外」は 8.5%となっている。

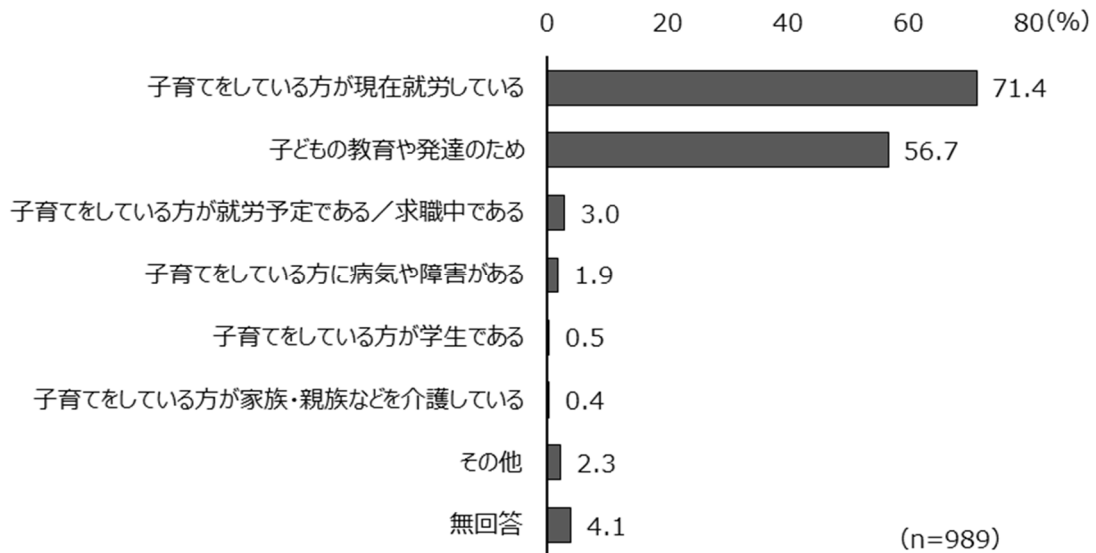
図表 53 定期的に利用している教育・保育事業の所在



問 1 5-3 定期的な教育・保育事業を利用している主な理由（複数回答）

定期的な教育・保育事業を利用している主な理由は、「子育てをしている方が現在就労している」が 71.4%で最も多く、「子どもの教育や発達のため」(56.7%)、「子育てをしている方が就労予定である／求職中である」(3.0%)と続く。

図表 54



図表 55 定期的な教育・保育事業を利用している主な理由（事業別）

(%)

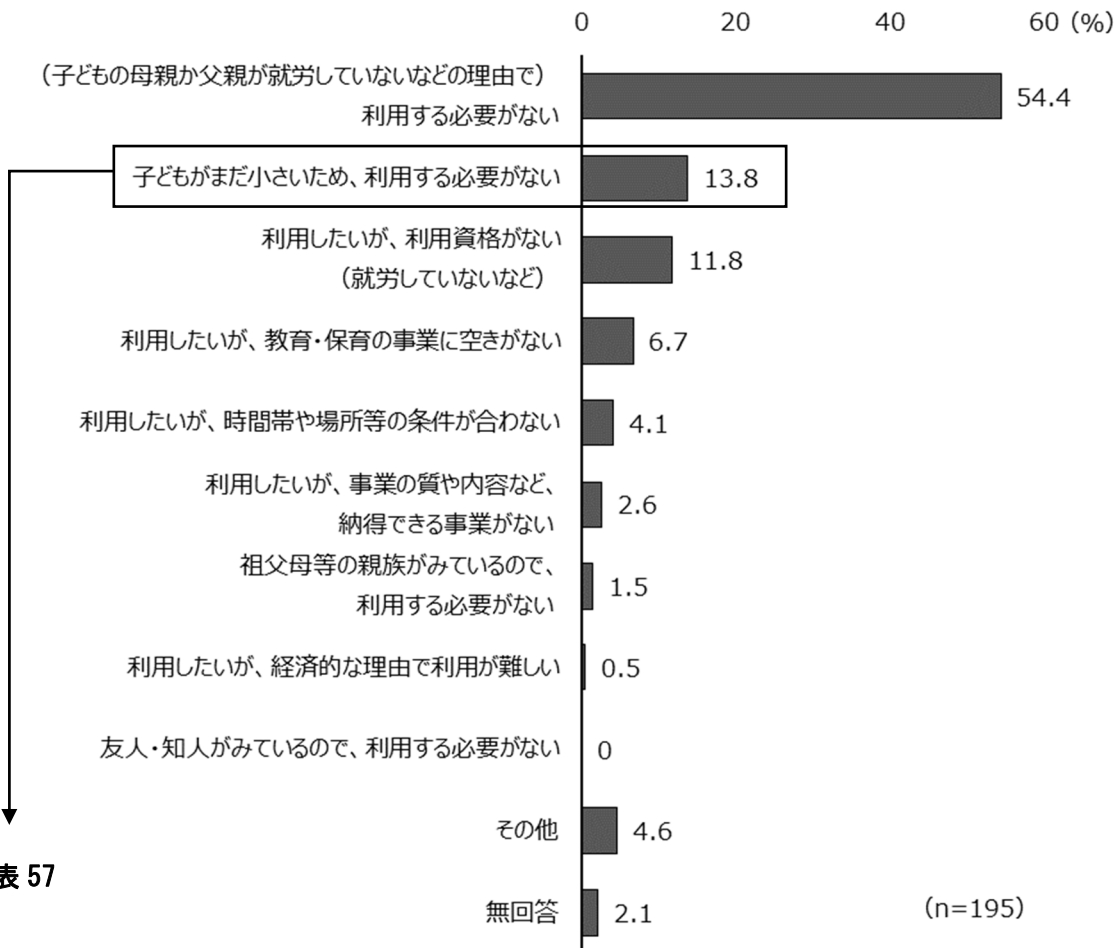
	全体 (n)	子どもの教育 や発達のため	子育てをして いる方が 現在就労 している	子育てをして いる方が就 労予定であ る／求職中 である	子育てをして いる方が 家族・親族 などを介護 している	子育てをして いる方に病 気や障害が ある	子育てをして いる方が学 生である	その他	無回答
全体	989	56.7	71.4	3.0	0.4	1.9	0.5	2.3	4.1
認可保育所	498	45.2	88.2	2.2	0.4	1.6	0.2	1.6	4.0
認定こども園の保育園機能	191	47.1	90.1	4.7	0	3.1	1.0	1.6	2.6
認定こども園の幼稚園機能	27	74.1	40.7	0	3.7	0	3.7	3.7	11.1
区立幼稚園	61	96.7	6.6	3.3	0	0	0	1.6	1.6
私立幼稚園	121	92.6	20.7	0.8	0.8	0.8	0	0	6.6
保育ルーム	6	50.0	66.7	16.7	0	0	0	16.7	0
家庭的保育事業（保育ママ）	1	100.0	100.0	0	0	0	0	0	0
事業所内保育事業	5	20.0	60.0	20.0	0	0	0	0	20.0
定期利用保育事業	2	50.0	100.0	0	0	0	0	0	0
居宅訪問型保育事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認証保育所	25	44.0	60.0	12.0	0	8.0	0	12.0	8.0
企業主導型保育事業	8	62.5	87.5	12.5	0	0	0	0	0
認可外保育施設	28	78.6	64.3	0	0	3.6	0	7.1	3.6
ベビーシッター	4	50.0	50.0	0	0	0	0	50.0	0
児童発達支援事業（療育）	3	66.7	33.3	0	0	0	0	33.3	0
その他	9	77.8	22.2	11.1	0	11.1	11.1	11.1	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※ 網掛けは70%以上のもの

問 15-4 定期的な教育・保育事業を利用していない主な理由

定期的な教育・保育事業を利用していない主な理由は、「(子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で)利用する必要がない」が 54.4%で最も多く、「子どもがまだ小さいため、利用する必要がない」(13.8%)、「利用したいが、利用資格がない(就労していないなど)」(11.8%)と続く。

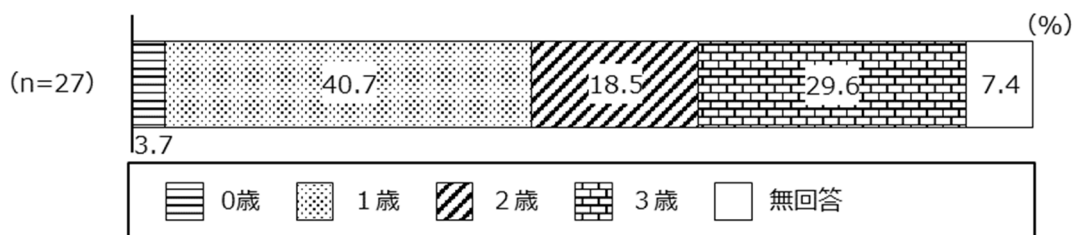
図表 56



図表 57

「子どもがまだ小さいため、利用する必要がない」と回答した人で将来的に利用しようと考えている子どもの年齢は、「1歳」が 40.7%で最も多く、「3歳」(29.6%)、「2歳」(18.5%)と続く。

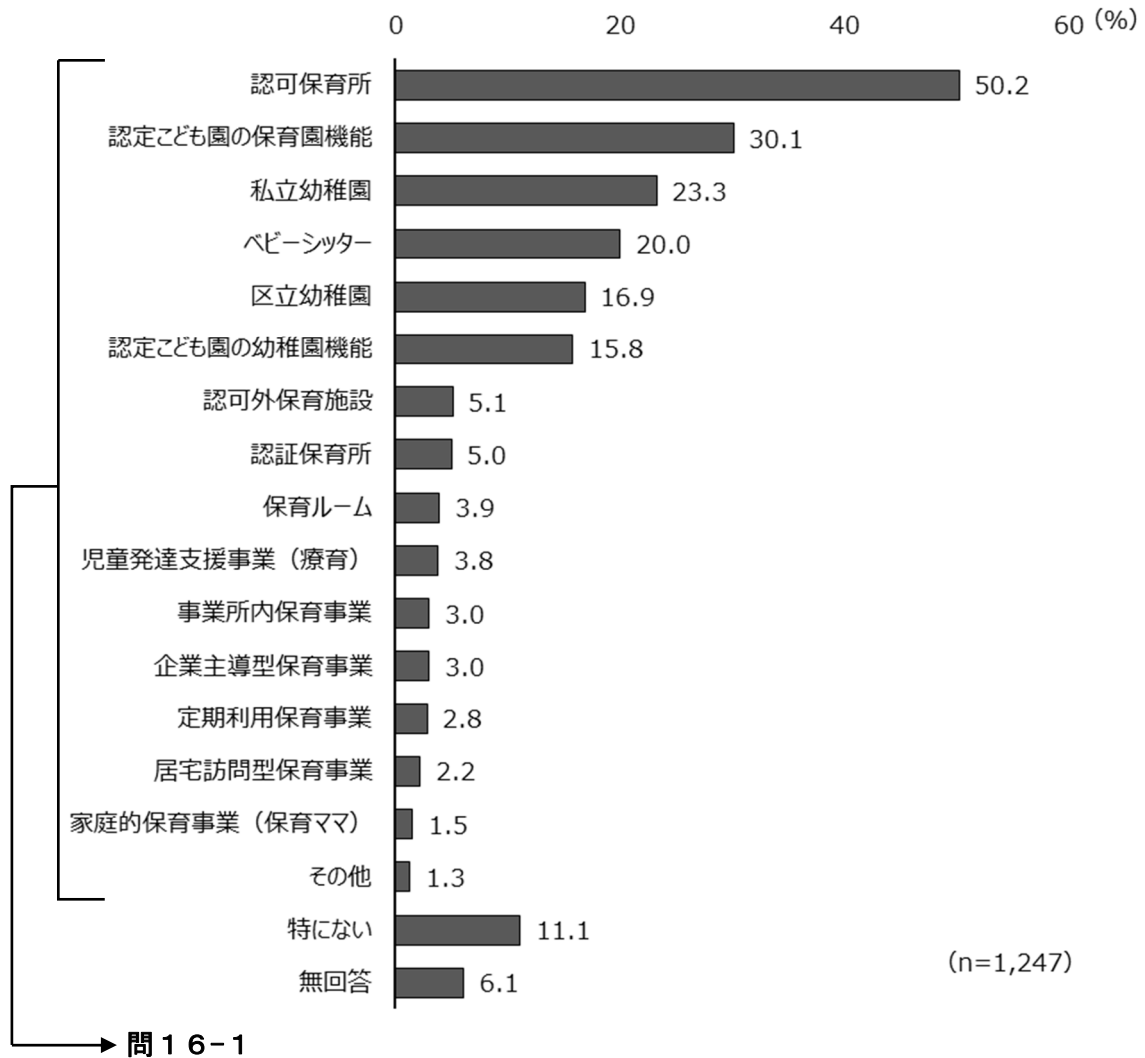
図表 57 定期的な教育・保育事業を利用しようと考えている子どもの年齢



問 1 6 今後、利用したい教育・保育事業（複数回答）

今後、利用したい教育・保育事業は、「認可保育所」が 50.2%で最も多く、「認定こども園の保育園機能」(30.1%)、「私立幼稚園」(23.3%)と続く。

図表 58



図表 59 今後、利用したい教育・保育事業（年齢別）

	全体 (n)	認可保育所	認定こども園の保育園機能	認定こども園の幼稚園機能	区立幼稚園	私立幼稚園	保育ルーム	家庭的保育事業（保育ママ）	事業所内保育事業	定期利用保育事業
全体	1,247	50.2	30.1	15.8	16.9	23.3	3.9	1.5	3.0	2.8
0歳	207	60.9	39.6	19.8	22.7	19.3	7.2	2.4	4.3	4.8
1歳	190	54.2	32.1	20.5	21.6	31.1	4.7	1.6	3.2	2.6
2歳	202	53.5	33.7	20.3	18.8	27.2	2.0	1.0	3.5	3.5
3歳	209	45.9	29.2	12.4	14.4	23.4	3.3	0	1.4	1.9
4歳	223	44.4	24.2	10.8	13.9	20.6	3.1	2.2	1.3	1.3
5歳	186	42.5	23.1	11.3	11.3	16.7	3.2	2.2	4.3	3.2
無回答	30	50.0	20.0	16.7	10.0	36.7	3.3	0	3.3	0

(%)

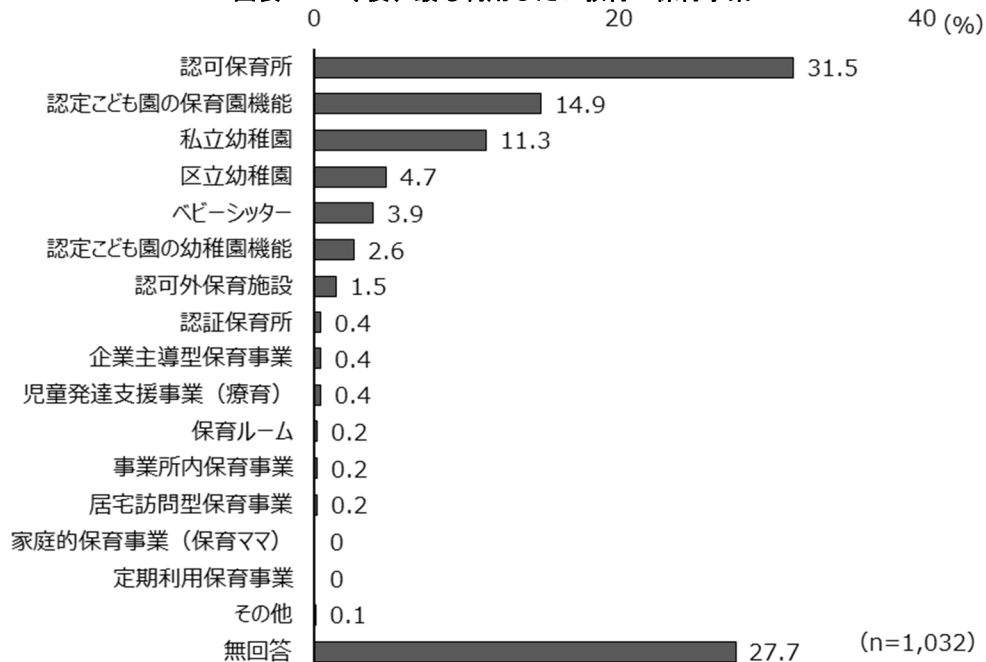
	居宅訪問型保育事業	認証保育所	企業主導型保育事業	認可外保育施設	ベビーシッター	児童発達支援事業（療育）	その他	特にない	無回答
全体	2.2	5.0	3.0	5.1	20.0	3.8	1.3	11.1	6.1
0歳	2.9	6.8	5.8	5.8	25.6	2.9	2.4	6.3	9.2
1歳	2.1	4.7	3.7	6.3	27.4	2.6	1.6	6.3	6.8
2歳	1.5	5.9	5.0	6.9	21.3	4.0	1.0	6.4	5.9
3歳	1.9	3.3	1.0	5.7	15.8	5.7	1.0	13.9	6.2
4歳	1.3	4.5	0.9	3.1	17.0	3.6	1.8	14.3	4.5
5歳	3.8	3.8	1.6	2.2	15.1	3.8	0	19.9	4.3
無回答	3.3	10.0	3.3	6.7	6.7	3.3	0	10.0	3.3

※ 網掛けは「無回答」を除き、20%以上のもの

問 16-1 今後、最も利用したい教育・保育事業、現在利用していない理由（または利用状況）・希望する利用回数・時間・場所

今後、最も利用したい教育・保育事業は、「認可保育所」が 31.5%で最も多く、「認定こども園の保育園機能」（14.9%）、「私立幼稚園」（11.3%）と続く。

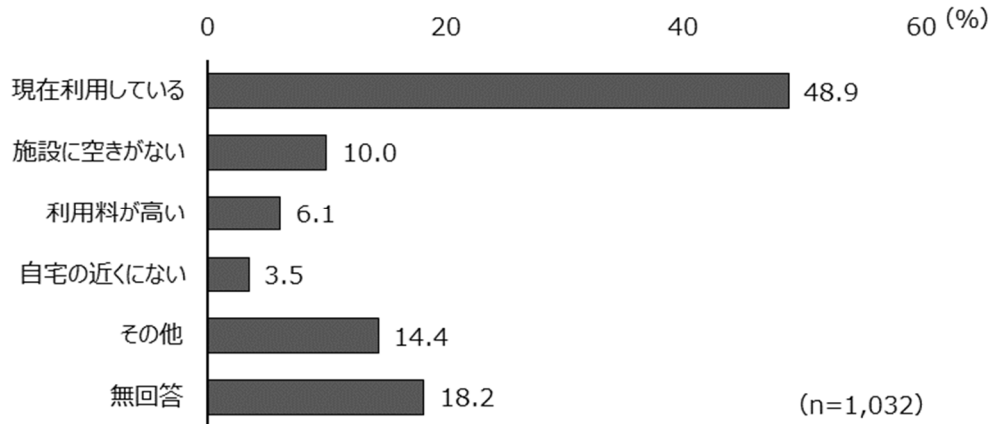
図表 60 今後、最も利用したい教育・保育事業



II-① 就学前児童保護者調査結果

今後、最も利用したい教育・保育事業の利用状況は、「現在利用している」が 48.9%である。現在利用していない理由では、「施設に空きがない」(10.0%)が最も多く、「利用料が高い」(6.1%)と続く。

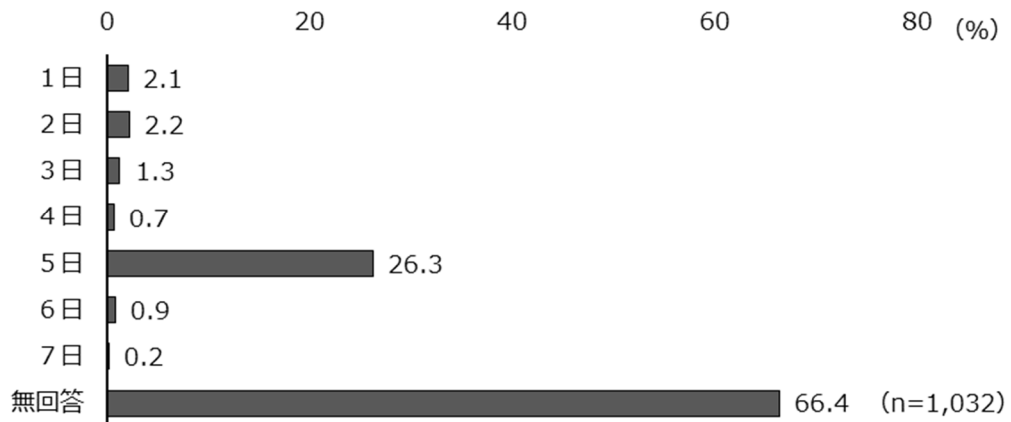
図表 61 今後、最も利用したい教育・保育事業を現在利用していない理由等



今後、最も利用したい教育・保育事業の1週当たりの希望利用回数は、「5日」が 26.3%で最も多く、「2日」(2.2%)、「1日」(2.1%)と続く。

1日当たりの希望利用時間数は「7～9時間」が 16.5%で最も多く、「4～6時間」(7.1%)、「10～11時間」(6.7%)と続く。

図表 62 今後、最も利用したい教育・保育事業の1週当たりの希望利用回数



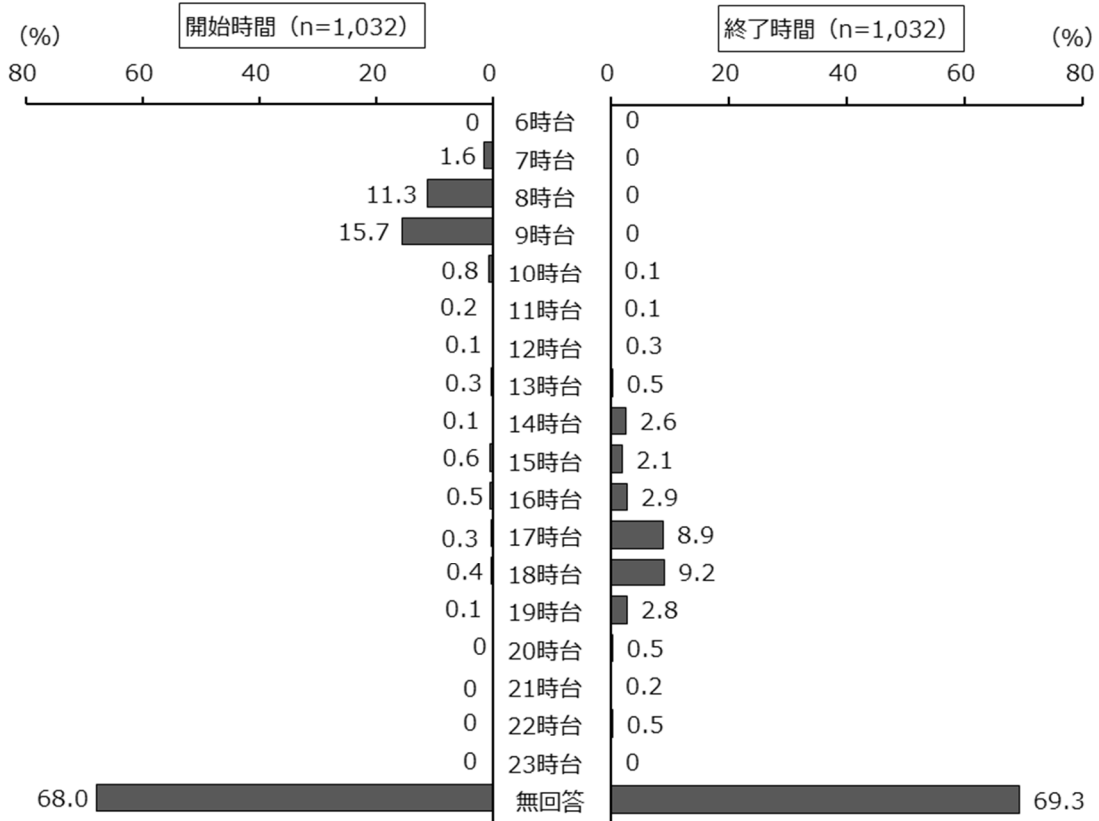
図表 63 今後、最も利用したい教育・保育事業の1日当たりの希望利用時間



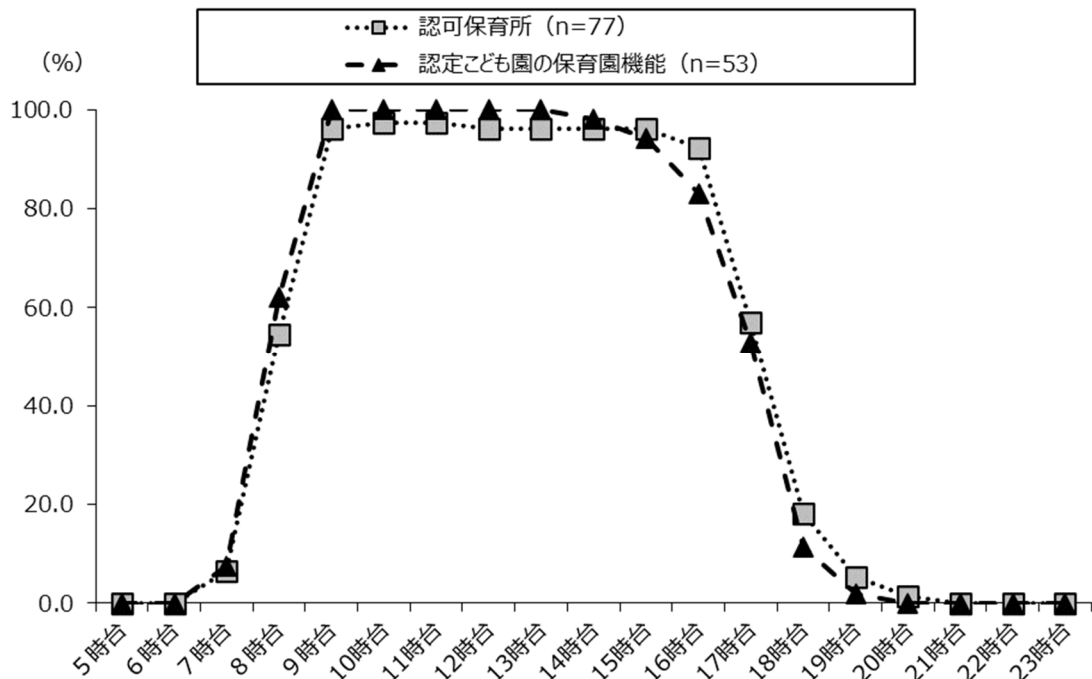


今後、最も利用したい教育・保育事業の希望開始時間は、「9時台」が15.7%で最も多く、「8時台」(11.3%)、「7時台」(1.6%)と続く。  
 希望終了時間は、「18時台」(9.2%)が最も多く、「17時台」(8.9%)、「16時台」(2.9%)と続く。

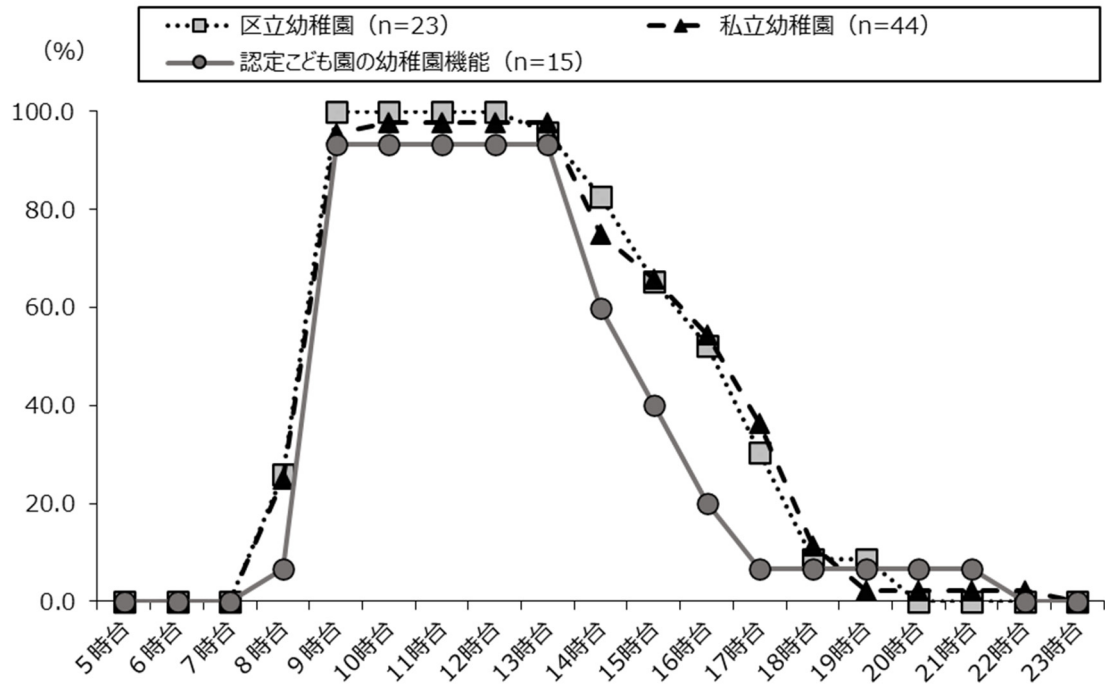
図表 64 今後、最も利用したい教育・保育事業の希望する利用時間帯<開始時間・終了時間>



図表 65 今後、最も利用したい教育・保育事業の希望する利用時間帯<認可保育所・認定こども園の保育園機能>

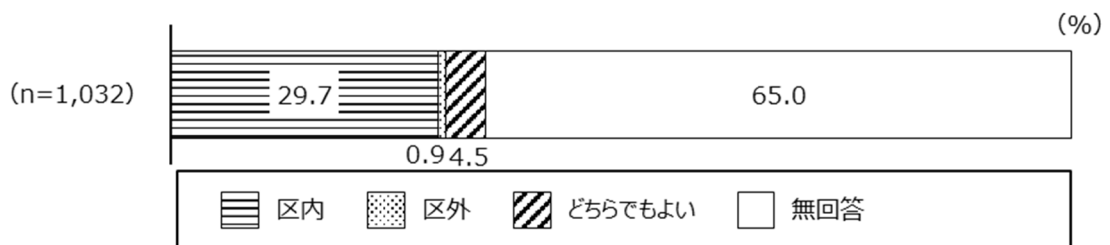


図表 66 今後、最も利用したい教育・保育事業の希望する利用時間帯  
 <区立幼稚園・私立幼稚園・認定こども園の幼稚園機能>



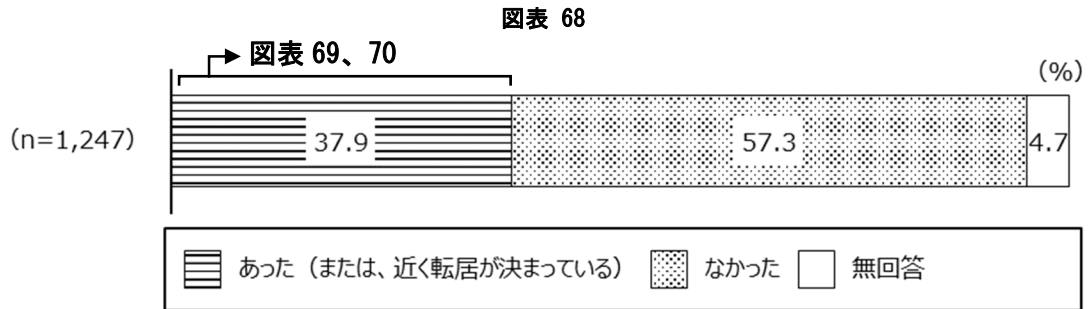
今後利用したい定期的な教育・保育事業の所在地は、「区内」が 29.7%で最も多く、「どちらでもよい」(4.5%)、「区外」(0.9%)と続く。

図表 67 今後利用したい定期的な教育・保育事業の所在

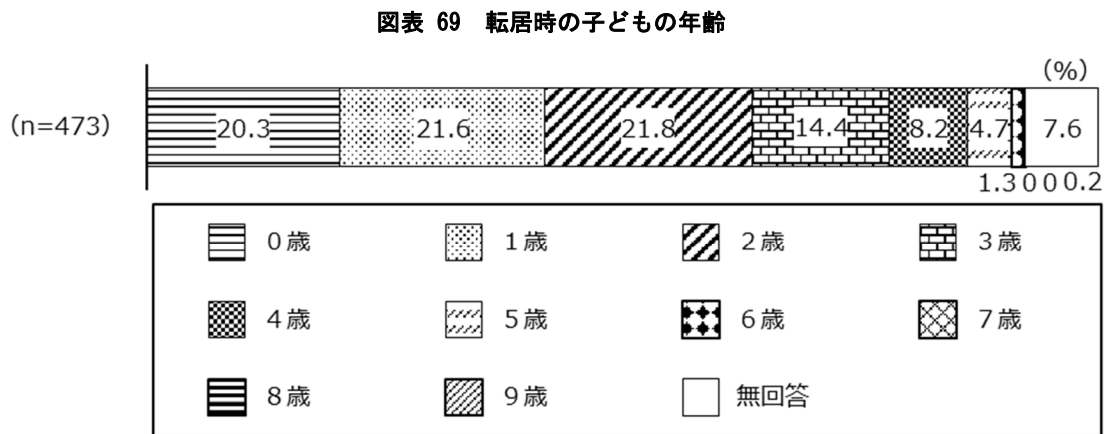


問17 これまでの転居経験（又は近く転居予定あり）

これまでの転居経験（又は近く転居予定あり）は、「なかった」は 57.3%、「あった（または、近く転居が決まっている）」は 37.9%となっている。

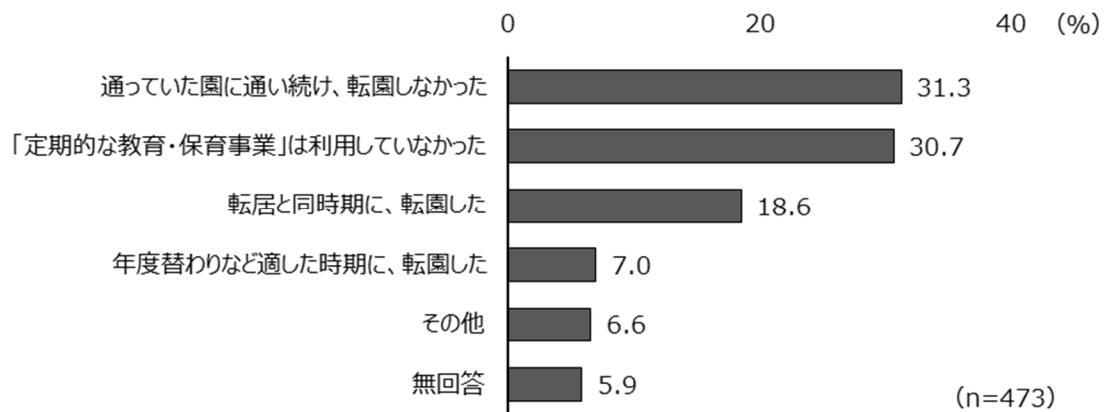


これまでの転居経験（又は近く転居予定あり）で「あった（または、近く転居が決まっている）」と回答した人で転居時の子どもの年齢は、「2歳」が 21.8%で最も多く、「1歳」(21.6%)、「0歳」(20.3%)と続く。



これまでの転居経験（又は近く転居予定あり）で「あった（または、近く転居が決まっている）」と回答した人で転居時の対応は、「通っていた園に通い続け、転園しなかった」が 31.3%で最も多く、「定期的な教育・保育事業」は利用していなかった」(30.7%)、「転居と同時期に、転園した」(18.6%)と続く。

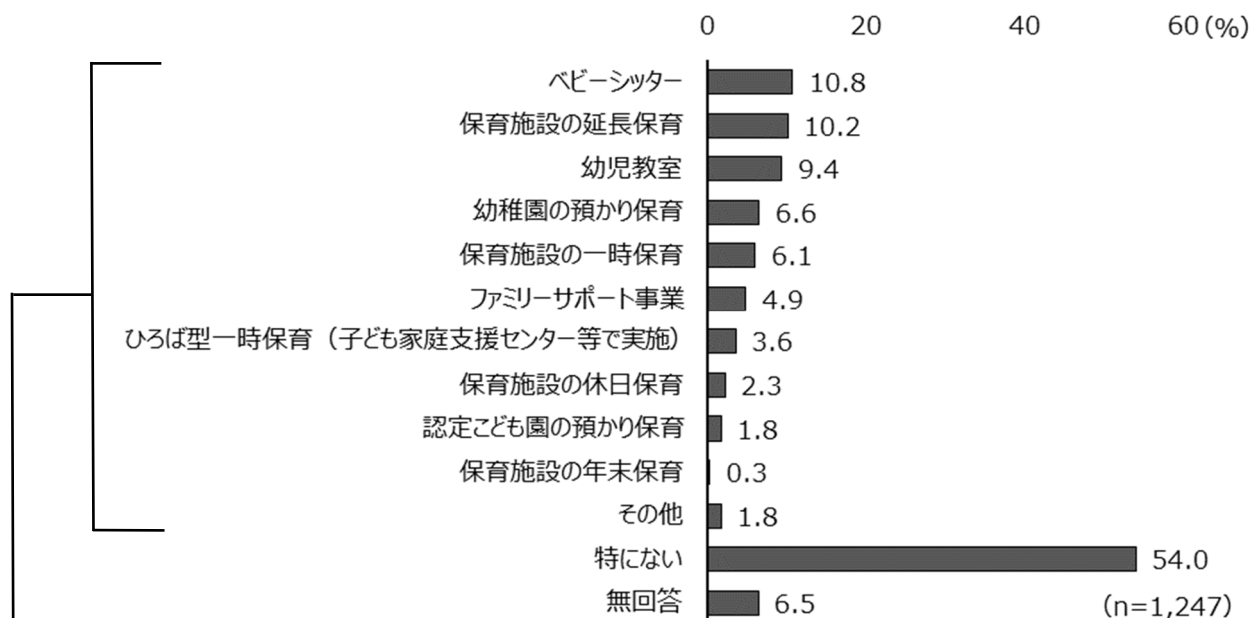
図表 70 定期的な教育・保育事業の利用について転居時の対応



問 1 8 定期的な教育・保育事業以外に利用している事業（複数回答）

定期的な教育・保育事業以外に利用している事業は、「特にない」が 54.0%で最も多く、「ベビーシッター」（10.8%）、「保育施設の延長保育」（10.2%）と続く。

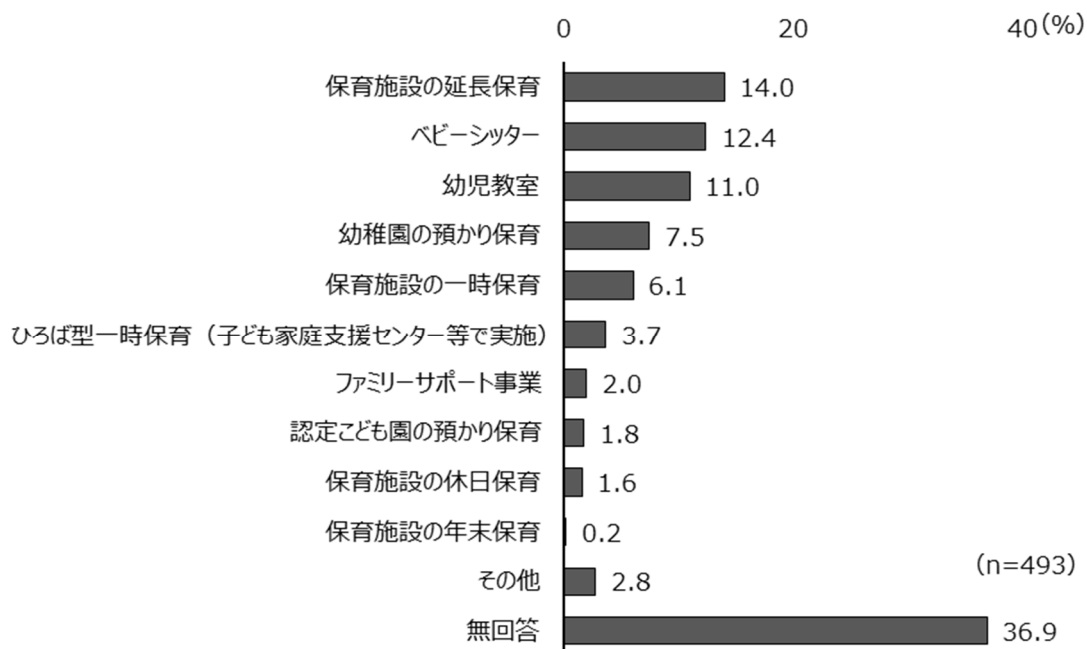
図表 71



問 1 8-1 定期的な教育・保育事業以外で最も利用している事業の利用状況

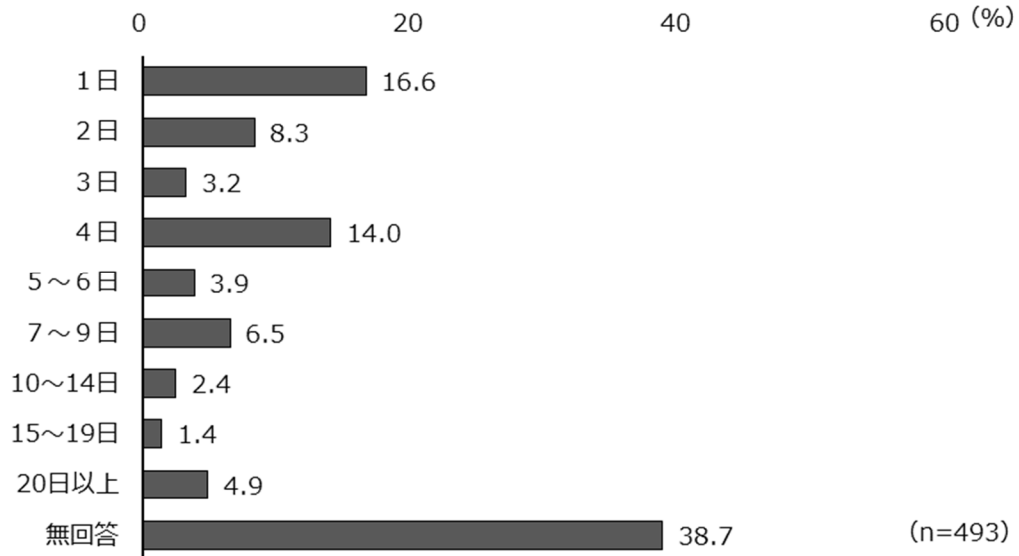
定期的な教育・保育事業以外で最も利用している事業の利用状況は、「保育施設の延長保育」が 14.0%で最も多く、「ベビーシッター」（12.4%）、「幼児教室」（11.0%）と続く。

図表 72 定期的な教育・保育事業以外で最も利用している事業



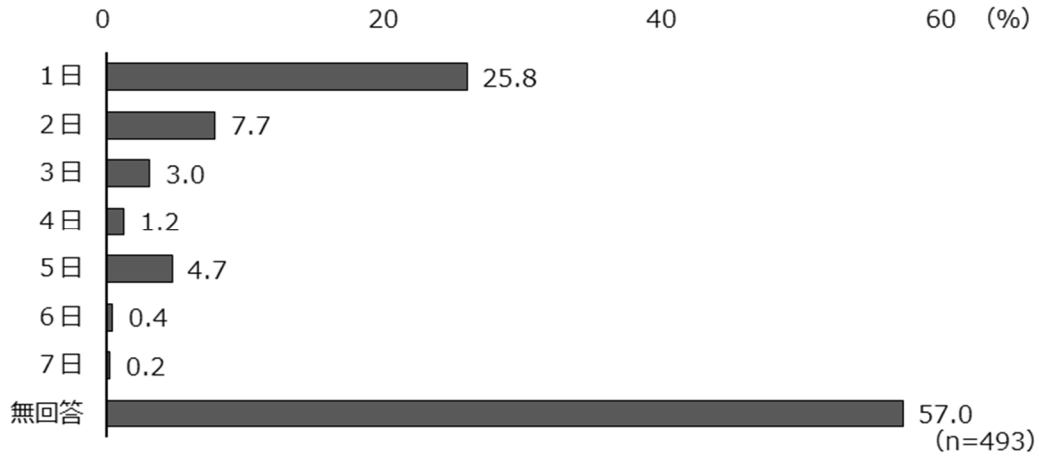
定期的な教育・保育事業以外で最も利用している事業の1か月当たりの利用回数は、「1日」が 16.6%で最も多く、「4日」(14.0%)、「2日」(8.3%)と続く。

図表 73 定期的な教育・保育事業以外で最も利用している事業の1か月当たりの利用回数



定期的な教育・保育事業以外で最も利用している事業の1週当たりの利用回数は、「1日」が 25.8%で最も多く、「2日」(7.7%)、「5日」(4.7%)と続く。

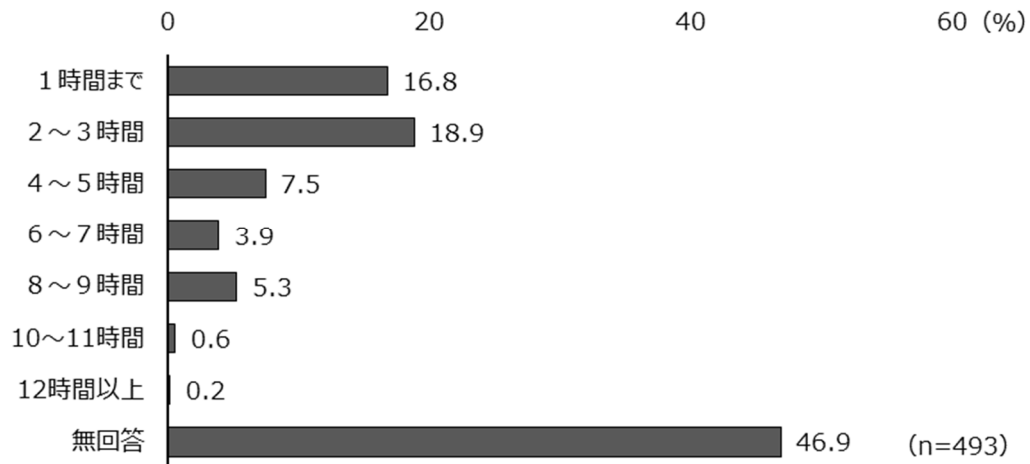
図表 74 定期的な教育・保育事業以外で最も利用している事業の1週当たりの利用回数



II-① 就学前児童保護者調査結果

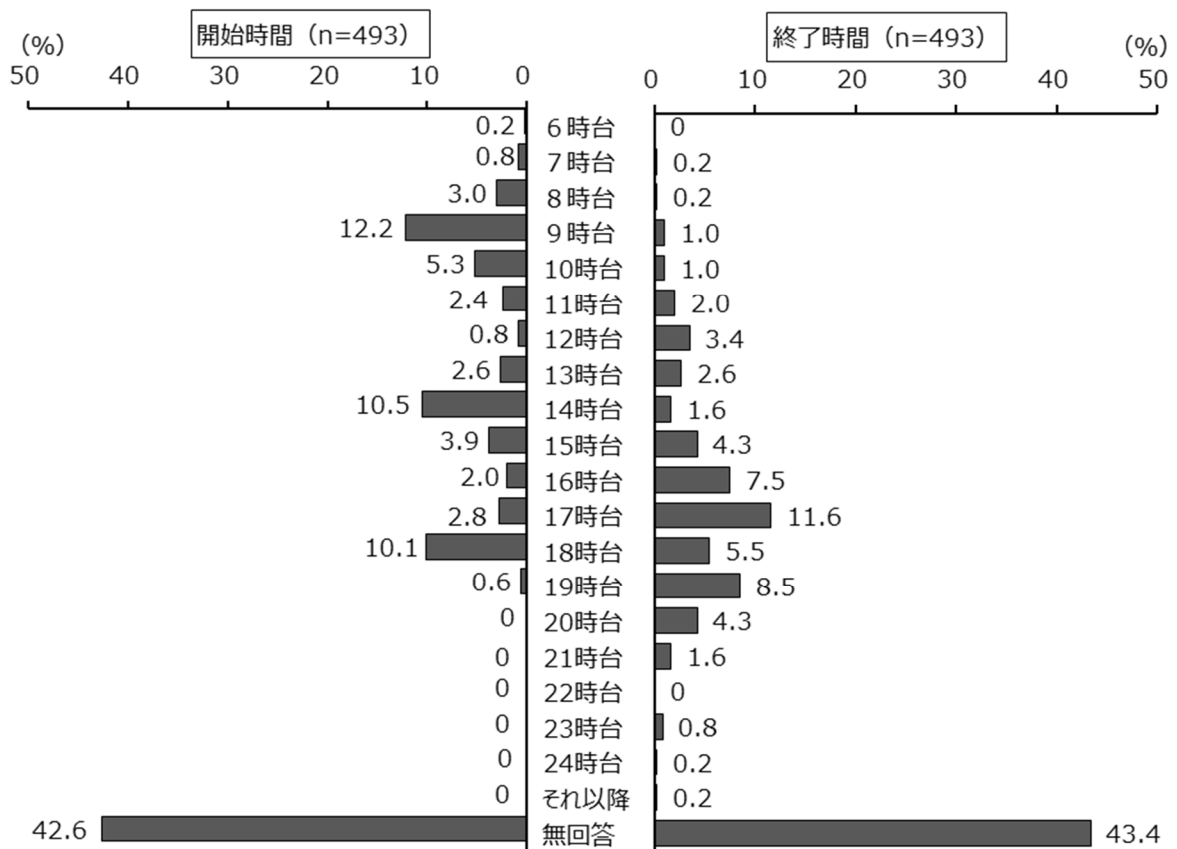
定期的な教育・保育事業以外で最も利用している事業の1日の利用時間は「2～3時間」が18.9%で最も多く、「1時間まで」(16.8%)、「4～5時間」(7.5%)と続く。

図表 75 定期的な教育・保育事業以外で最も利用している事業の1日当たりの利用時間

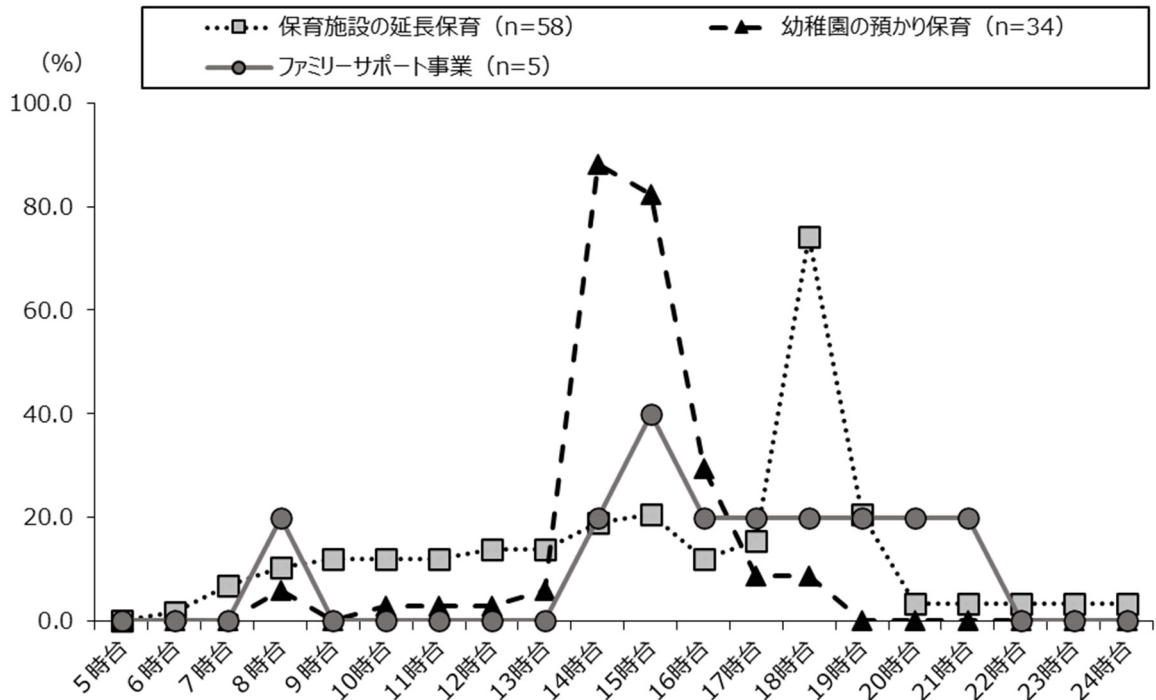


利用開始時間は、「9時台」が12.2%で最も多く、「14時台」(10.5%)、「18時台」(10.1%)と続く。  
 利用終了時間は、「17時台」(11.6%)、「19時台」(8.5%)が多く、「16時台」(7.5%)と続く。

図表 76 定期的な教育・保育事業以外で最も利用している事業の利用時間帯  
 <開始時間・終了時間>



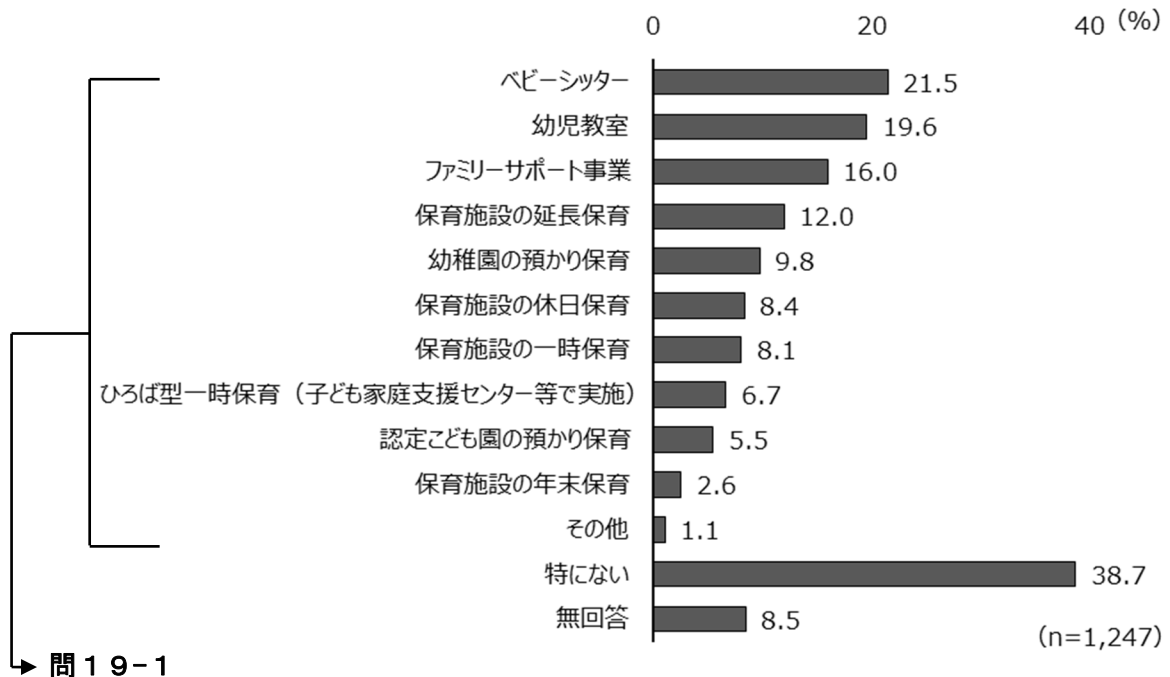
図表 77 定期的な教育・保育事業以外で最も利用している事業の利用時間帯  
 <保育施設の延長保育・幼稚園の預かり保育・ファミリーサポート事業>



問 19 現在は利用していないが、今後利用したいと思っている事業（複数回答）

現在は利用していないが、今後利用したいと思っている事業は、「特にない」が 38.7%で最も多く、「ベビーシッター」(21.5%)、「幼児教室」(19.6%)と続く。

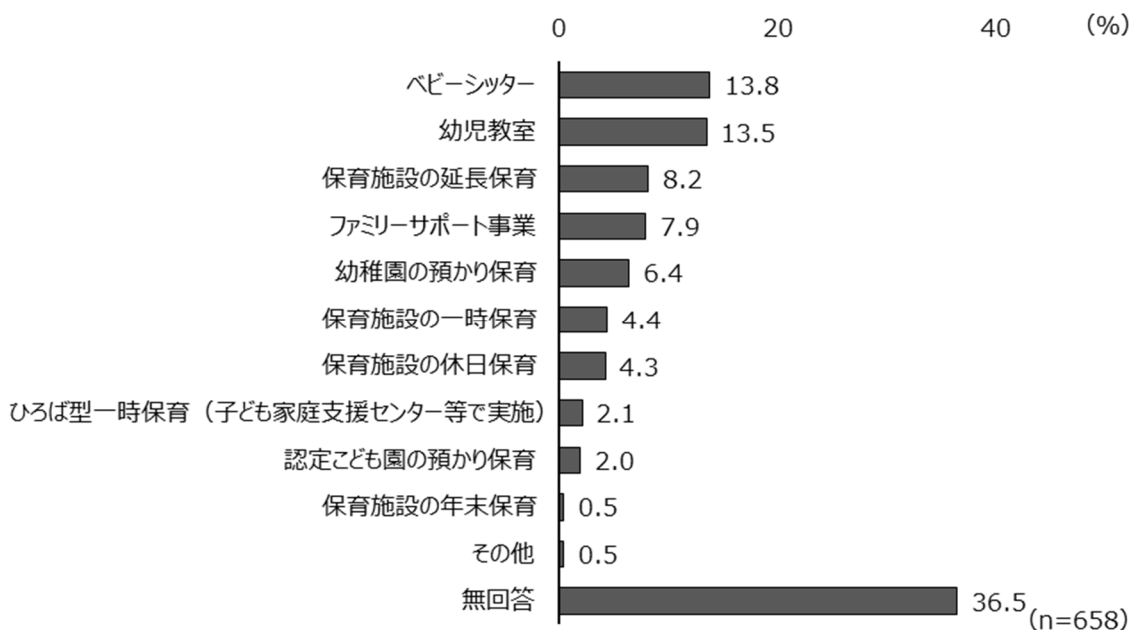
図表 78



問 19-1 現在は利用していないが、今後利用したいと思っている事業で最も利用したい事業の希望利用状況

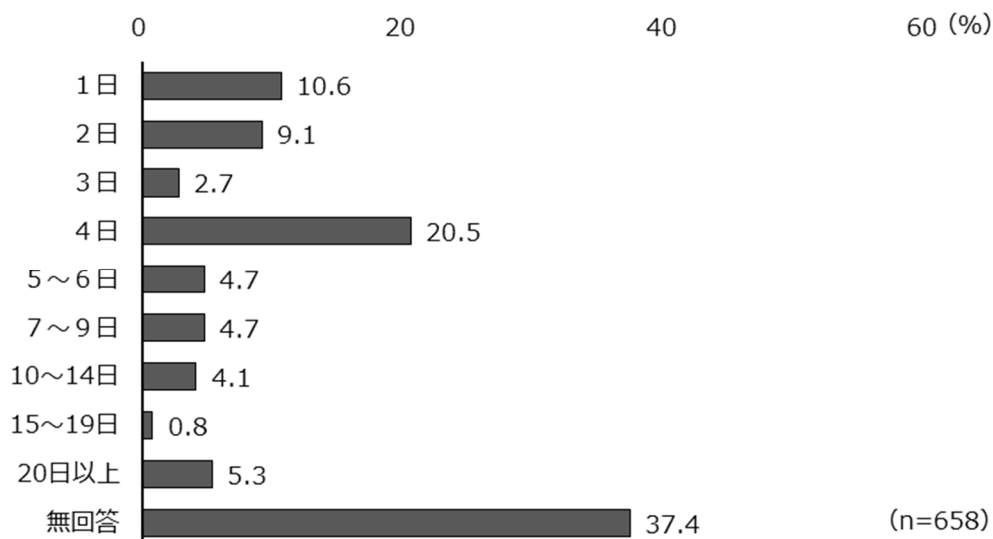
現在は利用していないが、今後利用したいと思っている事業で最も利用したい事業は、「ベビーシッター」が13.8%で最も多く、「幼児教室」(13.5%)、「保育施設の延長保育」(8.2%)と続く。

図表 79 今後、最も利用したい事業



現在は利用していないが、今後利用したいと思っている事業で最も利用したい事業の1か月当たりの希望利用回数は、「4日」が20.5%で最も多く、「1日」(10.6%)、「2日」(9.1%)と続く。

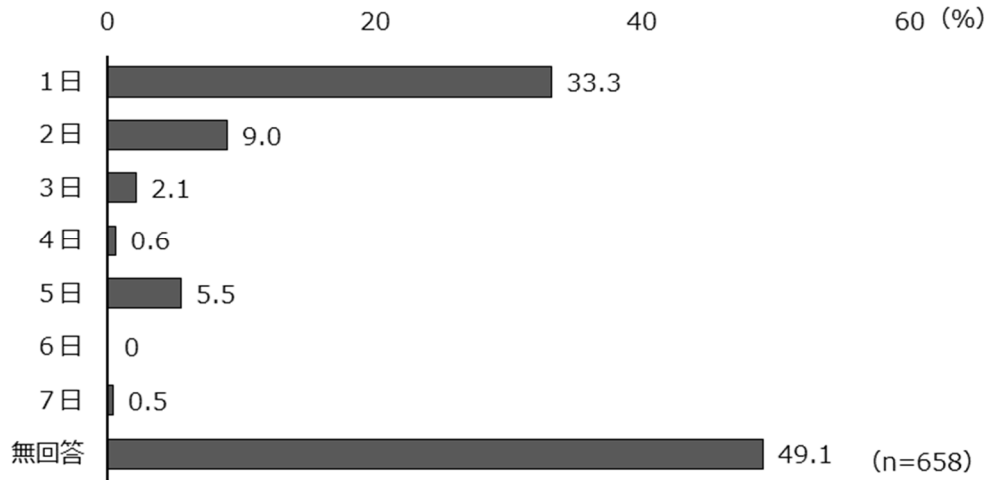
図表 80 今後、最も利用したい事業の1か月当たりの希望利用回数





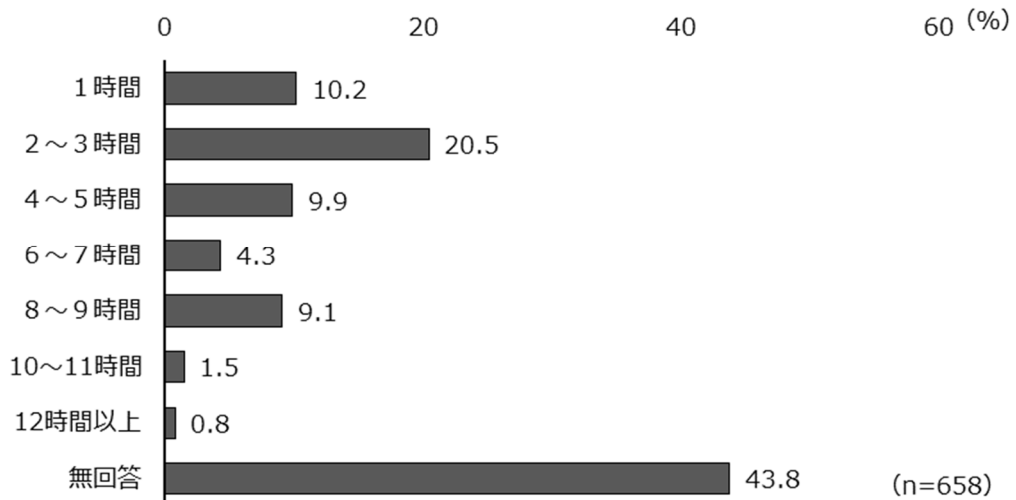
現在は利用していないが、今後利用したいと思っている事業で最も利用したい事業の1週当たりの希望利用回数は、「1日」が33.3%で最も多く、「2日」(9.0%)、「5日」(5.5%)と続く。

図表 81 今後、最も利用したい事業の1週当たりの希望利用回数



現在は利用していないが、今後利用したいと思っている事業で最も利用したい事業の1日あたりの利用希望時間は「2～3時間」が20.5%で最も多く、「1時間」(10.2%)、「4～5時間」(9.9%)と続く。

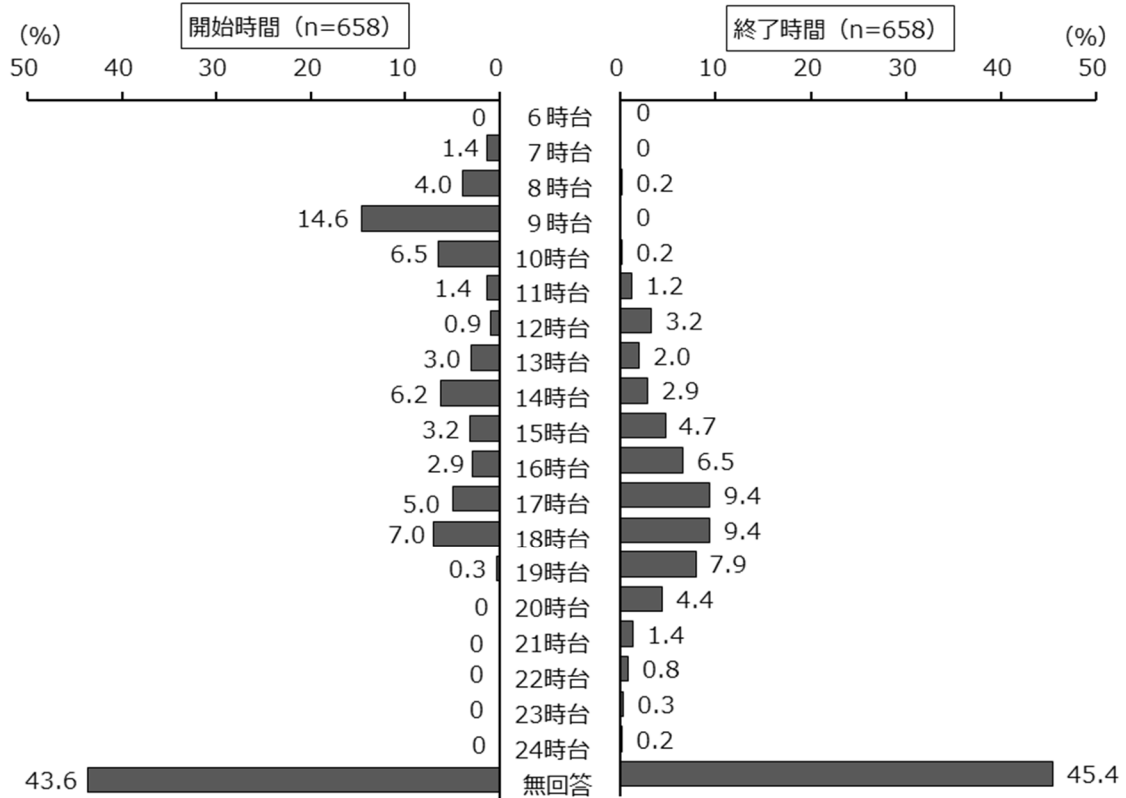
図表 82 今後、最も利用したい事業の1日当たりの希望利用時間



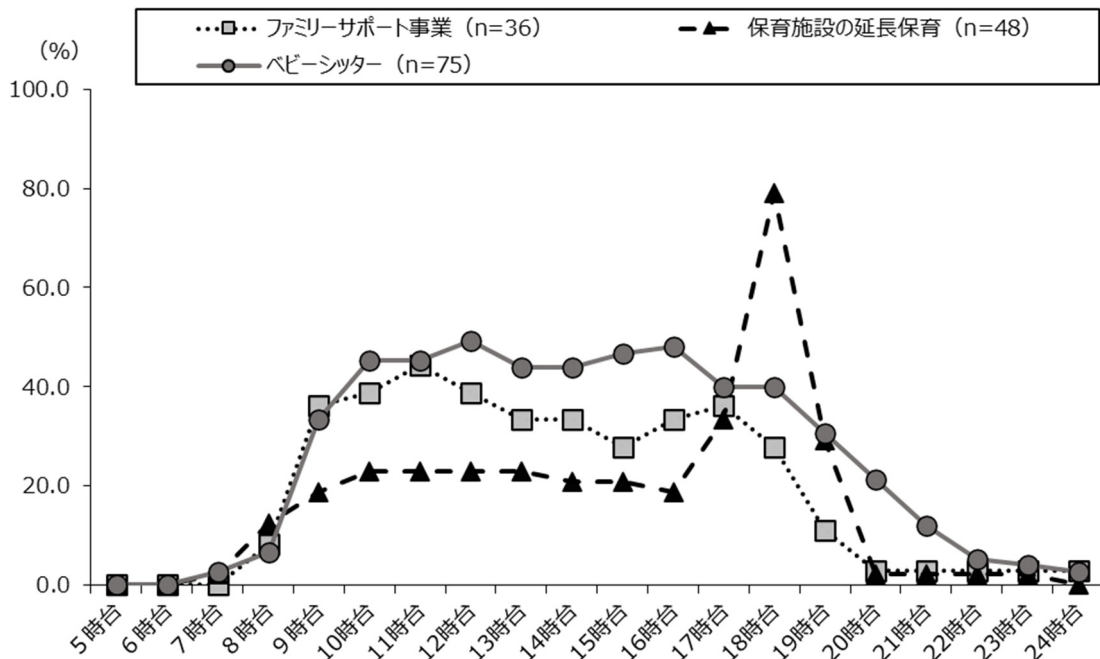
現在は利用していないが、今後利用したいと思っている事業で最も利用したい事業の利用開始時間は、「9時台」が14.6%で最も多く、「18時台」(7.0%)、「10時台」(6.5%)と続く。

利用終了時間は「17時台」と「18時台」がともに9.4%で最も多く、「19時台」(7.9%)と続く。

図表 83 今後、最も利用したい事業の希望する利用時間帯<開始時間・終了時間>



図表 84 今後、最も利用したい事業の希望する利用時間帯<ファミリーサポート事業・保育施設の延長保育・ベビーシッター>

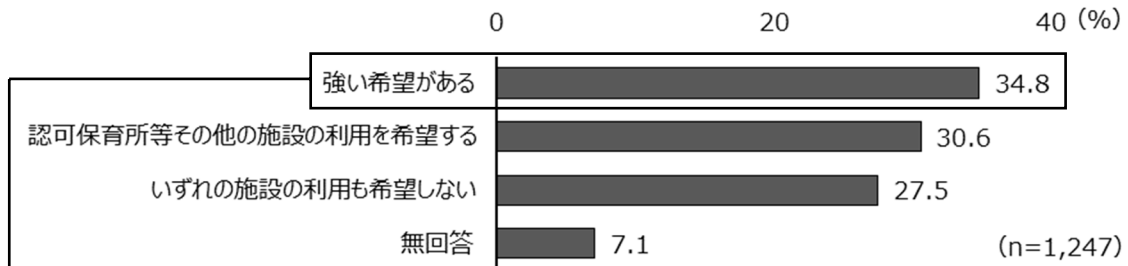


問20 幼稚園または認定こども園の幼稚園機能の利用希望

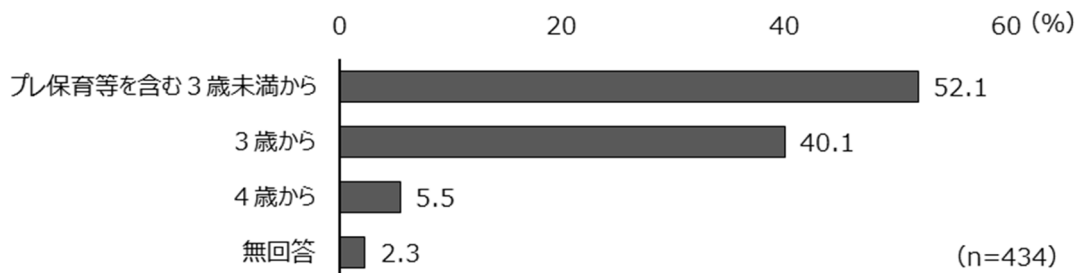
幼稚園または認定こども園の幼稚園機能の利用希望は、「強い希望がある」が 34.8%で最も多く、「認可保育所等その他の施設の利用を希望する」(30.6%)、「いずれの施設の利用も希望しない」(27.5%)と続く。

希望利用時期は、「プレ保育等を含む3歳未満から」が 52.1%で最も多く、「3歳から」(40.1%)、「4歳から」(5.5%)と続く。

図表 85



図表 86 希望利用時期

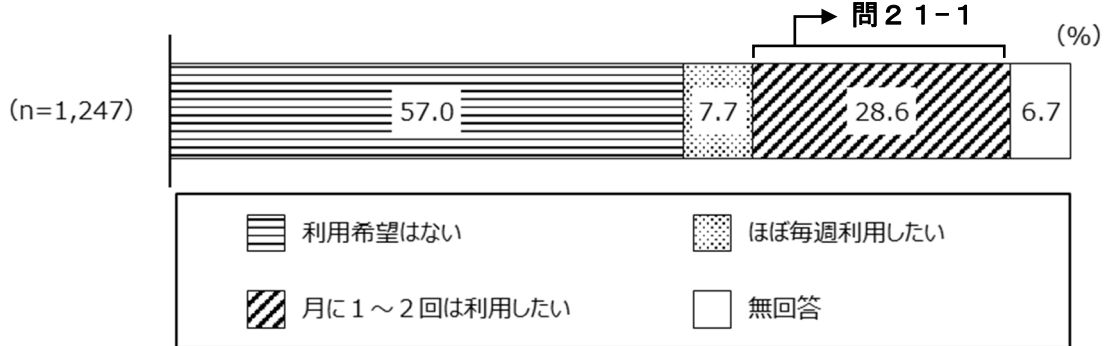


## (7) 子どもの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

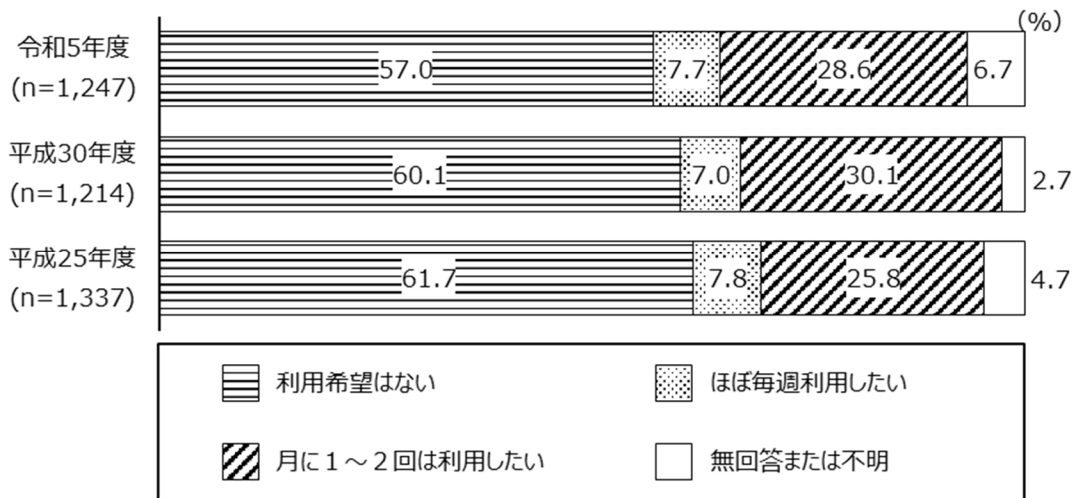
### 問 2 1 土曜日と日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望・希望利用時間帯

土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望は、「利用希望はない」が 57.0%で最も多く、「月に1～2回は利用したい」(28.6%)、「ほぼ毎週利用したい」(7.7%)と続く。

図表 87 土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望



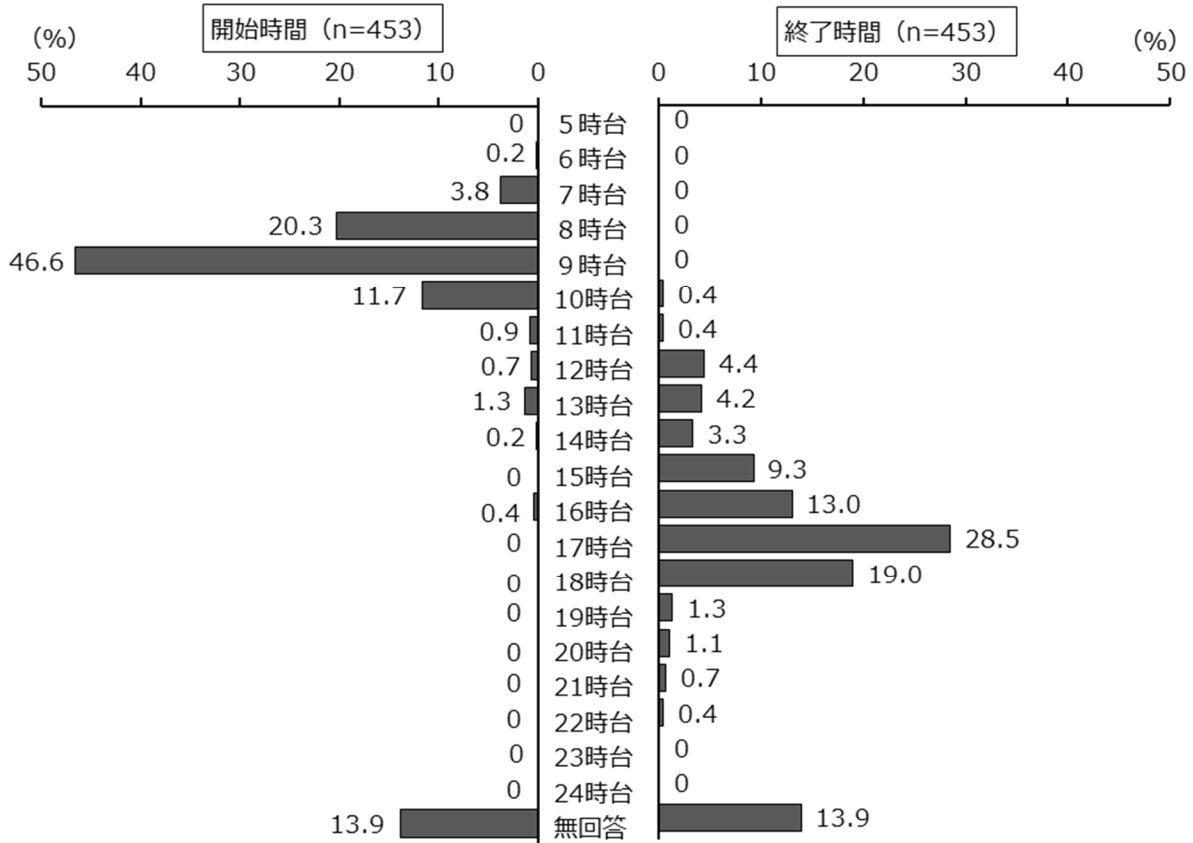
図表 88 土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望（経年比較）



土曜日の定期的な教育・保育事業の希望利用開始時間は、「9時台」が46.6%で最も多く、「8時台」(20.3%)、「10時台」(11.7%)と続く。

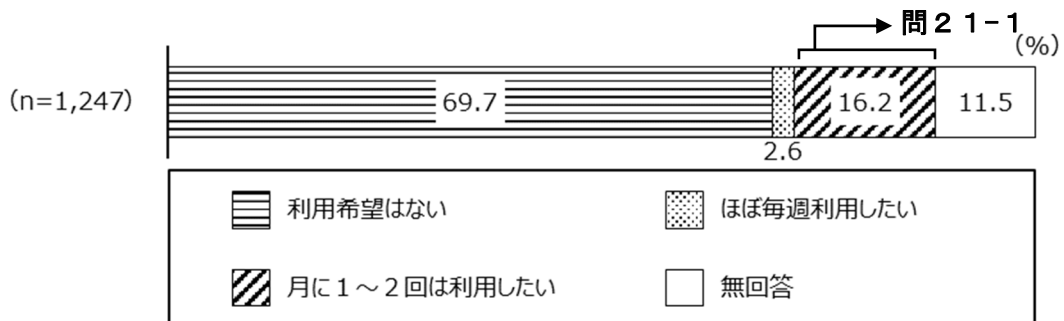
土曜日の定期的な教育・保育事業の希望利用終了時間は、「17時台」が28.5%で最も多く、「18時台」(19.0%)、「16時台」(13.0%)と続く。

図表 89 土曜日の定期的な教育・保育事業の希望する利用時間帯<開始時間・終了時間>

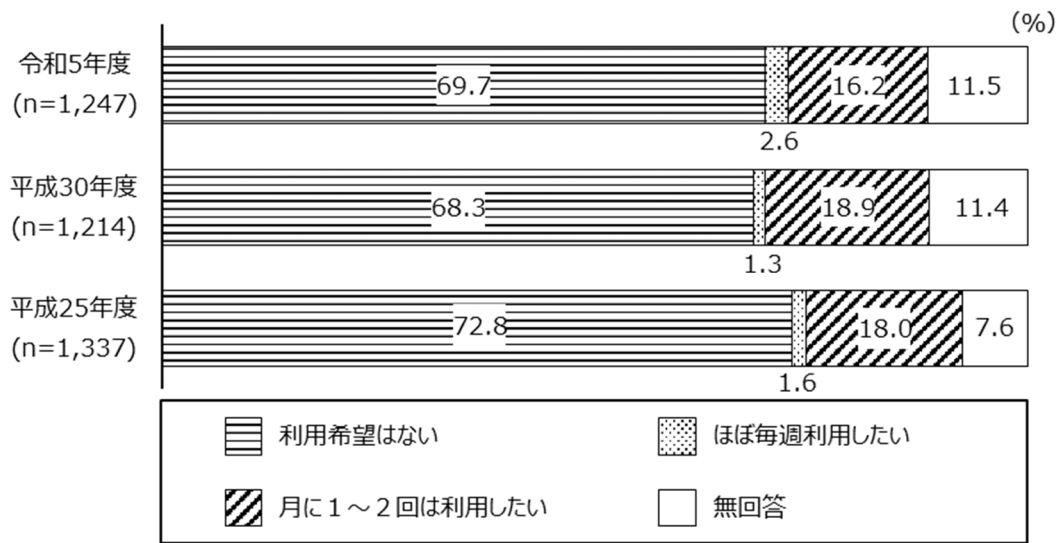


日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望は、「利用希望はない」が69.7%で最も多く、「月に1～2回は利用したい」(16.2%)、「ほぼ毎週利用したい」(2.6%)と続く。

図表 90 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望



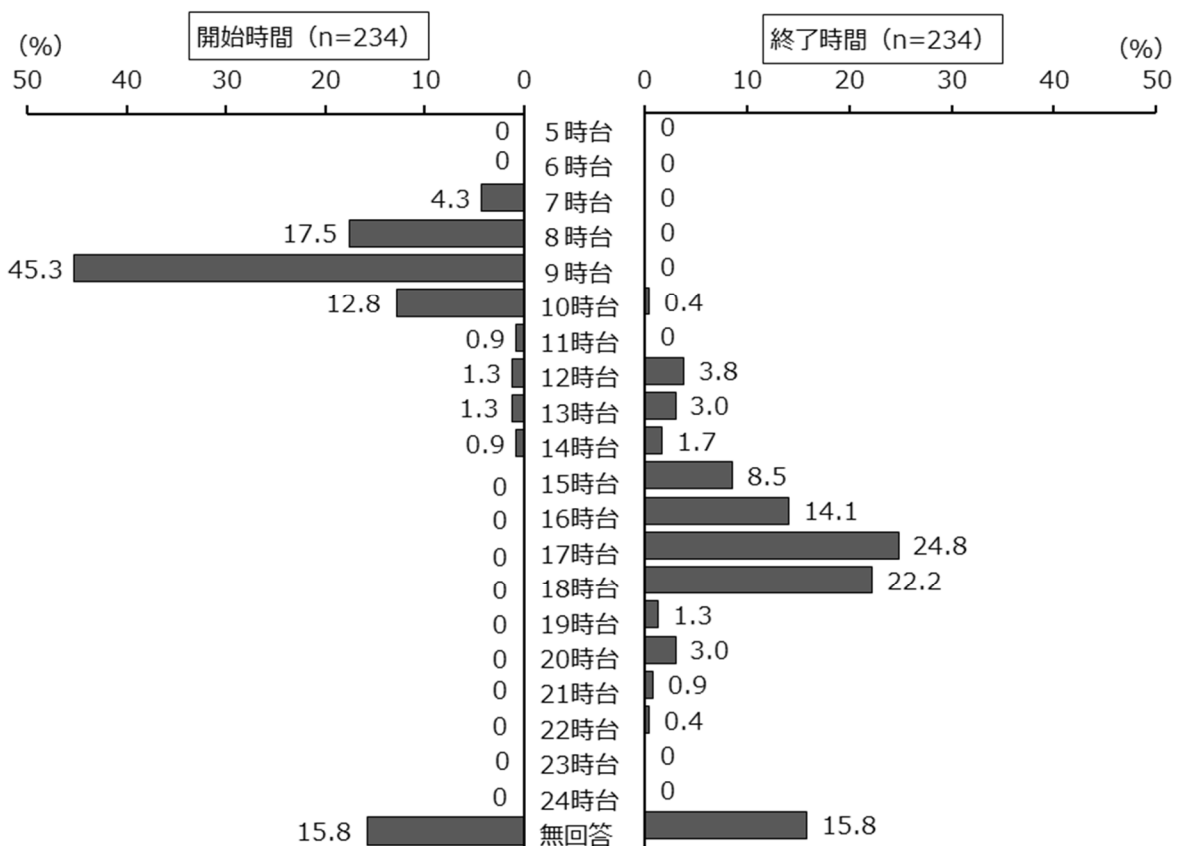
図表 91 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望（経年比較）



日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の希望利用開始時間は「9時台」が 45.3%で最も多く、「8時台」(17.5%)、「10時台」(12.8%)と続く。

日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の希望利用終了時間は「17時台」が 24.8%で最も多く、「18時台」(22.2%)、「16時台」(14.1%)と続く。

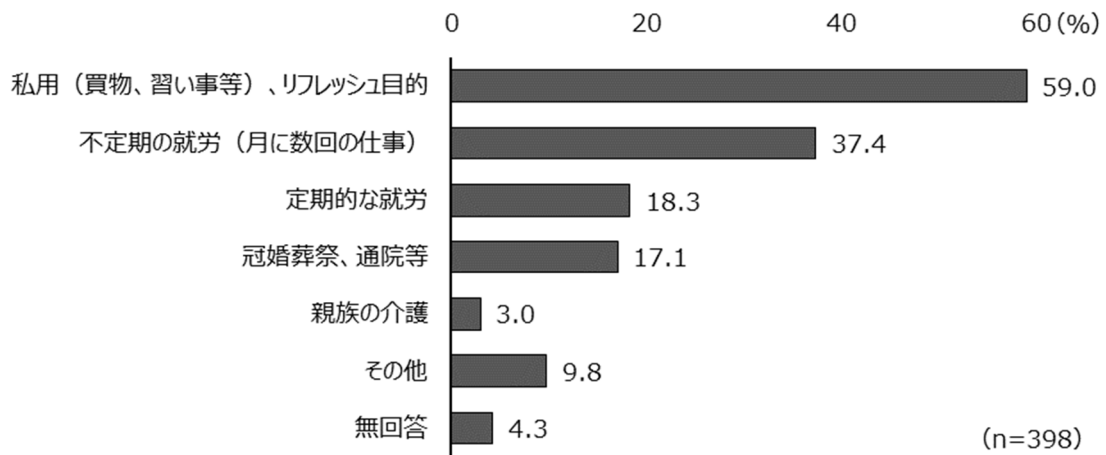
図表 92 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の希望する利用時間帯<開始時間・終了時間>



問 2 1-1 土曜日・日曜日・祝日の教育・保育事業を毎週ではなく、たまに利用したい理由  
(複数回答)

土曜日・日曜日・祝日の教育・保育事業を毎週ではなく、たまに利用したい理由は、「私用(買物、習い事等)、リフレッシュ目的」が 59.0%で最も多く、「不定期の就労(月に数回の仕事)」(37.4%)、「定期的な就労」(18.3%)と続く。

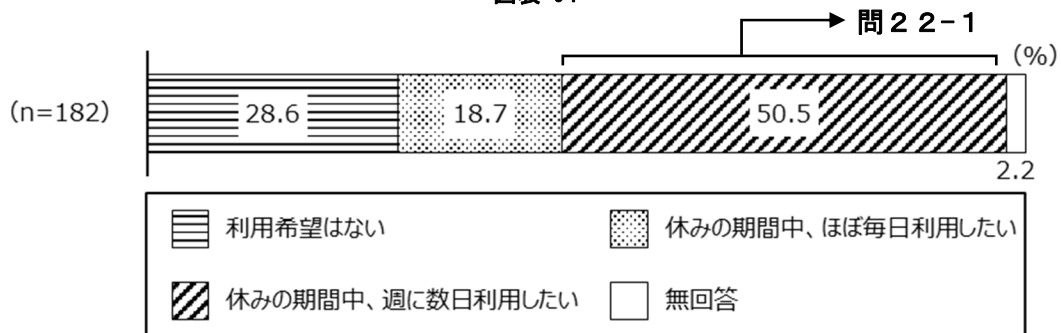
図表 93



問 2 2 幼稚園を利用している人の長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望

幼稚園を利用している人の長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望は、「休みの期間中、週に数日利用したい」が 50.5%で最も多く、「利用希望はない」(28.6%)、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」(18.7%)と続く。

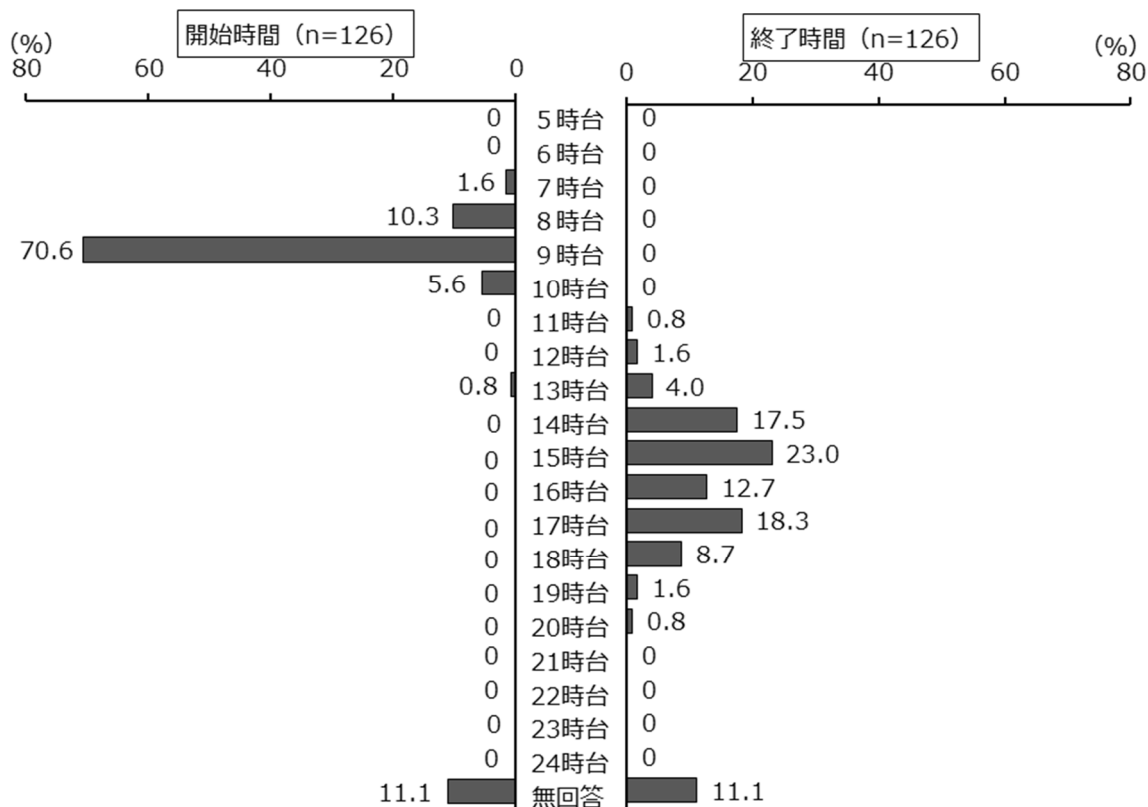
図表 94



幼稚園を利用している人の長期休暇期間中の教育・保育事業の希望利用開始時間は、「9時台」が70.6%で最も多く、「8時台」(10.3%)、「10時台」(5.6%)と続く。

希望利用終了時間は、「15時台」が23.0%で最も多く、「17時台」(18.3%)、「14時台」(17.5%)と続く。

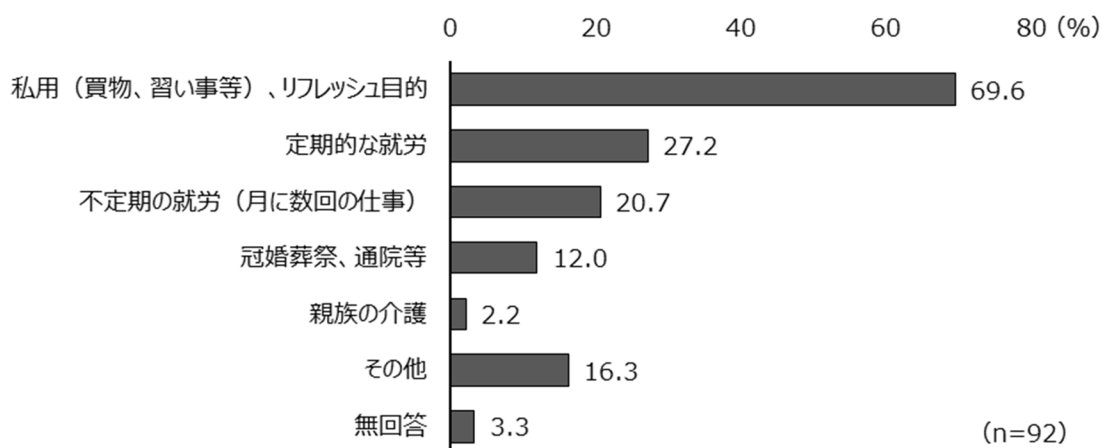
図表 95 幼稚園を利用している人の長期休暇期間中の希望する利用時間帯<開始時間・終了時間>



問 2 2-1 幼稚園を利用している人の長期休暇中に教育・保育事業をたまに利用したい理由 (複数回答)

幼稚園を利用している人の長期休暇中に教育・保育事業をたまに利用したい理由は、「私用(買物、習い事等)、リフレッシュ目的」が69.6%で最も多く、「定期的な就労」(27.2%)、「不定期の就労(月に数回の仕事)」(20.7%)と続く。

図表 96

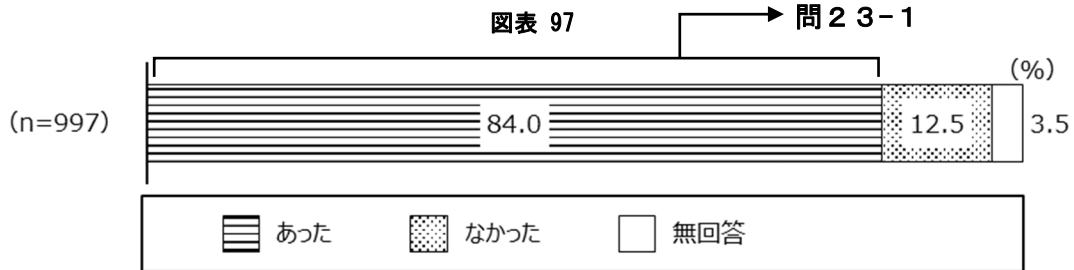




(8) 子どもの病気の際の対応について

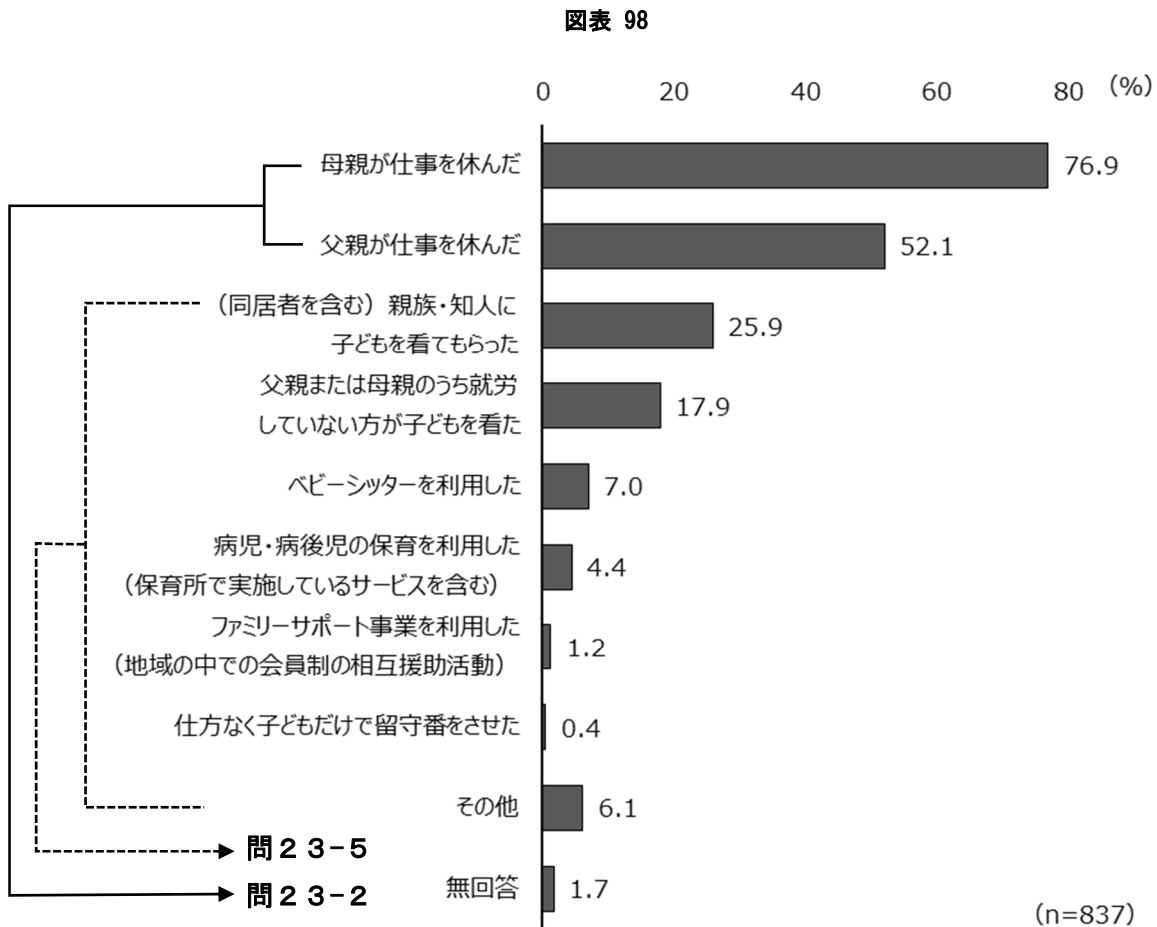
問23 子どもが病気やけがで通常の事業が利用できなかったことの有無

子どもが病気やけがで通常の事業が利用できなかったことは、「あった」は 84.0%、「なかった」は 12.5%となっている。



問23-1 子どもが病気やけがで通常の事業が利用できなかった際に、この1年間に行った対処方法（複数回答）

子どもの病気やけがで通常の事業が利用できなかった際に、この1年間に行った対処方法は、「母親が仕事を休んだ」が 76.9%で最も多く、「父親が仕事を休んだ」(52.1%)、「(同居者を含む)親族・知人に子どもを看てもらった」(25.9%)と続く。



図表 99 子どもの病気やけがで通常の事業が利用できなかった際に、この1年間に行った対処方法の日数 (%)

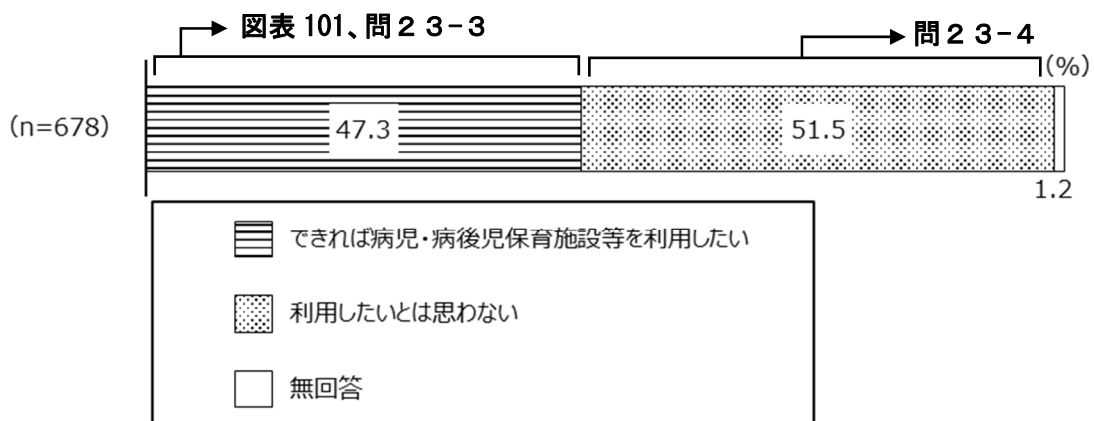
	全体 (n)	1日	2日	3日	4～6日	7～10日	11～15日	16日以上	無回答
父親が仕事を休んだ	436	13.5	13.8	15.6	31.4	15.6	3.4	3.2	3.4
母親が仕事を休んだ	644	3.0	8.7	10.2	19.9	30.0	8.5	15.5	4.2
(同居者を含む) 親族・知人に子どもを見てもらった	217	11.5	15.2	12.4	24.9	22.6	3.2	7.8	2.3
父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た	150	3.3	4.7	10.7	12.7	33.3	8.0	24.7	2.7
病児・病後児の保育を利用した(保育所で実施しているサービスを含む)	37	24.3	18.9	18.9	24.3	5.4	2.7	5.4	0
ベビーシッターを利用した	59	23.7	25.4	1.7	30.5	13.6	1.7	1.7	1.7
ファミリーサポート事業を利用した(地域の中での会員制の相互援助活動)	10	30.0	30.0	10.0	0	10.0	0	10.0	10.0
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	3	0	33.3	0	66.7	0	0	0	0
その他	51	5.9	7.8	9.8	11.8	27.5	9.8	15.7	11.8

※ 網掛けは20%以上のもの

問 2 3-2 病児・病後児保育施設等の利用希望の有無・希望利用日数

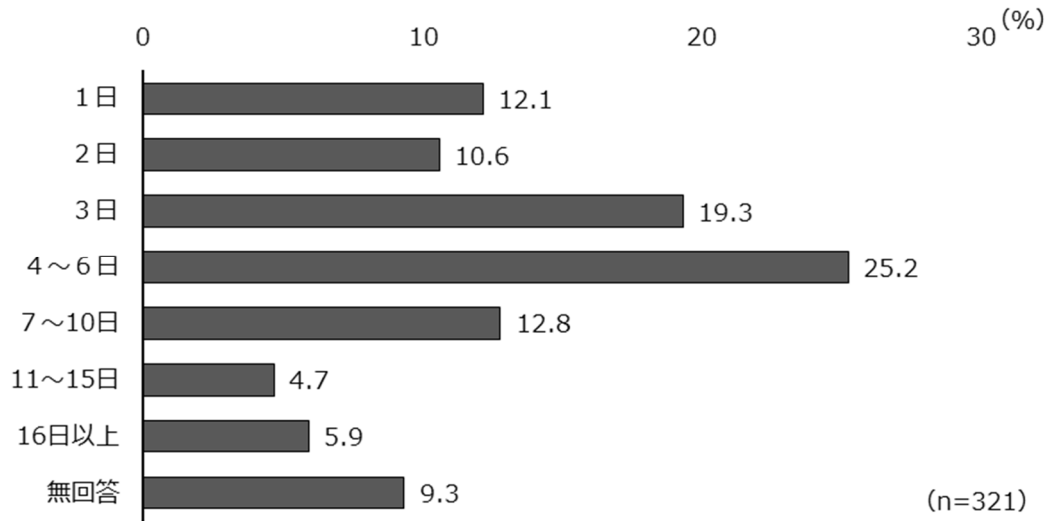
病児・病後児保育施設等の利用希望は、「利用したいとは思わない」は 51.5%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」は 47.3%となっている。

図表 100 病児・病後児保育施設等の利用希望の有無



病児・病後児保育施設等の利用希望日数は、「4～6日」が 25.2%で最も多く、「3日」(19.3%)、「7～10日」(12.8%)と続く。

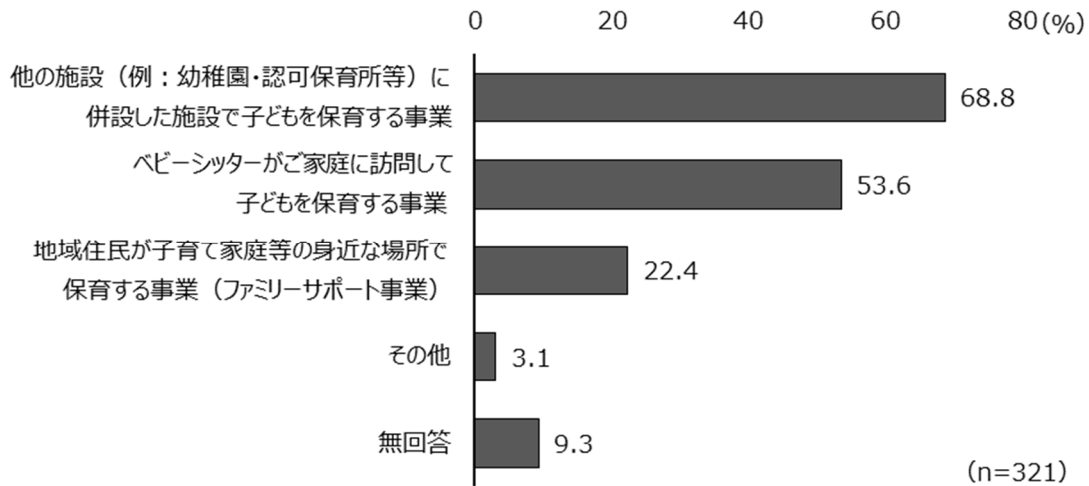
図表 101 病児・病後児保育施設等の希望利用日数



問 2 3-3 利用を希望する病児・病後児保育施設等の事業形態 (複数回答)

病児・病後児保育施設等へ子どもを預ける場合に望ましい事業形態は、「他の施設(例:幼稚園・認可保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業」が 68.8%で最も多く、「ベビーシッターがご家庭に訪問して子どもを保育する事業」(53.6%)、「地域住民が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(ファミリーサポート事業)」(22.4%)と続く。

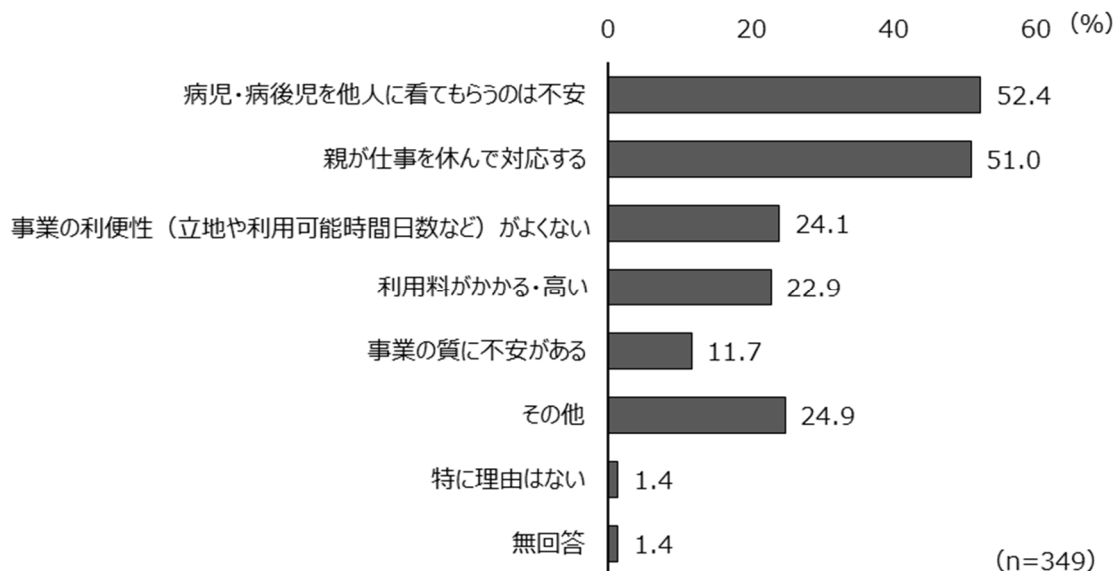
図表 102



問 2 3-4 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由（複数回答）

病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由は、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が 52.4%で最も多く、「親が仕事を休んで対応する」(51.0%)、「事業の利便性(立地や利用可能時間日数など)がよくない」(24.1%)と続く。

図表 103

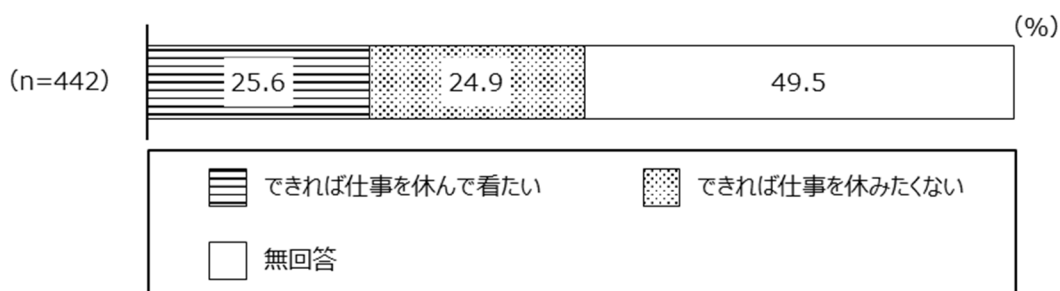


問 2 3-5 子どもの病気やけがの際の就労

【問 2 3-1 で、「父親／母親が仕事を休んだ」以外を選択した方が回答】

子どもの病気やけがの際の就労は、「できれば仕事を休んで看たい」は 25.6%、「できれば仕事を休みたくない」は 24.9%となっている。

図表 104

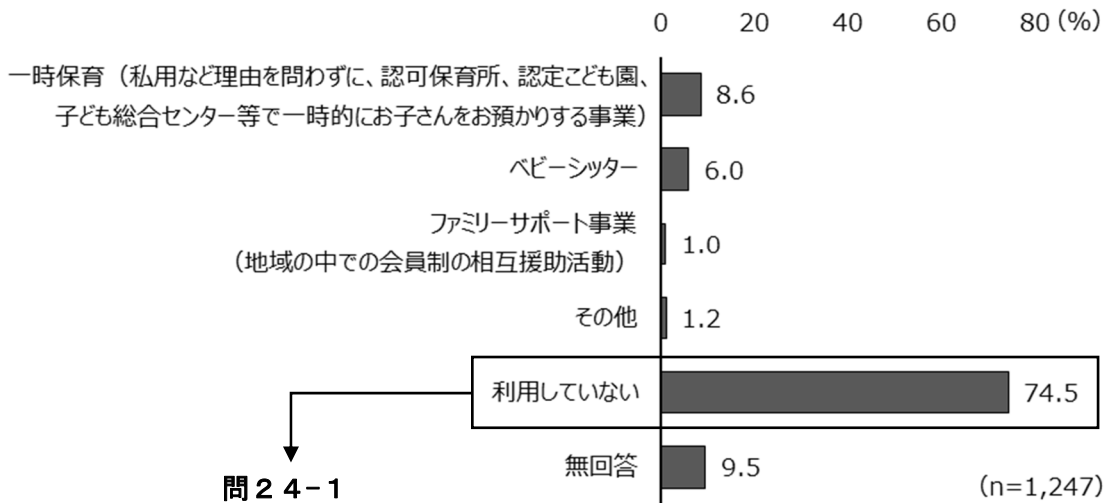


## (9) 子どもの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

### 問 2 4 保護者の私用（買物、リフレッシュ等）、通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している教育・保育事業の有無・1年間の利用日数

保護者の私用（買物、リフレッシュ等）、通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している教育・保育事業は、「利用していない」が 74.5%で最も多く、「一時保育（私用など理由を問わずに、認可保育所、認定こども園、子ども総合センター等で一時的にお子さんをお預かりする事業）」(8.6%)、「ベビーシッター」(6.0%)と続く。

図表 105 保護者の私用（買物、リフレッシュ等）、通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している教育・保育事業の有無



図表 106 保護者の私用（買物、リフレッシュ等）、通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している教育・保育事業の1年間の利用日数

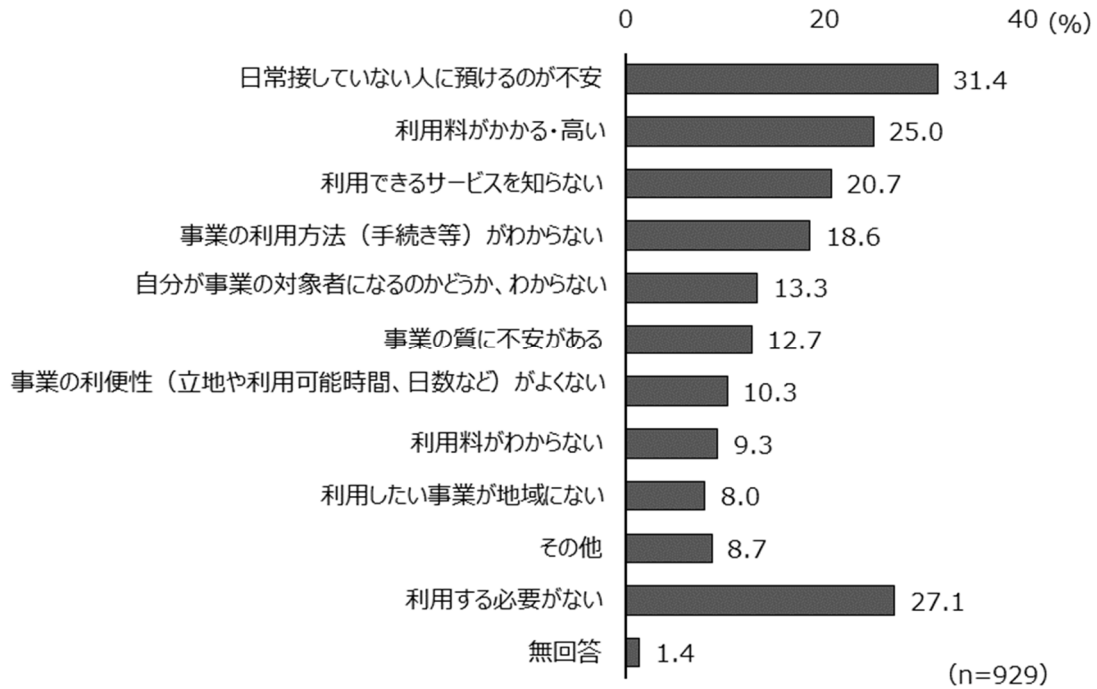
	全体 (n)	1日	2日	3日	4～6日	7～10日	11～15日	16日以上	無回答
一時保育	107	4.7	8.4	10.3	27.1	14.0	3.7	19.6	12.1
ベビーシッター	75	5.3	4.0	13.3	13.3	18.7	8.0	32.0	5.3
ファミリーサポート事業	13	15.4	0	15.4	0	15.4	23.1	7.7	23.1
その他	15	0	6.7	0	20.0	13.3	0	13.3	46.7

※ 網掛けは「無回答」を除き、20%以上のもの

問 2 4-1 保護者の私用（買物、リフレッシュ等）、通院、不定期の就労等の目的では教育・保育事業を利用していない理由（複数回答）

保護者の私用（買物、リフレッシュ等）、通院、不定期の就労等の目的では教育・保育事業を利用していない理由は、「日常接していない人に預けるのが不安」が 31.4%で最も多く、「利用する必要がない」(27.1%)、「利用料がかかる・高い」(25.0%)と続く。

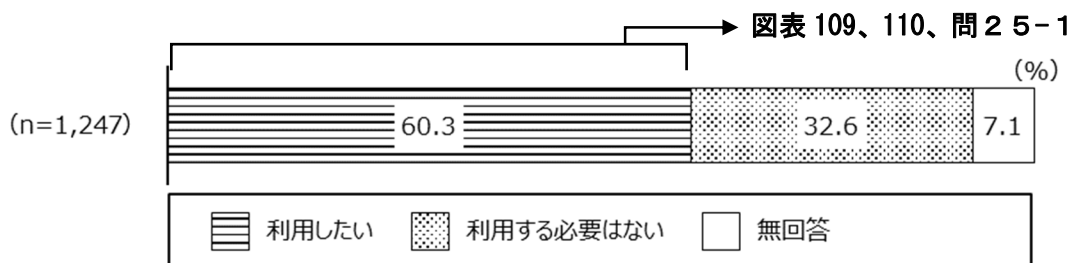
図表 107



問 2 5 保護者の私用（買い物、リフレッシュ等）、通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用を希望する教育・保育事業の利用意向・利用目的・利用日数

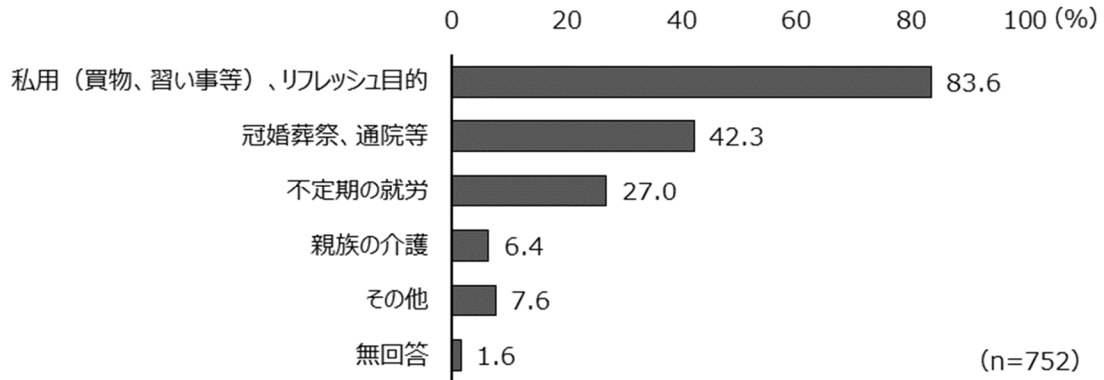
保護者の私用（買い物、リフレッシュ等）、通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用を希望する教育・保育事業の利用意向は、「利用したい」は 60.3%、「利用する必要はない」は 32.6%となっている。

図表 108 保護者の私用（買い物、リフレッシュ等）、通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用を希望する教育・保育事業の利用意向



「利用したい」と回答した人の利用目的は、「私用(買物、習い事等)、リフレッシュ目的」が 83.6%で最も多く、「冠婚葬祭、通院等」(42.3%)、「不定期の就労」(27.0%)と続く。

図表 109 保護者の私用(買物、リフレッシュ等)、通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用を希望する教育・保育事業の目的(複数回答)



図表 110 保護者の私用(買物、リフレッシュ等)、通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用を希望する教育・保育事業の目的別日数

(%)

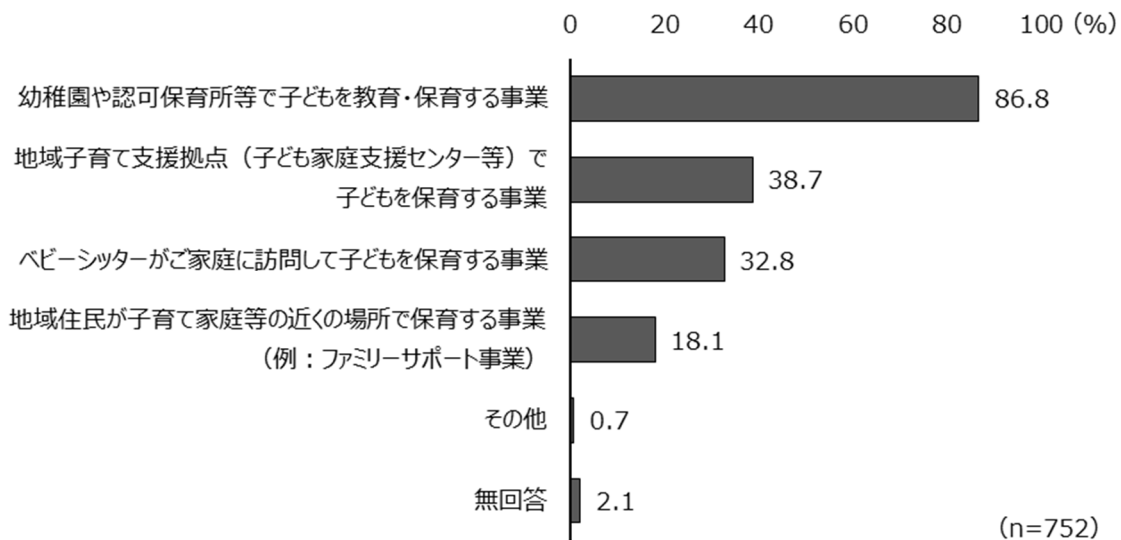
	全体 (n)	1日	2日	3日	4~6日	7~10日	11~15日	16日以上	無回答
私用(買物、習い事等)、リフレッシュ目的	629	11.3	9.5	13.2	15.7	13.0	14.9	17.3	4.9
冠婚葬祭、通院等	318	14.2	10.1	16.0	27.4	12.6	9.1	5.0	5.7
不定期の就労	203	5.9	5.9	9.4	22.2	16.3	10.8	23.6	5.9
親族の介護	48	4.2	8.3	18.8	12.5	14.6	10.4	31.3	0
その他	57	8.8	7.0	10.5	17.5	8.8	3.5	10.5	33.3

※ 網掛けは「無回答」を除き、20%以上のもの

問 2 5-1 保護者の私用（買い物、リフレッシュ等）、通院、不定期の就労等の目的で利用を希望する事業形態（複数回答）

「利用したい」と回答した人に望ましい事業形態は、「幼稚園や認可保育所等で子どもを教育・保育する事業」が86.8%で最も多く、「地域子育て支援拠点（子ども家庭支援センター等）で子どもを保育する事業」（38.7%）、「ベビーシッターがご家庭に訪問して子どもを保育する事業」（32.8%）と続く。

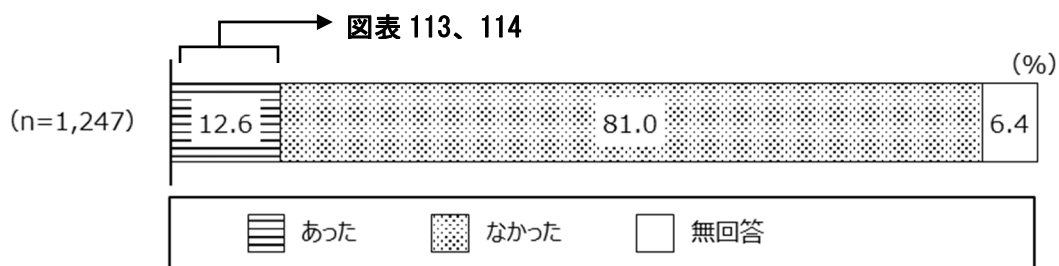
図表 111



問 2 6 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、子どもを泊りがけで家族以外に預けなければならなかったこと・年当たりの日数

保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宿泊を伴う一時預かりが必要なことは、「なかった」は81.0%、「あった」は12.6%となっている。

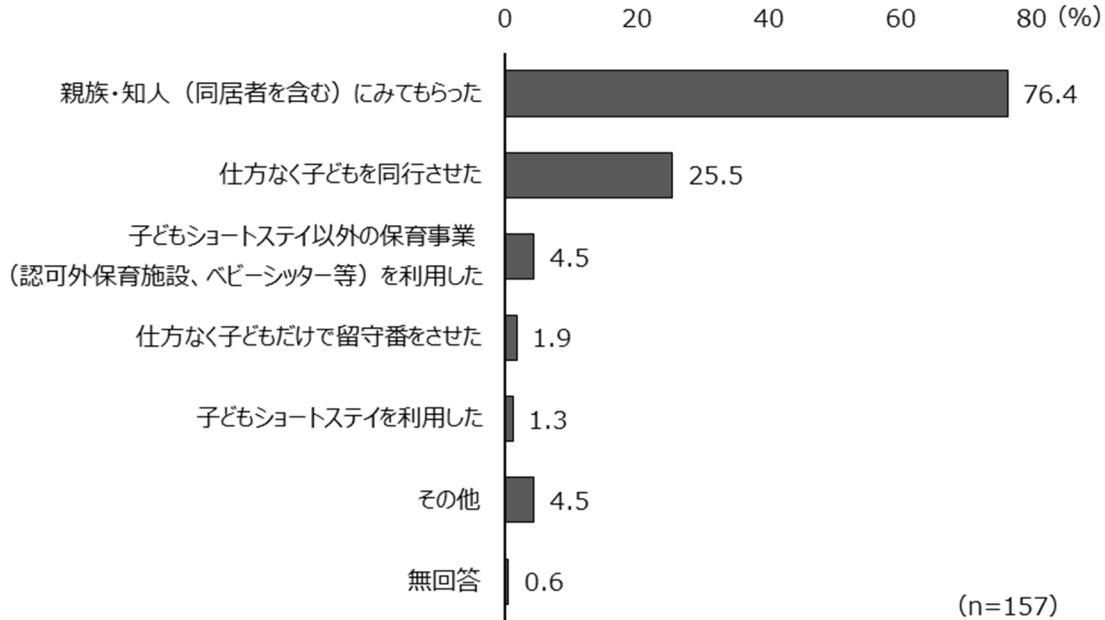
図表 112 子どもを泊りがけで家族以外に預けなければならなかったこと





宿泊を伴う一時預かりの対処法は、「親族・知人(同居者を含む)にみてもらった」が76.4%で最も多く、「仕方なく子どもを同行させた」(25.5%)、「子どもショートステイ以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した」(4.5%)、と続く。

図表 113 子どもを泊りがけで家族以外に預けなければならなかった時の対処方法(複数回答)



図表 114 子どもを泊りがけで家族以外に預けなければならなかった時の対処方法別年当たりの日数

	全体 (n)	(%)							無回答
		1日	2日	3日	4～6日	7～10日	11～15日	16日以上	
親族・知人(同居者を含む)にみてもらった	120	20.8	18.3	6.7	23.3	12.5	5.0	6.7	6.7
子どもショートステイを利用した	2	50.0	0	0	50.0	0	0	0	0
子どもショートステイ以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	7	14.3	28.6	28.6	14.3	0	0	0	14.3
仕方なく子どもを同行させた	40	35.0	20.0	17.5	12.5	7.5	0	0	7.5
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	3	0	0	0	0	0	0	0	100.0
その他	7	14.3	14.3	0	0	28.6	0	14.3	28.6

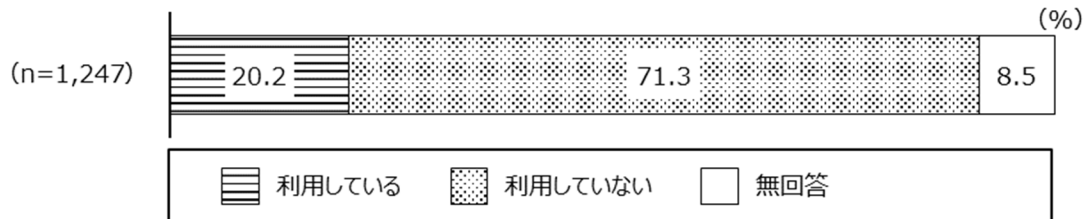
※ 網掛けは「無回答」を除き、20%以上のもの

## (10) 子どもの地域の子育て支援事業の利用状況について

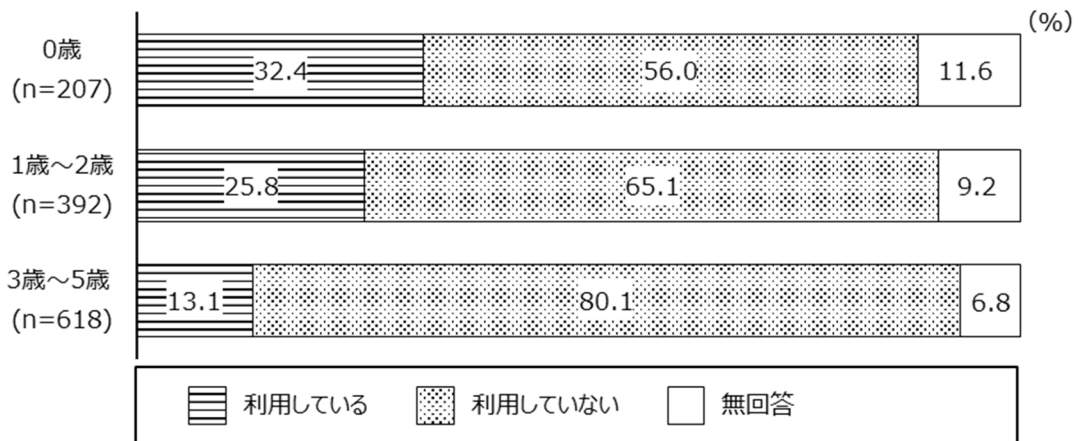
### 問27 地域子育て支援事業の利用の有無・現在の利用回数・子どもが何歳まで利用したいか

地域子育て支援事業の利用状況は、「利用していない」は71.3%、「利用している」は20.2%となっている。

図表 115 地域子育て支援事業の利用の有無



図表 116 地域子育て支援事業の利用の有無（定期的な教育・保育事業を利用していない人）  
<年齢別>



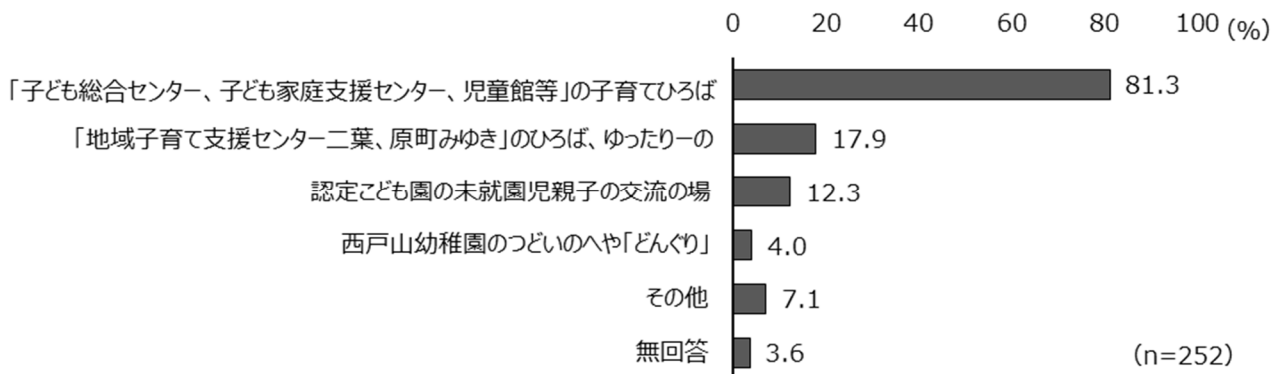
利用している地域子育て支援事業は、「子ども総合センター、子ども家庭支援センター、児童館等」の子育てひろばが 81.3%で最も多く、「地域子育て支援センター二葉、原町みゆき」のひろば、ゆったりーの(17.9%)、「認定こども園の未就園児親子の交流の場」(12.3%)と続く。

「子ども総合センター、子ども家庭支援センター、児童館等」の子育てひろばの1週当たりの利用回数は、「1回」が 22.9%で最も多く、「2回」(10.7%)、「3回」と「5回」がともに 3.9%と続く。

「子ども総合センター、子ども家庭支援センター、児童館等」の子育てひろばの1か月当たりの利用回数は、「1回」が 20.5%で最も多く、「2回」(15.1%)、「4回」(5.9%)と続く。

利用年齢は、「6歳になるまで」が 22.0%で最も多く、「3歳になるまで」(17.1%)、「12～14歳になるまで」(10.7%)と続く。

図表 117 利用している地域子育て支援事業の事業内容（複数回答）



図表 118 利用している地域子育て支援事業の利用回数

<1週当たり> (%)

	全体 (n)	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	無回答
「子ども総合センター、子ども家庭支援センター、児童館等」の子育てひろば	205	22.9	10.7	3.9	2.0	3.9	0	0	56.6
「地域子育て支援センター二葉、原町みゆき」のひろば、ゆったりーの	45	17.8	4.4	4.4	2.2	4.4	0	0	66.7
西戸山幼稚園のつどいのへや「どんぐり」	10	10.0	0	0	0	10.0	0	0	80.0
認定こども園の未就園児親子の交流の場	31	25.8	9.7	0	0	6.5	0	0	58.1
その他	18	50.0	11.1	11.1	5.6	0	0	0	22.2

※ 網掛けは「無回答」を除き、10%以上のもの

<1か月当たり> (%)

	全体 (n)	1回	2回	3回	4回	5～6回	7～9回	10～14回	15～19回	20回以上	無回答
「子ども総合センター、子ども家庭支援センター、児童館等」の子育てひろば	205	20.5	15.1	3.4	5.9	3.9	1.5	0	2.0	0	47.8
「地域子育て支援センター二葉、原町みゆき」のひろば、ゆったりーの	45	28.9	8.9	0	4.4	0	0	2.2	2.2	0	53.3
西戸山幼稚園のつどいのへや「どんぐり」	10	0	30.0	0	0	0	0	0	0	0	70.0
認定こども園の未就園児親子の交流の場	31	16.1	9.7	6.5	3.2	0	6.5	0	0	0	58.1
その他	18	16.7	16.7	11.1	5.6	5.6	5.6	0	5.6	0	33.3

※ 網掛けは「無回答」を除き、10%以上のもの

図表 119 利用している地域子育て支援事業を子どもが何歳になるまで利用したいか

(%)

	全体 (n)	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳
「子ども総合センター、子ども家庭支援センター、児童館等」の子育てひろば	205	4.4	8.3	17.1	4.9	5.9	22.0	3.4
「地域子育て支援センター二葉、原町みゆき」のひろば、ゆったりーの	45	6.7	11.1	33.3	2.2	4.4	20.0	4.4
西戸山幼稚園のつどいのへや「どんぐり」	10	10.0	0	40.0	20.0	0	10.0	0
認定こども園の未就園児親子の交流の場	31	16.1	9.7	25.8	6.5	3.2	9.7	3.2
その他	18	0	5.6	27.8	5.6	0	16.7	0

(%)

	8歳	9歳	10歳	11歳	12～14歳	15歳以上	無回答
「子ども総合センター、子ども家庭支援センター、児童館等」の子育てひろば	1.0	2.0	7.8	0	10.7	2.0	10.7
「地域子育て支援センター二葉、原町みゆき」のひろば、ゆったりーの	0	2.2	0	0	2.2	2.2	11.1
西戸山幼稚園のつどいのへや「どんぐり」	0	0	0	0	0	10.0	10.0
認定こども園の未就園児親子の交流の場	0	0	0	0	0	3.2	22.6
その他	0	0	0	0	0	5.6	38.9

※ 網掛けは「無回答」を除き、20%以上のもの

問 2 7-1 地域子育て支援事業の今後の利用希望の有無・希望利用回数

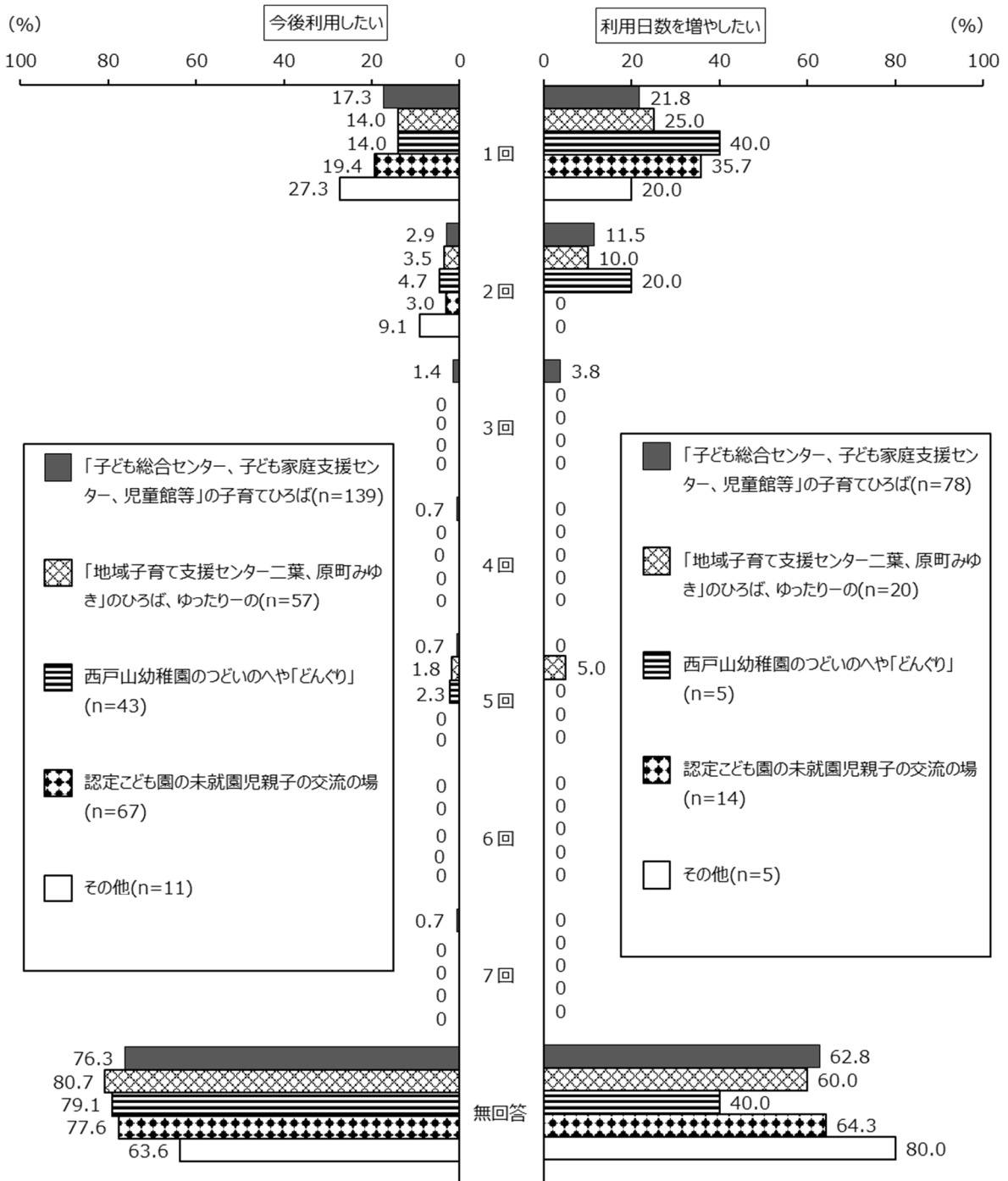
図表 120 地域子育て支援事業の利用の有無

(%)

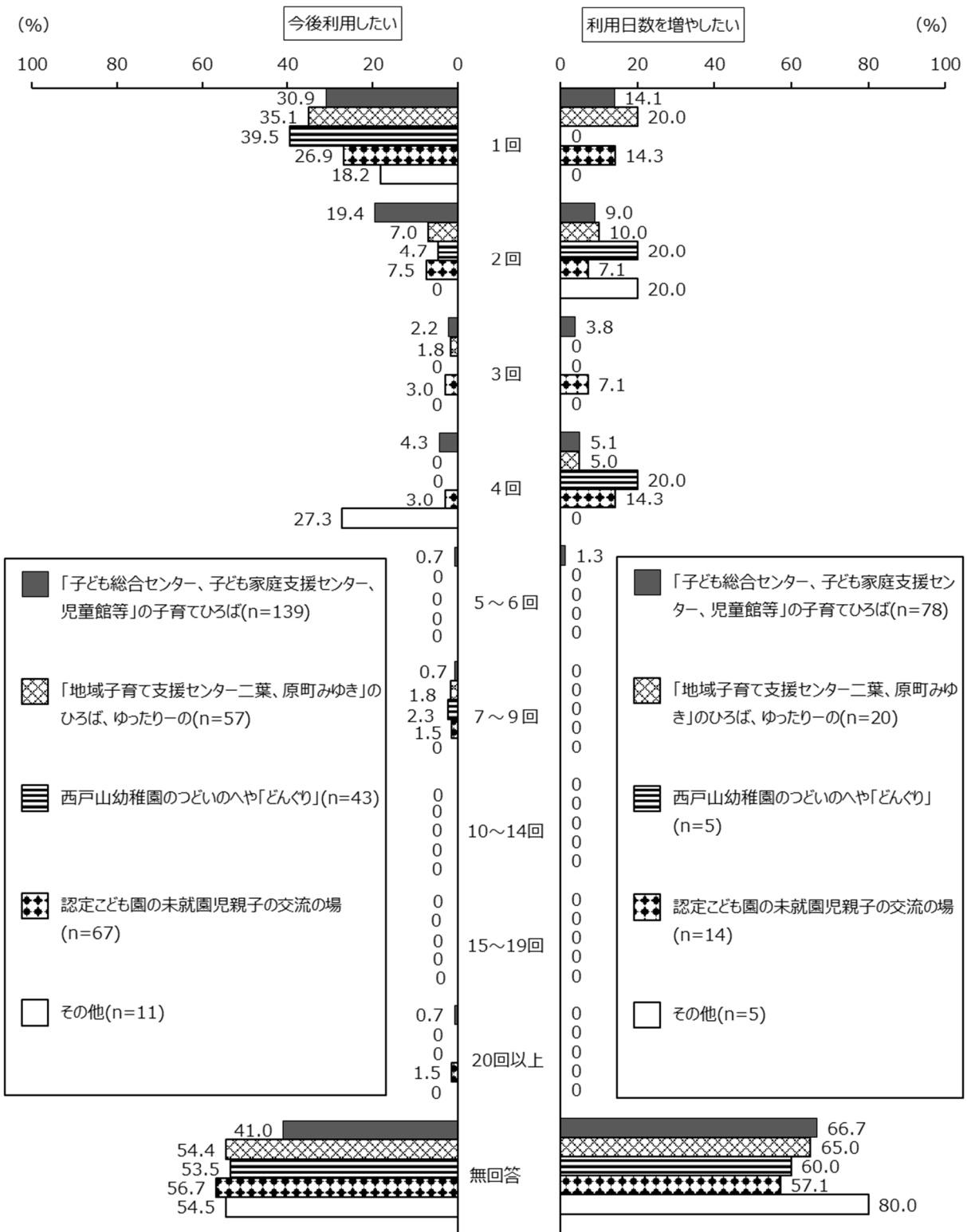
	全体 (n)	利用していないが、今後利用したい	すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	無回答
「子ども総合センター、子ども家庭支援センター、児童館等」の子育てひろば	1,247	11.1	6.3	23.9	58.7
「地域子育て支援センター二葉、原町みゆき」のひろば、ゆったりーの	1,247	4.6	1.6	28.1	65.7
西戸山幼稚園のつどいのへや「どんぐり」	1,247	3.4	0.4	28.9	67.2
認定こども園の未就園児親子の交流の場	1,247	5.4	1.1	27.0	66.5
その他	1,247	0.9	0.4	20.8	77.9

※ 網掛けは「無回答」を除き、20%以上のもの

図表 121 今後利用したい・今後利用日数を増やしたい人の1週当たりの希望回数



図表 122 今後利用したい・今後利用日数を増やしたい人の1か月当たりの希望回数



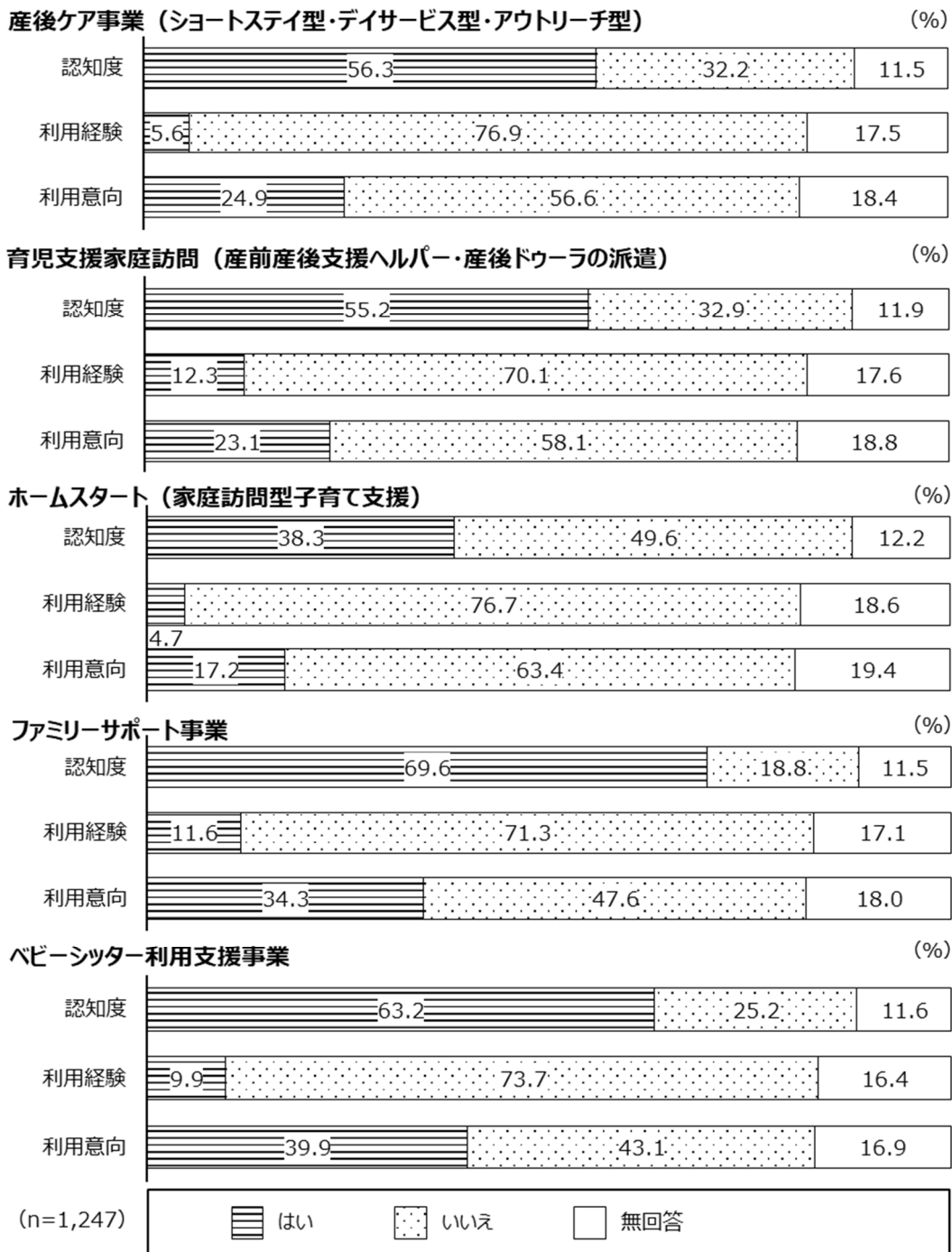
問 28 事業の認知度・利用経験の有無・今後の利用意向

子育て支援事業の認知度について「知っている」と答えた事業は「ファミリーサポート事業」が 69.6%で最も多く、「保健センターの情報・相談事業」(64.0%)、「ベビーシッター利用支援事業」(63.2%)と続く。

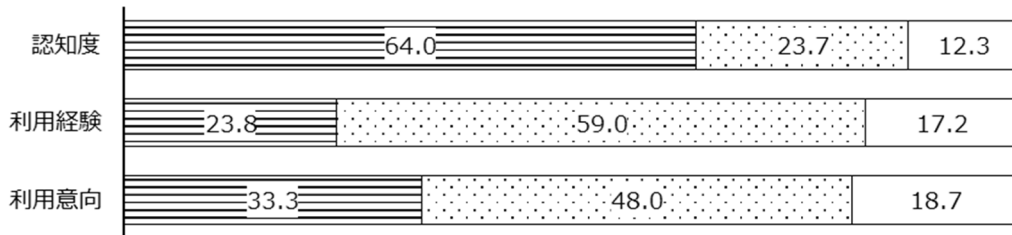
利用したことがある割合が高いのは、「保健センターの情報・相談事業」が 23.8%で最も多く、「児童館、地域子育て支援センターの情報・相談事業」(23.1%)、「認可保育所、幼稚園、認定こども園の子育て相談、園庭開放」(22.7%)と続く。

子育て支援事業の中で最も「今後利用したい」の割合が高いのは、「認可保育所、幼稚園、認定こども園の子育て相談、園庭開放」が 44.2%で最も多く、「ベビーシッター利用支援事業」(39.9%)、「児童館、地域子育て支援センターの情報・相談事業」(37.7%)と続く。

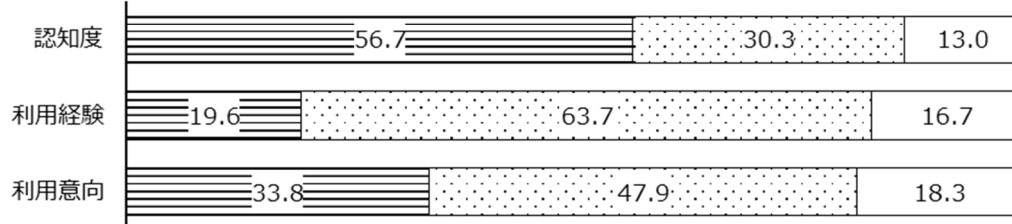
図表 123



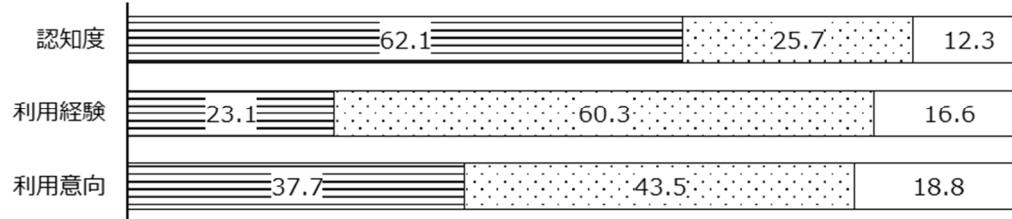
**保健センターの情報・相談事業** (%)



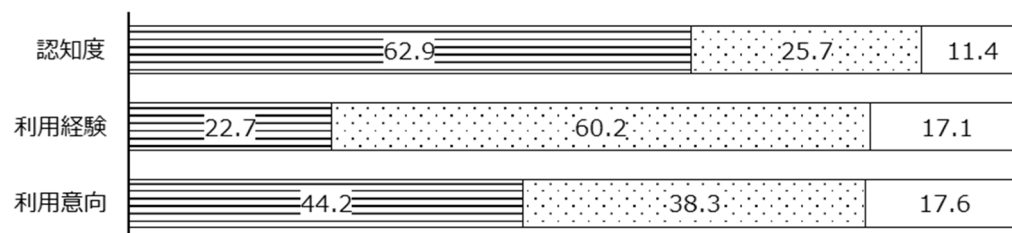
**子ども総合センター、子ども家庭支援センターの情報・相談事業** (%)



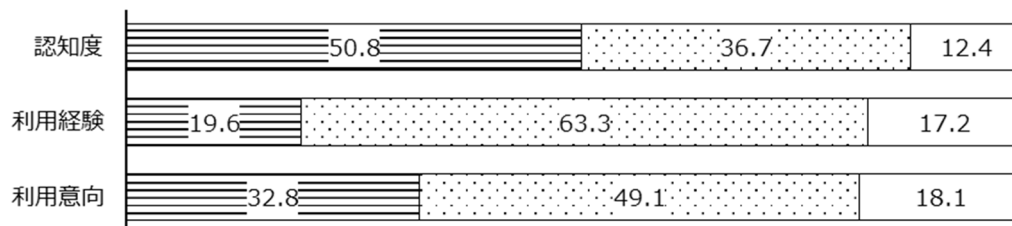
**児童館、地域子育て支援センターの情報・相談事業** (%)



**認可保育所、幼稚園、認定こども園の子育て相談、園庭開放** (%)



**子ども総合センター、子ども家庭支援センター、児童館の幼児サークル** (%)



**ゆつたりの、子ども家庭支援センターでの子育て講座** (%)



(n=1,247)

はい
  いいえ
  無回答

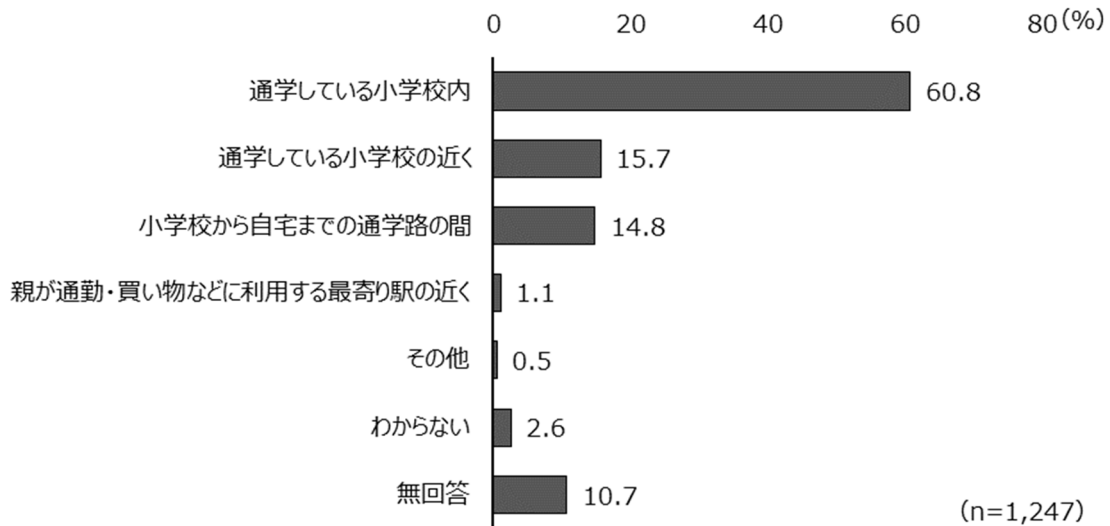


(11) 子どもの小学校就学後の放課後の過ごし方について

問29 利用しやすい小学生の放課後の居場所

利用しやすい小学生の放課後の居場所は、「通学している小学校内」が60.8%で最も多く、「通学している小学校の近く」(15.7%)、「小学校から自宅までの通学路の間」(14.8%)と続く。

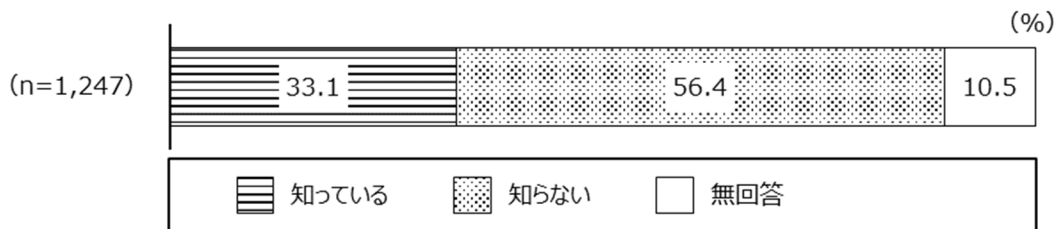
図表 124



問30 すべての区立小学校で「放課後子どもひろば」を実施していることの認知

すべての区立小学校で「放課後子どもひろば」を実施していることは、「知らない」は56.4%、「知っている」は33.1%となっている。

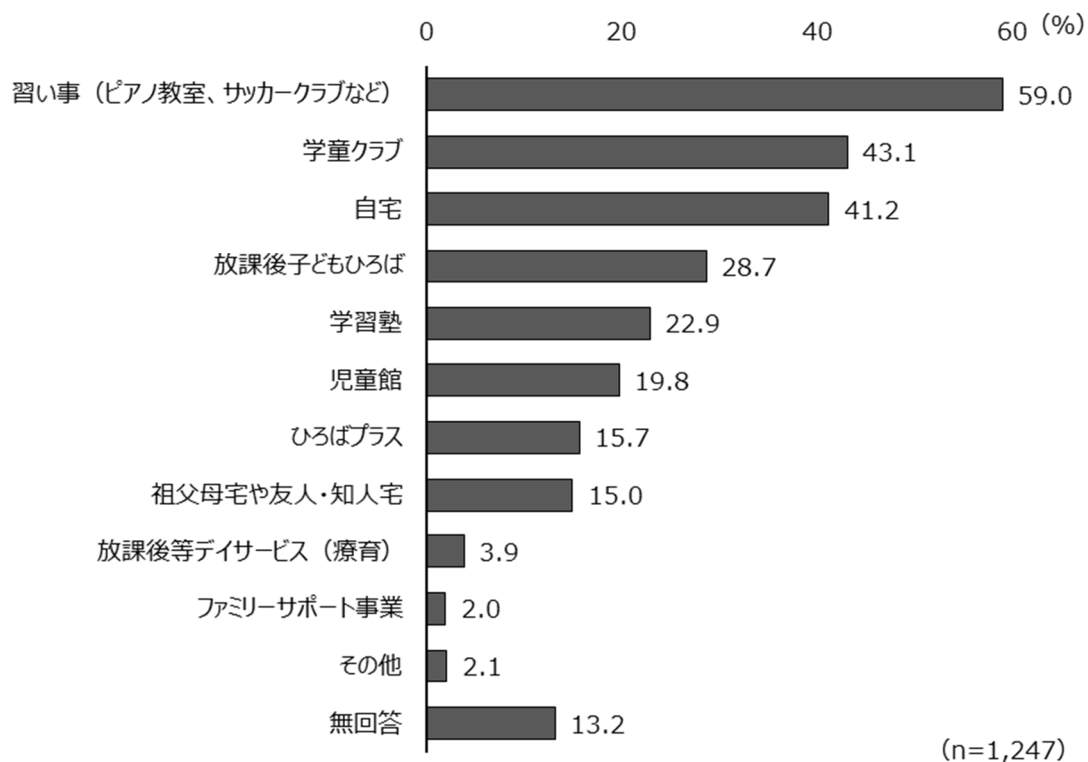
図表 125



### 問3 1 小学校低学年（1～3年生）のときの放課後の過ごし方の希望

小学校低学年（1～3年生）のときに、放課後を過ごさせたい場所は、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブなど）」が59.0%で最も多く、「学童クラブ」（43.1%）、「自宅」（41.2%）と続く。

図表 126 小学校低学年（1～3年生）のときに、放課後を過ごさせたい場所（複数回答）



図表 127 小学校低学年（1～3年生）のときに、放課後を過ごさせたい場所<母親の就労状況別>

(%)

	全体 (n)	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事 (ピアノ教室、サッカークラブなど)	学習塾	児童館	放課後子どもひろば
フルタイムで就労しており、産休・育児休業・介護休業中等ではない	598	32.1	11.7	56.5	23.1	15.6	25.4
フルタイムで就労しているが、産休・育児休業・介護休業中等である	178	30.9	13.5	58.4	20.8	24.2	30.9
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育児休業・介護休業中等ではない	172	45.3	19.2	55.8	22.7	22.7	23.3
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育児休業・介護休業中等である	15	26.7	13.3	46.7	13.3	33.3	26.7
以前は就労していたが、現在は就労していない	250	69.2	21.2	70.0	25.2	23.2	38.4
これまで就労したことがない	9	66.7	11.1	66.7	33.3	33.3	44.4
無回答	25	24.0	16.0	40.0	16.0	24.0	28.0

(%)

	ひろばプラス	学童クラブ	放課後等デイサービス (療育)	ファミリーサポート事業	その他	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育児休業・介護休業中等ではない	18.2	55.4	3.3	1.7	1.0	9.5
フルタイムで就労しているが、産休・育児休業・介護休業中等である	15.2	49.4	4.5	5.1	2.2	17.4
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育児休業・介護休業中等ではない	20.3	42.4	5.8	1.7	2.3	13.4
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育児休業・介護休業中等である	13.3	13.3	6.7	0	0	40.0
以前は就労していたが、現在は就労していない	7.2	12.4	3.6	0.8	4.4	14.8
これまで就労したことがない	11.1	22.2	0	0	0	0
無回答	16.0	44.0	4.0	4.0	4.0	44.0

※ 網掛けは50%以上のもの

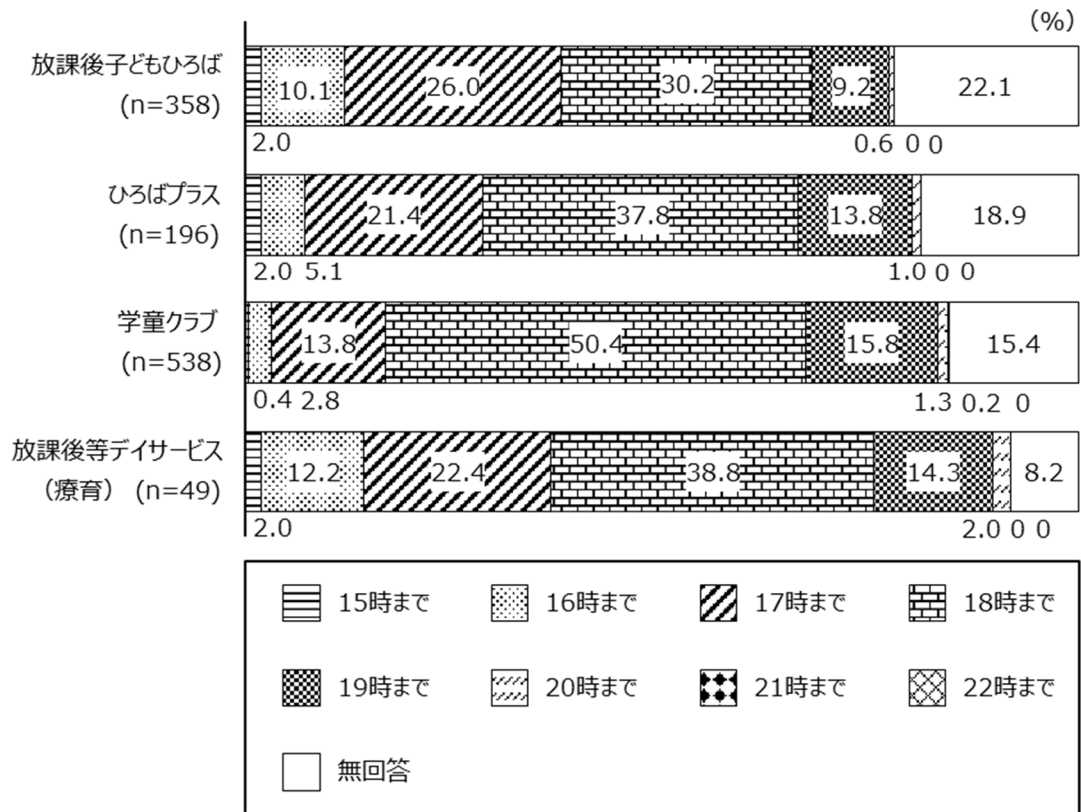
図表 128 小学校低学年（1～3年生）のときに、放課後を過ごさせたい場所別 週当たり希望利用日数

(%)

	全体 (n)	週1日 くらい	週2日 くらい	週3日 くらい	週4日 くらい	週5日 くらい	週6日 くらい	週7日 くらい	無回答
自宅	514	19.1	30.5	22.0	6.6	9.3	0.8	1.6	10.1
祖父母宅や友人・知人宅	187	56.1	24.1	3.7	0.5	4.3	0	0.5	10.7
習い事	736	37.2	44.2	11.5	0.7	0.7	0	0.1	5.6
学習塾	286	59.8	26.6	5.2	0.3	1.4	0	0.3	6.3
児童館	247	39.3	19.8	13.8	2.0	12.1	0	0.4	12.6
放課後子どもひろば	358	27.1	19.0	17.0	2.8	20.9	0	0.3	12.8
ひろばプラス	196	18.9	7.1	12.2	5.1	32.1	0	0.5	24.0
学童クラブ	538	10.2	11.0	18.4	10.0	40.5	0.4	0.2	9.3
放課後等デイサービス (療育)	49	24.5	12.2	6.1	4.1	8.2	0	0	44.9
ファミリーサポート事業	25	48.0	20.0	4.0	8.0	16.0	0	0	4.0
その他	26	23.1	42.3	23.1	0	3.8	0	0	7.7

※ 網掛けは「無回答」を除き、30%以上のもの

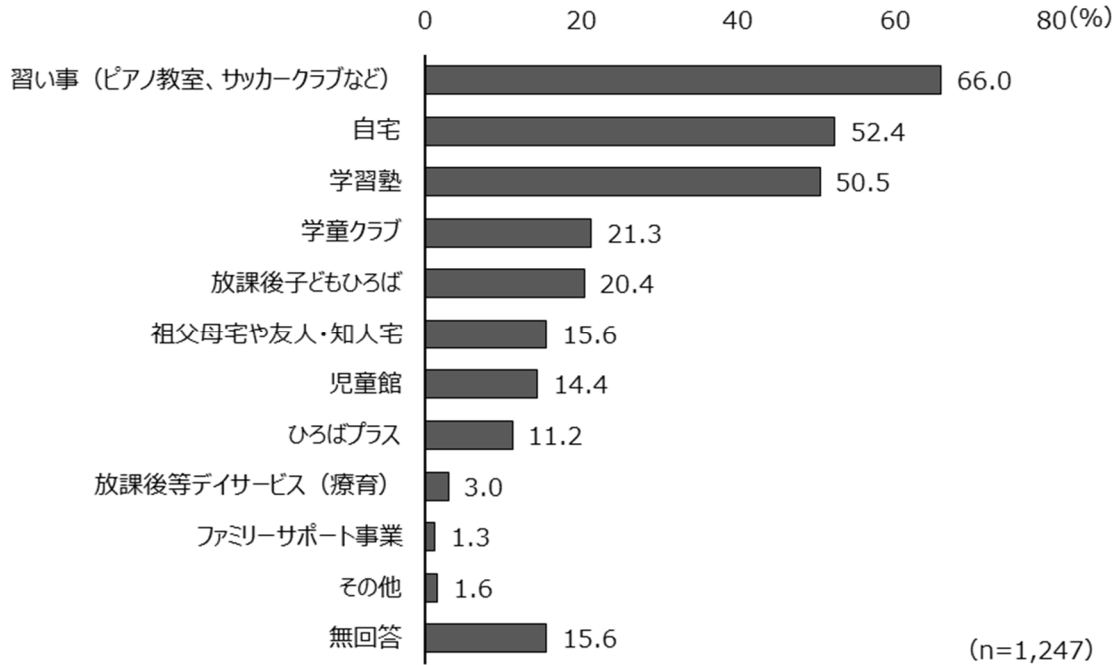
図表 129 小学校低学年（1～3年生）のときに、「放課後子どもひろば」「ひろばプラス」「学童クラブ」「放課後等デイサービス（療育）」の利用を希望する時間



問3 2 小学校高学年（4～6年生）のときの放課後の過ごし方の希望

小学校高学年（4～6年生）のときの放課後の過ごさせたい場所は、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブなど）」が66.0%で最も多く、「自宅」（52.4%）、「学習塾」（50.5%）と続く。

図表 130 小学校高学年（4～6年生）のときに、放課後を過ごさせたい場所（複数回答）



図表 131 小学校高学年（４～６年生）のときに、放課後を過ごさせたい場所＜母親の就労状況別＞

	全体 (n)	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事 (ピアノ教室、サッカークラブなど)	学習塾	児童館	放課後子どもひろば
フルタイムで就労しており、産休・育児休業・介護休業中等ではない	598	49.0	12.4	65.6	53.3	13.4	18.4
フルタイムで就労しているが、産休・育児休業・介護休業中等である	178	44.4	14.0	63.5	45.5	16.3	20.8
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育児休業・介護休業中等ではない	172	57.0	19.2	67.4	48.3	15.1	18.6
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育児休業・介護休業中等である	15	33.3	33.3	40.0	26.7	33.3	13.3
以前は就労していたが、現在は就労していない	250	66.4	21.2	71.2	51.2	14.4	25.6
これまで就労したことがない	9	66.7	11.1	66.7	77.8	11.1	44.4
無回答	25	24.0	12.0	48.0	32.0	12.0	20.0

(%)

	ひろばプラス	学童クラブ	放課後等デイサービス (療育)	ファミリーサポート事業	その他	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育児休業・介護休業中等ではない	13.0	25.4	3.0	1.2	0.7	12.5
フルタイムで就労しているが、産休・育児休業・介護休業中等である	10.1	24.2	1.7	2.2	2.2	19.1
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育児休業・介護休業中等ではない	15.1	20.9	4.1	1.2	1.2	16.3
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育児休業・介護休業中等である	13.3	13.3	6.7	0	0	40.0
以前は就労していたが、現在は就労していない	5.2	9.6	2.8	1.2	3.6	16.4
これまで就労したことがない	0	11.1	0	0	0	0
無回答	12.0	32.0	4.0	0	4.0	44.0

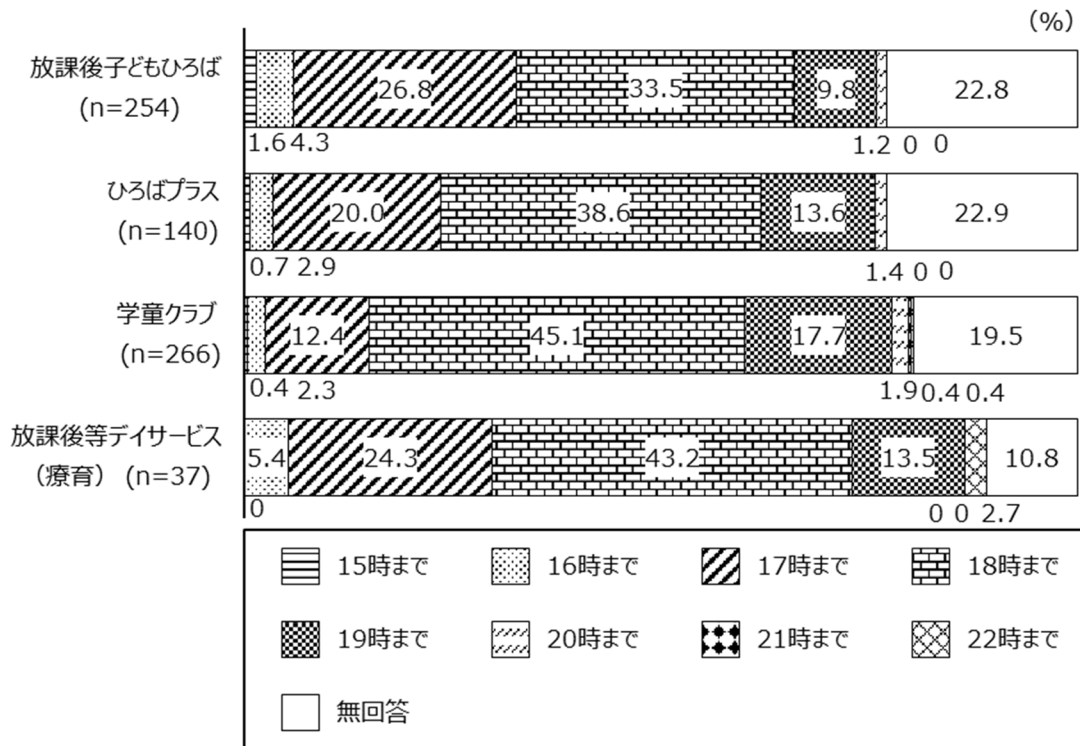
※ 網掛けは50%以上のもの

図表 132 小学校高学年（４～６年生）のときに、放課後を過ごさせたい場所別 週当たり希望利用日数

	全体 (n)	週1日 くらい	週2日 くらい	週3日 くらい	週4日 くらい	週5日 くらい	週6日 くらい	週7日 くらい	無回答
自宅	653	24.8	31.4	20.5	3.1	9.5	0.3	1.1	9.3
祖父母宅や友人・知人宅	194	52.6	27.8	4.1	0	3.1	0	0.5	11.9
習い事	823	34.0	41.6	13.9	1.8	1.2	0	0.1	7.4
学習塾	630	29.4	43.8	17.6	1.7	1.7	0	0.2	5.6
児童館	180	40.6	23.9	10.0	0.6	8.9	0	0.6	15.6
放課後子どもひろば	254	32.7	20.1	13.8	2.4	13.0	0	0.4	17.7
ひろばプラス	140	22.9	16.4	14.3	5.7	20.0	0	0.7	20.0
学童クラブ	266	19.5	21.8	13.9	4.5	22.2	0.4	0.4	17.3
放課後等デイサービス (療育)	37	29.7	16.2	2.7	2.7	8.1	0	0	40.5
ファミリーサポート事業	16	37.5	18.8	6.3	6.3	12.5	0	0	18.8
その他	20	20.0	30.0	10.0	20.0	0	0	0	20.0

※ 網掛けは「無回答」を除き、30%以上のもの

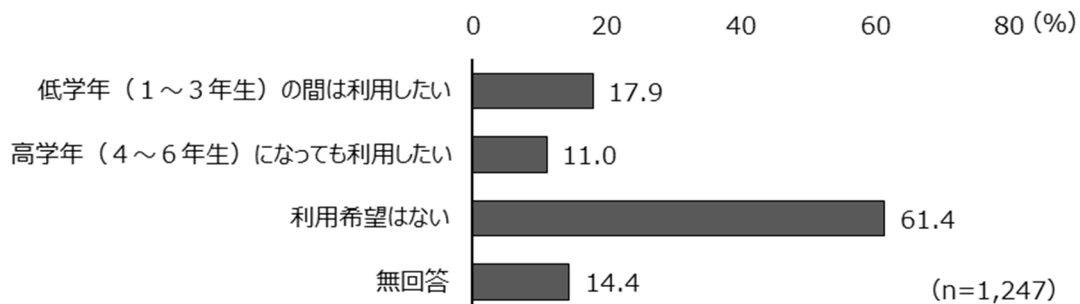
図表 133 小学校高学年（4～6年生）のときに、「放課後子どもひろば」「ひろばプラス」「学童クラブ」「放課後等デイサービス（療育）」の利用を希望する時間



### 問33 土曜日の学童クラブの利用希望の有無・利用希望回数

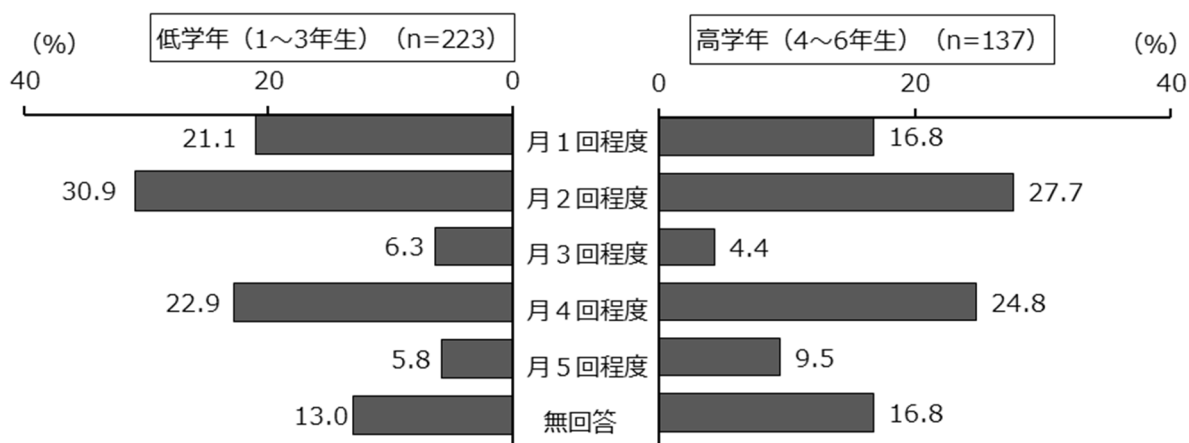
土曜日の学童クラブの利用希望は、「利用希望はない」が61.4%で最も多く、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」(17.9%)、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」(11.0%)と続く。

図表 134 土曜日の学童クラブの利用希望の有無



低学年では「月2回程度」が30.9%で最も多く、「月4回程度」(22.9%)、「月1回程度」(21.1%)と続く。高学年でも同様に「月2回程度」が27.7%で最も多く、「月4回程度」(24.8%)、「月1回程度」(16.8%)と続く。

図表 135 土曜日の学童クラブの1か月当たりの希望利用回数

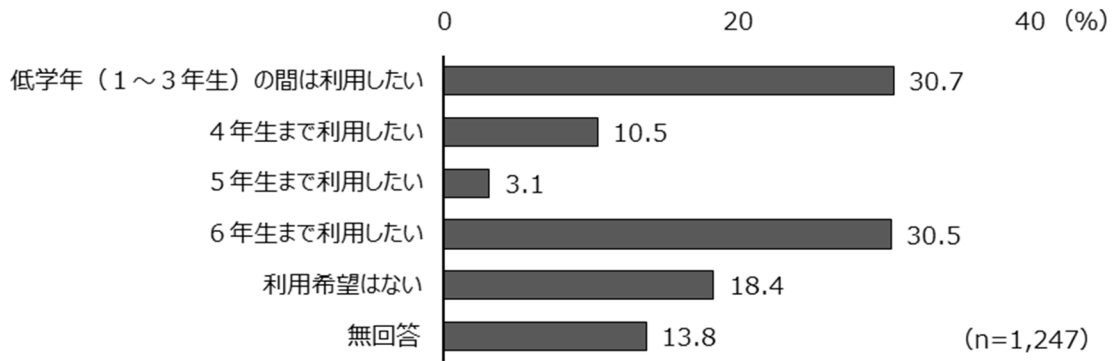




問34 夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の学童クラブの利用希望・希望利用日数

夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の学童クラブの利用希望は、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が30.7%で最も多く、「6年生まで利用したい」(30.5%)、「利用希望はない」(18.4%)と続く。

図表 136 夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の学童クラブの利用希望



図表 137 夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の学童クラブの学年別希望利用日数

	(%)								
	全体 (n)	週1日 くらい	週2日 くらい	週3日 くらい	週4日 くらい	週5日 くらい	週6日 くらい	週7日 くらい	無回答
低学年 (1～3年生)	383	2.9	6.0	15.4	8.6	56.1	1.6	0	9.4
4年生	131	3.1	6.1	17.6	9.9	55.7	0.8	0	6.9
5年生	39	5.1	2.6	7.7	7.7	61.5	2.6	0	12.8
6年生	380	2.4	2.6	12.9	5.8	64.7	2.4	0.3	8.9

※ 網掛けは30%以上のもの

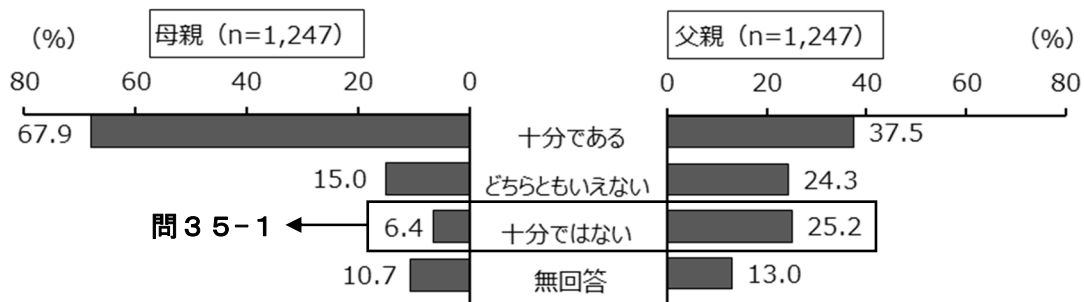
## (12) 子育てと仕事への関わり方について

### 問35 両親の家事や子育てへの関わり方

母親の家事への関わり方は、「十分である」が 67.9%で最も多く、「どちらともいえない」(15.0%)、「十分ではない」(6.4%)と続く。

父親の家事への関わり方は、「十分である」が 37.5%で最も多く、「十分ではない」(25.2%)、「どちらともいえない」(24.3%)と続く。

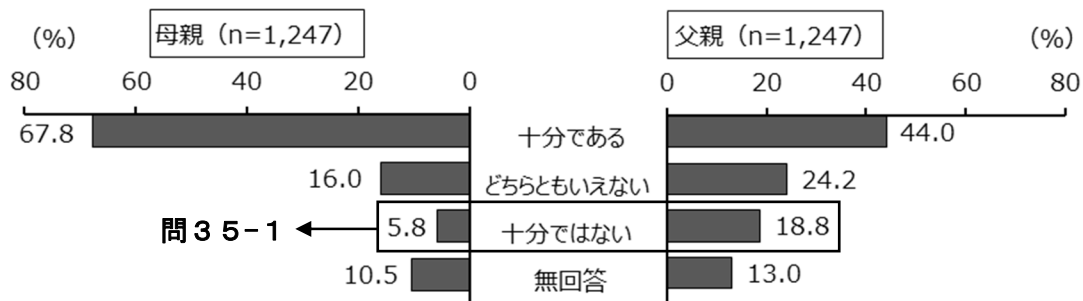
図表 138 両親の家事への関わり方



母親の子育てへの関わり方は、「十分である」が 67.8%で最も多く、「どちらともいえない」(16.0%)、「十分ではない」(5.8%)と続く。

父親の子育てへの関わり方も同様に、「十分である」が 44.0%で最も多く、「どちらともいえない」(24.2%)、「十分ではない」(18.8%)と続く。

図表 139 両親の子育てへの関わり方

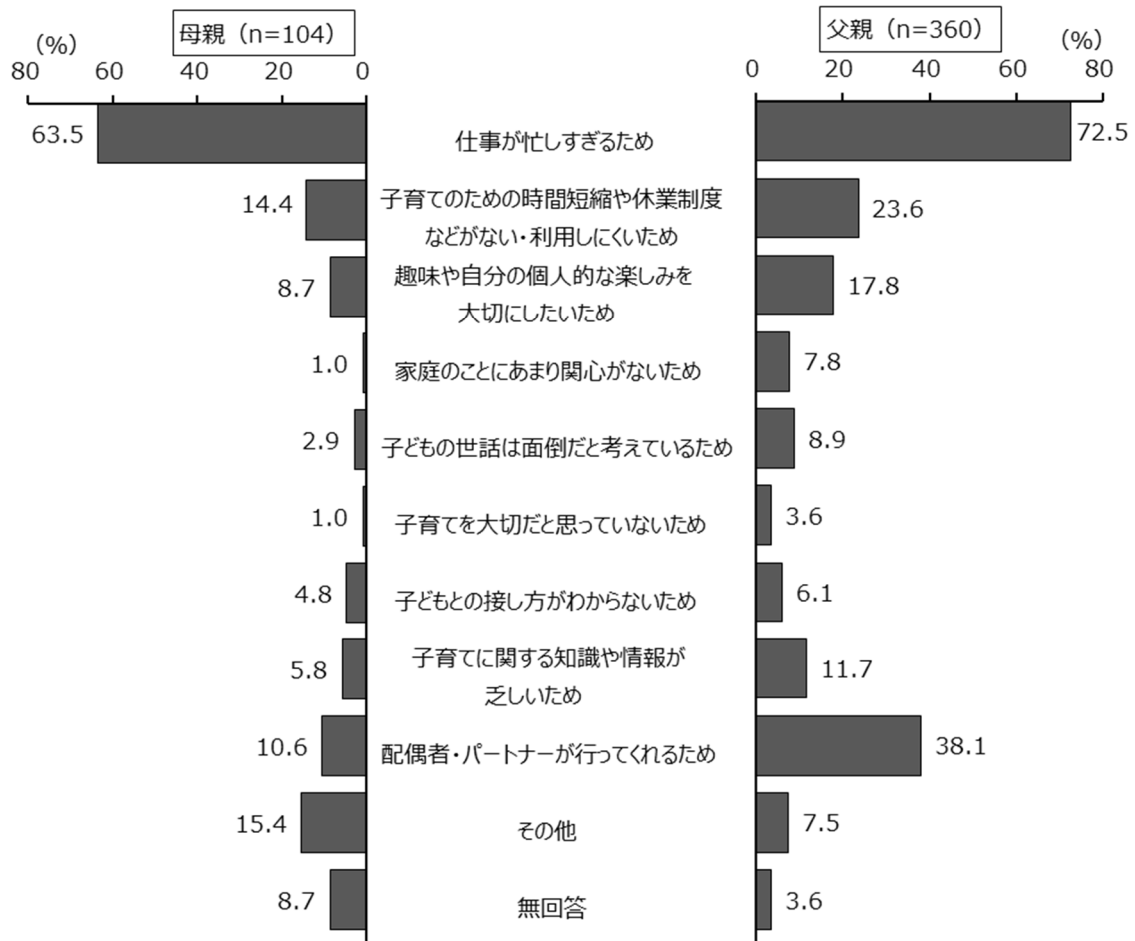


問35-1 家事や子育てへの関わり方が十分ではない理由（3つまで）＜父母＞

母親の家事や子育てへの関わり方が十分ではない理由は、「仕事が忙しすぎるため」が63.5%で最も多く、「子育てのための時間短縮や休業制度などがない・利用しにくい」ため(14.4%)、「配偶者・パートナーが行ってくれるため」(10.6%)と続く。

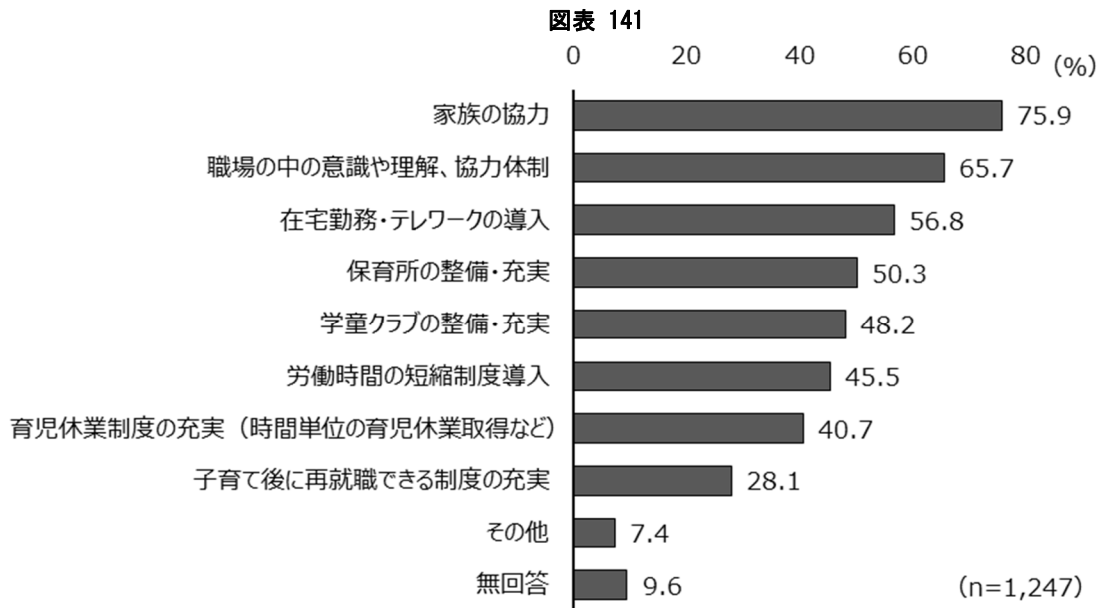
父親の家事や子育てへの関わり方が十分ではない理由は、「仕事が忙しすぎるため」が72.5%で最も多く、「配偶者・パートナーが行ってくれるため」(38.1%)、「子育てのための時間短縮や休業制度などがない・利用しにくい」ため(23.6%)と続く。

図表 140



問36 仕事と子育てを両立させるために必要なこと（複数回答）

仕事と子育てを両立させるために必要なことは、「家族の協力」が75.9%で最も多く、「職場の中の意識や理解、協力体制」(65.7%)、「在宅勤務・テレワークの導入」(56.8%)と続く。

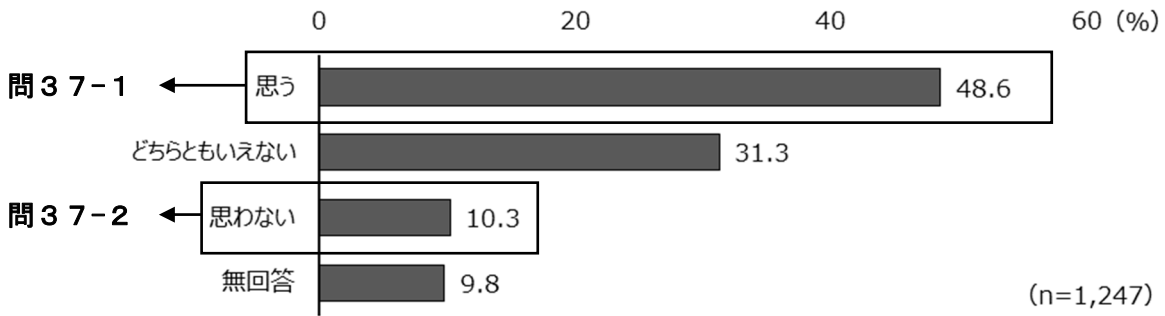


(13) 新宿区の子育て環境について

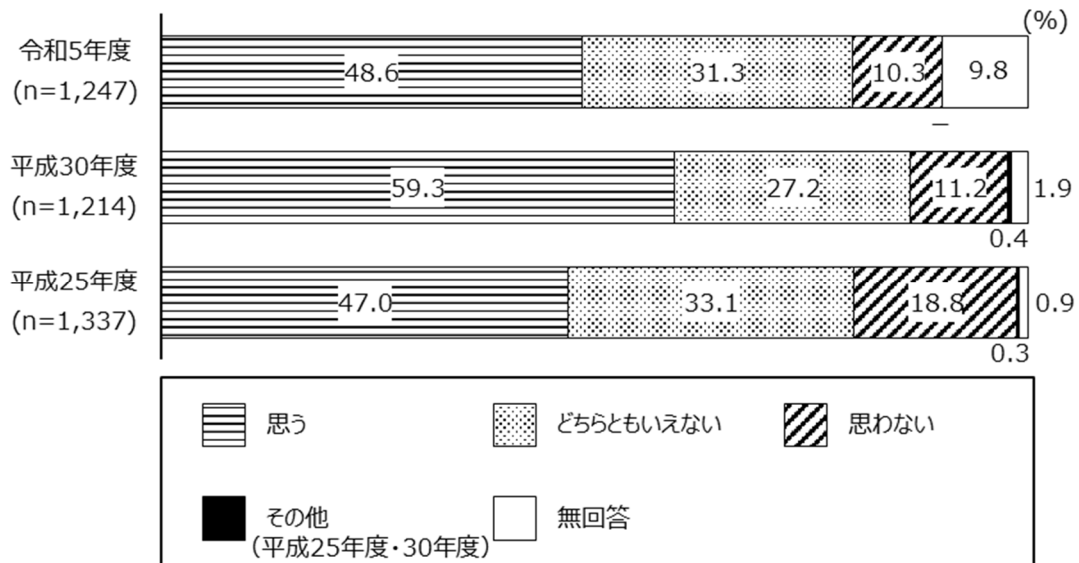
問37 新宿区は子育てしやすいまちだと思うか

新宿区は子育てしやすいまちだと思うかは、「思う」が48.6%で最も多く、「どちらともいえない」(31.3%)、「思わない」(10.3%)と続く。

図表 142

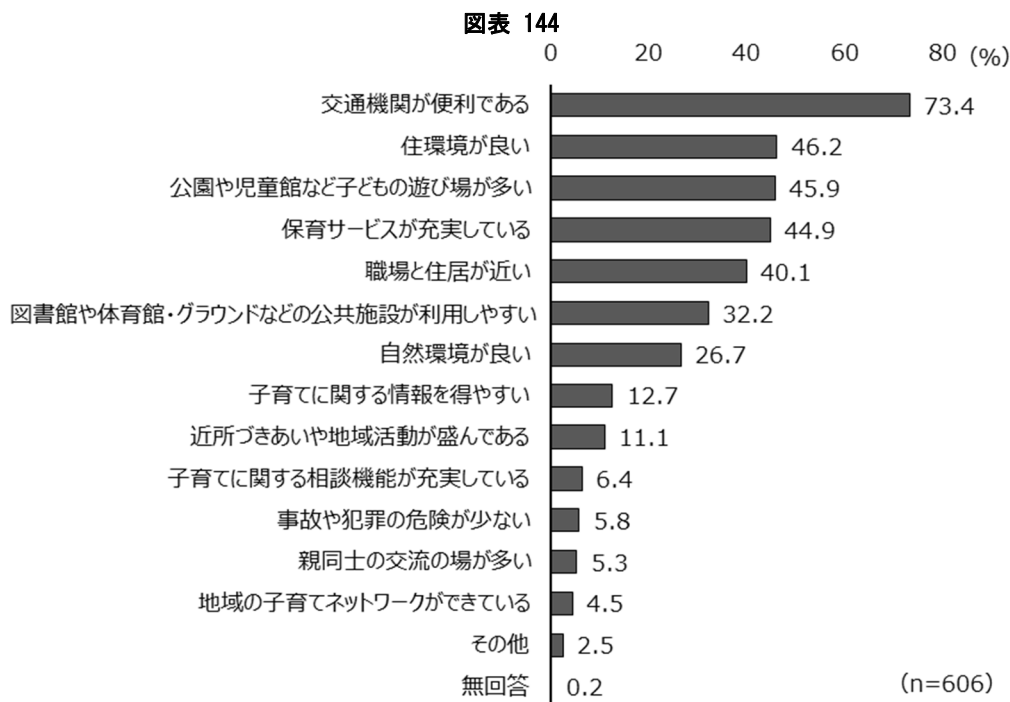


図表 143 新宿区は子育てしやすいまちだと思うか (経年比較)



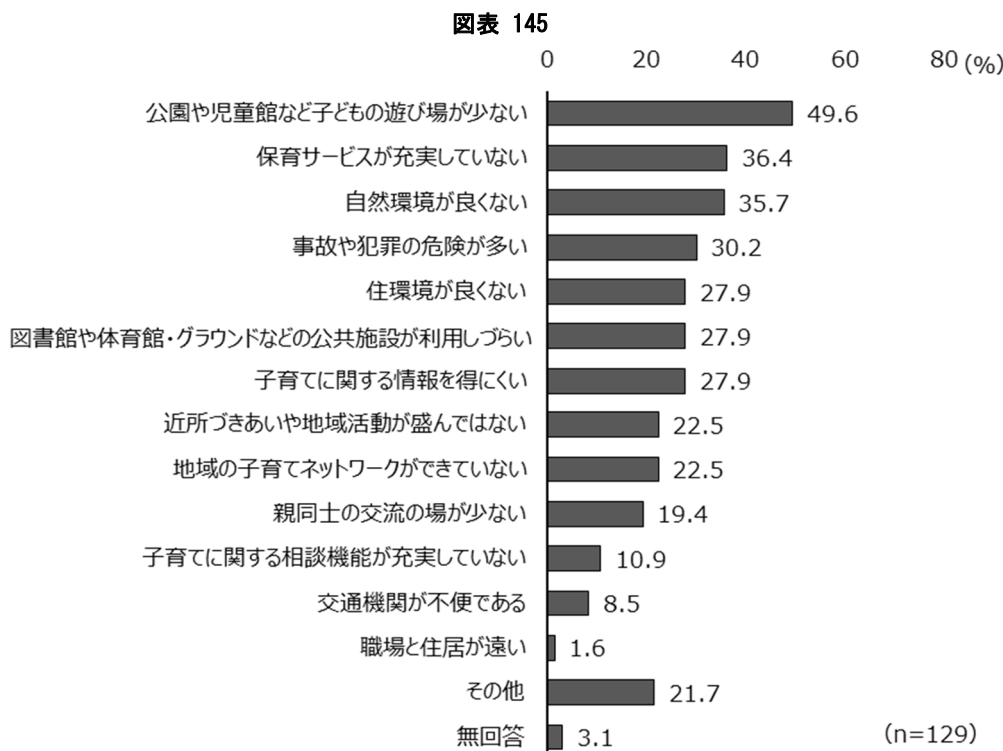
### 問3 7-1 新宿区が子育てしやすいまちだと思う理由（3つまで）

新宿区が子育てしやすいまちだと思う理由は、「交通機関が便利である」が73.4%で最も多く、「住環境が良い」(46.2%)、「公園や児童館など子どもの遊び場が多い」(45.9%)と続く。



### 問3 7-2 新宿区が子育てしやすいまちだと思わない理由（3つまで）

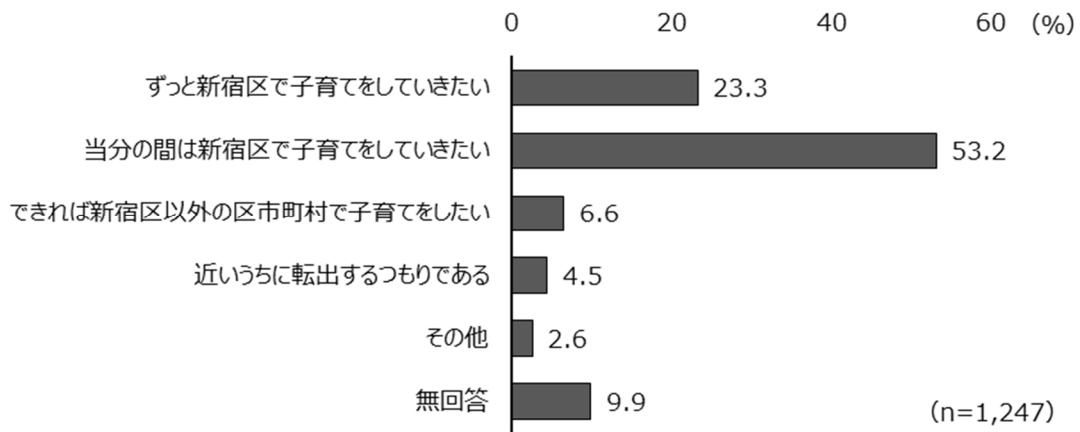
新宿区が子育てしやすいまちだと思わない理由は、「公園や児童館など子どもの遊び場が少ない」が49.6%で最も多く、「保育サービスが充実していない」(36.4%)、「自然環境が良くない」(35.7%)と続く。



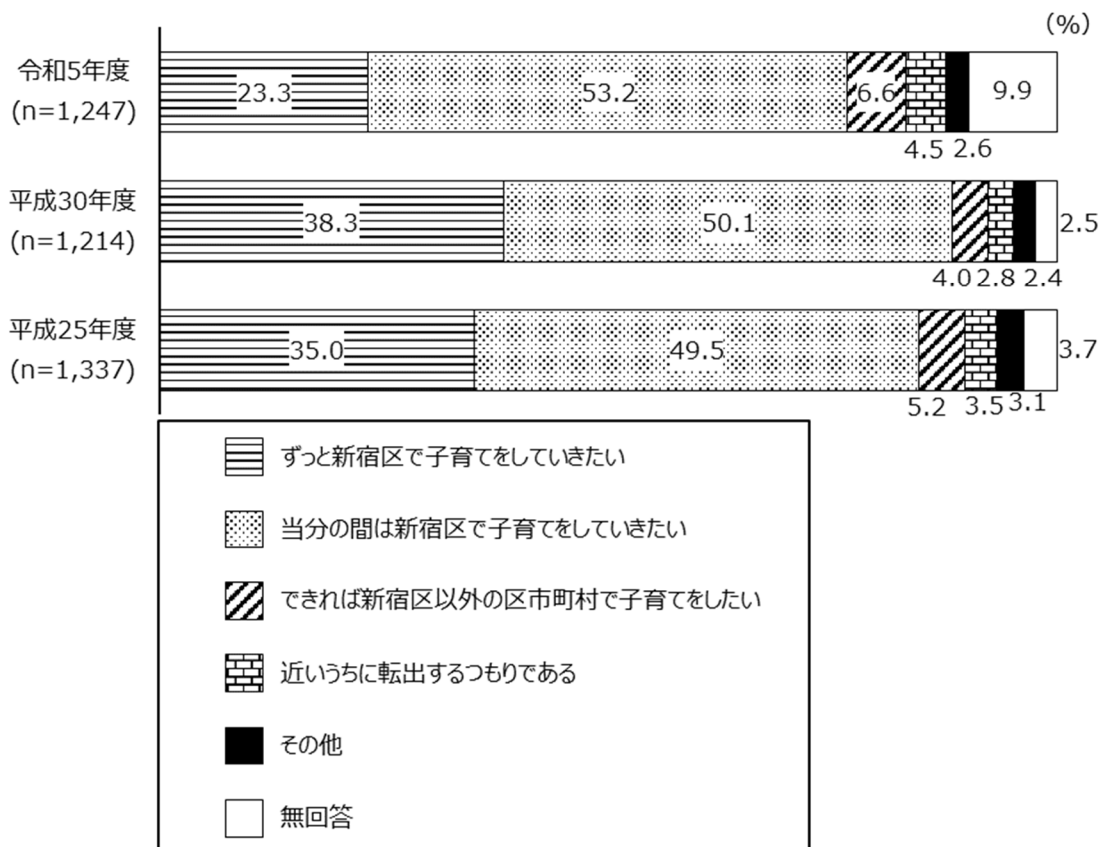
問38 今後も新宿区で子育てをしていきたいと思うか

今後も新宿区で子育てをしていきたいと思うかは、「当分の間は新宿区で子育てをしていきたい」が53.2%で最も多く、「ずっと新宿区で子育てをしていきたい」(23.3%)、「できれば新宿区以外の区市町村で子育てをしたい」(6.6%)と続く。

図表 146



図表 147 今後も新宿区で子育てをしていきたいと思うか（経年比較）

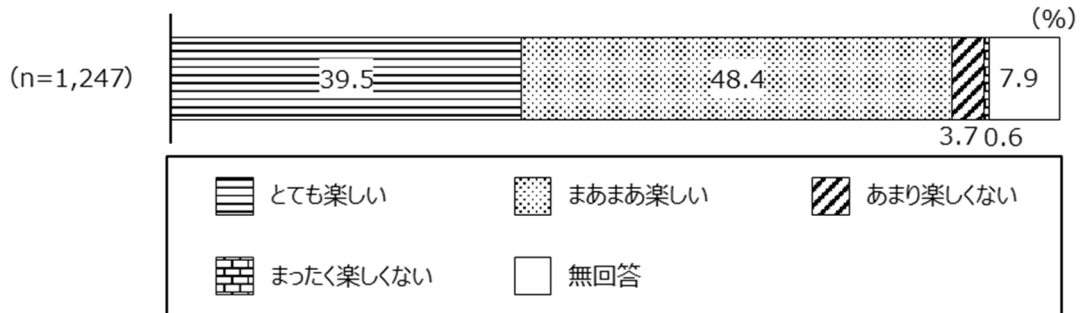


(14) 地域の子育て支援、子育て全般について

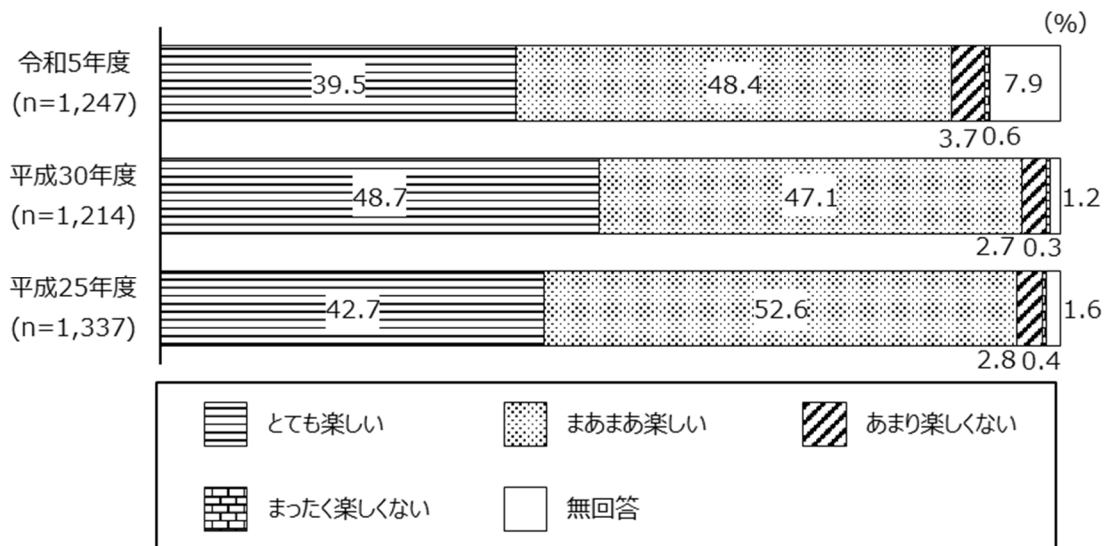
問39 子育てが楽しいか

子育てが楽しいかは、「まあまあ楽しい」が48.4%で最も多く、「とても楽しい」(39.5%)、「あまり楽しくない」(3.7%)と続く。

図表 148



図表 149 子育てが楽しいか (経年比較)

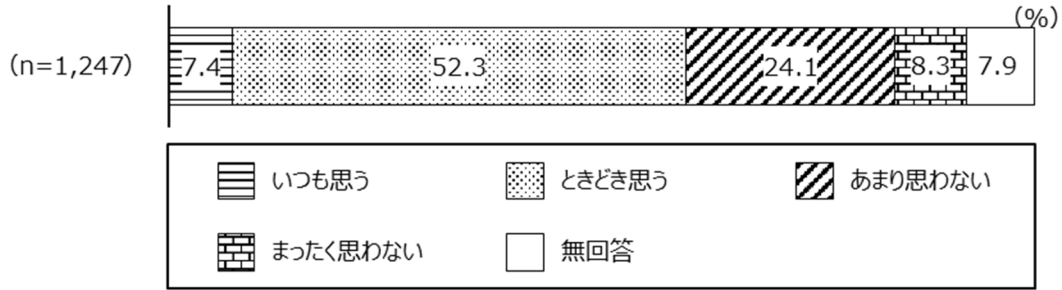




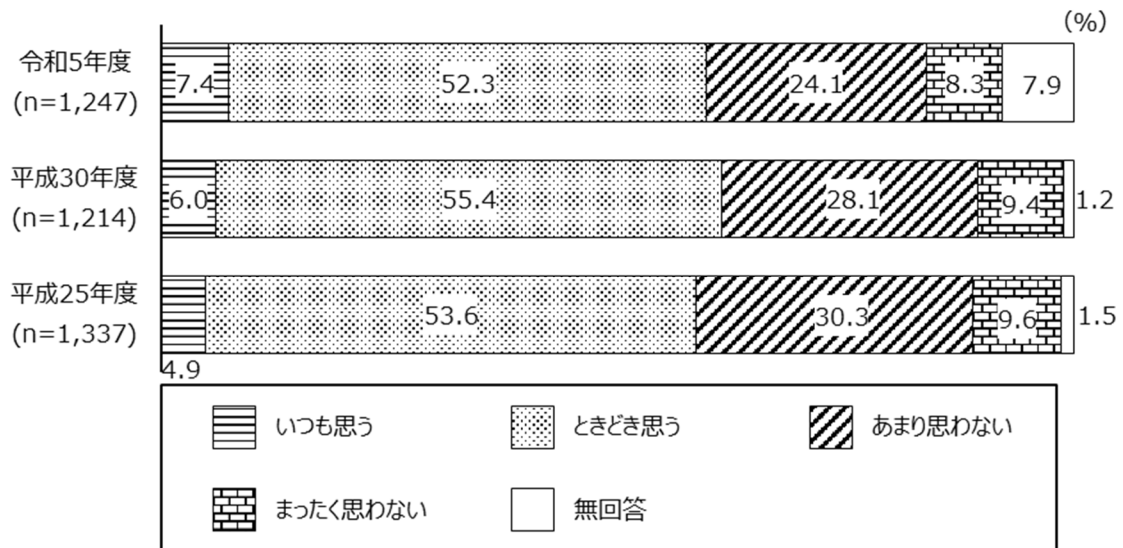
問40 子育てが辛いと思うことがあるか

子育てが辛いと思うことがあるかは、「ときどき思う」が52.3%で最も多く、「あまり思わない」(24.1%)、「まったく思わない」(8.3%)と続く。

図表 150



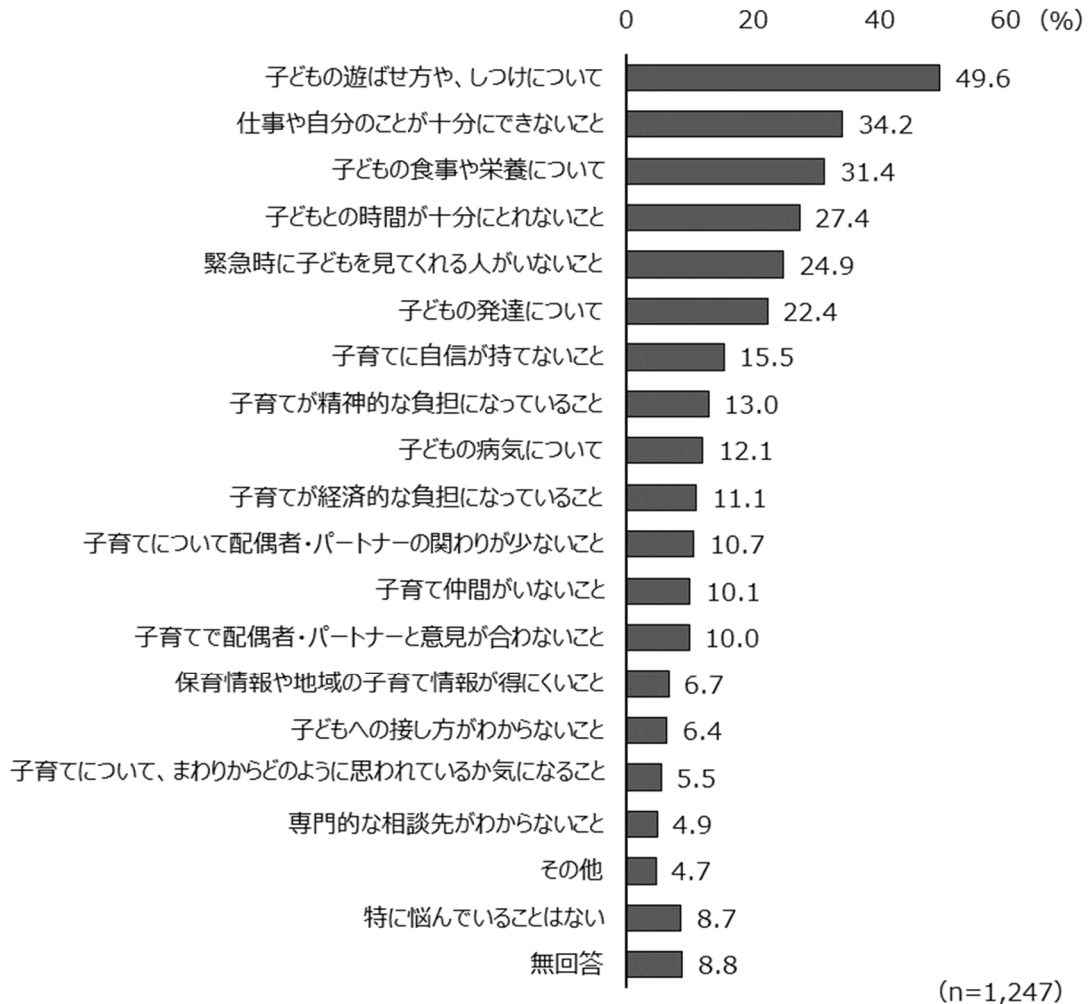
図表 151 子育てが辛いと思うことがあるか（経年比較）



問 4 1 子育てに関して悩んでいること（複数回答）

子育てに関して悩んでいることは、「子どもの遊ばせ方や、しつけについて」が 49.6%で最も多く、「仕事や自分のことが十分にできないこと」(34.2%)、「子どもの食事や栄養について」(31.4%)と続く。

図表 152



図表 153 子育てに関して悩んでいること（子育てのつらさ別）

	全体 (n)	子どもの発達について	子どもの病気について	子どもの食事や栄養について	子どもの遊ばせ方や、しつけについて	子育て仲間がいないこと	専門的な相談先がわからないこと	保育情報や地域の子育て情報が得にくいこと	子育てが精神的な負担になっていること	子育てが経済的な負担になっていること	子どもの時間が十分にたれないこと
全体	1,247	22.4	12.1	31.4	49.6	10.1	4.9	6.7	13.0	11.1	27.4
いつも思う	92	43.5	21.7	53.3	75.0	21.7	15.2	16.3	56.5	23.9	38.0
ときどき思う	652	26.2	14.0	33.9	60.9	11.7	5.5	6.0	16.6	15.0	34.2
あまり思わない	301	17.9	8.6	30.9	38.5	7.0	2.3	7.3	0.3	3.7	19.6
まったく思わない	104	13.5	13.5	27.9	35.6	8.7	3.8	6.7	1.0	6.7	24.0

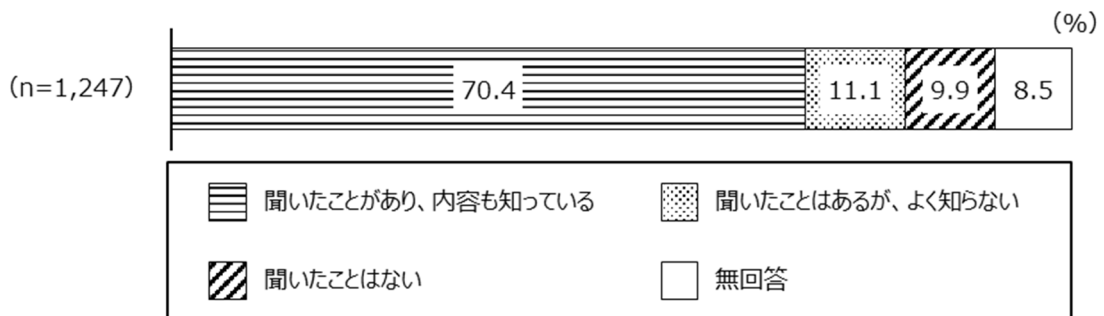
	子どもへの接し方がわからないこと	子育てに自信が持てないこと	子育てで配偶者・パートナーと意見が合わないこと	子育てについて配偶者・パートナーの関わりが少ないこと	仕事や自分のことが十分にできないこと	子育てについて、まわりからどのように思われているか気になること	緊急時に子どもを見てくれる人がいないこと	その他	特に悩んでいることはない	無回答
全体	6.4	15.5	10.0	10.7	34.2	5.5	24.9	4.7	8.7	8.8
いつも思う	26.1	44.6	19.6	26.1	66.3	18.5	43.5	6.5	2.2	0
ときどき思う	8.0	20.6	13.0	13.7	42.9	6.7	29.4	5.8	3.1	0.9
あまり思わない	0.3	5.3	5.0	5.0	21.6	1.7	19.9	3.7	20.9	1.3
まったく思わない	2.9	1.9	6.7	4.8	19.2	2.9	17.3	2.9	23.1	1.9

※ 網掛けは40%以上のもの

#### 問 4 2 ヤングケアラーという言葉を知ったことがあるか

ヤングケアラーという言葉を知ったことがあるかは、「聞いたことがあり、内容も知っている」が 70.4%で最も多く、「聞いたことはあるが、よく知らない」(11.1%)、「聞いたことはない」(9.9%)と続く。

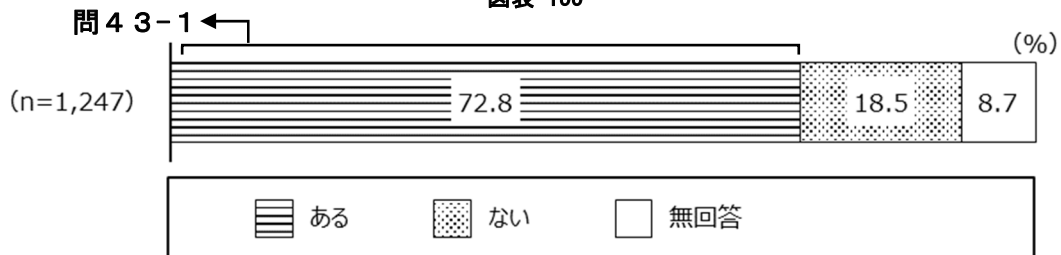
図表 154



#### 問 4 3 子育てについて気軽に相談できる人や場所の有無

子育てについて気軽に相談できる人や場所は、「ある」が 72.8%、「ない」は 18.5%となっている。

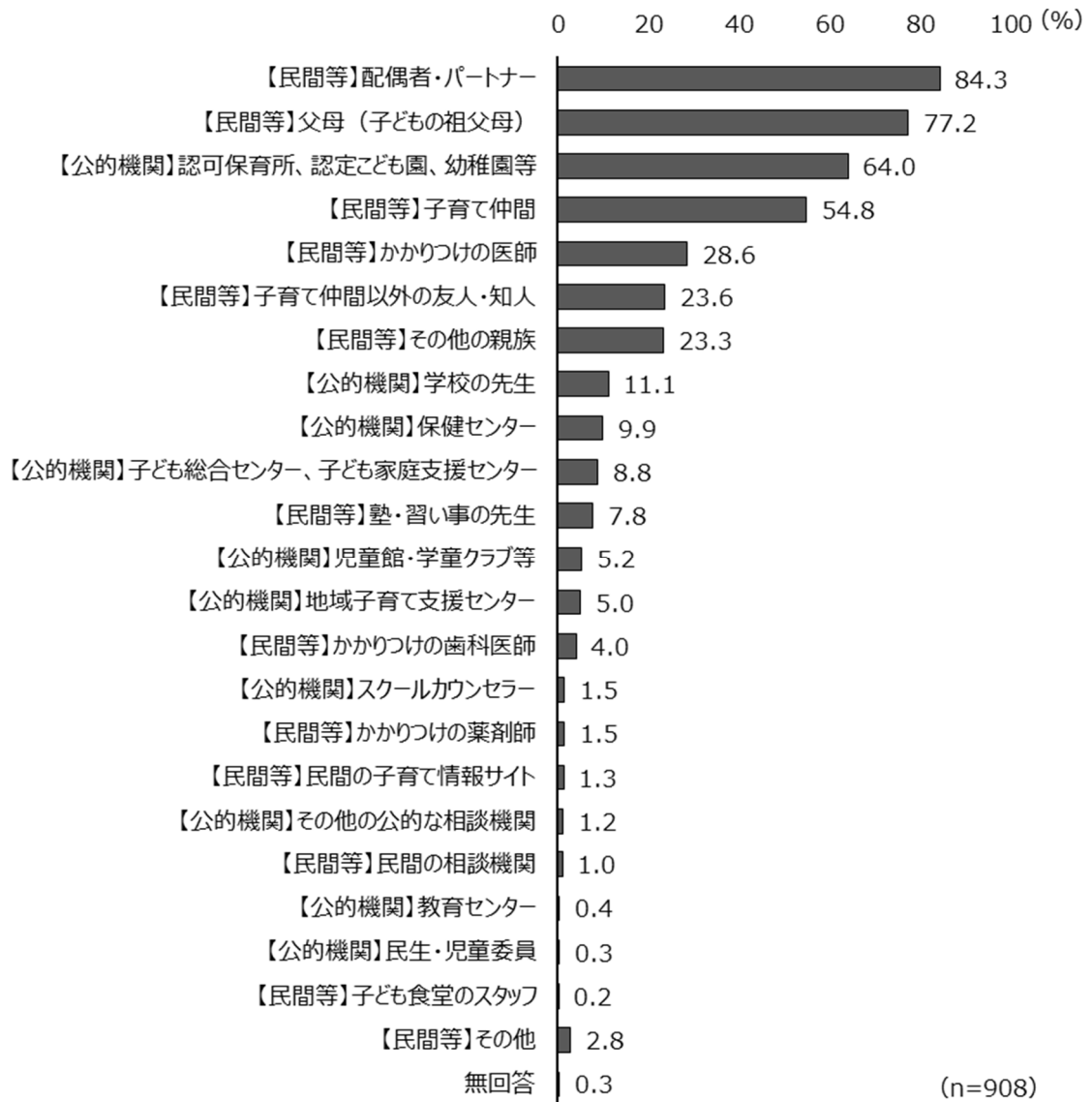
図表 155



問 4 3-1 子育てについて気軽に相談できる人や場所（複数回答）

子育てについて気軽に相談できる人や場所は、「【民間等】配偶者・パートナー」が 84.3%で最も多く、「【民間等】父母（子どもの祖父母）」(77.2%)、「【公的機関】認可保育所、認定こども園、幼稚園等」(64.0%)と続く。

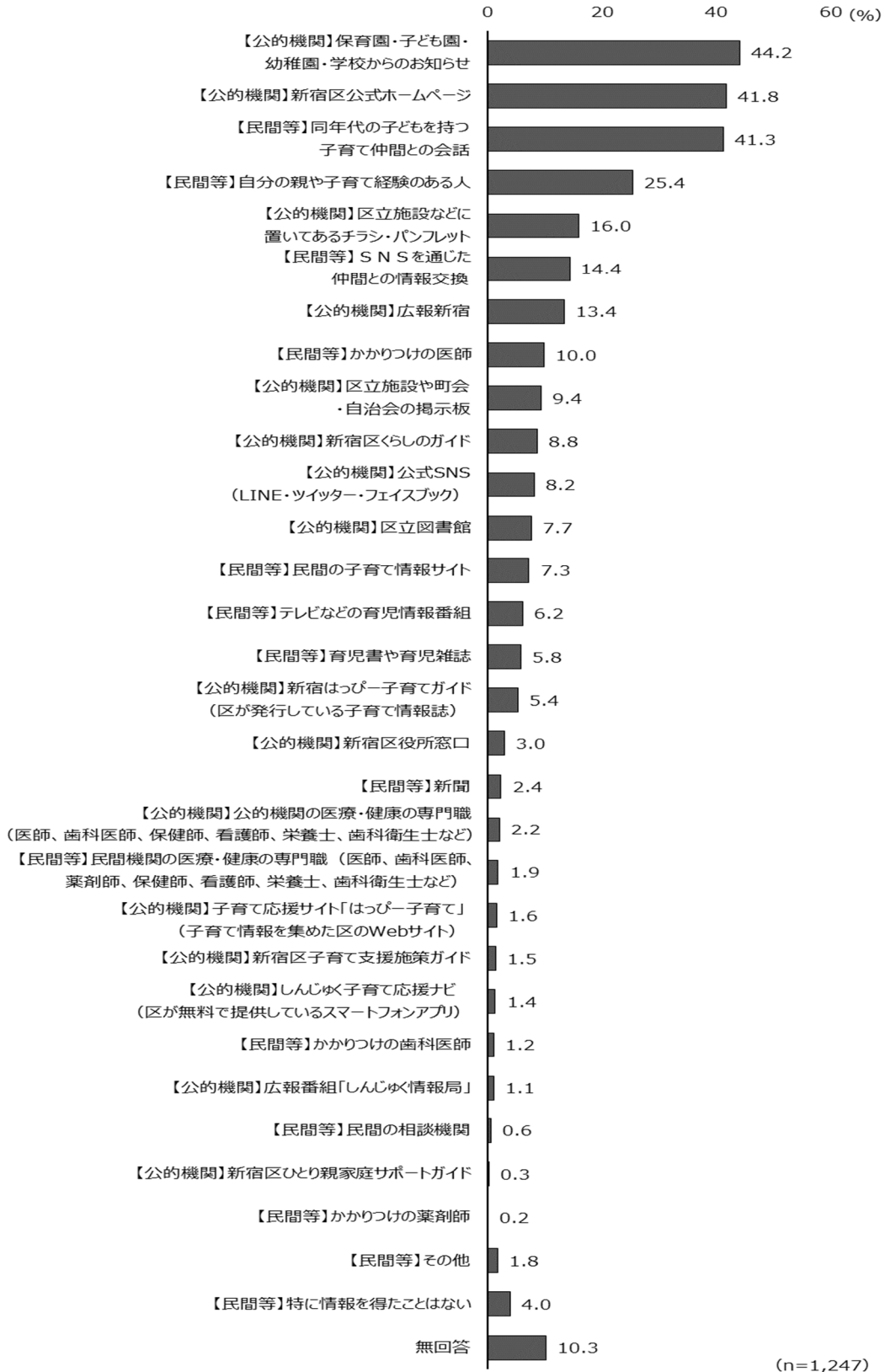
図表 156



問 4 4 区の子育て支援サービスや相談窓口についての情報入手先（複数回答）

区の子育て支援サービスや相談窓口についての情報入手先は、「【公的機関】保育園・子ども園・幼稚園・学校からのお知らせ」が 44.2%で最も多く、「【公的機関】新宿区公式ホームページ」(41.8%)、「【民間等】同年代の子育て仲間との会話」(41.3%)と続く。

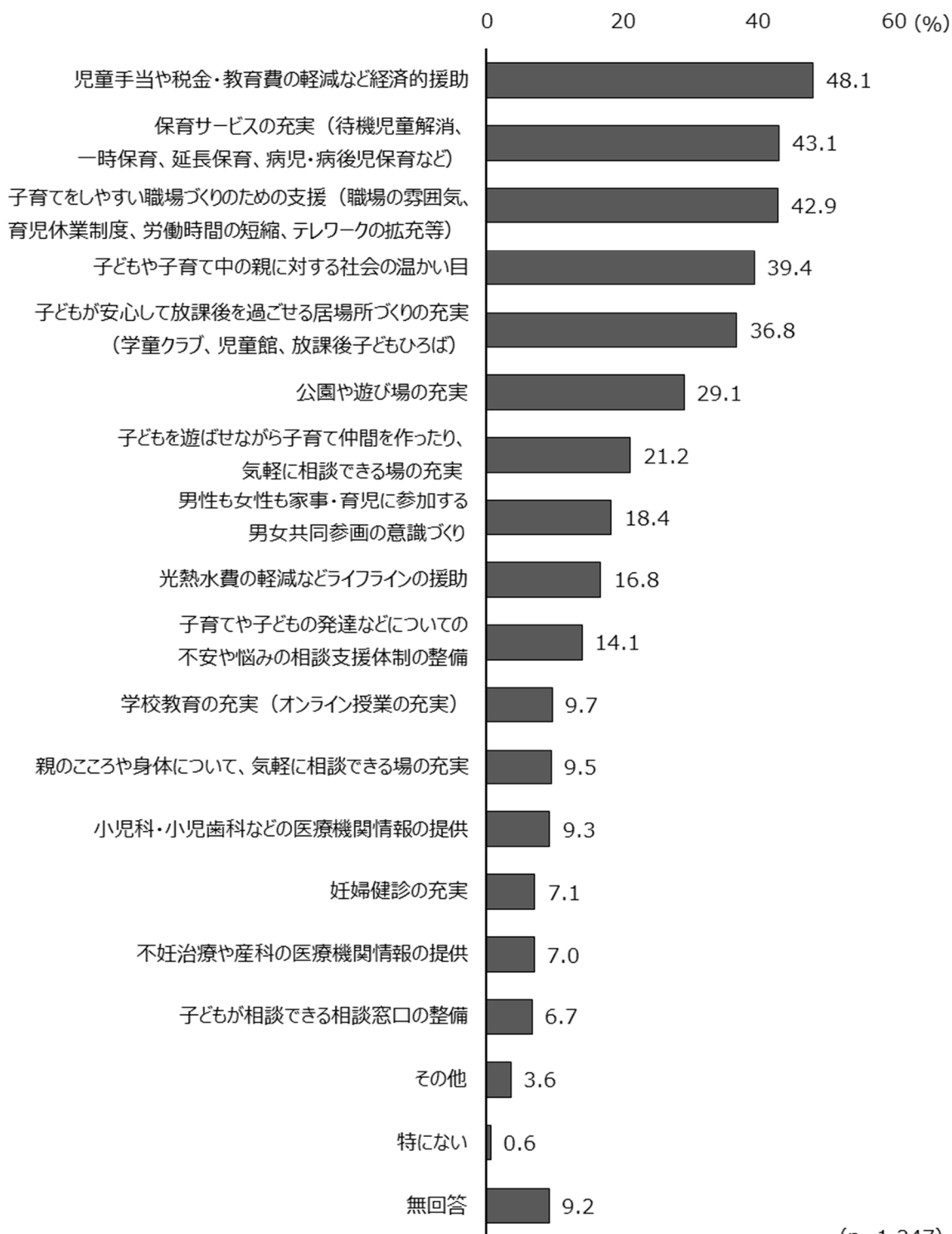
図表 157



問 4 5 子どもを産み育てやすい社会に必要なだと考えられること（3つまで）

子どもを産み育てやすい社会に必要なだと考えられることは、「児童手当や税金・教育費の軽減など経済的援助」が 48.1%で最も多く、「保育サービスの充実（待機児童解消、一時保育、延長保育、病児・病後児保育など）」（43.1%）、「子育てをしやすい職場づくりのための支援（職場の雰囲気、育児休業制度、労働時間の短縮、テレワークの拡充等）」（42.9%）と続く。

図表 158



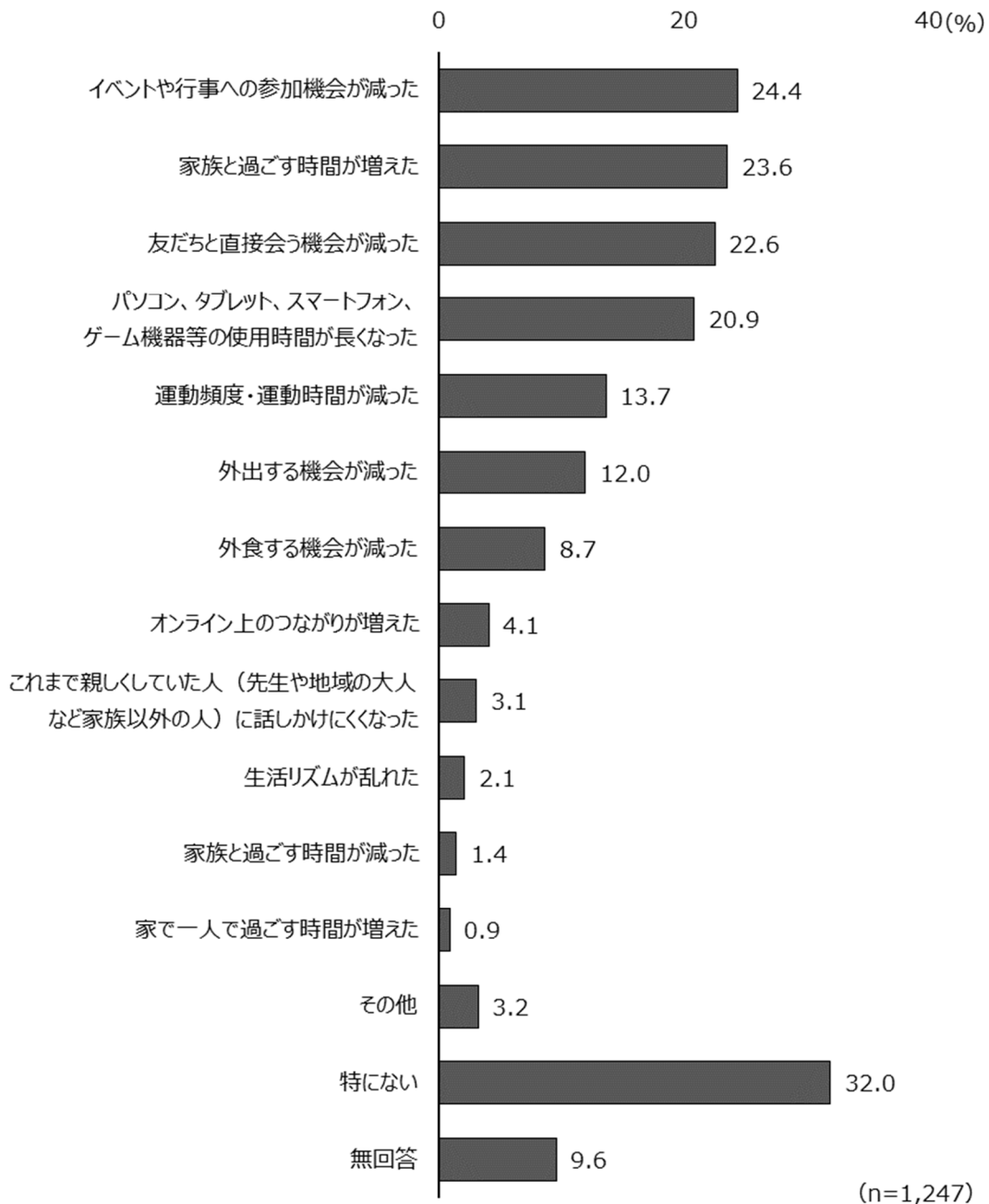
(n=1,247)

## (15) その他

## 問46 コロナ禍を経て、現在も続いている子どもの生活変化（複数回答）

コロナ禍を経て、現在も続いている子どもの生活変化は、「特にない」が32.0%で最も多く、「イベントや行事への参加機会が減った」(24.4%)、「家族と過ごす時間が増えた」(23.6%)と続く。

図表 159







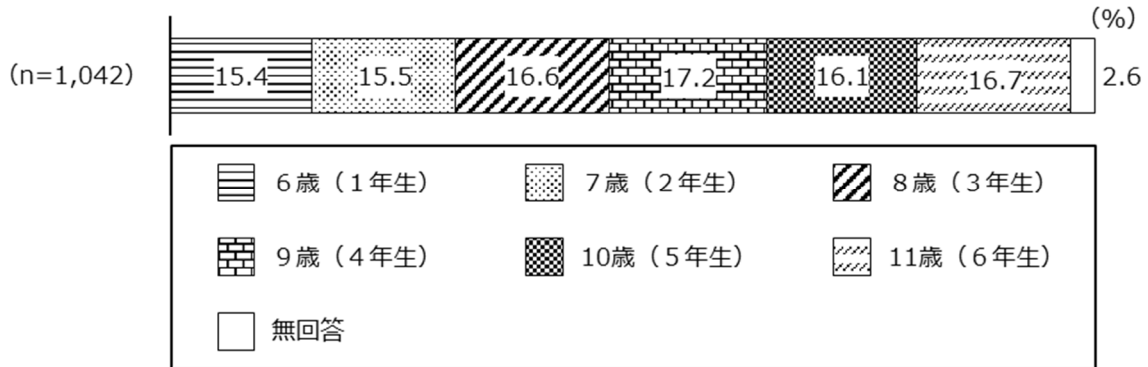
## Ⅱ-② 小学生保護者調査結果



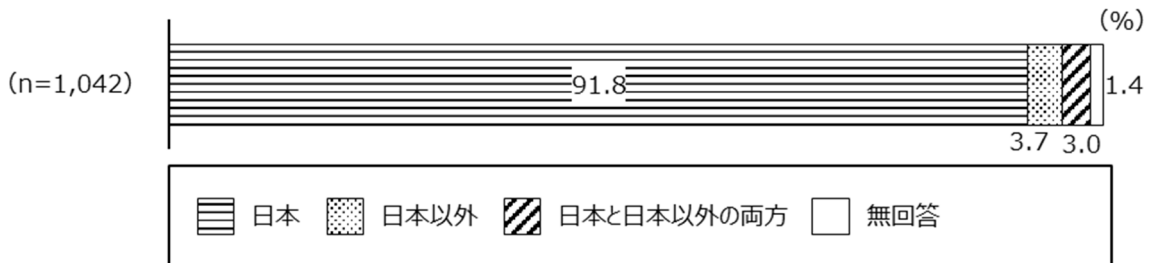
(1) 子どもと家族の状況について

問1 子ども年齢・国籍

図表 160 子ども年齢（令和5年4月1日現在）

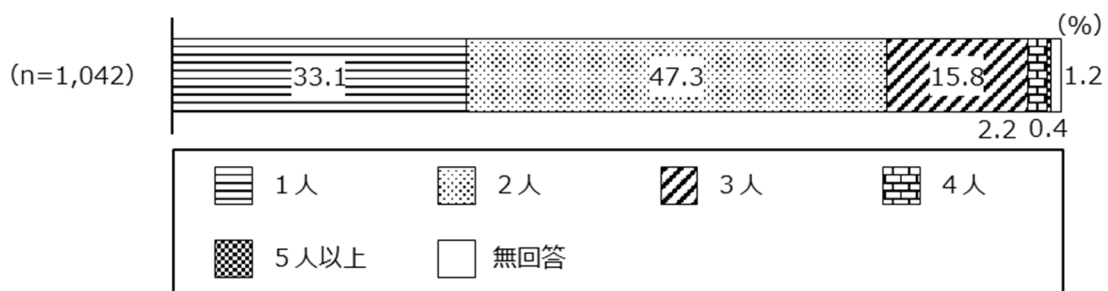


図表 161 子どもの国籍

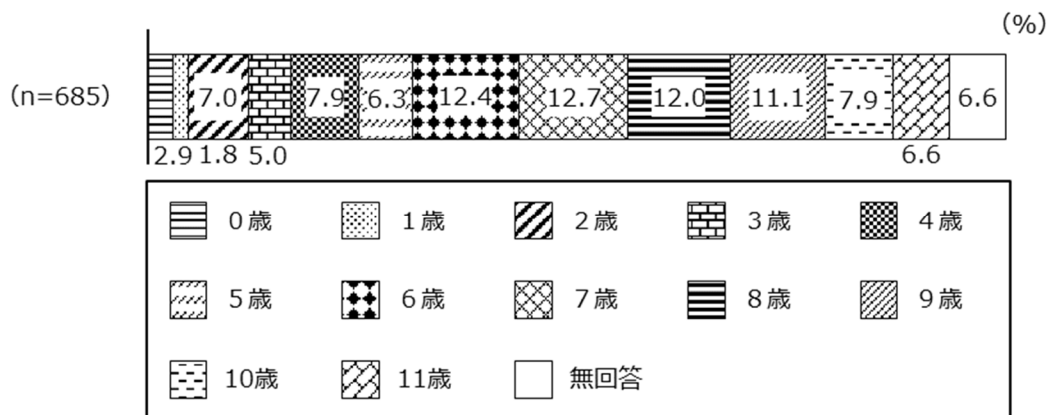


問2 きょうだいの人数・末子の年齢

図表 162 きょうだいの人数

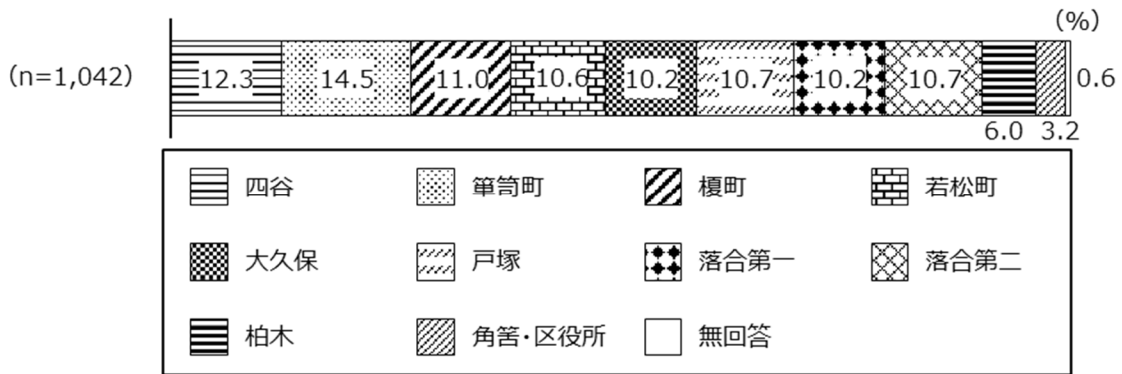


図表 163 末子の年齢（令和5年4月1日現在）



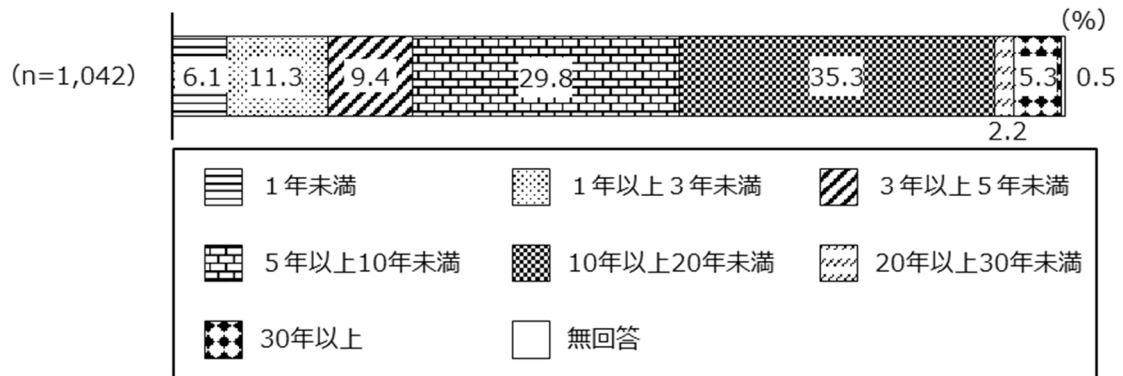
問3 居住地域（特別出張所単位）

図表 164



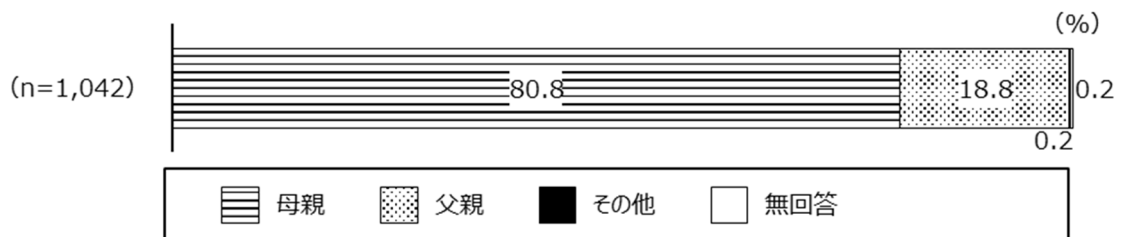
問4 居住年数

図表 165



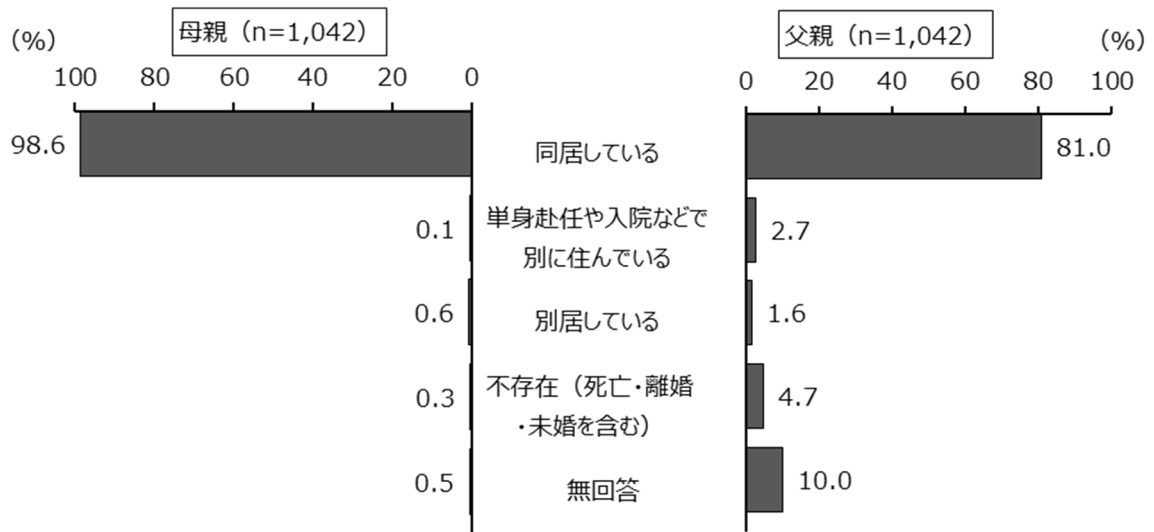
問5 回答者と子どもの関係

図表 166



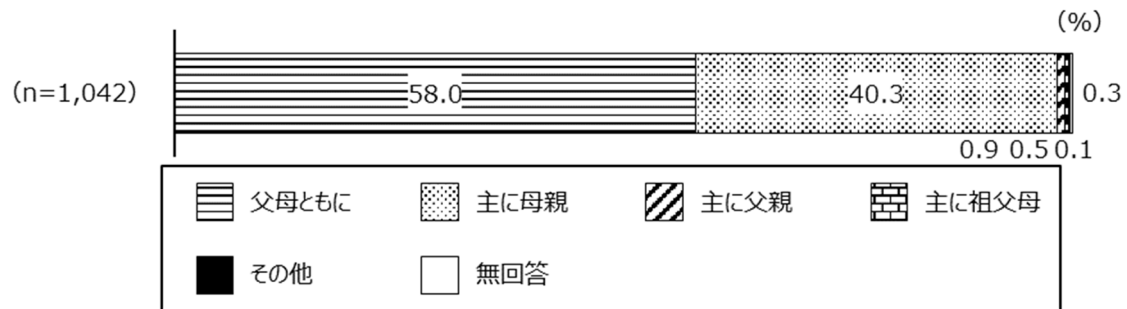
問6 子どもとの同居の状況<父母>

図表 167



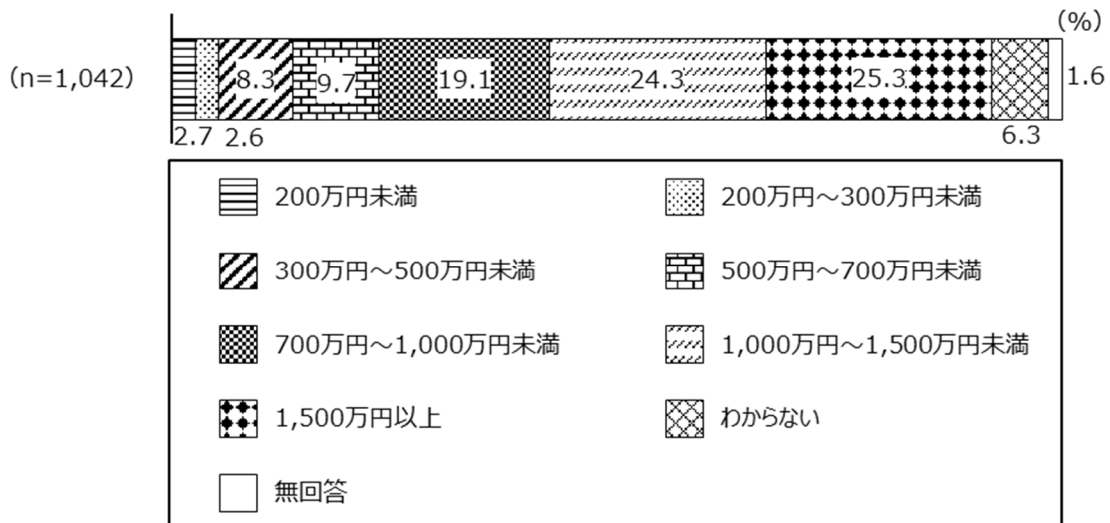
問7 子どもの子育て (教育を含む) を主に行っている人

図表 168



問8 世帯の一年間の収入の合計額 (土地・家屋・株券などの資産売却による収入は除く)

図表 169

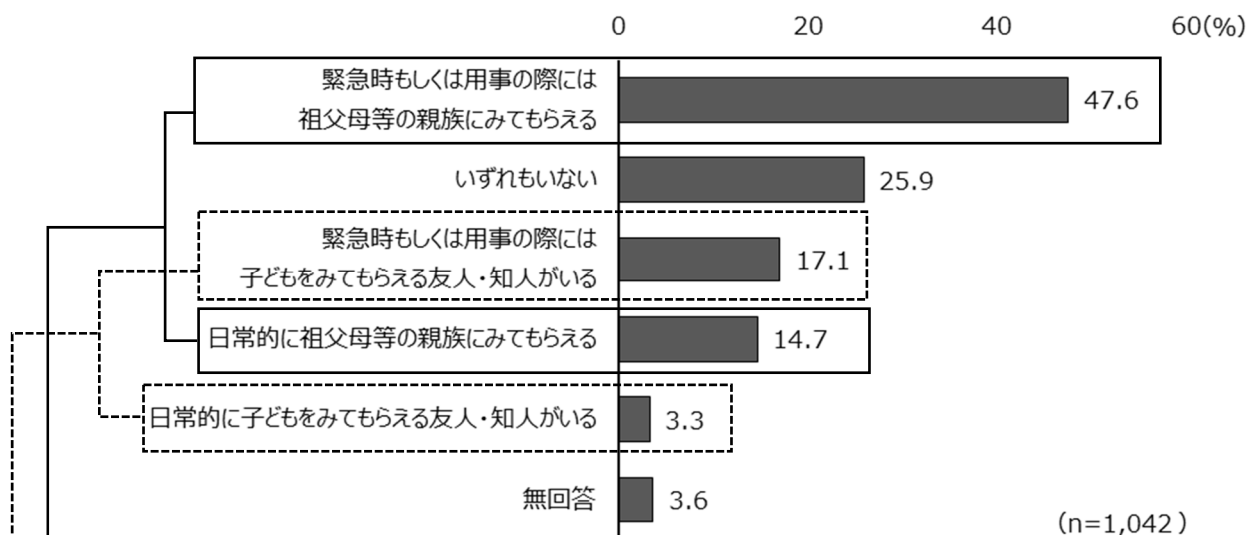


## (2) 子どもの育ちをめぐる環境について

### 問9 日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無（複数回答）

日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が47.6%で最も多く、「いずれもない」(25.9%)、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」(17.1%)と続く。

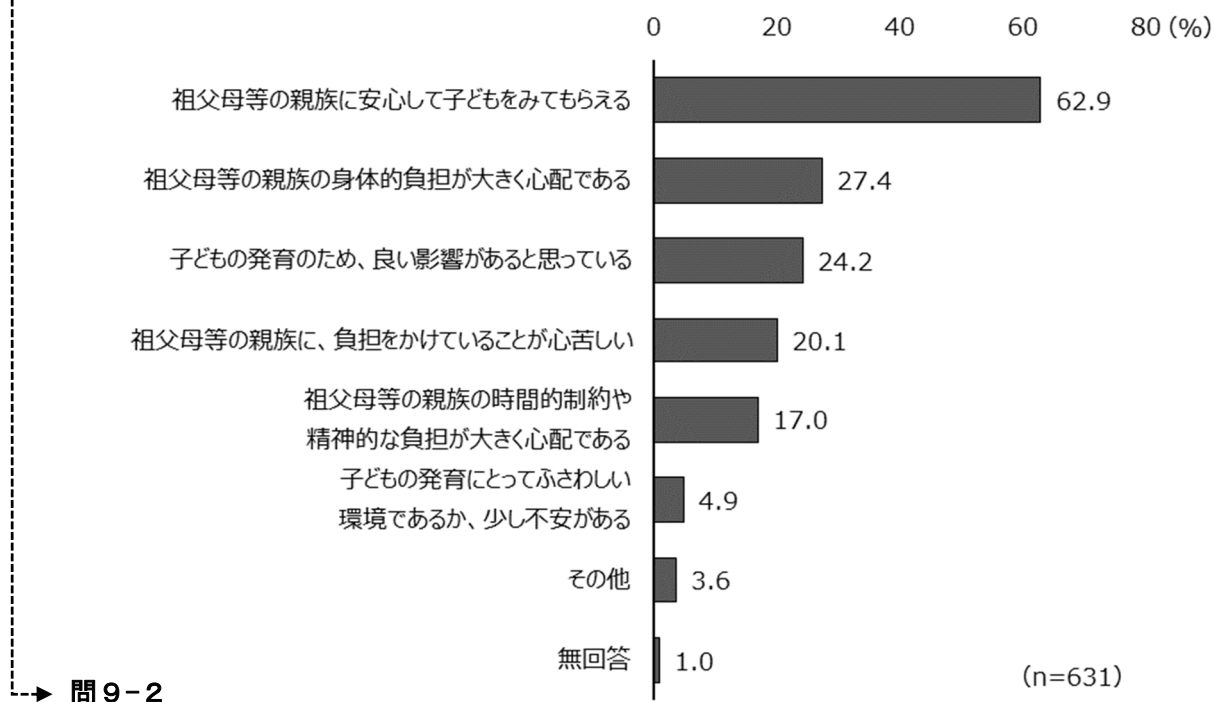
図表 170



#### 問9-1 祖父母等の親族にみてもらっている状況（複数回答）

祖父母等の親族にみてもらっている状況は、「祖父母等の親族に安心して子どもをみてもらえる」が62.9%で最も多く、「祖父母等の親族の身体的負担が大き心配である」(27.4%)、「子どもの発育のため、良い影響があると思っている」(24.2%)と続く。

図表 171

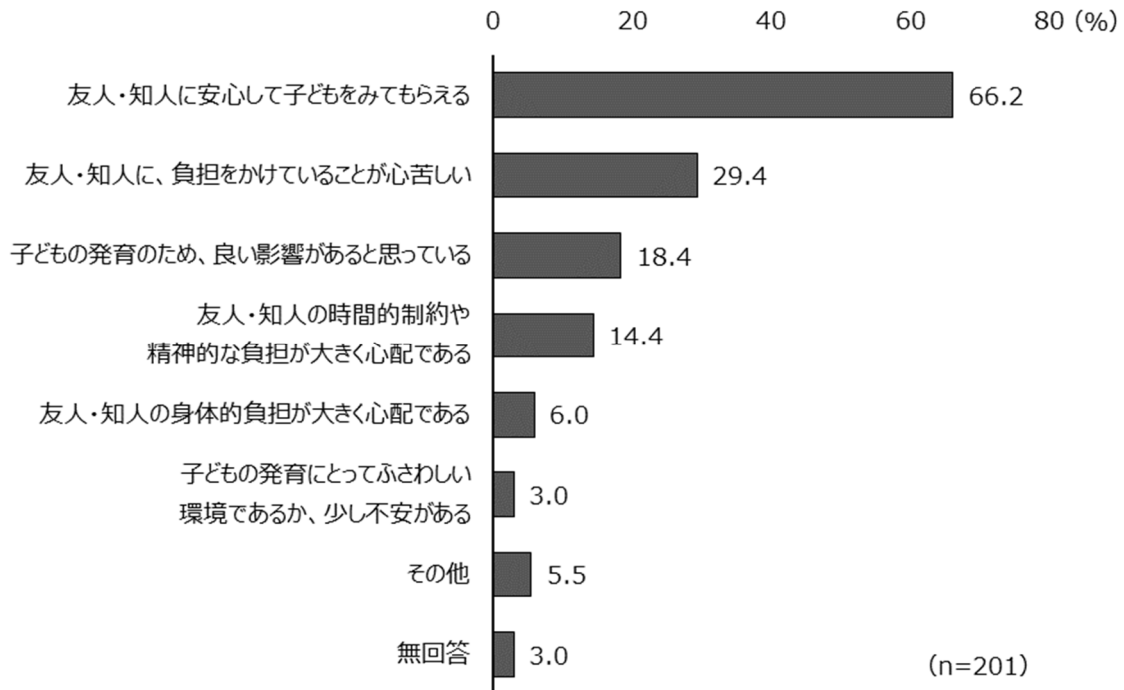


#### 問9-2

問9-2 友人・知人にみてもらっている状況（複数回答）

友人・知人にみてもらっている状況は、「友人・知人に安心して子どもをみてもらえる」が66.2%で最も多く、「友人・知人に、負担をかけていることが心苦しい」(29.4%)、「子どもの発育のため、良い影響があると思っている」(18.4%)と続く。

図表 172



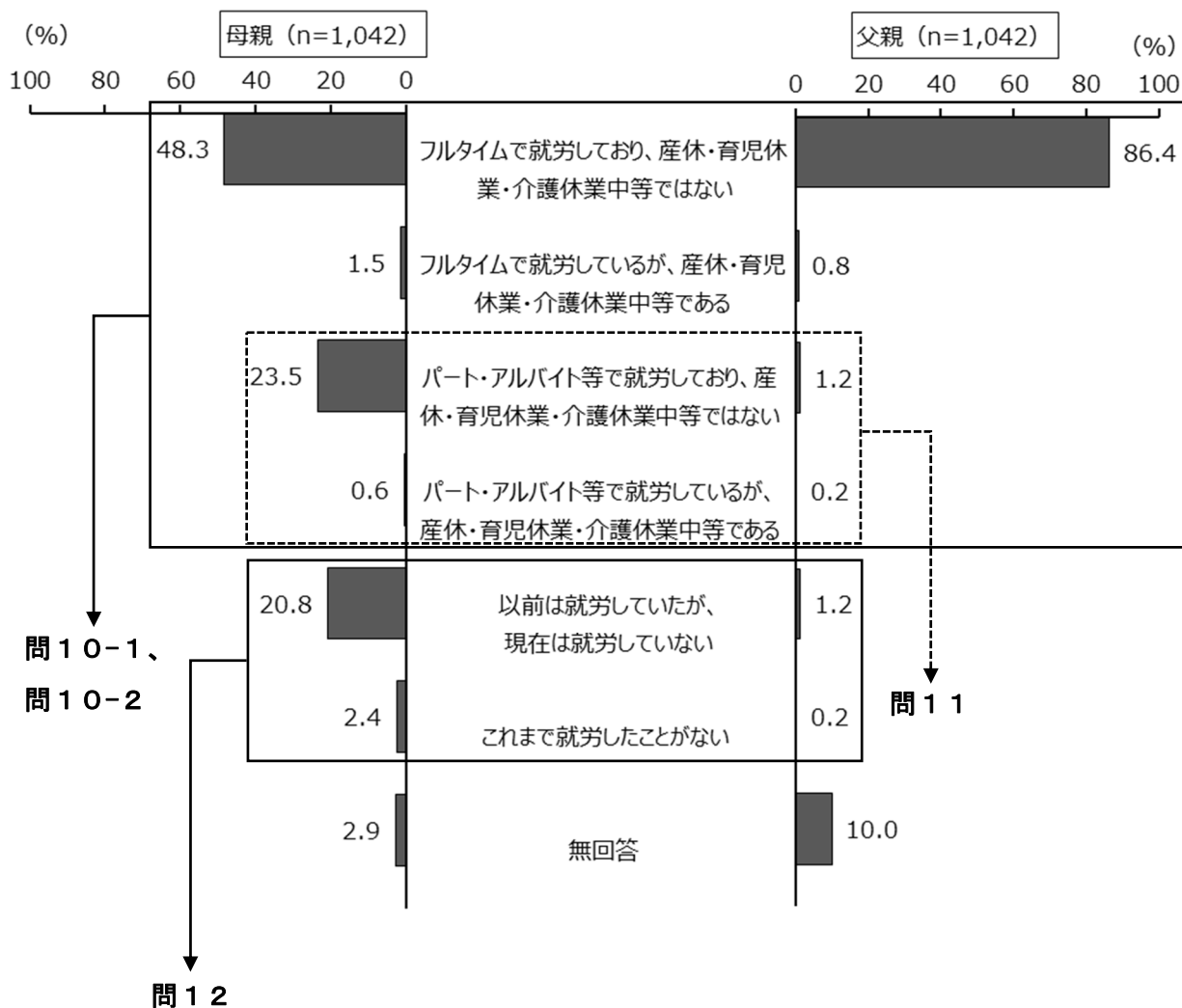
### (3) 子どもの保護者の就労状況について

#### 問10 保護者の就労状況

母親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育児休業・介護休業中等ではない」が48.3%で最も多く、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育児休業・介護休業中等ではない」(23.5%)、「以前は就労していたが、現在は就労していない」(20.8%)と続く。

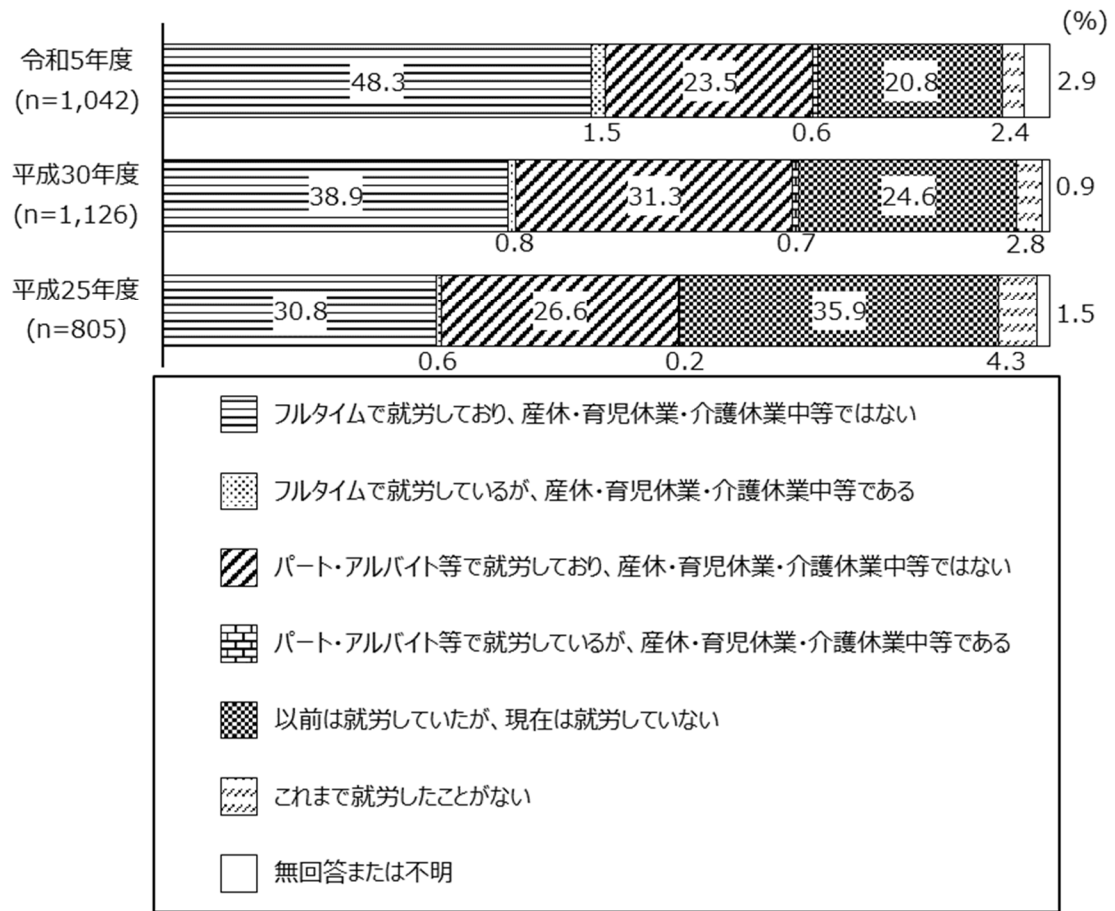
父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育児休業・介護休業中等ではない」が86.4%で最も多く、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育児休業・介護休業中等ではない」と「以前は就労していたが、現在は就労していない」がともに1.2%と続く。

図表 173 就労状況<父母>





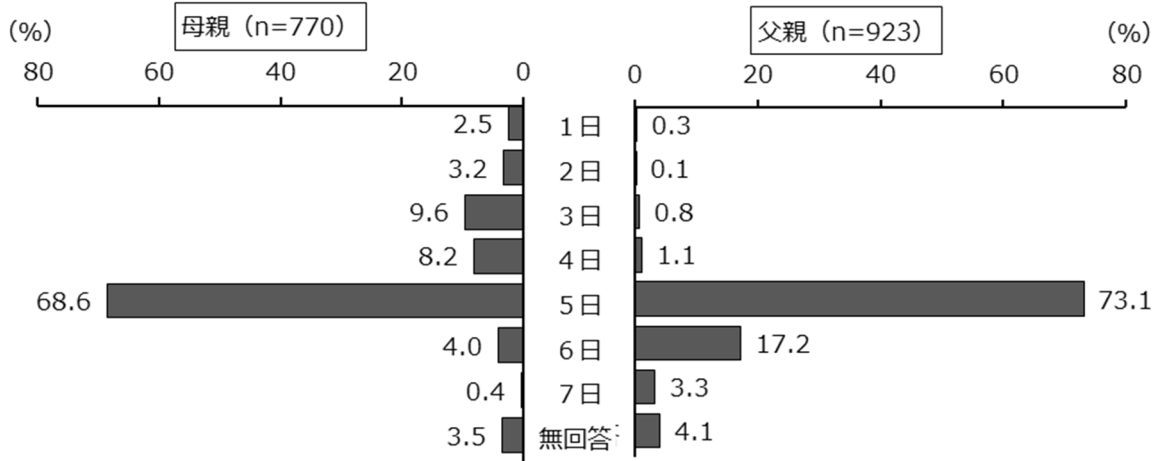
図表 174 母親の就労状況（経年比較）



問10-1 就労日数・時間

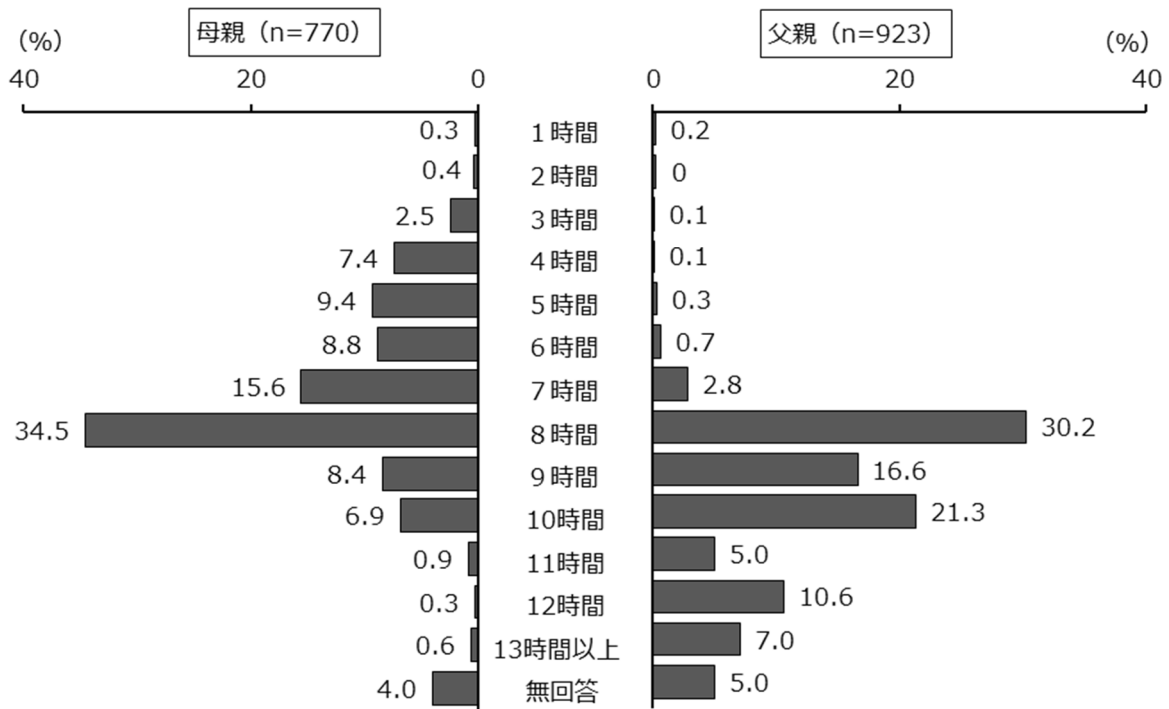
母親の1週当たりの就労日数は、「5日」が68.6%で最も多く、「3日」(9.6%)、「4日」(8.2%)と続く。  
 父親の1週当たりの就労日数は、「5日」が73.1%で最も多く、「6日」(17.2%)、「7日」(3.3%)と続く。

図表 175 1週当たりの就労日数<父母>



母親の1日当たりの就労時間は、「8時間」が34.5%で最も多く、「7時間」(15.6%)、「5時間」(9.4%)と続く。  
 父親の1日当たりの就労時間は、「8時間」が30.2%で最も多く、「10時間」(21.3%)、「9時間」(16.6%)と続く。

図表 176 1日当たりの就労時間<父母>

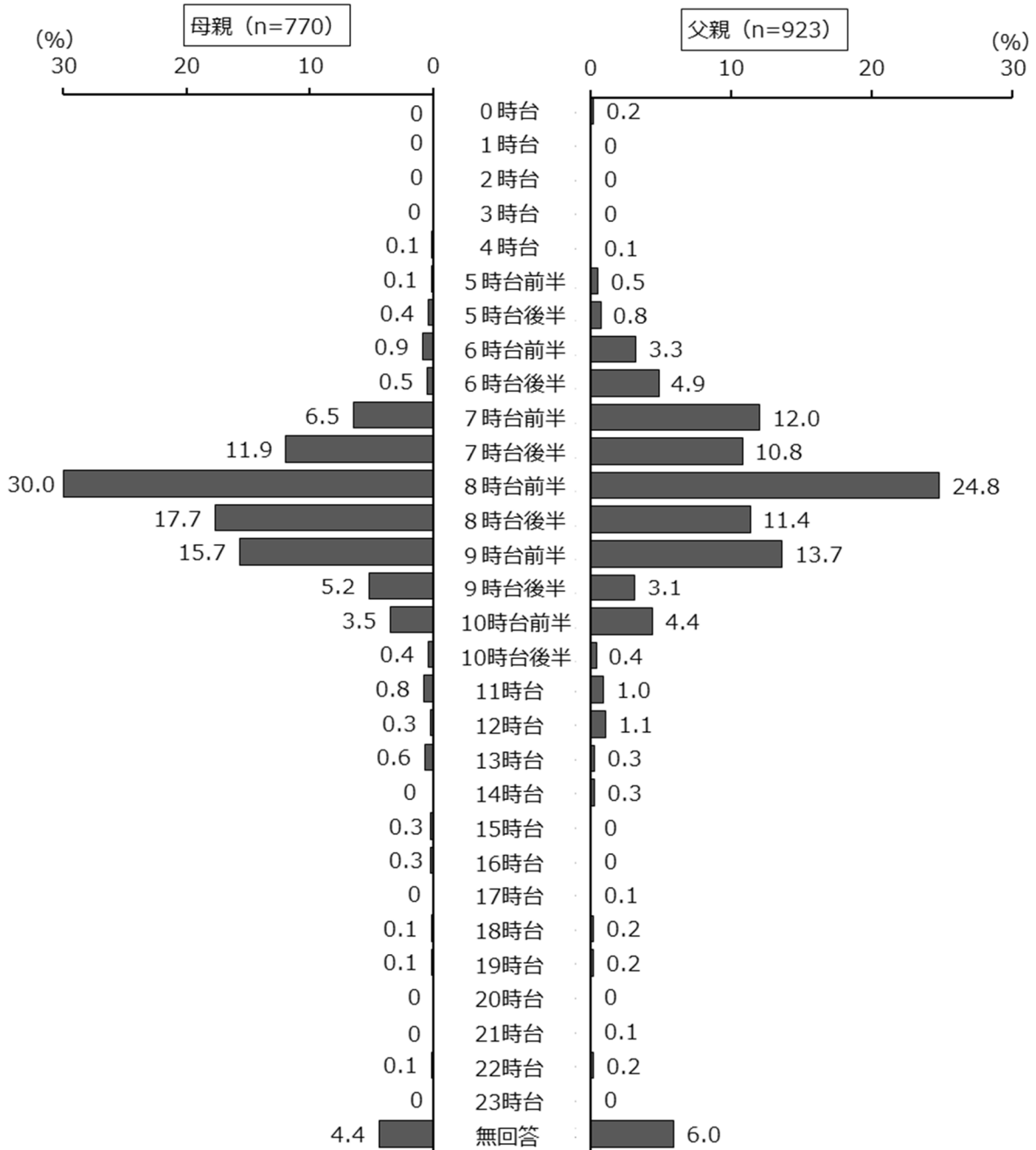


問10-2 家を出る時間・帰宅時間

就労している母親の家を出る時間は、「8時台前半」が30.0%で最も多く、「8時台後半」(17.7%)、「9時台前半」(15.7%)、と続く。

就労している父親の家を出る時間は、「8時台前半」が24.8%で最も多く、「9時台前半」(13.7%)、「7時台前半」(12.0%)、と続く。

図表 177 家を出る時間<父母>

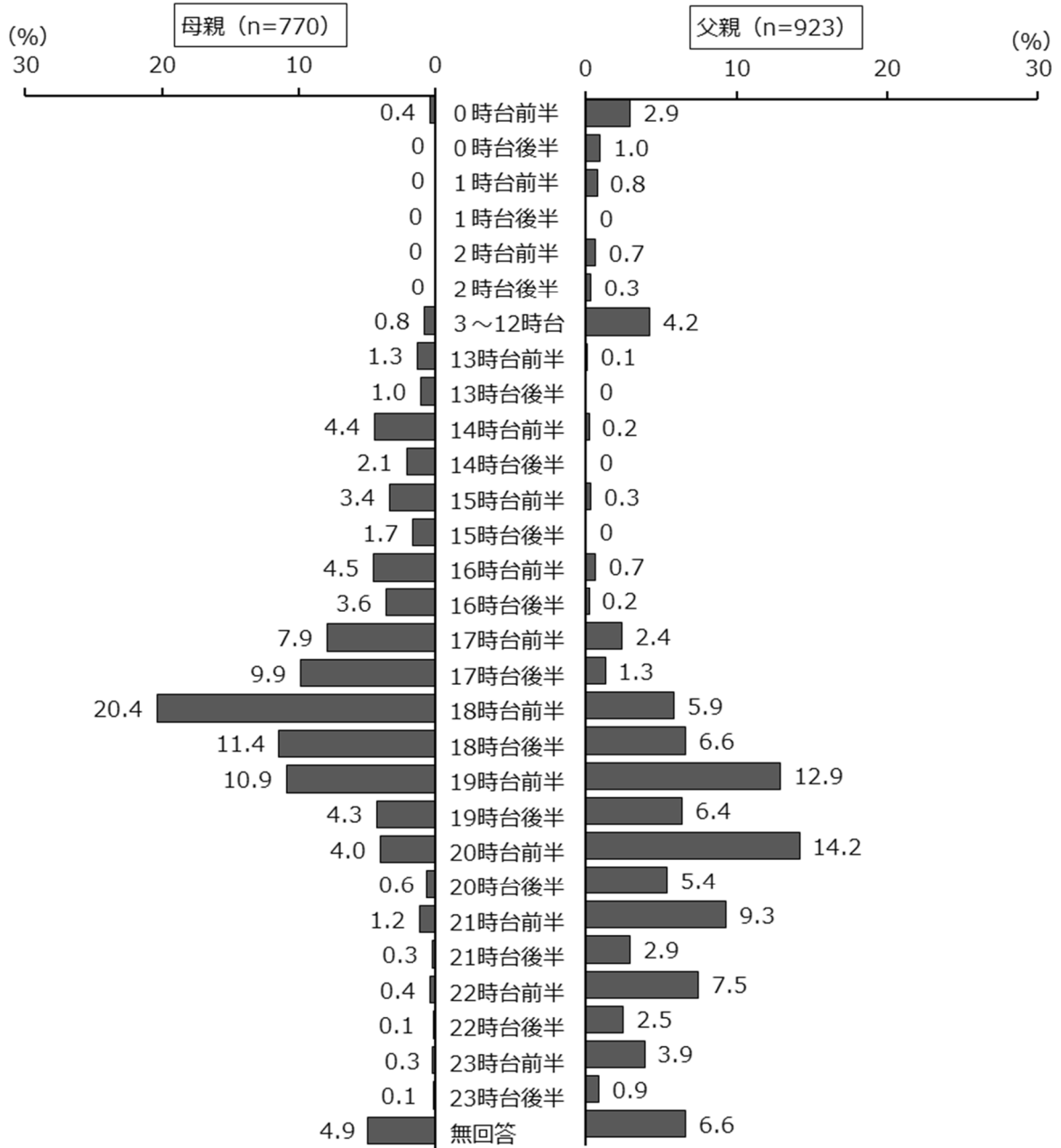


II-② 小学生保護者調査結果

就労している母親の帰宅時間は、「18時台前半」が20.4%で最も多く、「18時台後半」(11.4%)、「19時台前半」(10.9%)と続く。

就労している父親の帰宅時間は、「20時台前半」が14.2%で最も多く、「19時台前半」(12.9%)、「21時台前半」(9.3%)と続く。

図表 178 帰宅時間<父母>

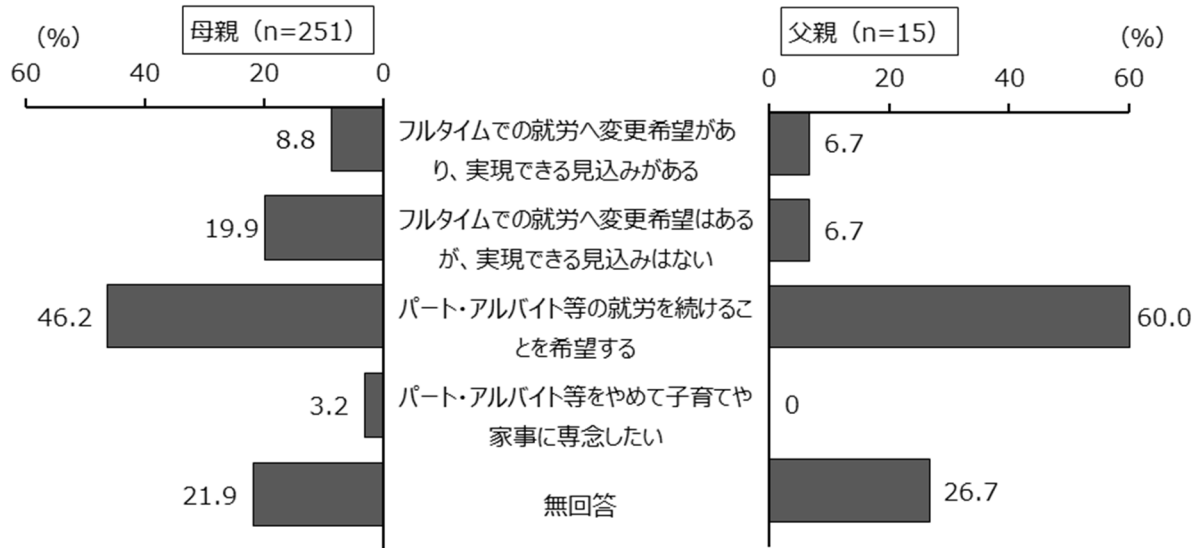


問 1 1 現在、パート・アルバイト等で就労している人のフルタイムへの転換希望<父母>

現在、パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する」が 46.2%で最も多く、「フルタイムでの就労へ変更希望はあるが、実現できる見込みはない」(19.9%)、「フルタイムでの就労へ変更希望があり、実現できる見込みがある」(8.8%)と続く。

現在、パート・アルバイト等で就労している父親のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する」が 60.0%で最も多く、「フルタイムでの就労へ変更希望があり、実現できる見込みがある」と「フルタイムでの就労へ変更希望はあるが、実現できる見込みはない」がともに 6.7%と続く。

図表 179

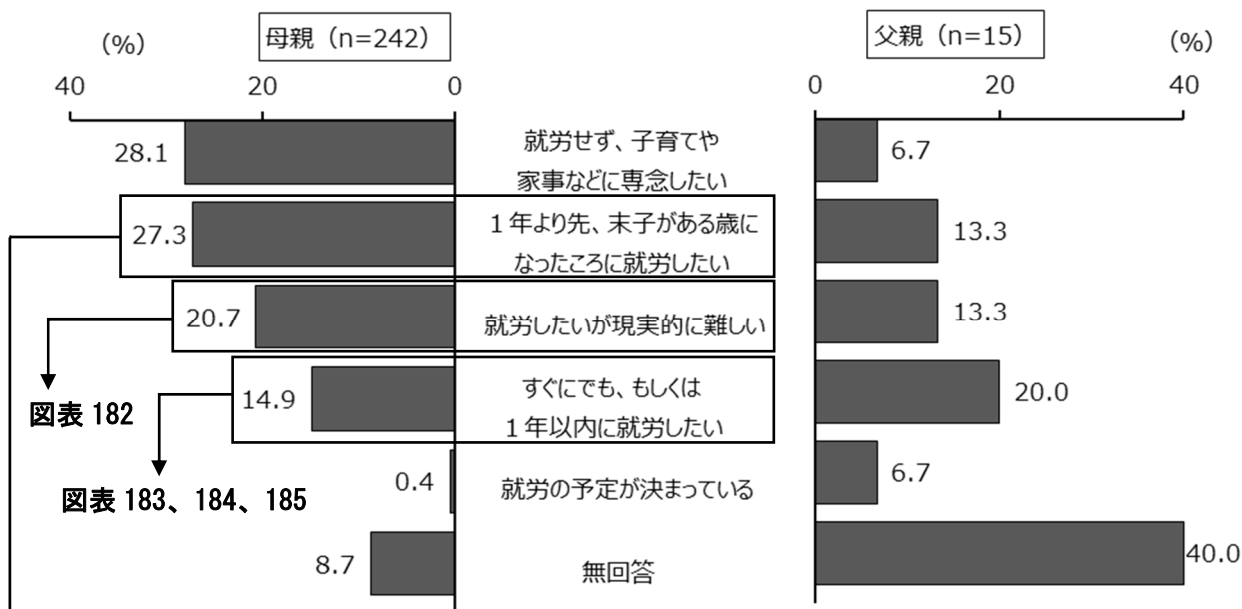


### 問 1 2 現在、就労していない人の就労希望

現在、就労していない母親の就労希望は、「就労せず、子育てや家事などに専念したい」が 28.1%で最も多く、「1年より先、末子がある歳になったころに就労したい」(27.3%)、「就労したいが現実的に難しい」(20.7%)と続く。

現在、就労していない父親の就労希望は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 20.0%で最も多く、「1年より先、末子がある歳になったころに就労したい」と、「就労したいが現実的に難しい」がともに 13.3%と続く。

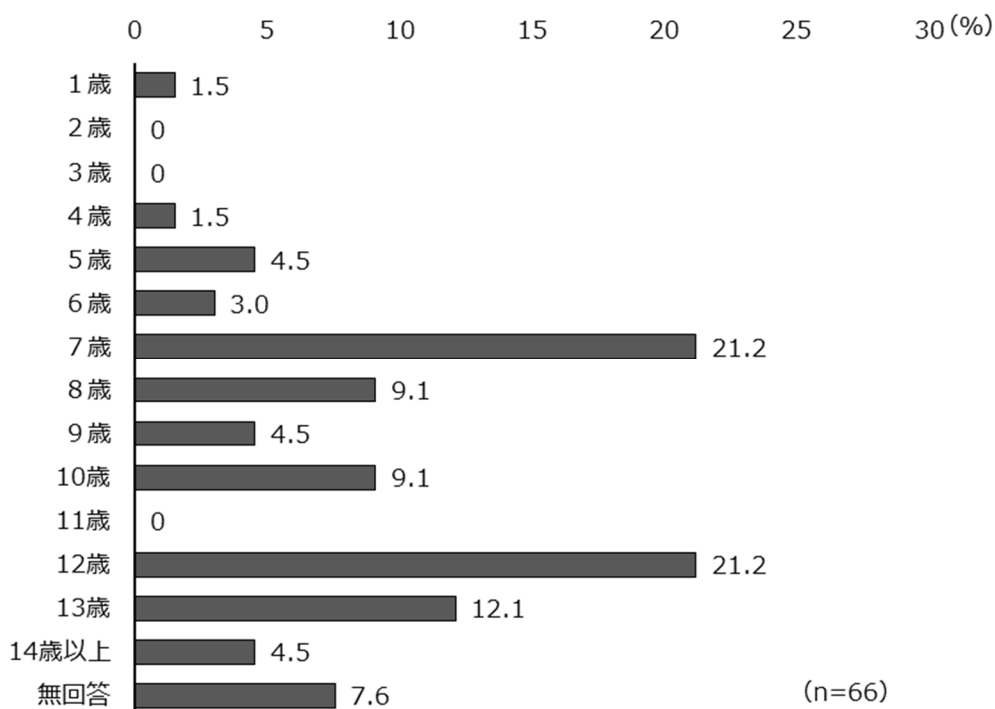
図表 180 現在就労していない人の就労希望<父母>



図表 182

図表 183、184、185

図表 181 「1年より先」に就労を希望する場合の、末子の年齢<母親>



図表 182 就労したいが現実的に難しい理由<母親> (記述)

(n=50)

本人や家族が病弱もしくは病気や障害、介護があるため (18件)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、病気療養中のため。</li> <li>・母親の介護のため。</li> <li>・子どもが病気のため。</li> <li>・子どもに障害があり、小学校の送迎もあるため。</li> </ul>
家事・育児の負担が大きい、両立が難しいため (14件)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・夫の帰りが遅く、何かあっても子どもの世話を代わりにしてくれる人が身近にいない。</li> <li>・子どもが順番に体調不良になりがち。</li> <li>・習い事の迎えや、病気になったときに子どもを見てくれる人がいないため。</li> <li>・3人の子育てとの両立はできそうにない。</li> </ul>
勤務時間や仕事の内容等、希望にあった仕事が見つけれないため (6件)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブランクが開きすぎ、履歴書記入に悩む。自分の出来る仕事がない。</li> <li>・子どもの体調不良等に対応するための急な休みは取りづらいため。</li> <li>・条件が合わない (年齢等)</li> </ul>
子どものために家にいてあげたいため (4件)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが学校から帰った時に家に大人が居てあげたいから。</li> <li>・子どもが母子分離不安のため。</li> </ul>
就労ビザや言語の問題があるため (3件)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビザの変更も必要だし、言語の壁もある。</li> </ul>
その他 (8件)

※ 1人の回答につき、複数の意見を含む場合は、それぞれを分類し件数としてカウントしている。

II-② 小学生保護者調査結果

現在は就労していないが、今後、就労したい母親の希望する就労形態は、「パート」が 52.8%で最も多く、「正規」(13.9%)、「派遣」と「アルバイト」がともに 2.8%と続く。

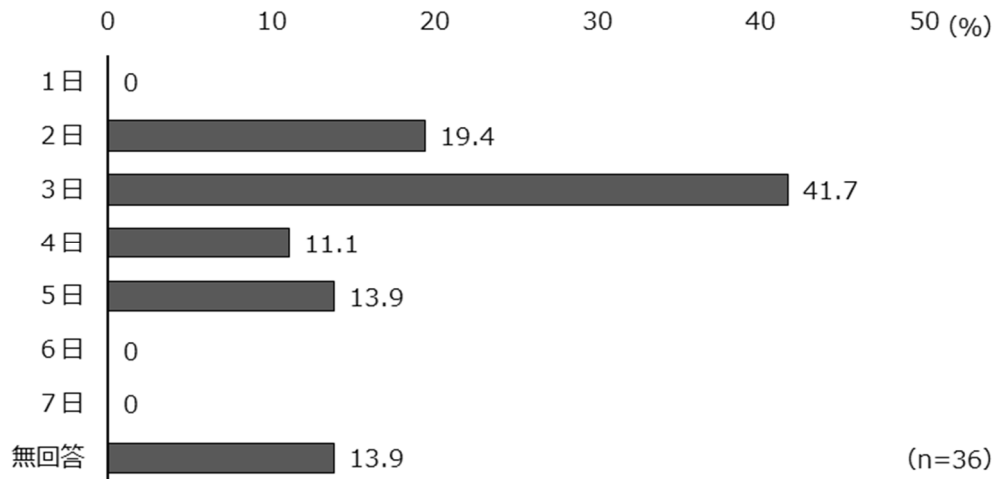
希望する1週当たりの就労日数は、「3日」が 41.7%で最も多く、「2日」(19.4%)、「5日」(13.9%)と続く。

希望する1日当たりの就労時間数は、「5時間」が 30.6%で最も多く、「4時間」と「6時間」がともに 13.9%と続く。

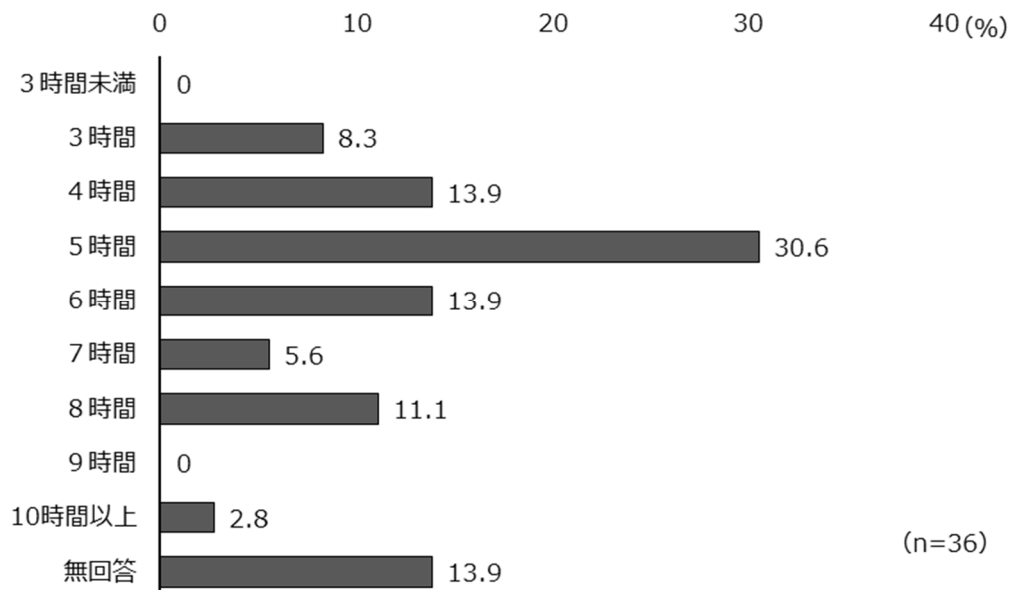
図表 183 今後、就労したい人の希望する就労形態<母親>



図表 184 今後、就労したい人の希望する1週当たりの就労日数<母親>



図表 185 今後、就労したい人の希望する1日当たりの就労時間<母親>





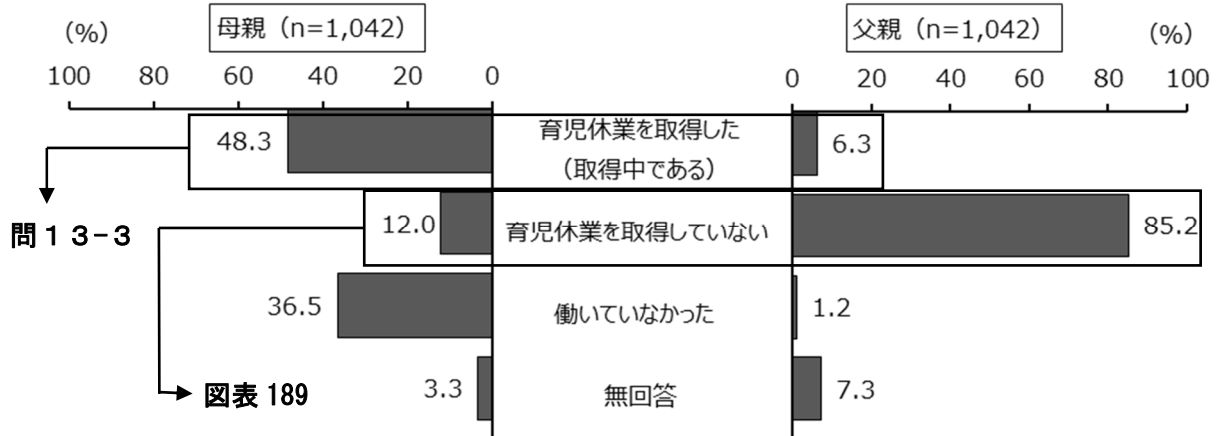
(4) 育児休業や短時間勤務制度など職場での支援制度について

問 1 3 育児休業の取得状況

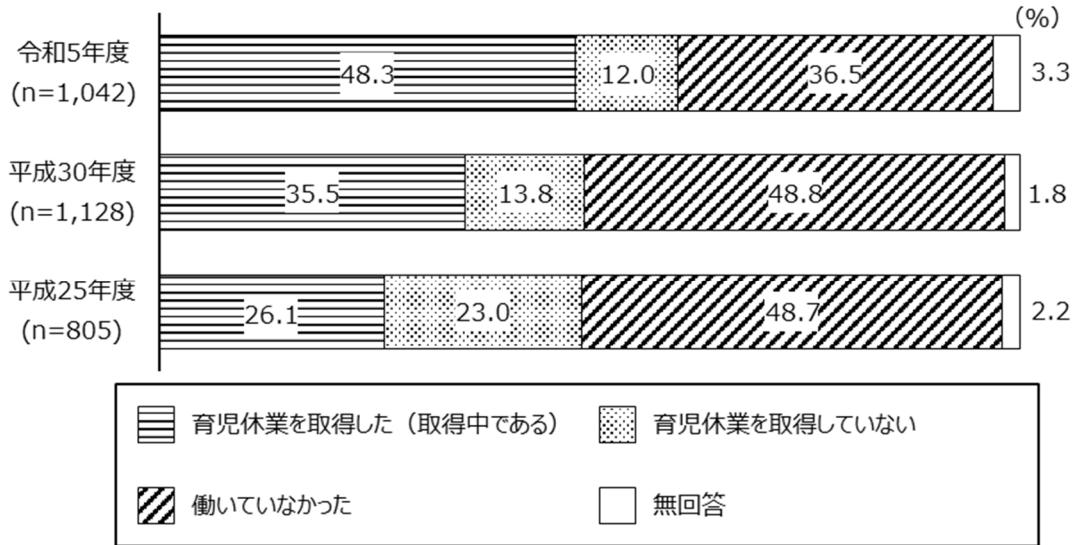
母親の育児休業の取得状況は、「育児休業を取得した(取得中である)」が48.3%で最も多く、「働いていなかった」(36.5%)、「育児休業を取得していない」(12.0%)と続く。

父親の育児休業の取得状況は、「育児休業を取得していない」が85.2%で最も多く、「育児休業を取得した(取得中である)」(6.3%)、「働いていなかった」(1.2%)と続く。

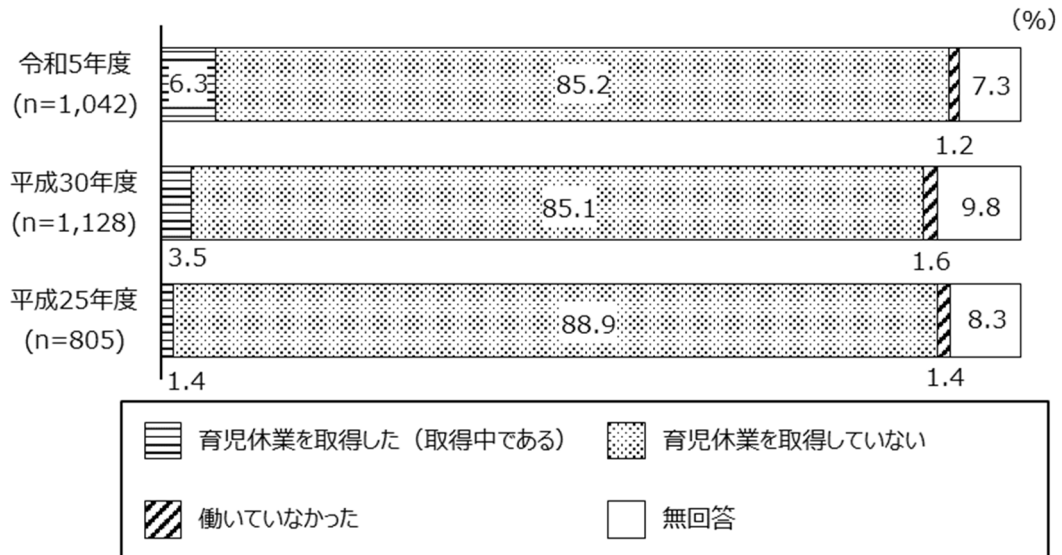
図表 186 育児休業の取得状況<父母>



図表 187 育児休業の取得状況<母親> (経年比較)



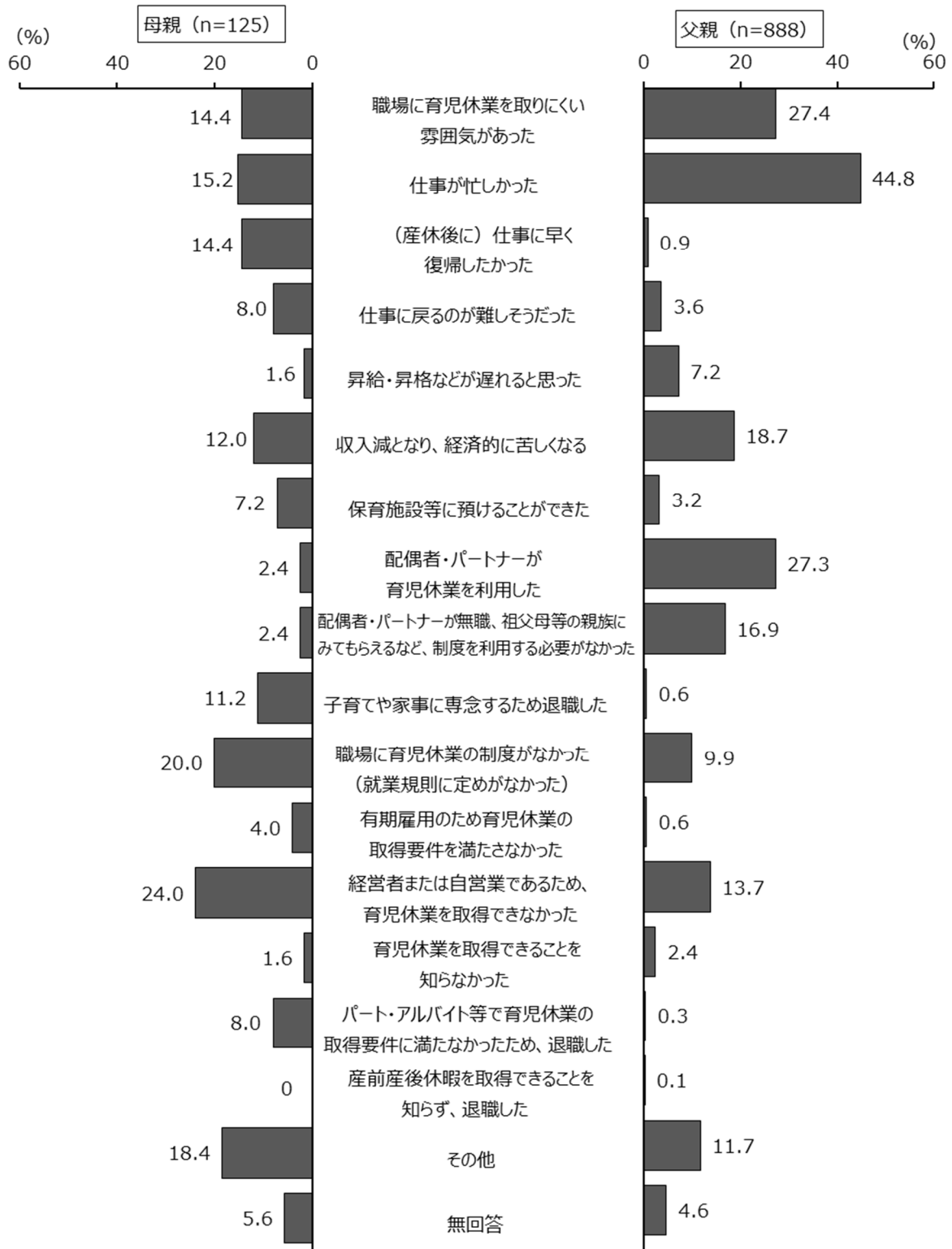
図表 188 育児休業の取得状況<父親> (経年比較)



母親の育児休業を取得していない理由は、「経営者または自営業であるため、育児休業を取得できなかった」が24.0%で最も多く、「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」(20.0%)、「仕事が忙しかった」(15.2%)と続く。

父親の育児休業を取得していない理由は、「仕事が忙しかった」が44.8%で最も多く、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(27.4%)、「配偶者・パートナーが育児休業を利用した」(27.3%)と続く。

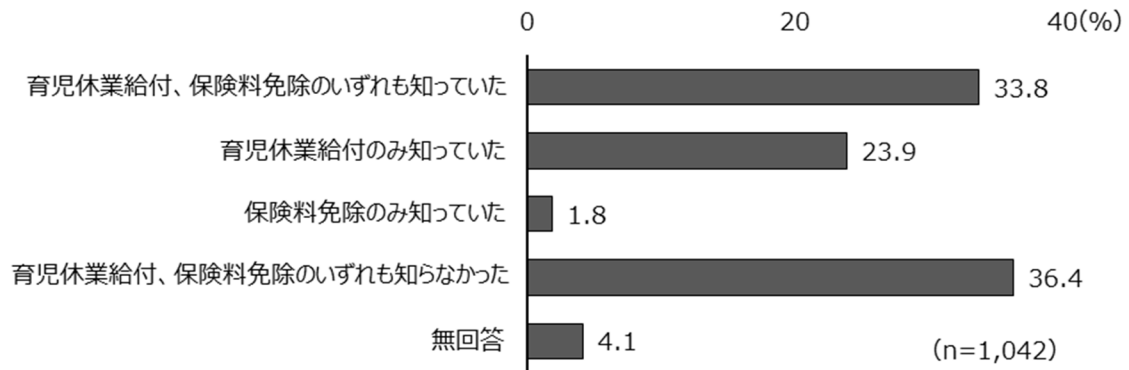
図表 189 育児休業を取得していない理由 <父母> (複数回答)



### 問 1 3-1 育児休業給付及び健康保険、厚生年金保険や国民年金の保険料が免除になる仕組みの認知

育児休業給付や保険料免除については、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が 36.4%で最も多く、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」(33.8%)、「育児休業給付のみ知っていた」(23.9%)と続く。

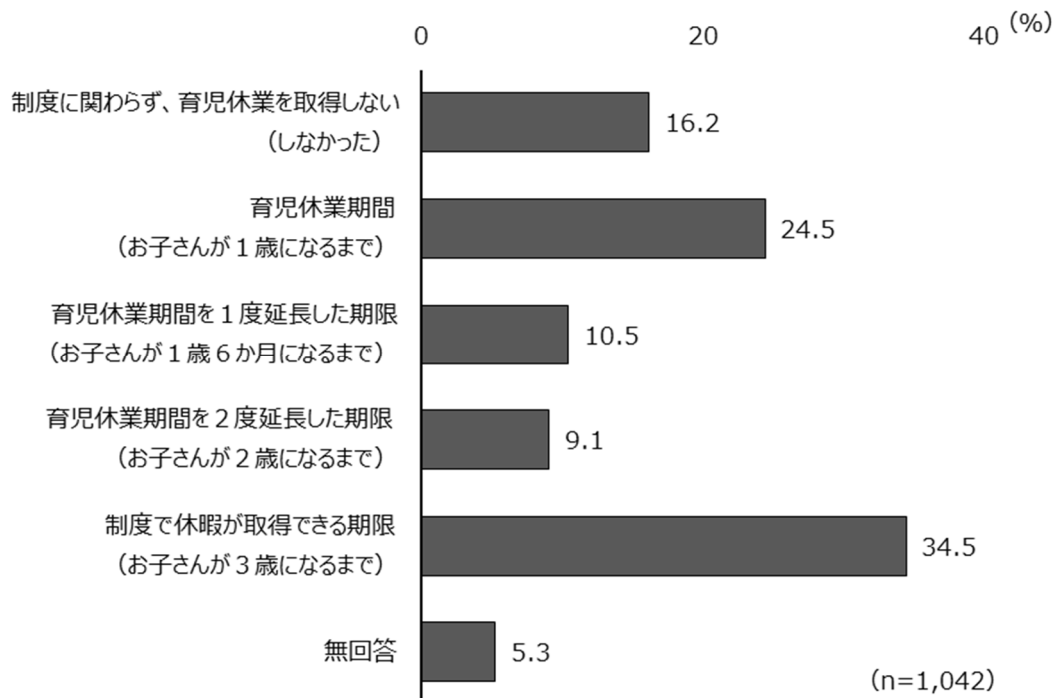
図表 190



### 問 1 3-2 育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の取得希望時期

育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の取得希望時期は、「制度で休暇が取得できる期限(お子さんが3歳になるまで)」が 34.5%で最も多く、「育児休業期間(お子さんが1歳になるまで)」(24.5%)、「制度に関わらず、育児休業を取得しない(しなかった)」(16.2%)と続く。

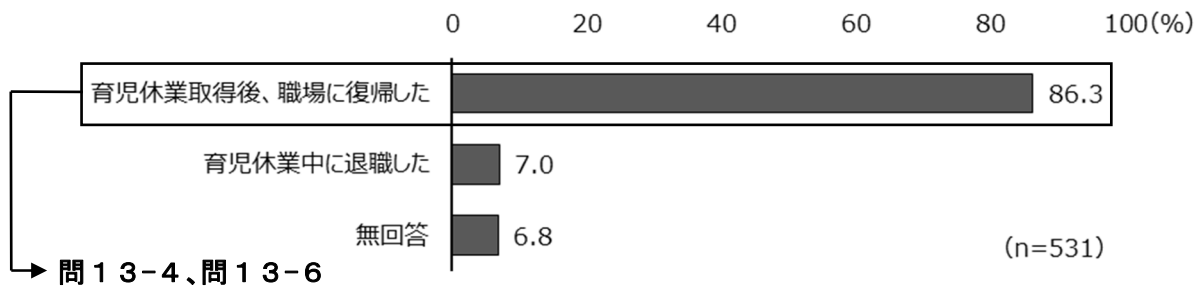
図表 191



### 問 13-3 育児休業からの職場復帰

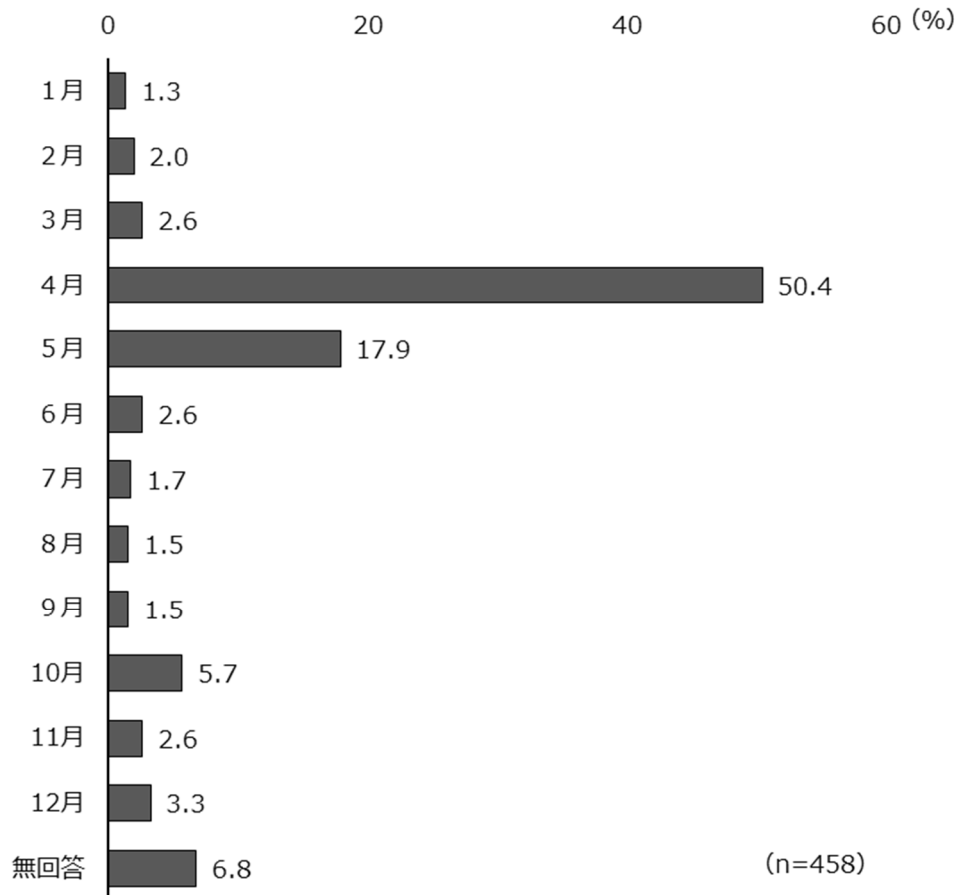
育児休業を取得した人の職場復帰時期は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 86.3%で、「育児休業中に退職した」が 7.0%となっている。

図表 192 育児休業からの職場復帰状況



職場に復帰した時期は、「4月」が 50.4%で最も多く、「5月」(17.9%)、「10月」(5.7%)と続く。

図表 193 職場復帰した月

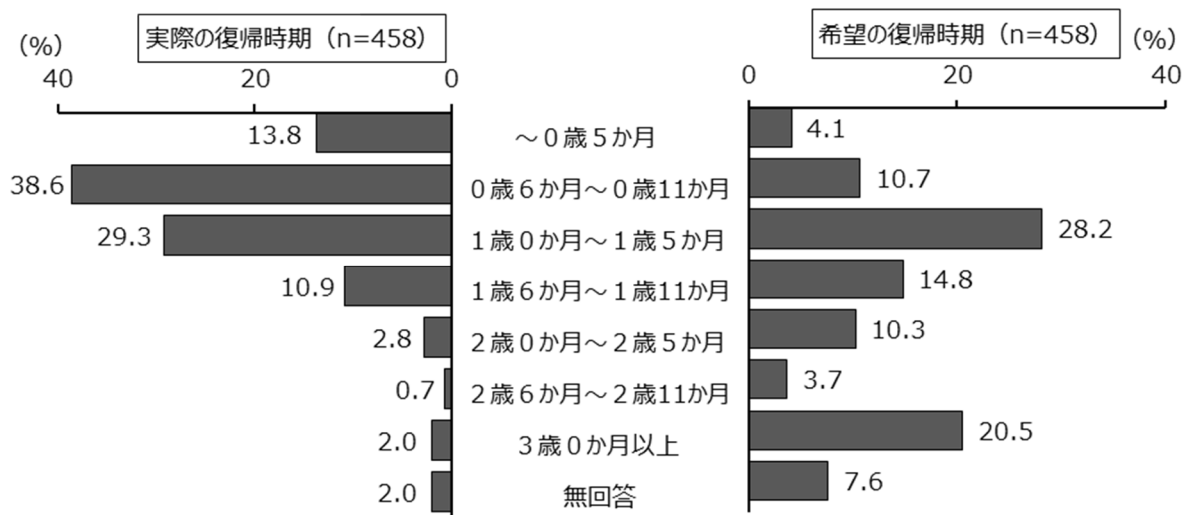


### 問 13-4 育児休業からの実際の復帰時期／希望の復帰時期

実際の復帰時期は、「0歳6か月～0歳11か月」が 38.6%で最も多く、「1歳0か月～1歳5か月」(29.3%)、「～0歳5か月」(13.8%)と続く。

希望の復帰時期は、「1歳0か月～1歳5か月」が 28.2%で最も多く、「3歳0か月以上」(20.5%)、「1歳6か月～1歳11か月」(14.8%)と続く。

図表 194

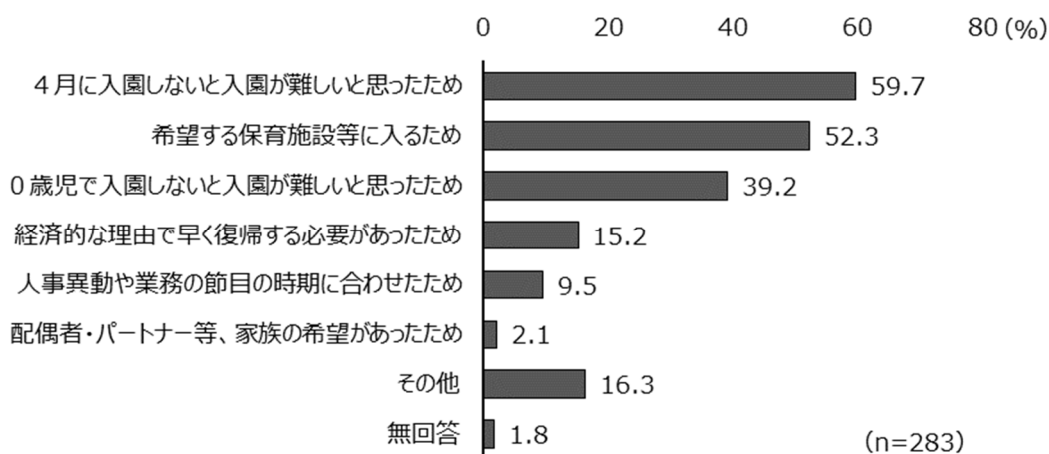


### 問 13-5 希望の時期に職場復帰しなかった理由

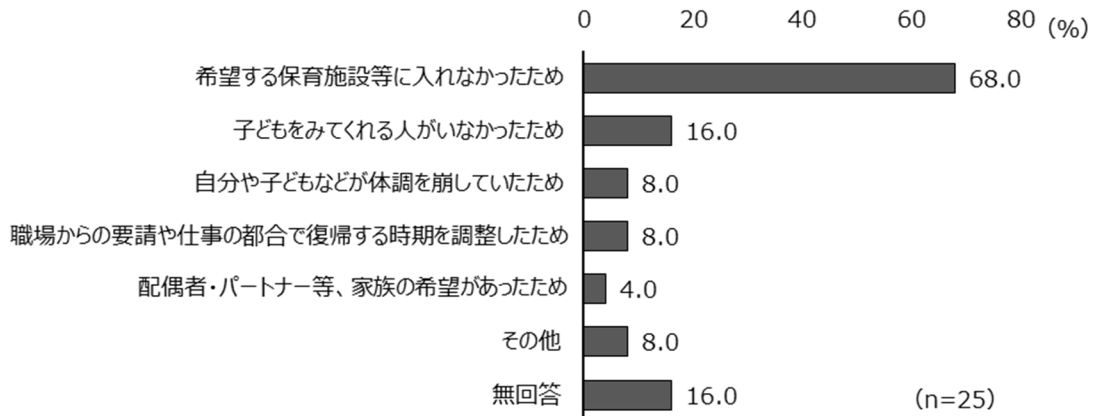
職場復帰の時期について、実際には希望の時期より早く復帰した理由は、「4月に入園しないと入園が難しいと思ったため」が 59.7%で最も多く、「希望する保育施設等に入るため」(52.3%)、「0歳児で入園しないと入園が難しいと思ったため」(39.2%)と続く。

実際には希望の時期より遅く復帰した理由は、「希望する保育施設等に入れなかったため」が 68.0%で最も多く、「子どもをみてくれる人がいなかったため」(16.0%)、「自分や子どもなどが体調を崩していたため」と「職場からの要請や仕事の都合で復帰する時期を調整したため」がともに 8.0%と続く。

図表 195 希望の時期より早く復帰した理由 (複数回答)



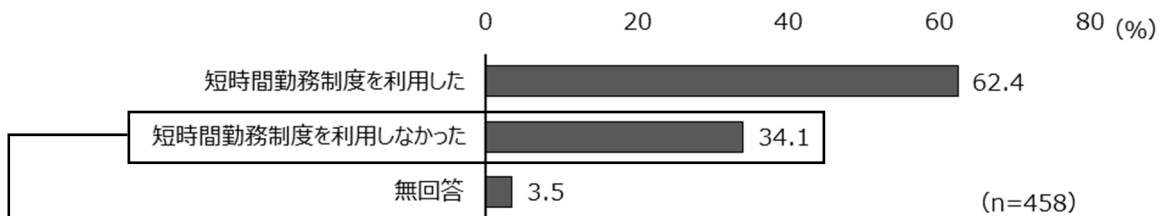
図表 196 希望の時期より遅く復帰した理由（複数回答）



問 1 3-6 職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況

職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況は、「短時間勤務制度を利用した」は 62.4%、「短時間勤務制度を利用しなかった」は 34.1%となっている。

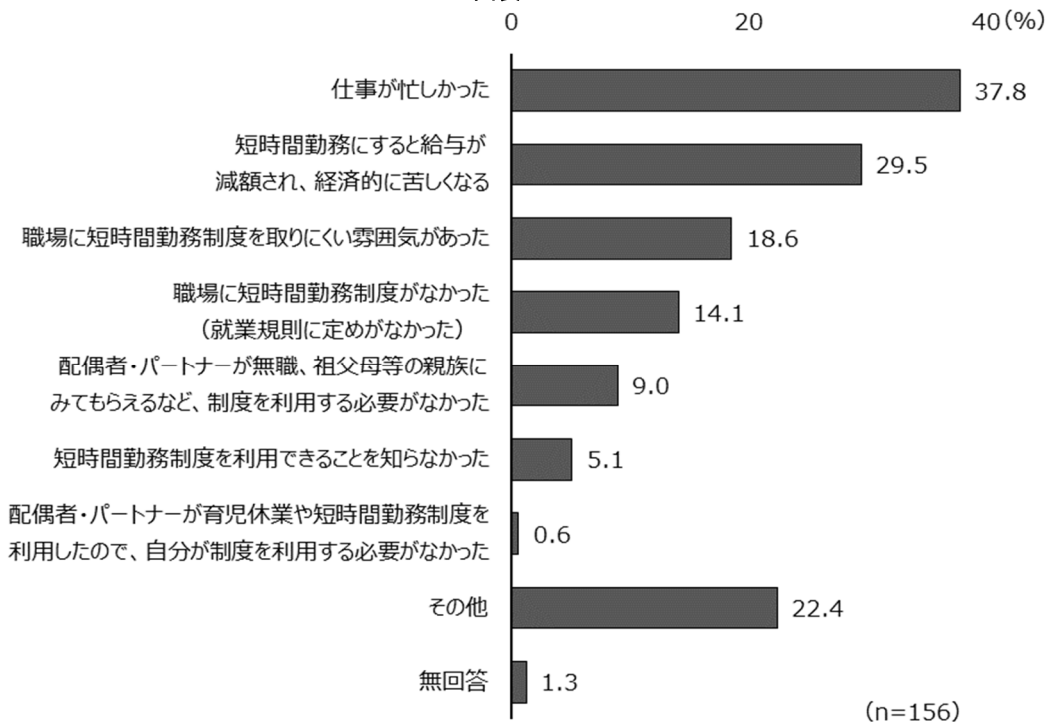
図表 197



問 1 3-7 短時間勤務制度を利用しなかった理由（複数回答）

短時間勤務制度を利用しなかった理由は、「仕事が忙しかった」が 37.8%で最も多く、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」(29.5%)、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」(18.6%)と続く。

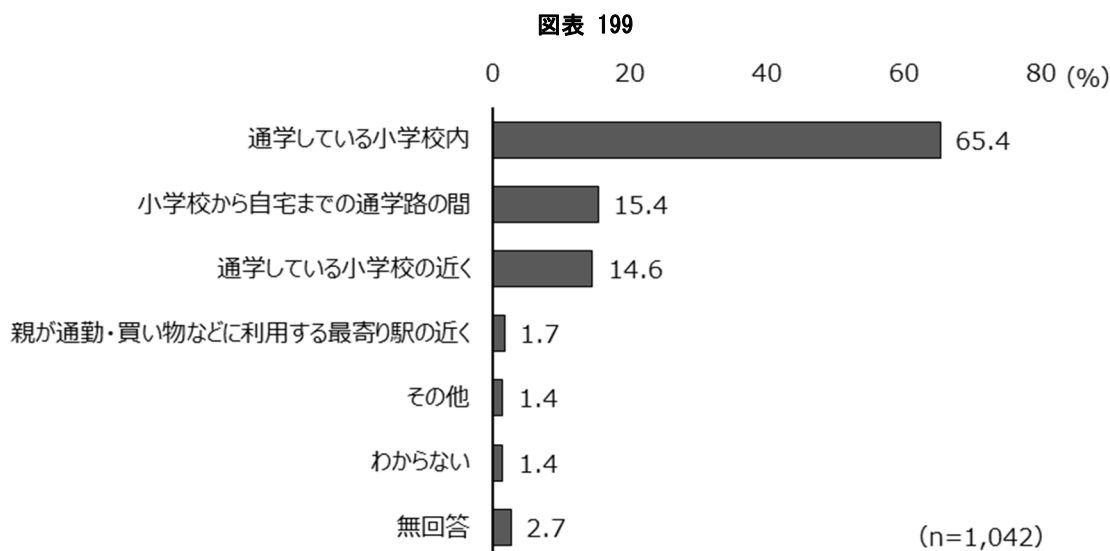
図表 198



## (5) 放課後の過ごし方について

### 問14 利用しやすい小学生の放課後の居場所

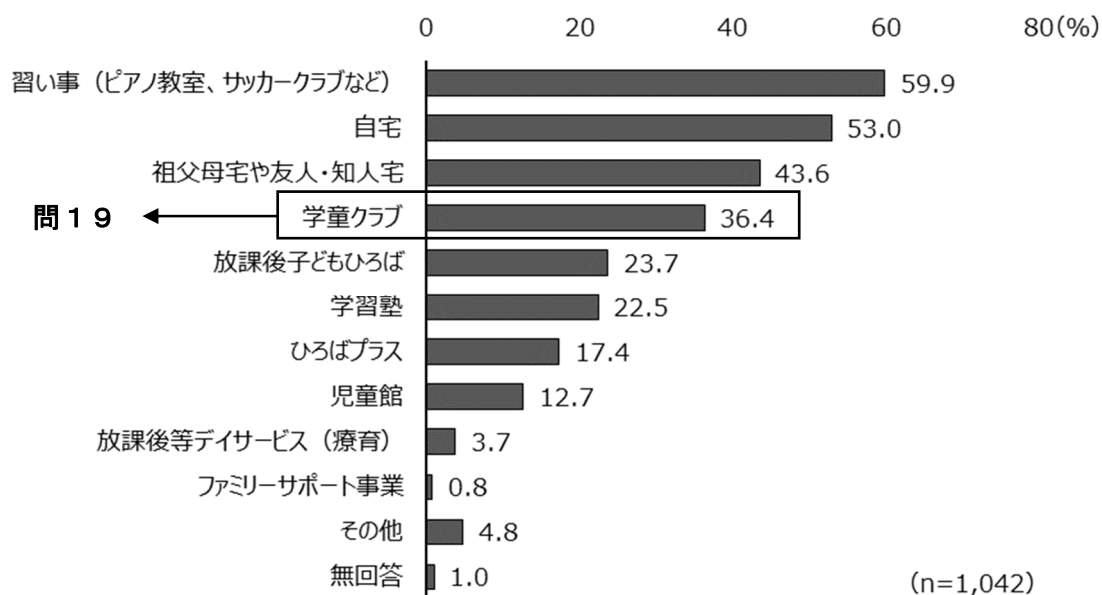
利用しやすい小学生の放課後の居場所は、「通学している小学校内」が65.4%で最も多く、「小学校から自宅までの通学路の間」(15.4%)、「通学している小学校の近く」(14.6%)と続く。



### 問15 小学校低学年(1~3年生)のときの放課後の過ごし方の希望

小学校低学年(1~3年生)のときに、放課後を過ごさせたい場所は、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブなど)」が59.9%で最も多く、「自宅」(53.0%)、「祖父母宅や友人・知人宅」(43.6%)と続く。

図表 200 小学校低学年(1~3年生)のときに、放課後を過ごさせたい場所(複数回答)





図表 201 小学校低学年（1～3年生）のときに、放課後を過ごさせたい場所<母親の就労状況別>

	全体 (n)	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事 (ピアノ教室、サッカークラブなど)	学習塾	児童館	放課後子どもひろば
フルタイムで就労しており、産休・育児休業・介護休業中等ではない	503	38.8	45.5	54.7	21.1	10.9	13.7
フルタイムで就労しているが、産休・育児休業・介護休業中等である	16	37.5	50.0	50.0	12.5	0	12.5
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育児休業・介護休業中等ではない	245	60.8	42.9	60.4	21.6	16.3	34.3
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育児休業・介護休業中等である	6	100.0	33.3	33.3	33.3	0	16.7
以前は就労していたが、現在は就労していない	217	76.0	38.7	76.5	26.7	15.2	35.0
これまで就労したことがない	25	80.0	48.0	56.0	28.0	4.0	40.0
無回答	30	36.7	46.7	36.7	20.0	10.0	16.7

(%)

	ひろばプラス	学童クラブ	放課後等デイサービス (療育)	ファミリーサポート事業	その他	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育児休業・介護休業中等ではない	19.7	57.1	4.6	1.4	3.4	0
フルタイムで就労しているが、産休・育児休業・介護休業中等である	25.0	37.5	0	0	0	6.3
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育児休業・介護休業中等ではない	19.2	23.3	1.6	0	5.7	1.2
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育児休業・介護休業中等である	16.7	0	0	0	0	0
以前は就労していたが、現在は就労していない	10.6	10.1	4.6	0.5	7.4	0.5
これまで就労したことがない	8.0	8.0	4.0	0	4.0	4.0
無回答	16.7	16.7	3.3	0	6.7	13.3

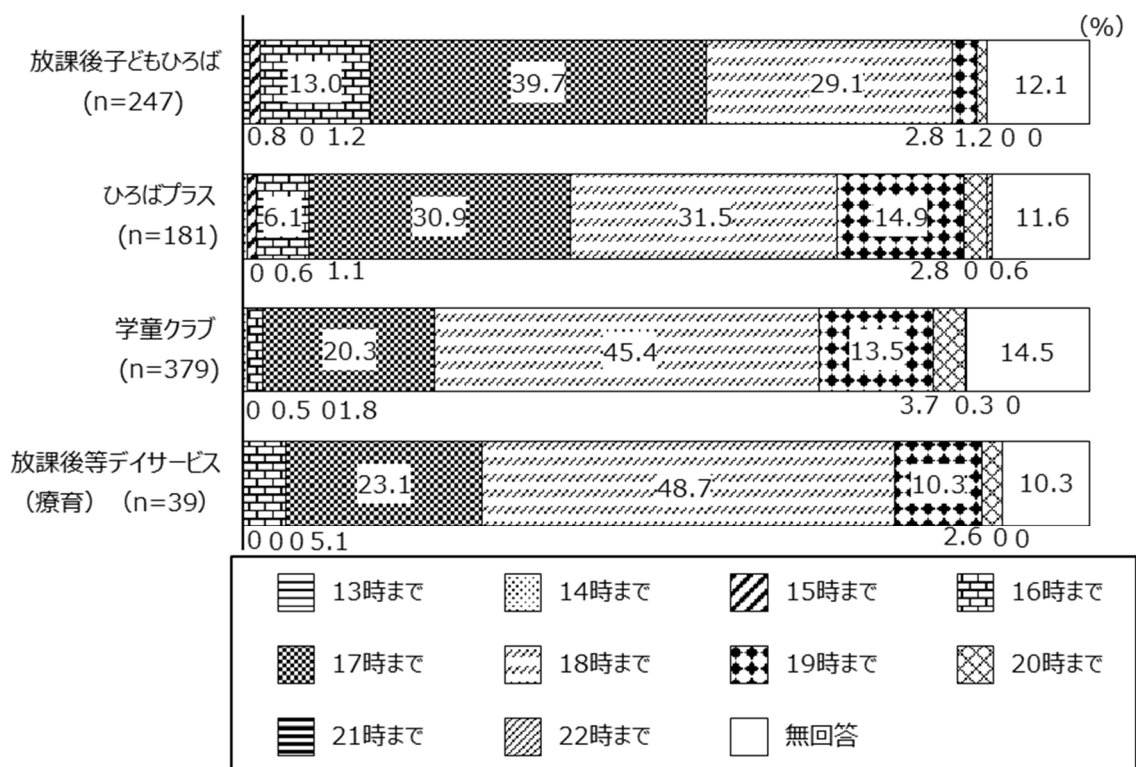
※ 網掛けは50%以上のもの

図表 202 小学校低学年（1～3年生）のときに、放課後を過ごさせたい場所別週当たり希望利用日数

	全体 (n)	週1日 くらい	週2日 くらい	週3日 くらい	週4日 くらい	週5日 くらい	週6日 くらい	週7日 くらい	無回答
自宅	552	24.3	30.1	19.6	5.8	14.3	0.9	1.4	3.6
祖父母宅や友人・知人宅	454	18.3	5.7	0.7	0.2	2.0	0	0.2	72.9
習い事	624	33.3	46.2	14.9	1.8	2.1	0	0	1.8
学習塾	234	52.1	38.9	4.7	0.9	1.7	0	0	1.7
児童館	132	49.2	19.7	9.8	2.3	9.8	0	0	9.1
放課後子どもひろば	247	31.6	27.1	11.7	2.8	13.8	0	0	13.0
ひろばプラス	181	8.8	14.9	19.3	8.8	28.2	0	0	19.9
学童クラブ	379	6.1	16.4	23.0	8.7	39.3	0.8	0	5.8
放課後等デイサービス (療育)	39	25.6	15.4	15.4	2.6	17.9	0	0	23.1
ファミリーサポート事業	8	62.5	12.5	0	25.0	0	0	0	0
その他	50	24.0	22.0	28.0	4.0	20.0	0	0	2.0

※ 網掛けは「無回答」を除き、30%以上のもの

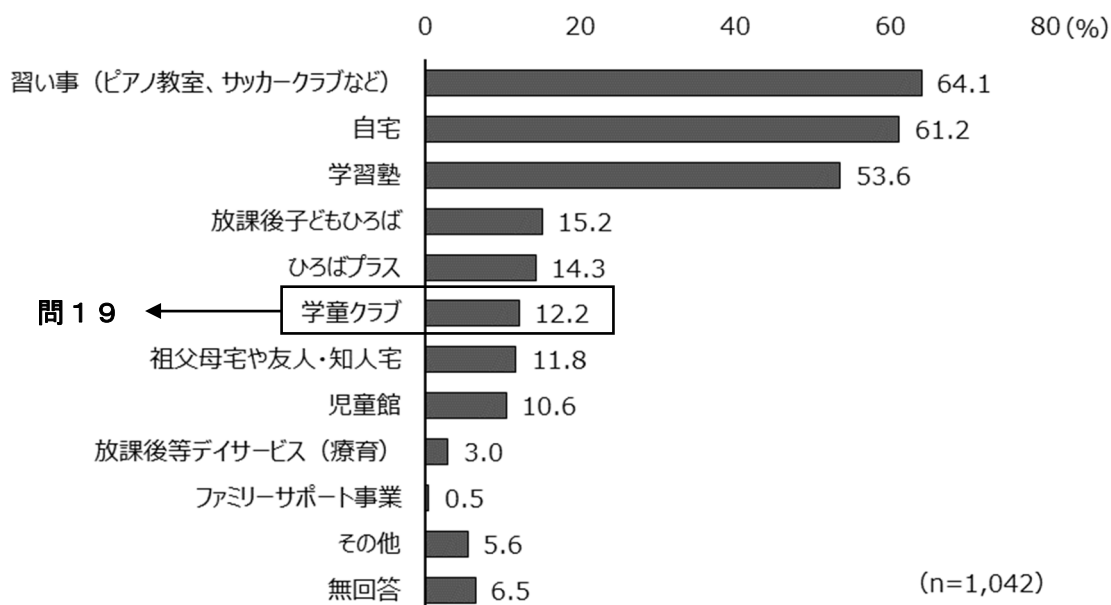
図表 203 小学校低学年（1～3年生）のときに、「放課後子どもひろば」「ひろばプラス」「学童クラブ」「放課後等デイサービス（療育）」の利用を希望する時間



問 16 小学校高学年（4～6年生）のときの放課後の過ごし方の希望

小学校高学年（4～6年生）のときに、放課後を過ごさせたい場所は、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブなど）」が64.1%で最も多く、「自宅」（61.2%）、「学習塾」（53.6%）と続く。

図表 204 小学校高学年（4～6年生）のときに、放課後を過ごさせたい場所（複数回答）



図表 205 小学校高学年（４～６年生）のときに、放課後を過ごさせたい場所＜母親の就労状況別＞

(%)

	全体 (n)	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事 (ピアノ教室、サッカークラブなど)	学習塾	児童館	放課後子どもひろば
フルタイムで就労しており、産休・育児休業・介護休業中等ではない	503	57.7	11.3	63.2	55.1	9.7	9.3
フルタイムで就労しているが、産休・育児休業・介護休業中等である	16	31.3	12.5	75.0	50.0	6.3	6.3
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育児休業・介護休業中等ではない	245	62.4	12.2	64.5	49.4	12.2	19.6
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育児休業・介護休業中等である	6	66.7	0	66.7	66.7	16.7	16.7
以前は就労していたが、現在は就労していない	217	72.4	11.5	69.6	55.3	12.0	24.9
これまで就労したことがない	25	68.0	20.0	56.0	64.0	4.0	16.0
無回答	30	40.0	13.3	36.7	43.3	6.7	10.0

(%)

	ひろばプラス	学童クラブ	放課後等デイサービス (療育)	ファミリーサポート事業	その他	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育児休業・介護休業中等ではない	19.1	18.9	3.0	0.8	2.4	4.0
フルタイムで就労しているが、産休・育児休業・介護休業中等である	25.0	12.5	0	0	12.5	6.3
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育児休業・介護休業中等ではない	12.7	6.5	2.0	0	9.4	8.6
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育児休業・介護休業中等である	16.7	0	0	0	0	16.7
以前は就労していたが、現在は就労していない	6.5	5.1	4.1	0.5	7.8	5.5
これまで就労したことがない	0	4.0	4.0	0	4.0	4.0
無回答	10.0	6.7	3.3	0	10.0	40.0

※ 網掛けは50%以上のもの

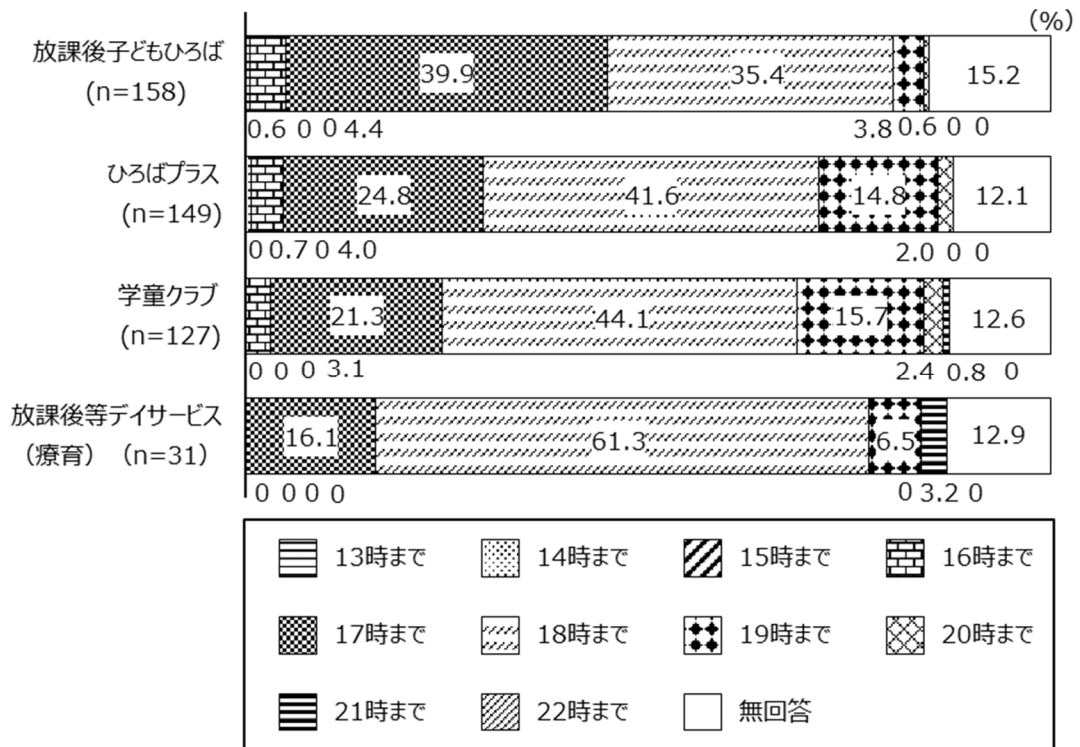
図表 206 小学校高学年（４～６年生）のときに、放課後を過ごさせたい場所別週当たり希望利用日数

(%)

	全体 (n)	週1日 くらい	週2日 くらい	週3日 くらい	週4日 くらい	週5日 くらい	週6日 くらい	週7日 くらい	無回答
自宅	638	27.0	33.2	16.8	3.6	14.3	0.2	1.3	3.8
祖父母宅や友人・知人宅	123	65.0	19.5	3.3	0	4.9	0.8	0	6.5
習い事	668	35.3	44.5	12.0	1.9	2.2	0	0	4.0
学習塾	559	22.9	46.3	23.3	3.4	2.0	0	0	2.1
児童館	110	42.7	27.3	8.2	1.8	10.0	0	0	10.0
放課後子どもひろば	158	29.7	32.3	12.7	4.4	13.9	0	0	7.0
ひろばプラス	149	21.5	25.5	18.1	4.7	22.1	0	0	8.1
学童クラブ	127	11.0	24.4	15.7	3.1	30.7	0.8	0	14.2
放課後等デイサービス (療育)	31	25.8	12.9	9.7	6.5	19.4	0	0	25.8
ファミリーサポート事業	5	60.0	0	0	40.0	0	0	0	0
その他	58	24.1	34.5	13.8	5.2	12.1	0	0	10.3

※ 網掛けは30%以上のもの

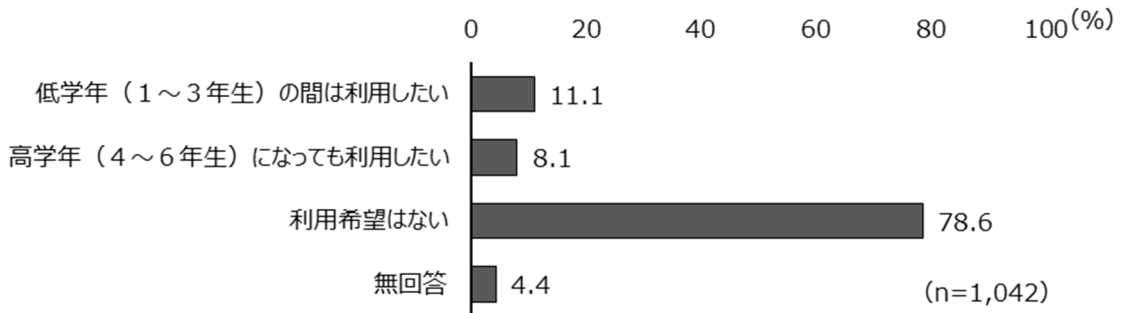
図表 207 小学校高学年（4～6年生）のときに、「放課後子どもひろば」「ひろばプラス」「学童クラブ」「放課後等デイサービス（療育）」の利用を希望する時間



問 17 土曜日の学童クラブの利用希望の有無・利用希望回数

土曜日の学童クラブの利用希望は、「利用希望はない」が 78.6%で最も多く、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」(11.1%)、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」(8.1%)と続く。

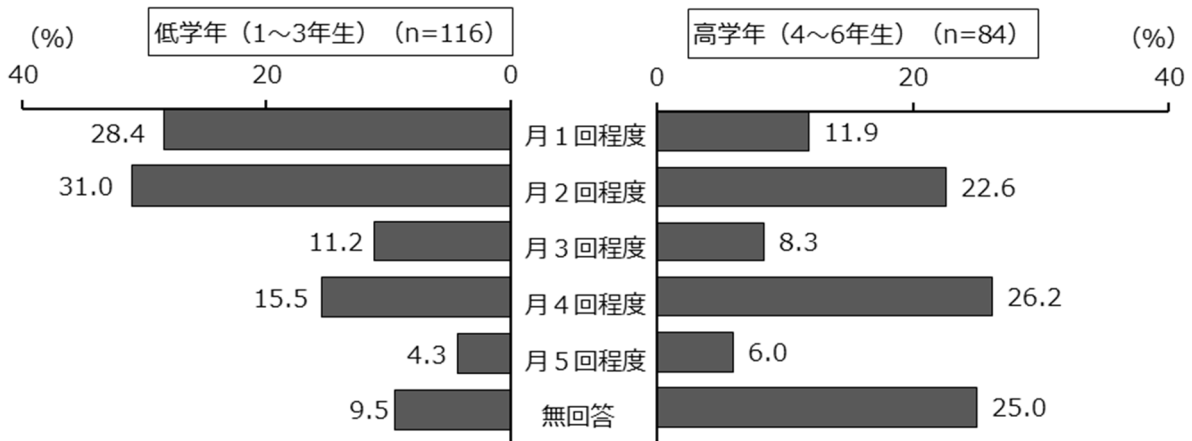
図表 208 土曜日の学童クラブの利用希望の有無



土曜日の学童クラブの1か月当たりの希望利用回数(低学年(1～3年生の間)は、「月2回程度」が 31.0%で最も多く、「月1回程度」(28.4%)、「月4回程度」(15.5%)と続く。

土曜日の学童クラブの1か月当たりの希望利用回数(高学年(4～6年生の間)は、「月4回程度」が 26.2%で最も多く、「月2回程度」(22.6%)、「月1回程度」(11.9%)と続く。

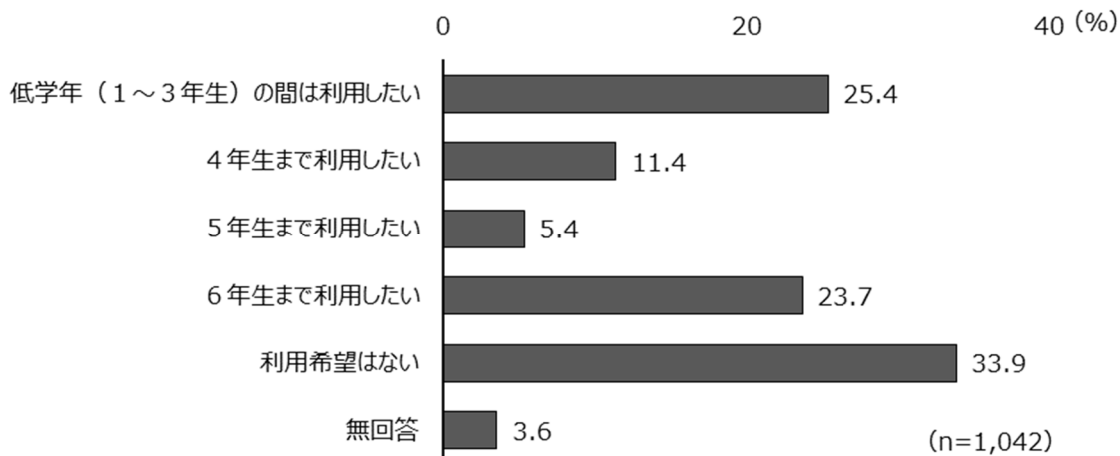
図表 209 土曜日の学童クラブの1か月当たりの希望利用回数



問 18 夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の学童クラブの利用希望・希望利用日数

夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の学童クラブの利用希望は、「利用希望はない」が 33.9%で最も多く、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」(25.4%)、「6年生まで利用したい」(23.7%)と続く。

図表 210 夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の学童クラブの利用希望



図表 211 夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の学童クラブの希望利用日数

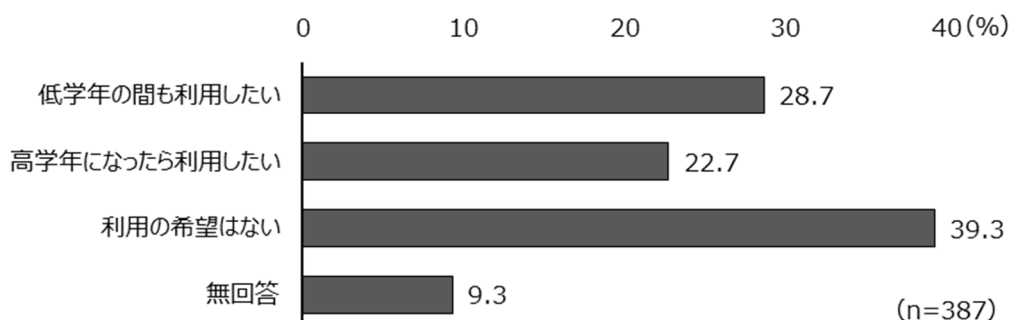
	全体 (n)	週1日 くらい	週2日 くらい	週3日 くらい	週4日 くらい	週5日 くらい	週6日 くらい	週7日 くらい	無回答
低学年 (1～3年生)	265	1.5	7.9	19.6	7.9	51.7	0.8	0.4	10.2
4年生	119	2.5	9.2	14.3	10.1	53.8	1.7	1.7	6.7
5年生	56	5.4	10.7	26.8	10.7	32.1	0	1.8	12.5
6年生	247	2.4	5.3	16.2	8.1	57.1	1.6	0.4	8.9

※ 網掛けは50%以上のもの

問 19 学童クラブの利用を希望する人の放課後子どもひろばが学童クラブと同等に拡大された場合の利用希望

学童クラブの利用を希望する人の放課後子どもひろばが学童クラブと同等に拡大された場合の利用希望は、「利用の希望はない」が 39.3%で最も多く、「低学年の間も利用したい」(28.7%)、「高学年になったら利用したい」(22.7%)と続く。

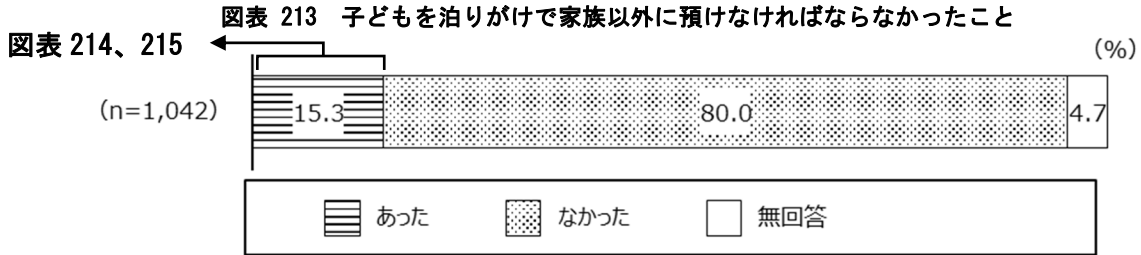
図表 212



(6) 宿泊を伴う一時預かり等の利用について

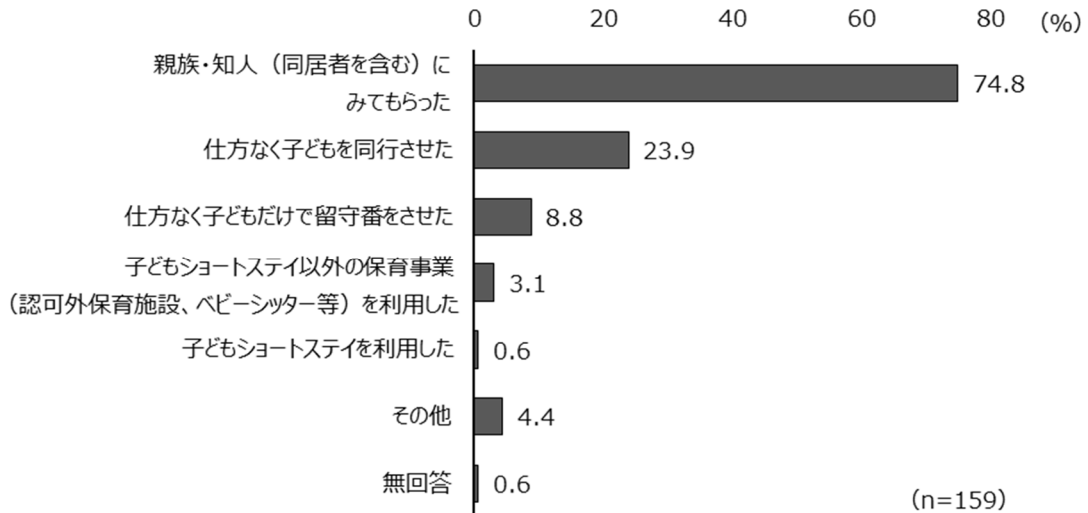
問20 保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、子どもを泊りがけで家族以外に預けなければならなかったこと・年当たりの日数

保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宿泊を伴う一時預かりが必要なことは、「なかった」は80.0%、「あった」は15.3%となっている。



宿泊を伴う一時預かりが必要になったときの対処は、「親族・知人(同居者を含む)にみてもらった」が74.8%で最も多く、「仕方なく子どもを同行させた」(23.9%)、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」(8.8%)と続く。

図表 214 子どもを泊りがけで家族以外に預けなければならなかった時の対処方法(複数回答)



図表 215 子どもを泊りがけで家族以外に預けなければならなかった時の対処方法別年当たりの日数

	全体 (n)	1日	2日	3日	4~6日	7~10日	11~15日	16日以上	無回答
親族・知人(同居者を含む)にみてもらった	119	36.1	20.2	16.0	8.4	6.7	1.7	5.0	5.9
子どもショートステイを利用した	1	0	100.0	0	0	0	0	0	0
子どもショートステイ以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	5	60.0	20.0	0	20.0	0	0	0	0
仕方なく子どもを同行させた	38	28.9	18.4	13.2	15.8	10.5	2.6	0	10.5
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	14	42.9	14.3	0	7.1	7.1	0	0	28.6
その他	7	28.6	0	28.6	0	14.3	0	0	28.6

※ 網掛けは「無回答」を除き、20%以上のもの

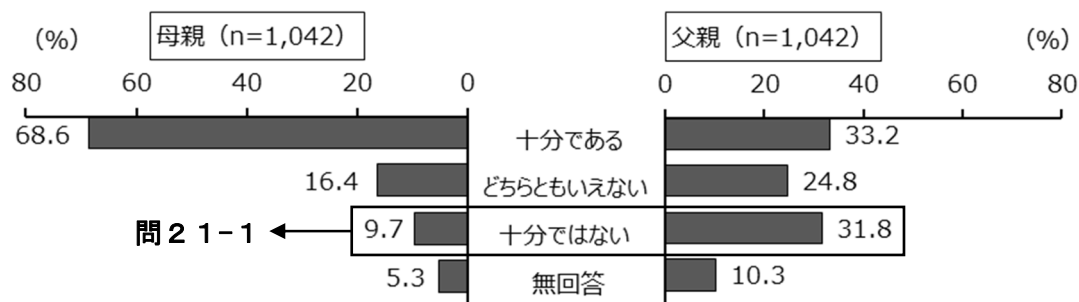
## (7) 子育てと仕事への関わり方について

### 問 2 1 両親の家事や子育てへの関わり方

母親の家事への関わり方は、「十分である」が 68.6%で最も多く、「どちらともいえない」(16.4%)、「十分ではない」(9.7%)と続く。

父親の家事への関わり方は、「十分である」が 33.2%で最も多く、「十分ではない」(31.8%)、「どちらともいえない」(24.8%)と続く。

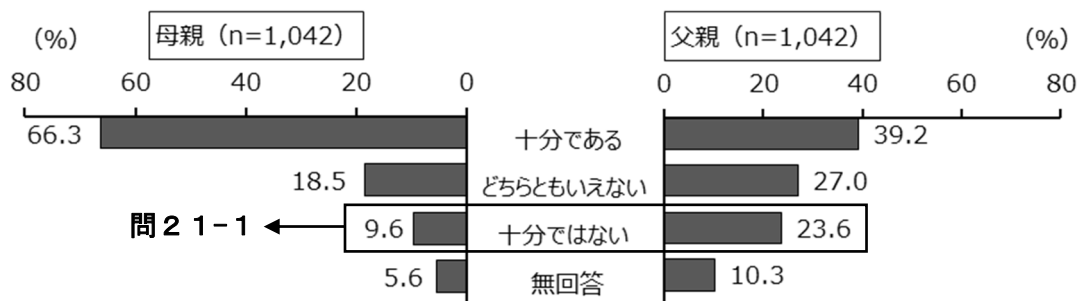
図表 216 両親の家事への関わり方



母親の子育てへの関わり方は、「十分である」が 66.3%で最も多く、「どちらともいえない」(18.5%)、「十分ではない」(9.6%)と続く。

父親の子育てへの関わり方は、「十分である」が 39.2%で最も多く、「どちらともいえない」(27.0%)、「十分ではない」(23.6%)と続く。

図表 217 両親の子育てへの関わり方



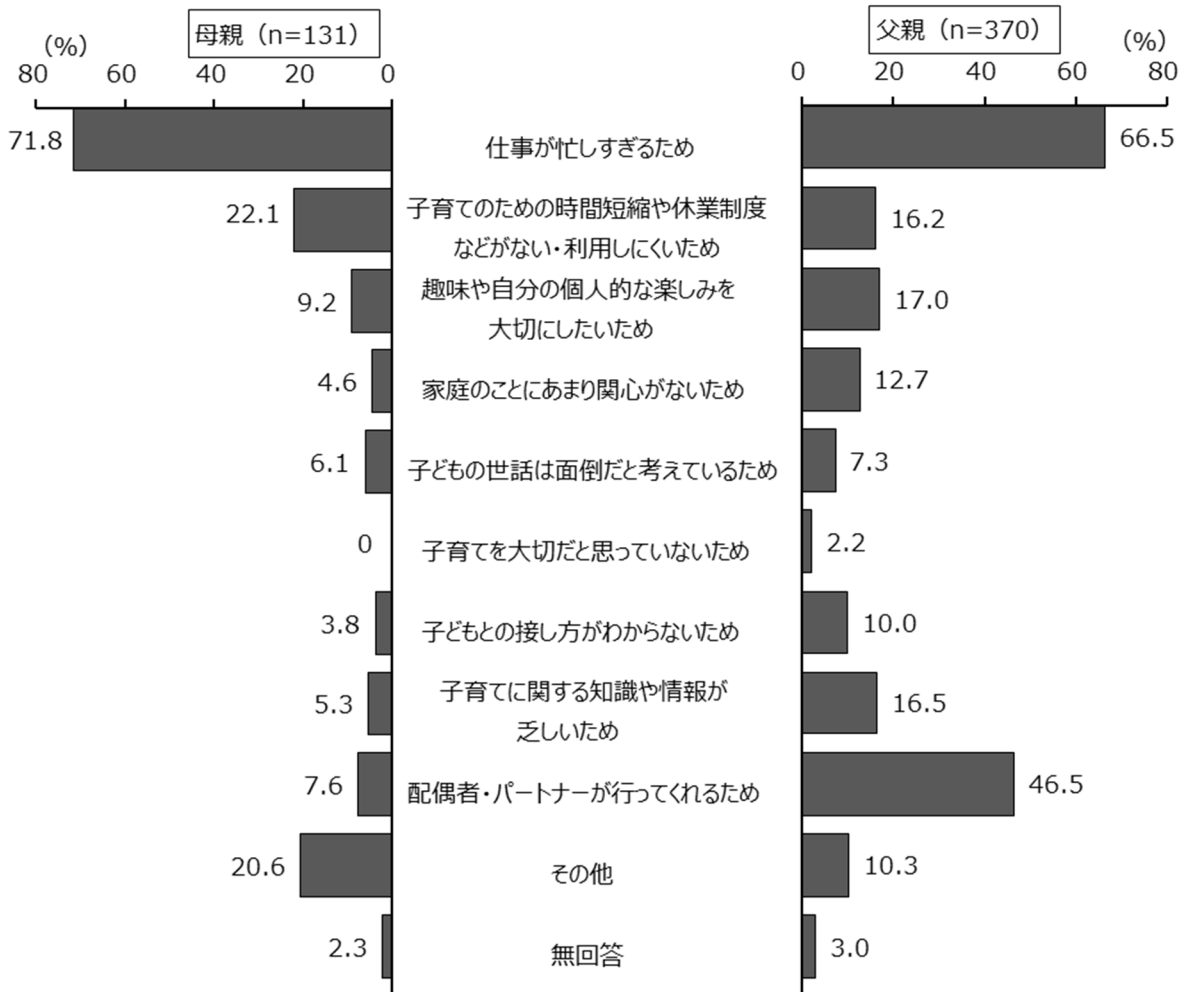


問2 1-1 家事や子育てへの関わり方が十分ではない理由（3つまで）＜父母＞

母親の家事や子育てへの関わり方が十分ではない理由は、「仕事が忙しすぎるため」が71.8%で最も多く、「子育てのための時間短縮や休業制度などがない・利用しにくいいため」(22.1%)、「趣味や自分の個人的な楽しみを大切にしたいため」(9.2%)と続く。

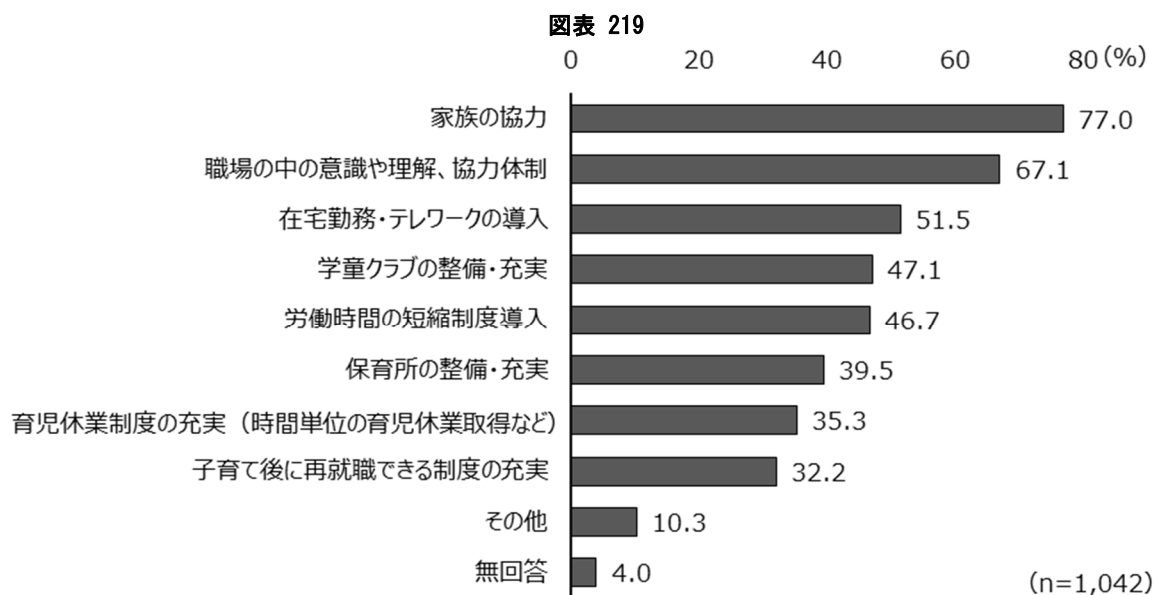
父親の家事や子育てへの関わり方が十分ではない理由は、「仕事が忙しすぎるため」が66.5%で最も多く、「配偶者・パートナーが行ってくれるため」(46.5%)、「趣味や自分の個人的な楽しみを大切にしたいため」(17.0%)、と続く。

図表 218



問22 仕事と子育てを両立させるために必要なこと（複数回答）

仕事と子育てを両立させるために必要なことは、「家族の協力」が77.0%で最も多く、「職場の中の意識や理解、協力体制」(67.1%)、「在宅勤務・テレワークの導入」(51.5%)と続く。

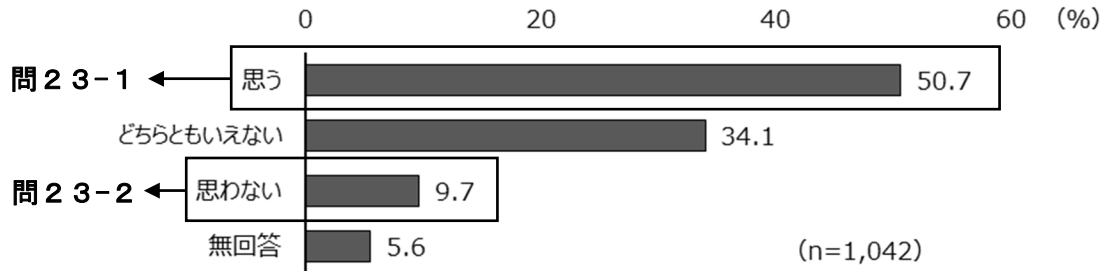


## (8) 新宿区の子育て環境について

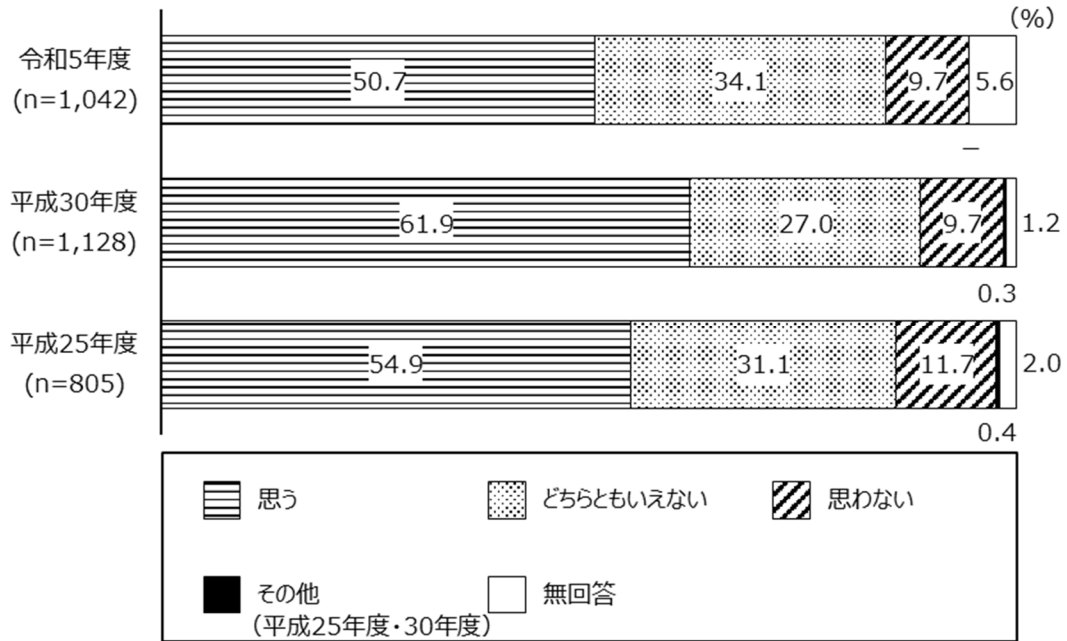
### 問23 新宿区は子育てしやすいまちだと思うか

新宿区は子育てしやすいまちだと思うかは、「思う」が50.7%で最も多く、「どちらともいえない」(34.1%)、「思わない」(9.7%)と続く。

図表 220



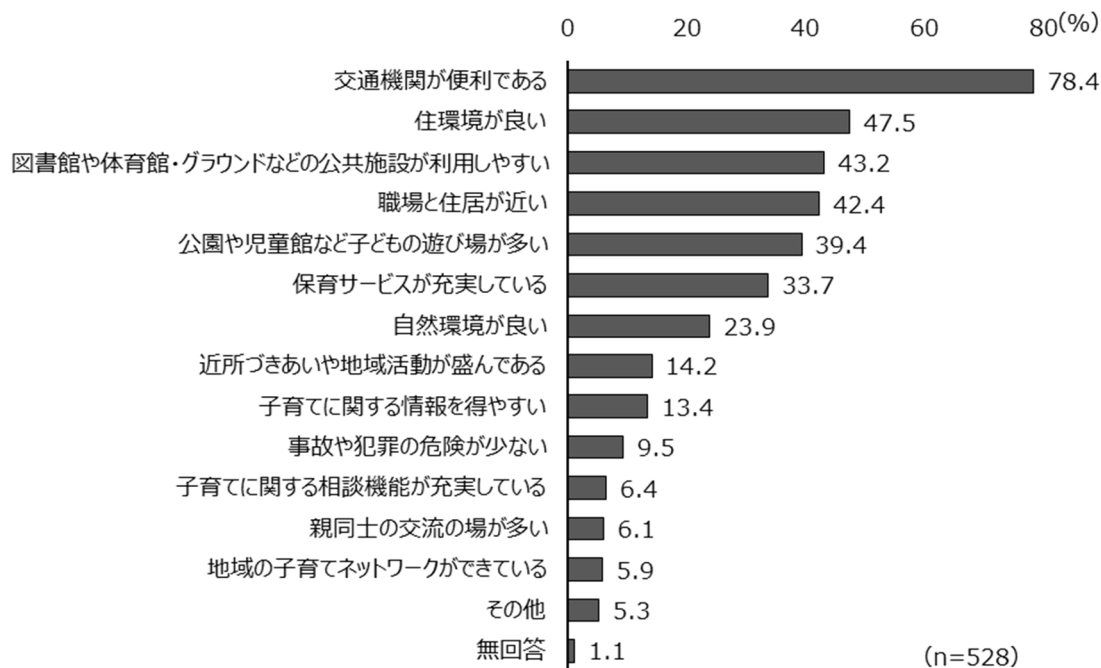
図表 221 新宿区は子育てしやすいまちだと思うか (経年比較)



### 問 2 3-1 新宿区が子育てしやすいまちだと思う理由（3つまで）

新宿区が子育てしやすいまちだと思う理由は、「交通機関が便利である」が 78.4%で最も多く、「住環境が良い」(47.5%)、「図書館や体育館・グラウンドなどの公共施設が利用しやすい」(43.2%)と続く。

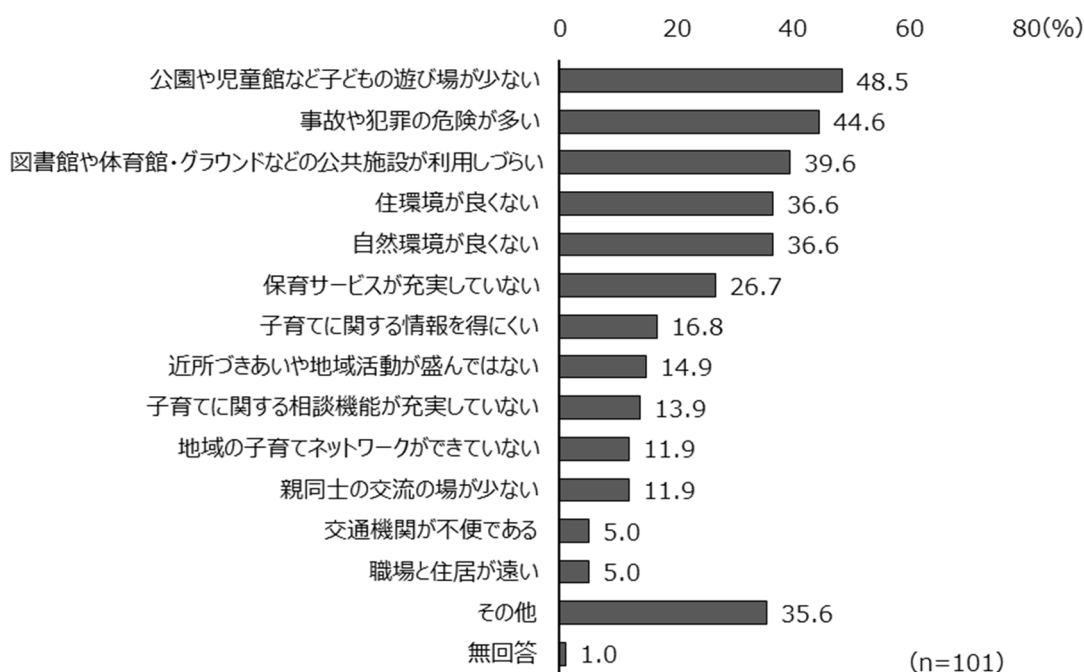
図表 222



### 問 2 3-2 新宿区が子育てしやすいまちだと思わない理由（3つまで）

新宿区が子育てしやすいまちだと思わない理由は、「公園や児童館など子どもの遊び場が少ない」が 48.5%で最も多く、「事故や犯罪の危険が多い」(44.6%)、「図書館や体育館・グラウンドなどの公共施設が利用しづらい」(39.6%)と続く。

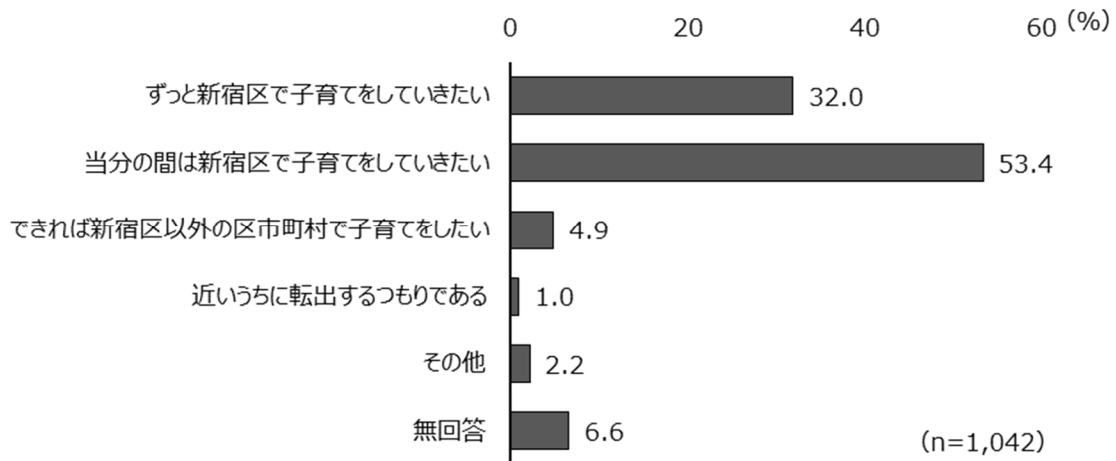
図表 223



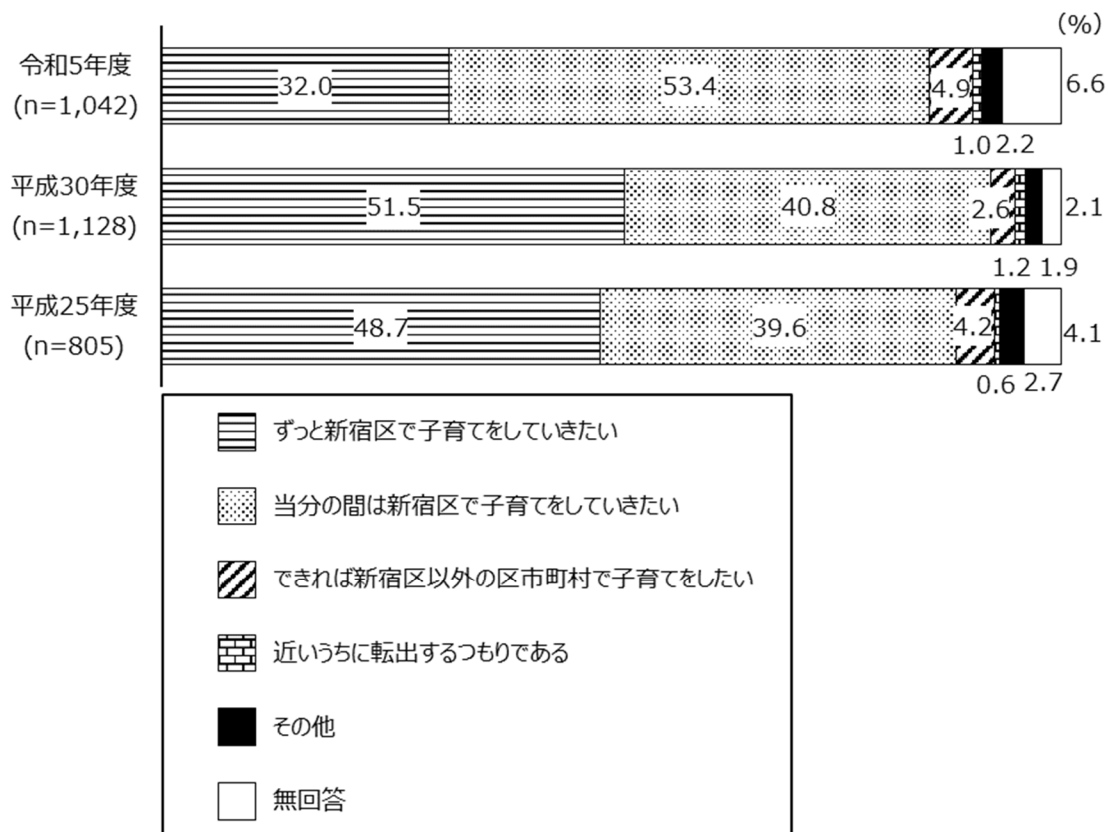
問24 今後も新宿区で子育てをしていきたいと思うか

今後も新宿区で子育てをしていきたいと思うかは、「当分の間は新宿区で子育てをしていきたい」が53.4%で最も多く、「ずっと新宿区で子育てをしていきたい」(32.0%)、「できれば新宿区以外の区市町村で子育てをしたい」(4.9%)と続く。

図表 224



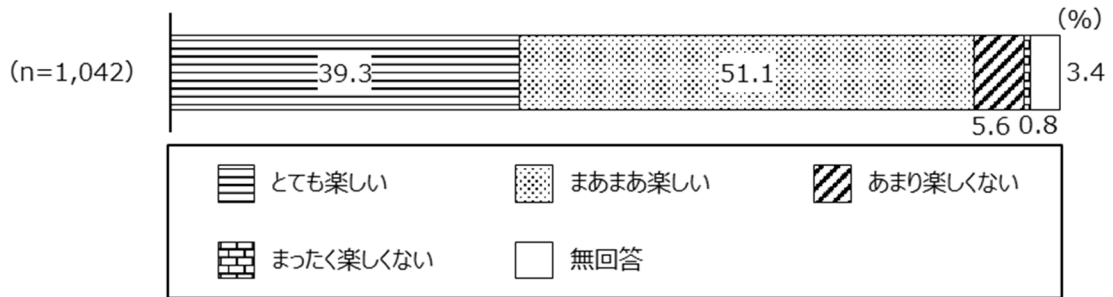
図表 225 今後も新宿区で子育てをしていきたいと思うか (経年比較)



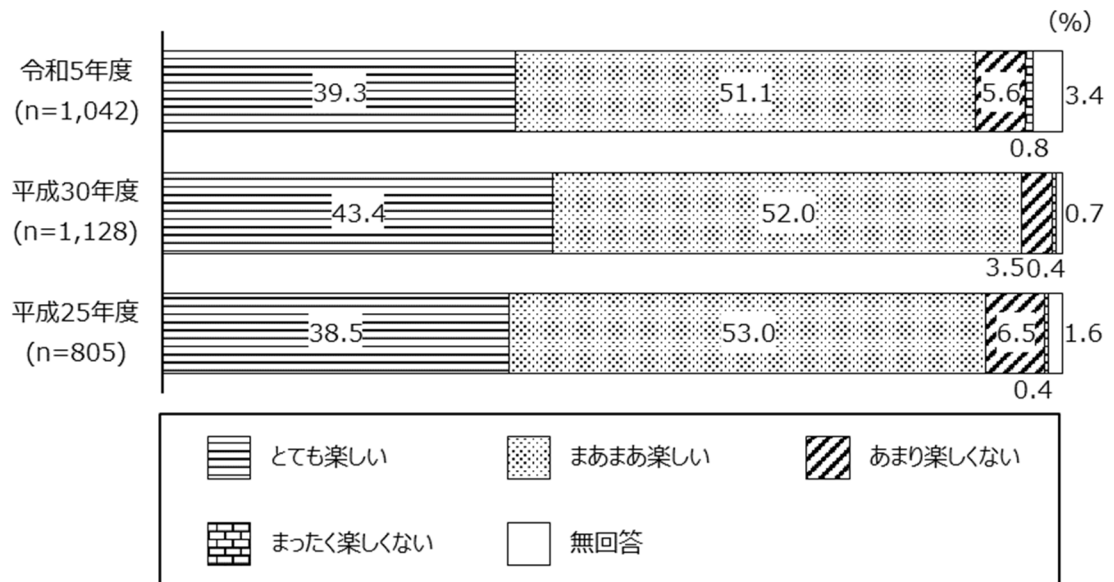
問25 子育てが楽しいか

子育てが楽しいかは、「まあまあ楽しい」が 51.1%で最も多く、「とても楽しい」(39.3%)、「あまり楽しくない」(5.6%)と続く。

図表 226



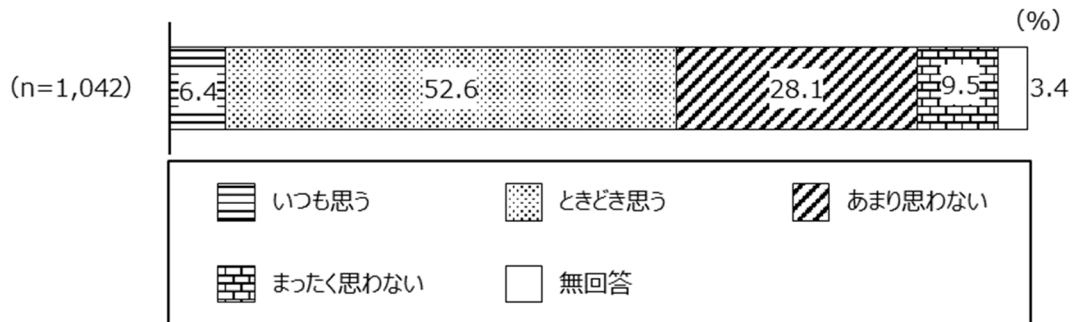
図表 227 子育てが楽しいか（経年比較）



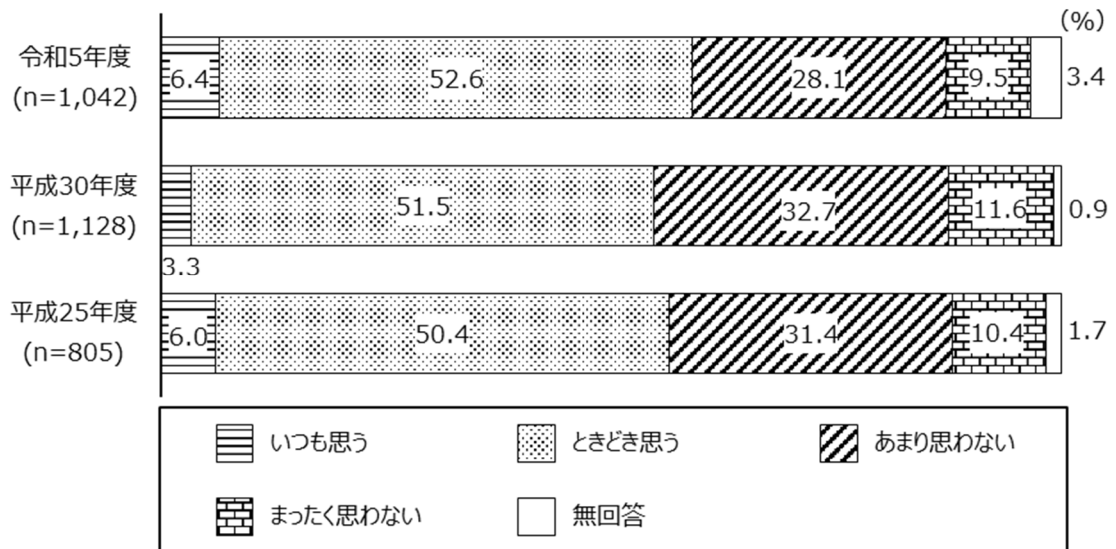
問26 子育てが辛いと思うことがあるか

子育てが辛いと思うことがあるかは、「ときどき思う」が52.6%で最も多く、「あまり思わない」(28.1%)、「まったく思わない」(9.5%)と続く。

図表 228



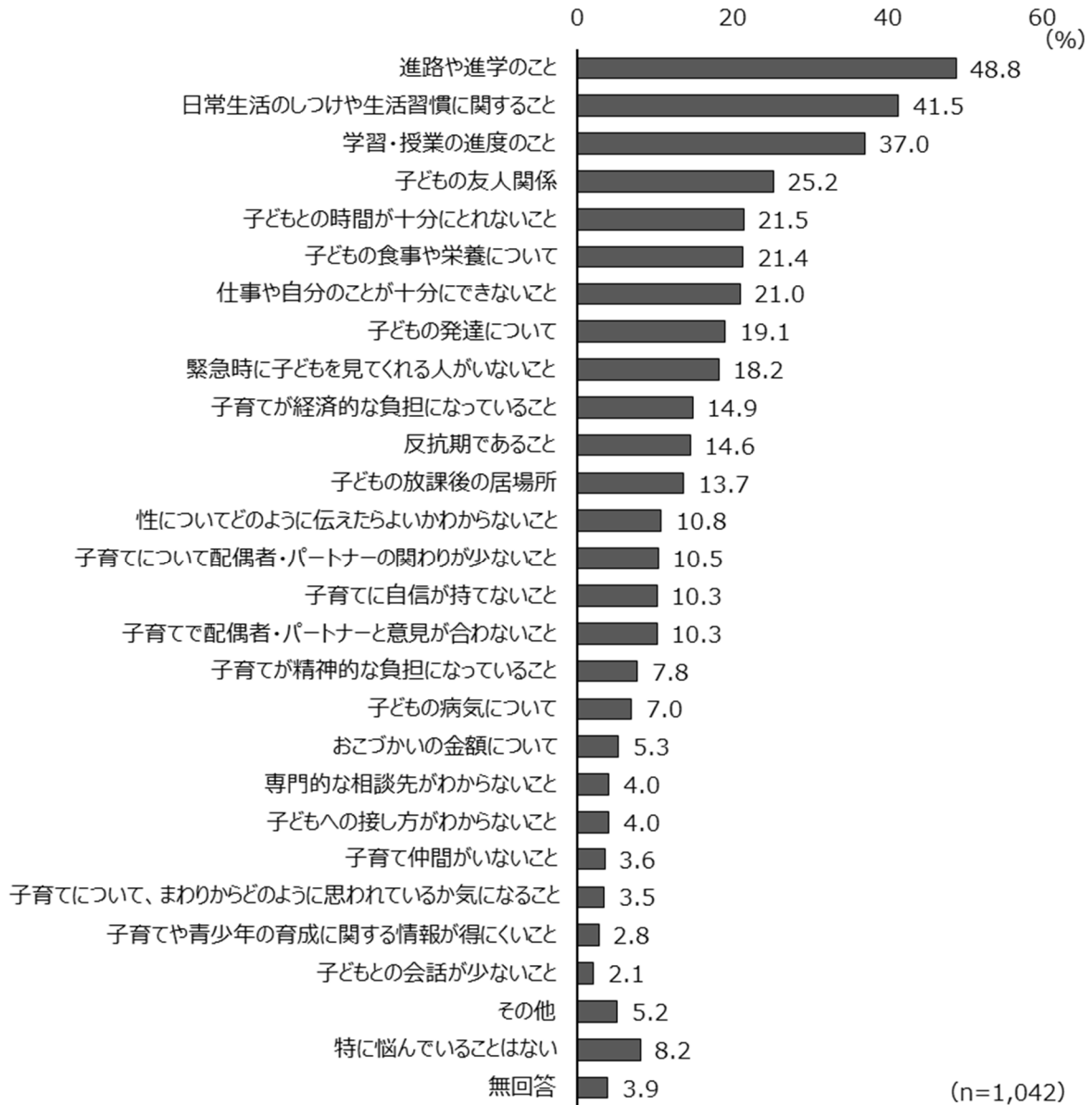
図表 229 子育てが辛いと思うことがあるか（経年比較）



問27 子育てに関して悩んでいること（複数回答）

子育てに関して悩んでいることは、「進路や進学のこと」が48.8%で最も多く、「日常生活のしつけや生活習慣に関すること」(41.5%)、「学習・授業の進捗のこと」(37.0%)と続く。

図表 230

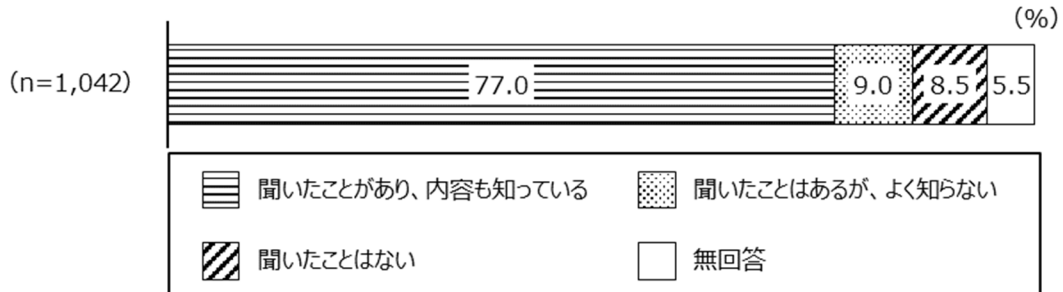




**問 2 8 ヤングケアラーという言葉聞いたことがあるか**

ヤングケアラーという言葉聞いたことがあるか、「聞いたことがあり、内容も知っている」が 77.0%で最も多く、「聞いたことはあるが、よく知らない」(9.0%)、「聞いたことはない」(8.5%)と続く。

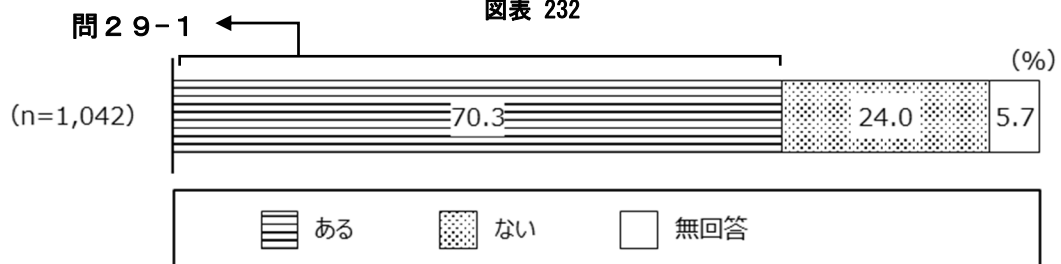
図表 231



**問 2 9 子育てについて気軽に相談できる人や場所の有無**

子育てについて気軽に相談できる人や場所は、「ある」が 70.3%、「ない」は 24.0%となっている。

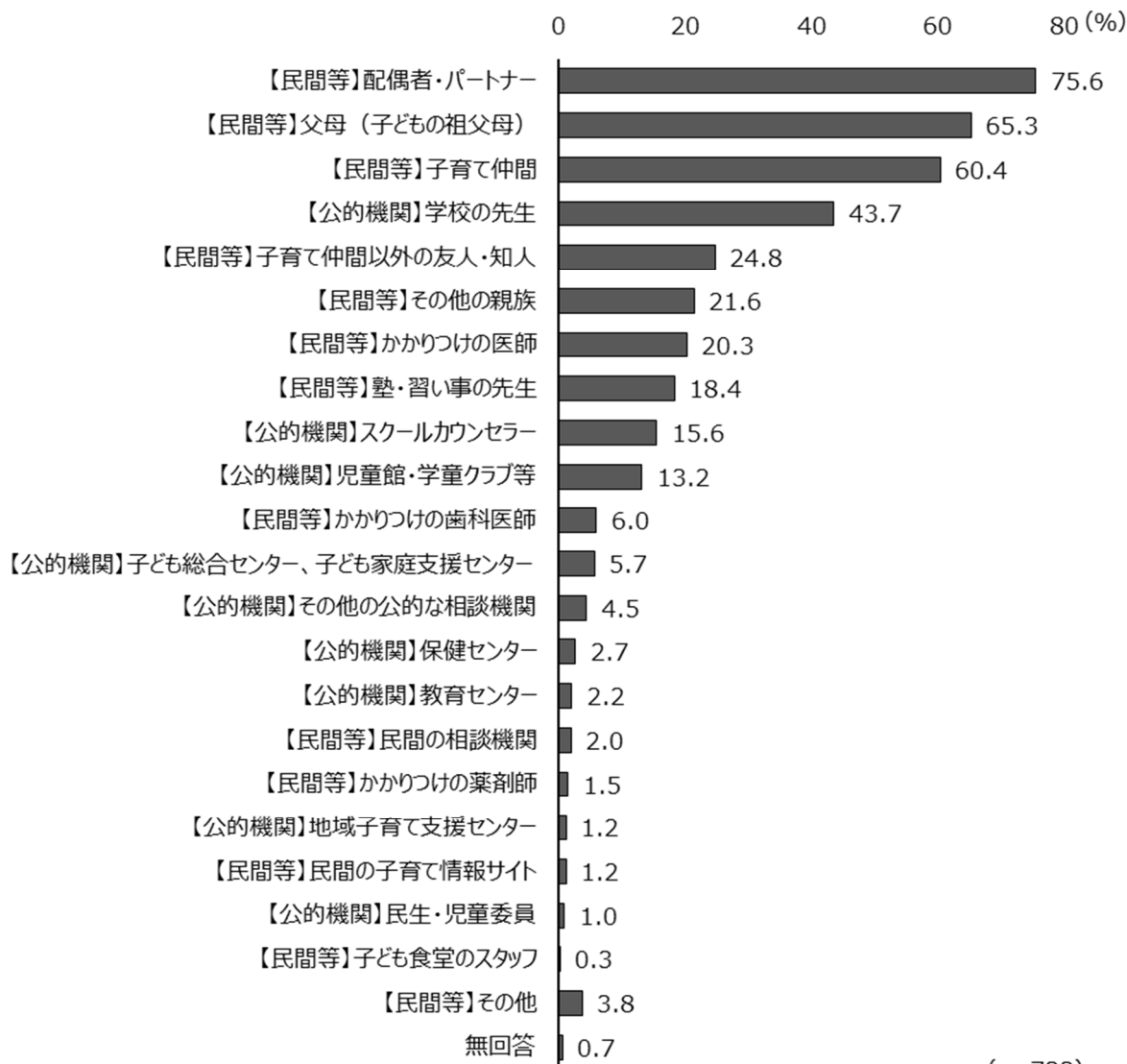
図表 232



問29-1 子育てについて気軽に相談できる人や場所（複数回答）

子育てについて気軽に相談できる人や場所は、「【民間等】配偶者・パートナー」が 75.6%で最も多く、「【民間等】父母(子どもの祖父母)」(65.3%)、「【民間等】子育て仲間」(60.4%)と続く。

図表 233



(n=733)

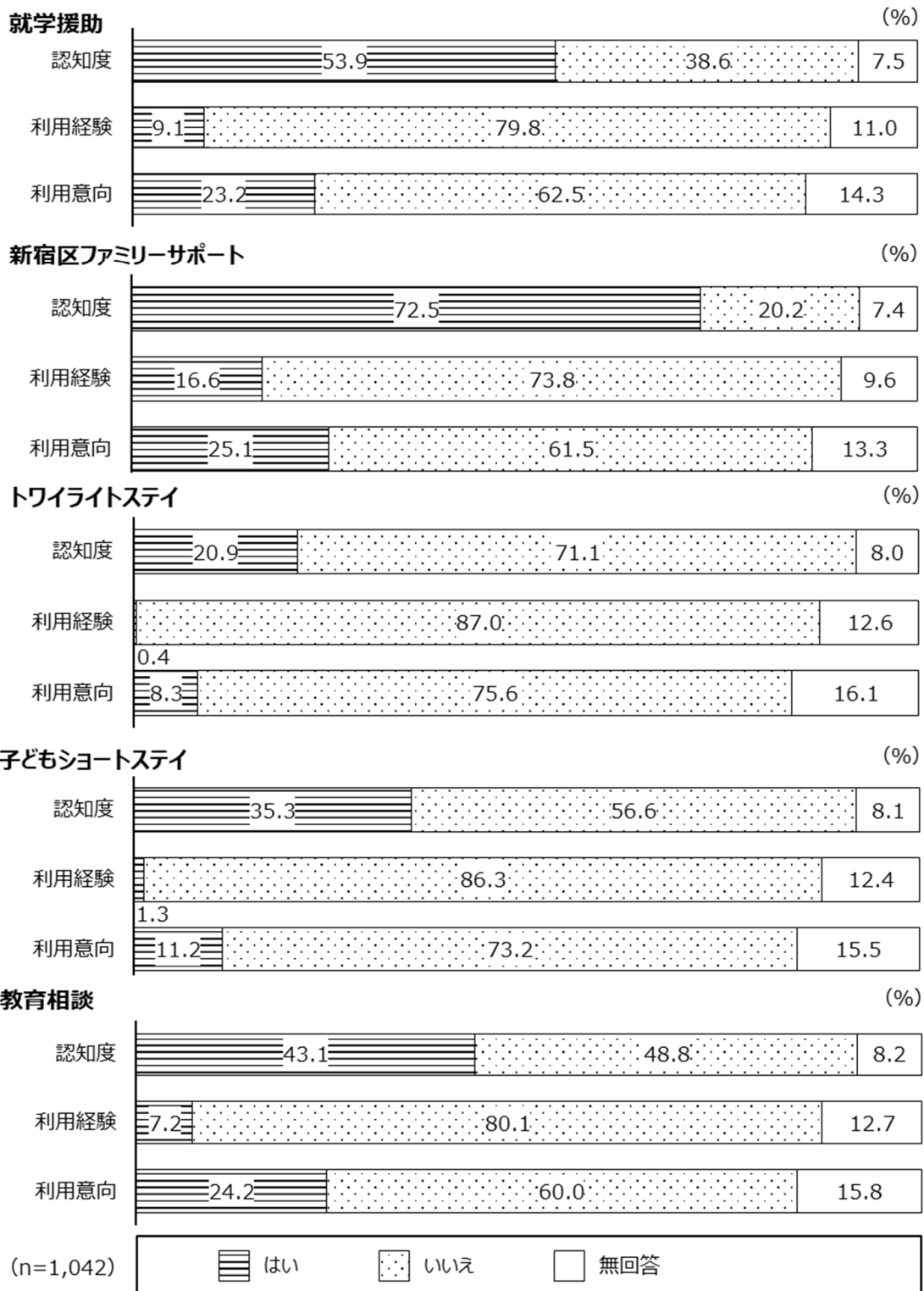
問30 事業の認知度・利用経験の有無・今後の利用意向

子育て支援事業の認知度について、60.0%以上が「知っている」と答えた事業は「新宿区ファミリーサポート」72.5%と「子ども総合センター、子ども家庭支援センターの相談」61.3%である。

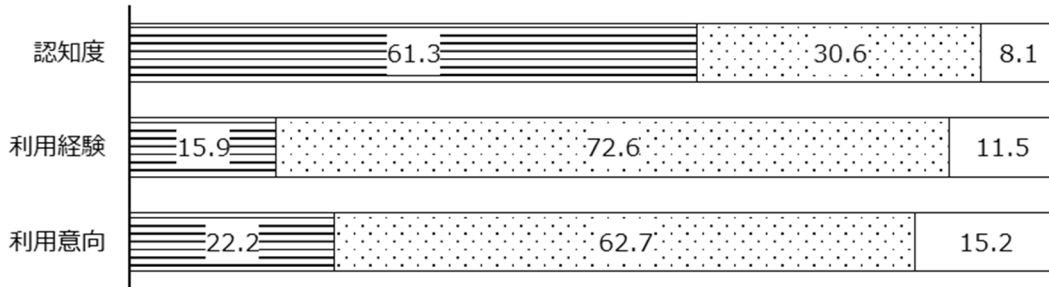
利用したことがある割合が高い事業は、「保健センターの健康・育児相談」17.5%、「新宿区ファミリーサポート」16.6%、「子ども総合センター、子ども家庭支援センターの相談」15.9%である。

子育て支援事業の中で最も「今後利用したい」の割合が高いのは「新宿区ファミリーサポート」25.1%である。

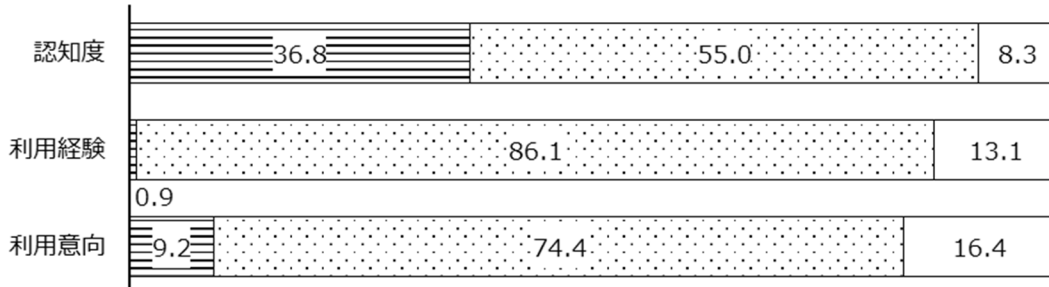
図表 234



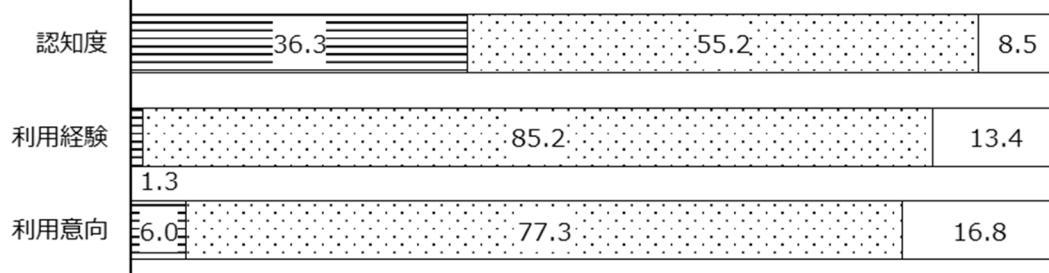
子ども総合センター、子ども家庭支援センターの相談 (%)



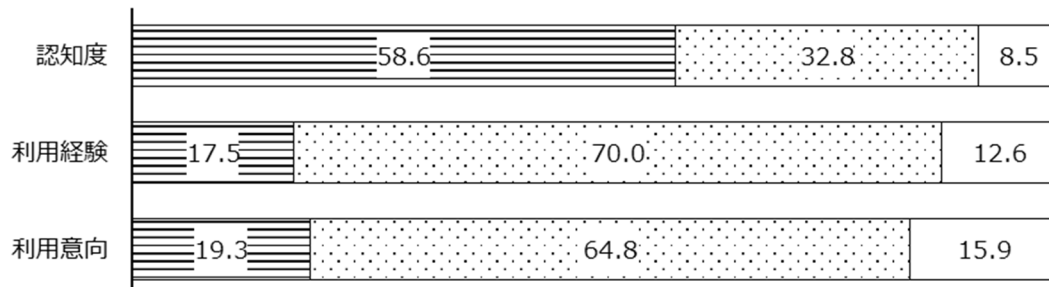
生活支援相談窓口 (%)



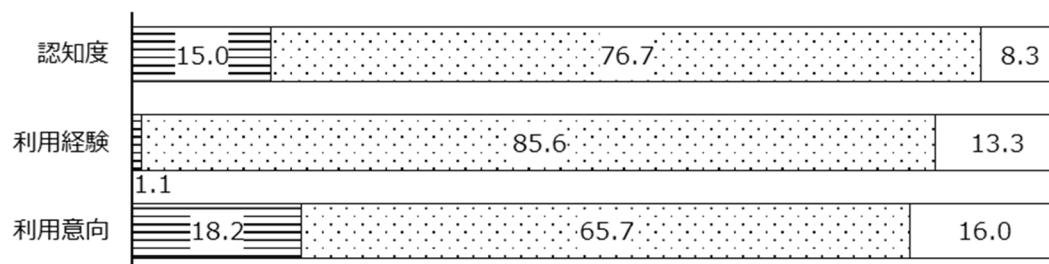
ひとり親相談 (%)



保健センターの健康・育児相談 (%)



住宅相談 (住み替え相談) (%)



(n=1,042)

はい

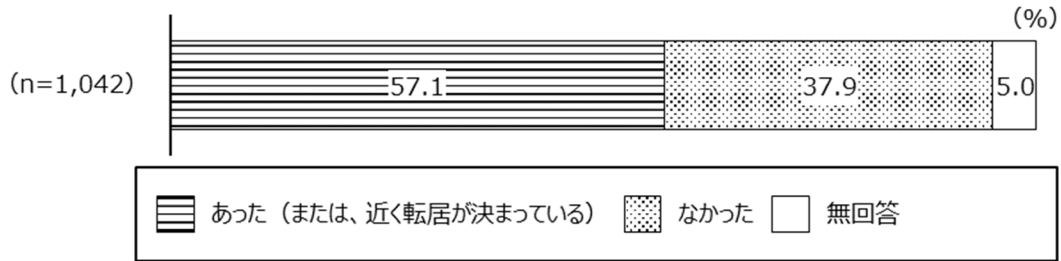
いいえ

無回答

問3 1 これまでの転居経験（又は近く転居予定あり）

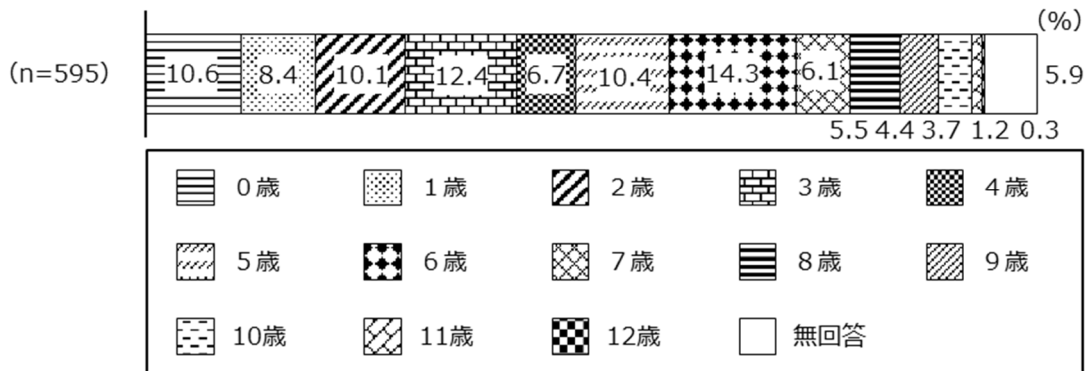
これまでに転居経験は、「あった(または、近く転居が決まっている)」は 57.1%、「なかった」は 37.9%となっている。

図表 235



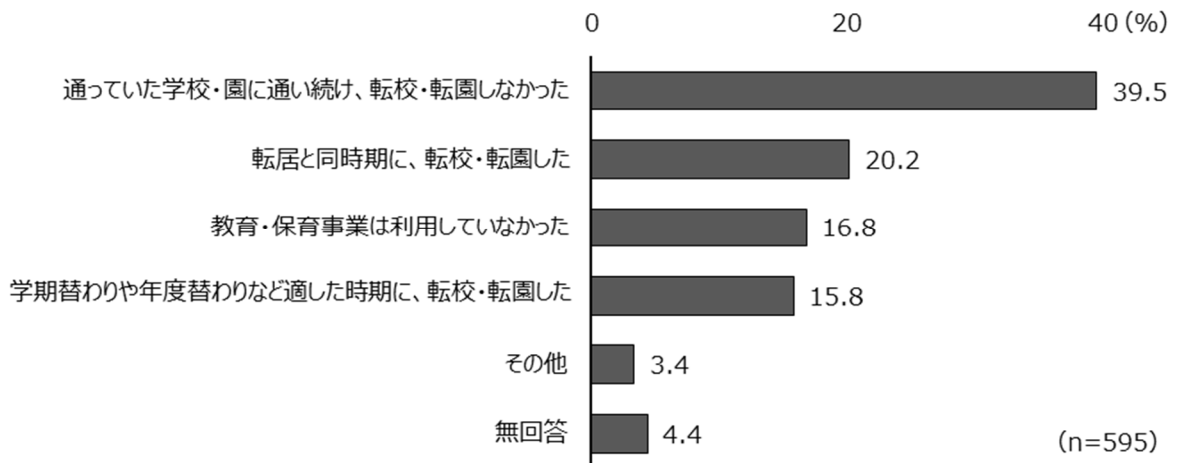
転居時の子どもの年齢は、「6歳」が 14.3%で最も多く、「3歳」(12.4%)、「0歳」(10.6%)と続く。

図表 236 転居時の子どもの年齢



転居時の定期的な教育・保育事業の利用の対応は、「通っていた学校・園に通い続け、転校・転園しなかった」が 39.5%で最も多く、「転居と同時期に、転校・転園した」(20.2%)、「教育・保育事業は利用していなかった」(16.8%)と続く。

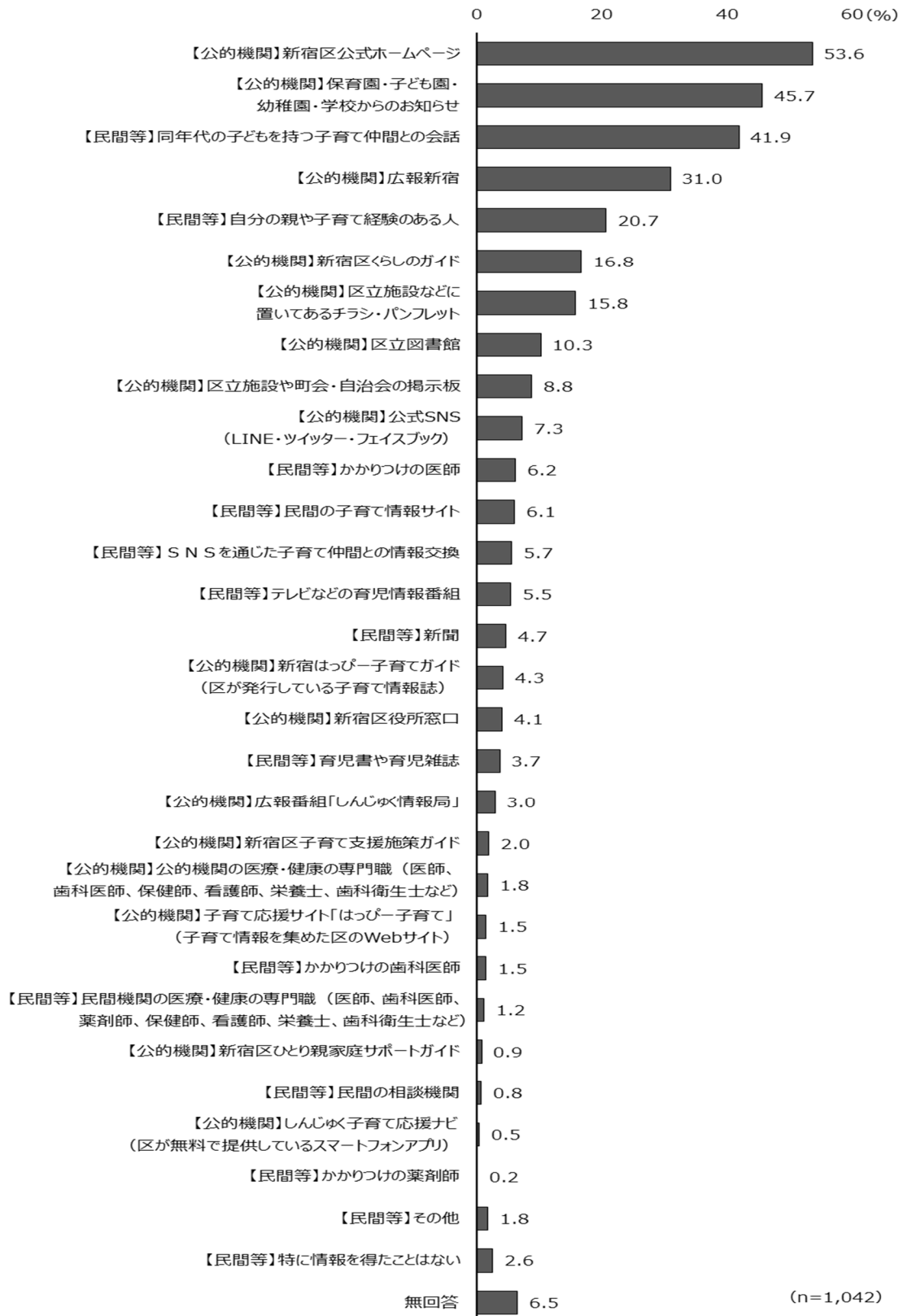
図表 237 定期的な教育・保育事業の利用について転居時の対応



問3 2 区の子育て支援サービスや相談窓口についての情報入手先（複数回答）

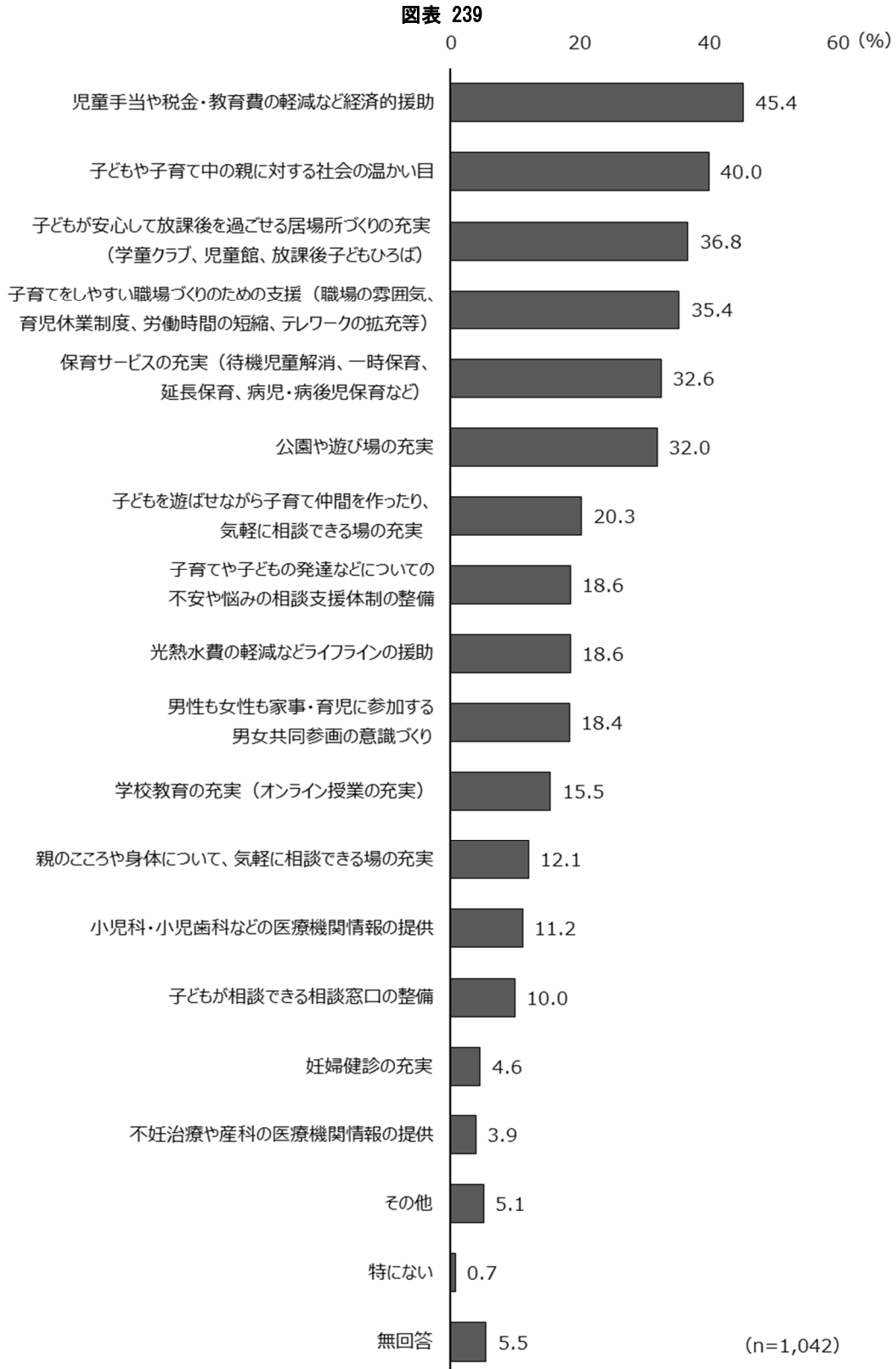
区の子育て支援サービスや相談窓口についての情報入手先は、「【公的機関】新宿区公式ホームページ」が53.6%で最も多く、「【公的機関】保育園・子ども園・幼稚園・学校からのお知らせ」(45.7%)、「【民間等】同年代の子どもを持つ子育て仲間との会話」(41.9%)と続く。

図表 238



問33 子どもを産み育てやすい社会に必要なだと考えられること（3つまで）

子どもを産み育てやすい社会に必要なだと考えられることは、「児童手当や税金・教育費の軽減など経済的援助」が45.4%で最も多く、「子どもや子育て中の親に対する社会の温かい目」(40.0%)、「子どもが安心して放課後を過ごせる居場所づくりの充実(学童クラブ、児童館、放課後子どもひろば)」(36.8%)と続く。

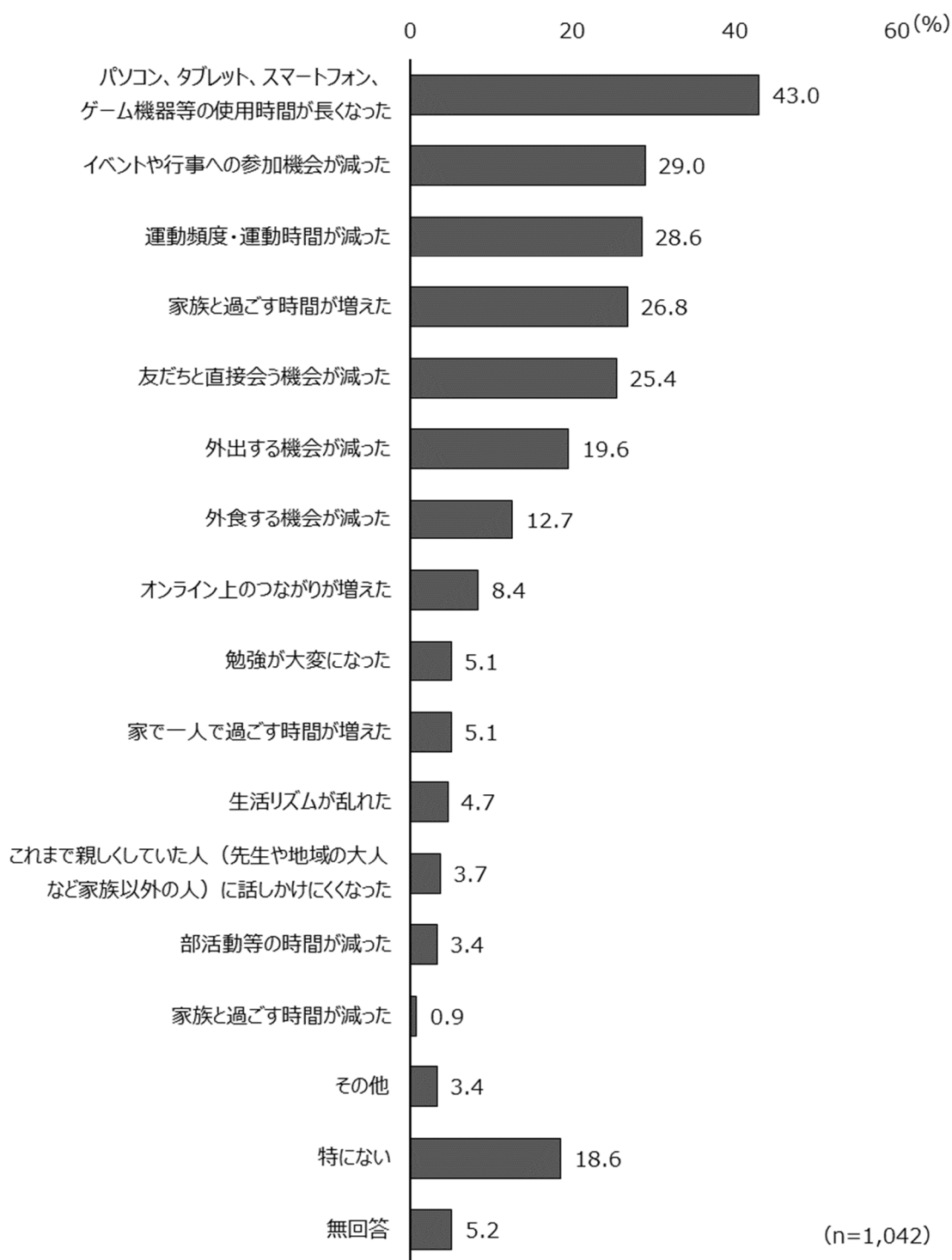


## (9) その他

## 問34 コロナ禍を経て、現在も続いている子どもの生活変化（複数回答）

コロナ禍を経て、現在も続いている子どもの生活変化は、「パソコン、タブレット、スマートフォン、ゲーム機器等の使用時間が長くなった」が43.0%で最も多く、「イベントや行事への参加機会が減った」(29.0%)、「運動頻度・運動時間が減った」(28.6%)と続く。

図表 240





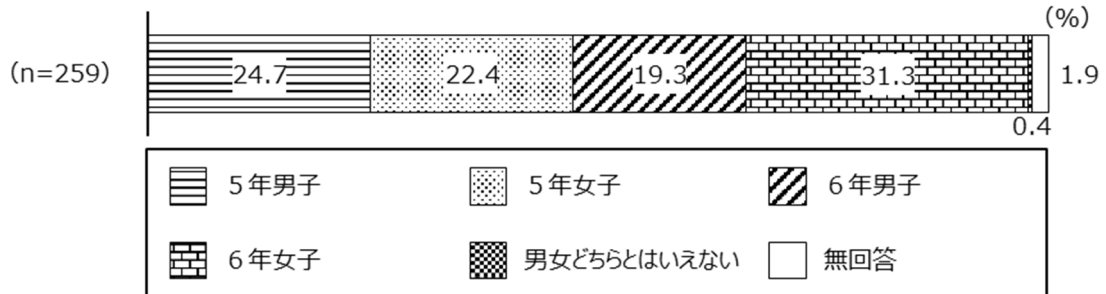
## Ⅱ-③ 小学校 5・6 年生調査結果



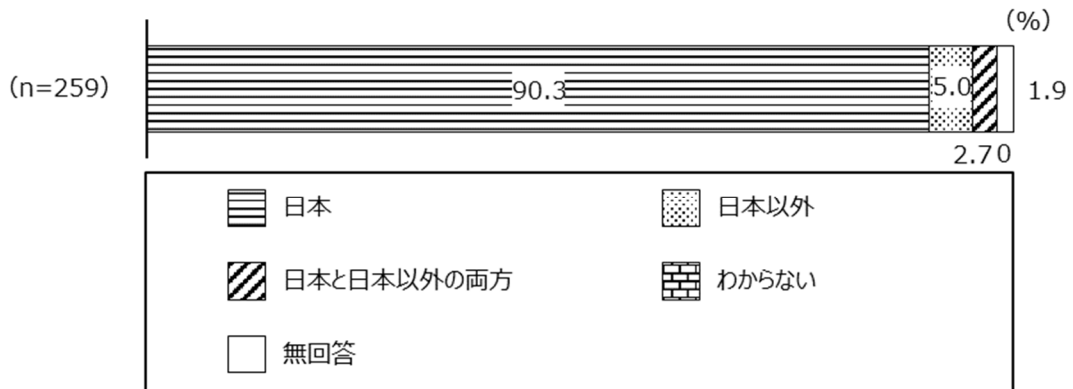
(1) 自分と家族の状況について

問1 学年・性別・国籍

図表 241 学年と性別

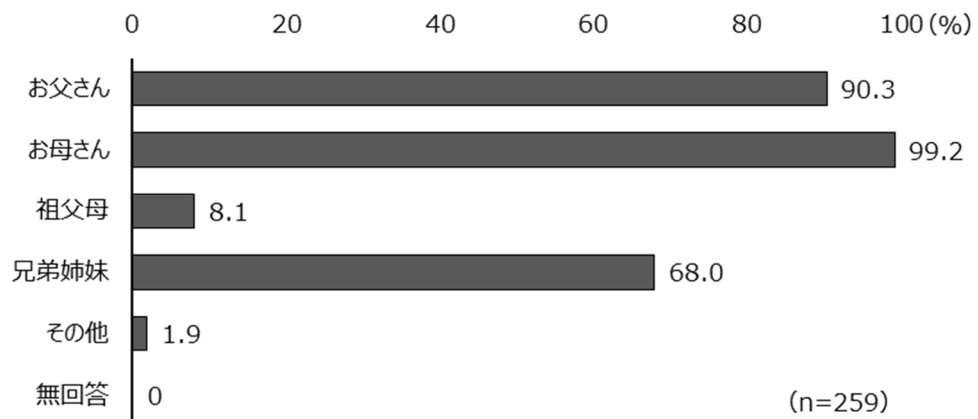


図表 242 国籍



問2 同居の状況 (複数回答)

図表 243



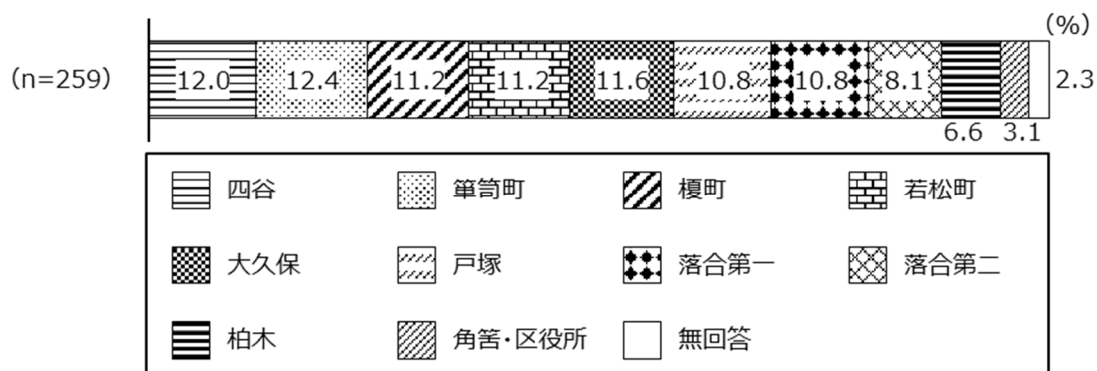
問3 同居家族の人数

図表 244



問4 居住地域（特別出張所単位）

図表 245

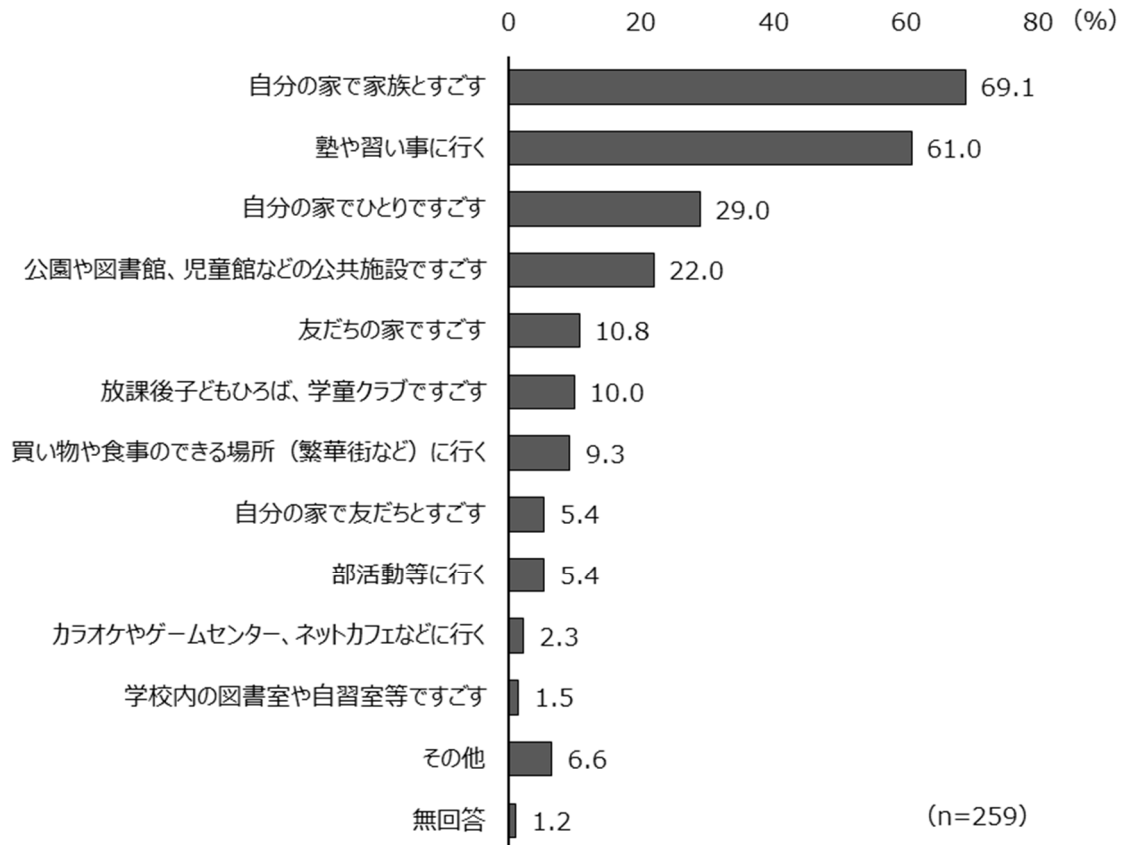


## (2) 日常生活について

### 問5 放課後や休日の過ごし方（3つまで）

放課後や休日の過ごし方は、「自分の家で家族と過ごす」が 69.1%で最も多く、「塾や習い事に行く」(61.0%)、「自分の家でひとりですぐす」(29.0%)と続く。

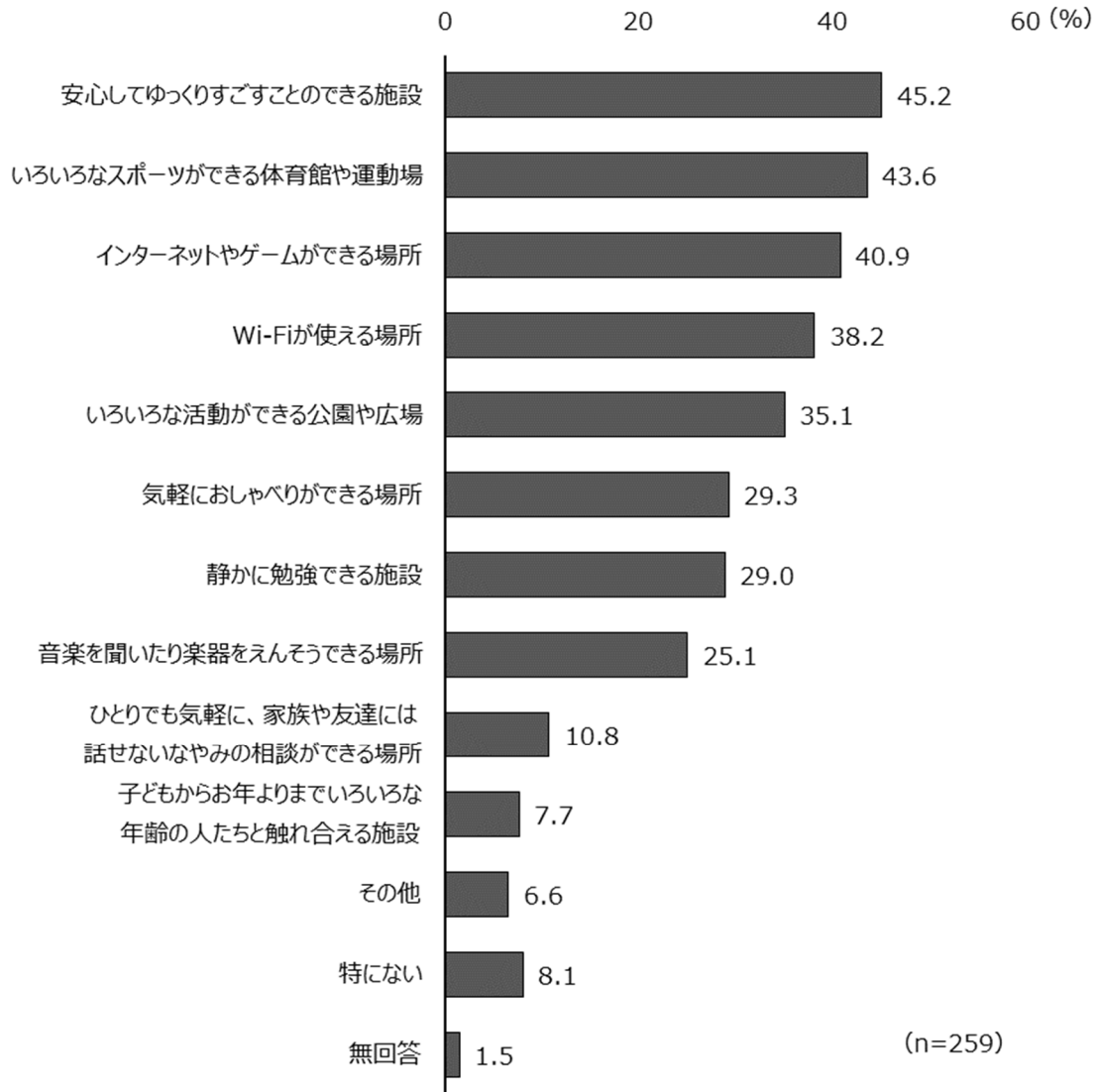
図表 246



問6 学校や家以外で、放課後や休日を過ごすことを希望する場所（複数回答）

学校や家以外で、放課後や休日を過ごすことを希望する場所は、「安心してゆっくり過ごすことのできる施設」が45.2%で最も多く、「いろいろなスポーツができる体育館や運動場」(43.6%)、「インターネットやゲームができる場所」(40.9%)と続く。

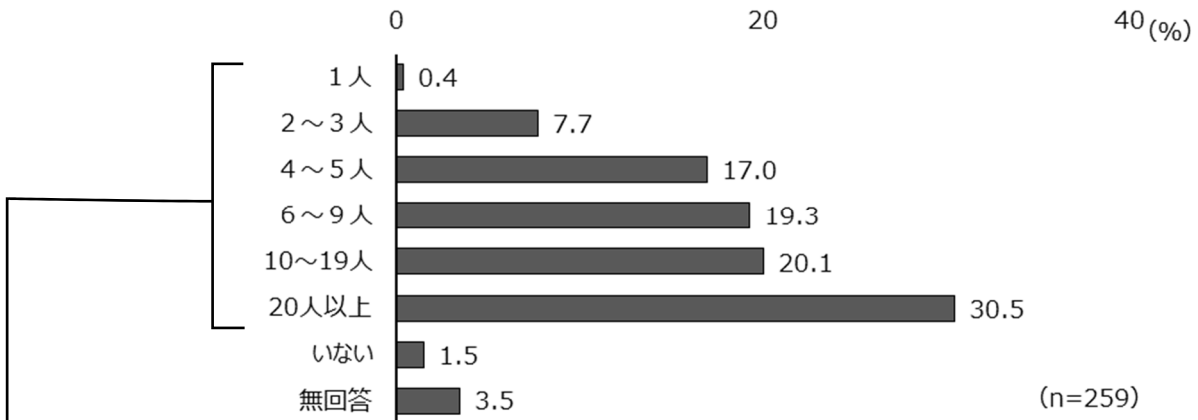
図表 247



**問7 一緒に遊んだり話したりする友人の数**

一緒に遊んだり話したりする友人の数は、「20人以上」が 30.5%で最も多く、「10～19人」(20.1%)、「6～9人」(19.3%)と続く。

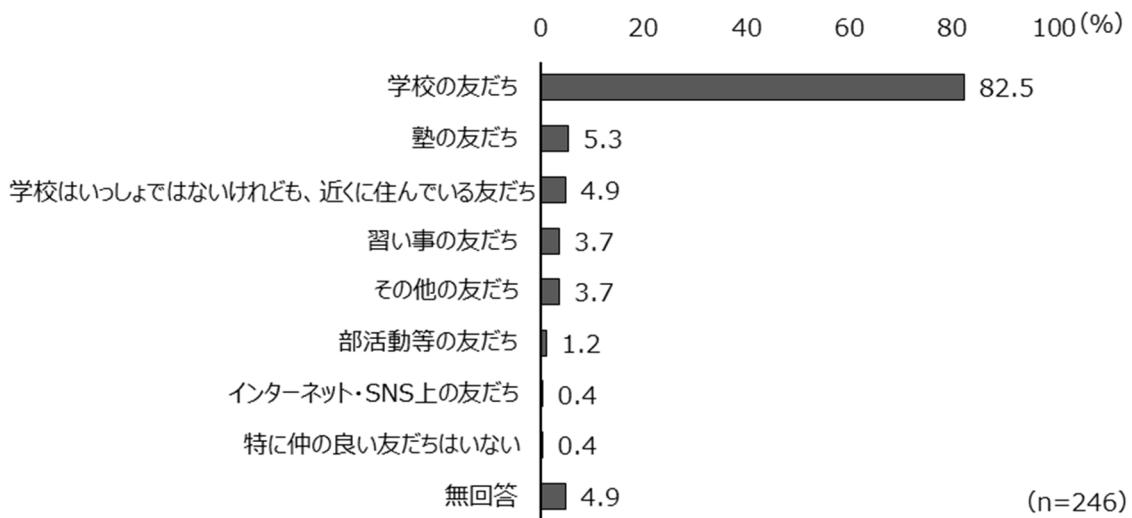
図表 248



**問7-1 一番仲が良い友人**

一番仲が良い友人は、「学校の友だち」が 82.5%で最も多く、「塾の友だち」(5.3%)、「学校はいつしょではないけれども、近くに住んでいる友だち」(4.9%)と続く。

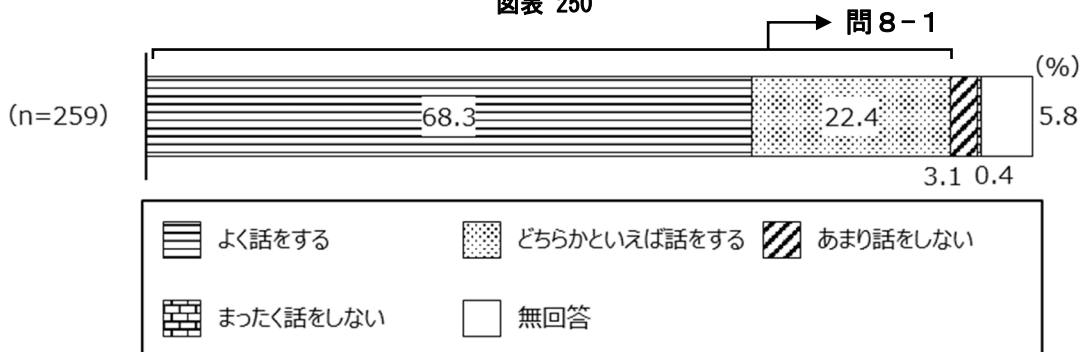
図表 249



**問8 普段の家族との会話の程度**

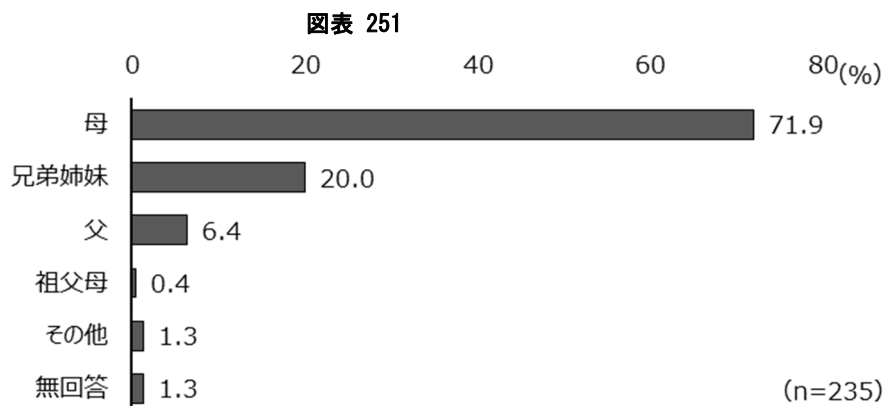
普段の家族との会話の程度は、「よく話をする」が 68.3%で最も多く、「どちらかといえば話をする」(22.4%)、「あまり話をしない」(3.1%)と続く。

図表 250



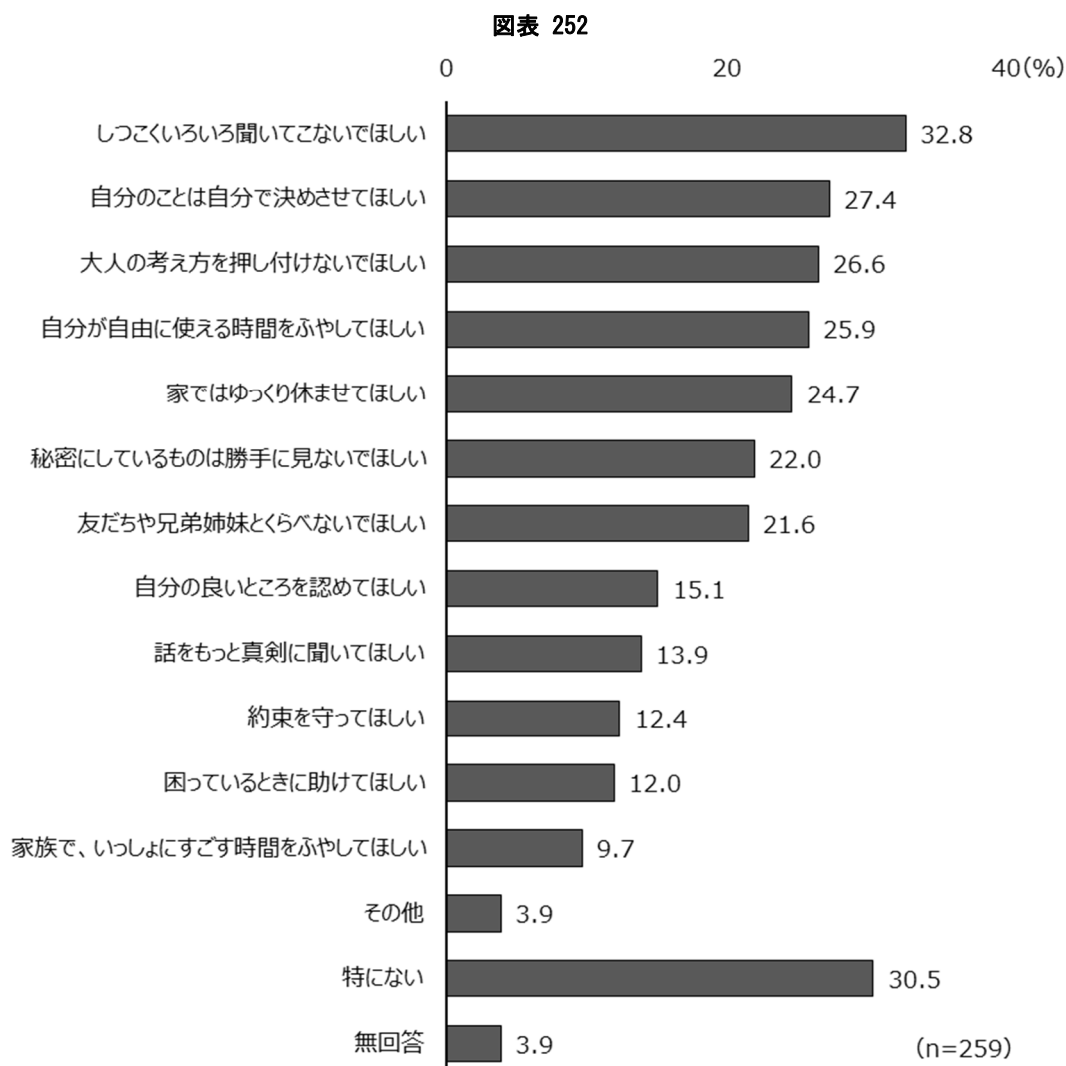
### 問8-1 一番話をする家族

一番話をする家族は、「母」が71.9%で最も多く、「兄弟姉妹」(20.0%)、「父」(6.4%)と続く。



### 問9 一緒に住んでいる大人に、してほしい(してほしくない)と思うこと(複数回答)

一緒に住んでいる大人に、してほしい(してほしくない)と思うことは、「しつこくいろいろ聞いてこないでほしい」が32.8%で最も多く、「特にない」(30.5%)、「自分のことは自分で決めさせてほしい」(27.4%)と続く。

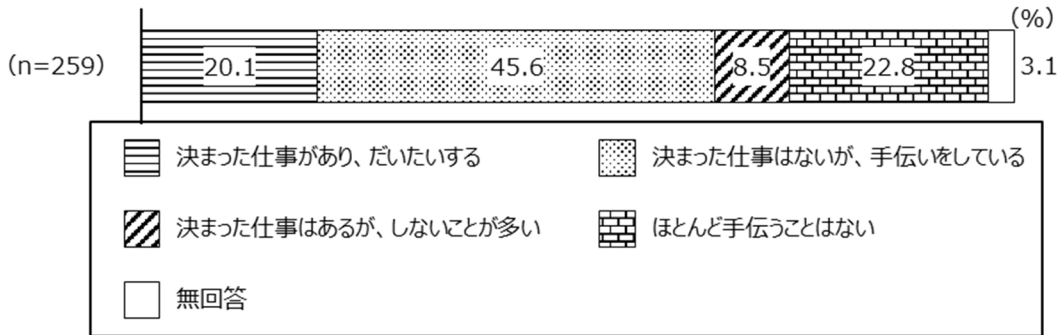




問10 家の手伝いをしているか

家の手伝いをしているかは、「決まった仕事はないが、手伝いをしている」が45.6%で最も多く、「ほとんど手伝うことはない」(22.8%)、「決まった仕事があり、だいたいする」(20.1%)と続く。

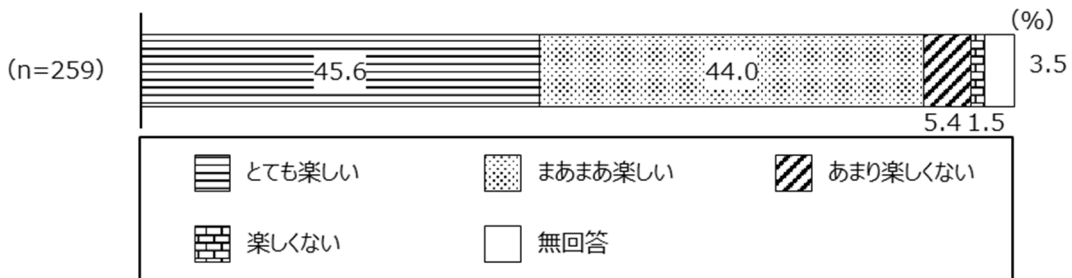
図表 253



問11 毎日の生活が楽しいか

毎日の生活が楽しいかは、「とても楽しい」が45.6%で最も多く、「まあまあ楽しい」(44.0%)、「あまり楽しくない」(5.4%)と続く。

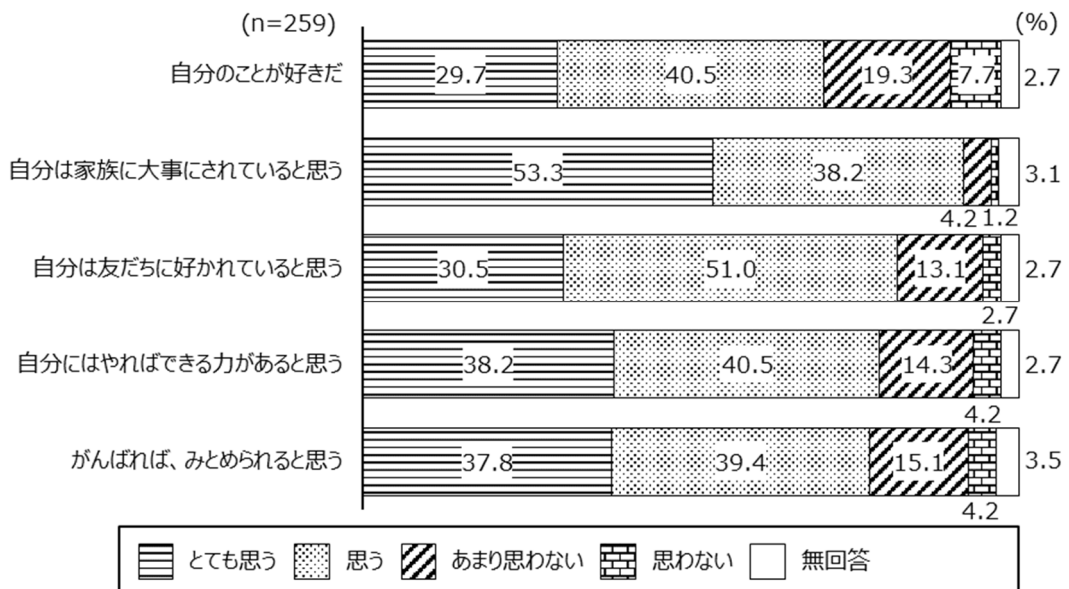
図表 254



問12 自分についてどう思っているか

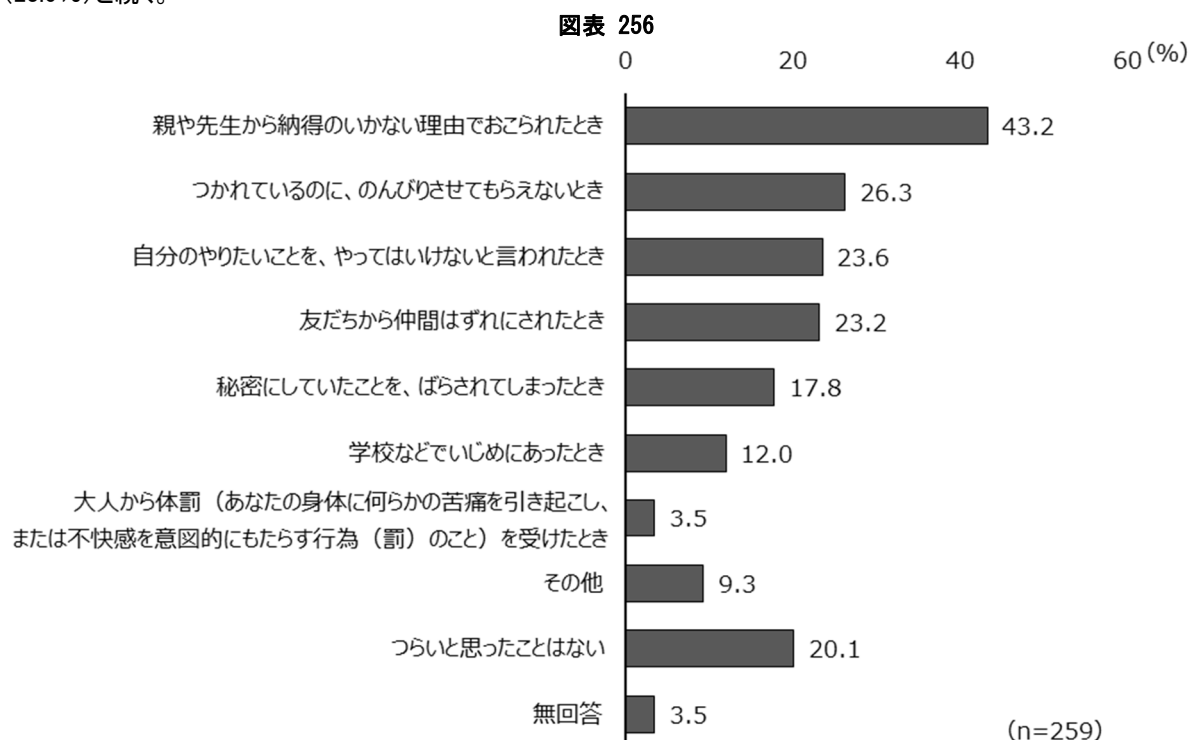
自分についてどう思っているかについて、「とても思う」が最も多かったのは、「自分は家族に大事にされていると思う」(53.3%)で、「自分にはやればできる力があると思う」(38.2%)、「がんばれば、みとめられると思う」(37.8%)と続く。

図表 255



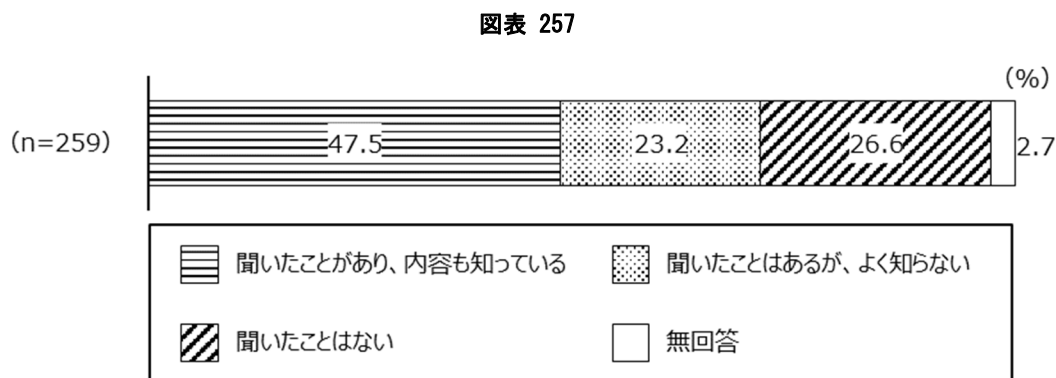
### 問13 今までつらいと思ったとき（3つまで）

今までつらいと思ったときは、「親や先生から納得のいかない理由でおこられたとき」が43.2%で最も多く、「つかれているのに、のんびりさせてもらえないとき」(26.3%)、「自分のやりたいことを、やってはいけないと言われたとき」(23.6%)と続く。



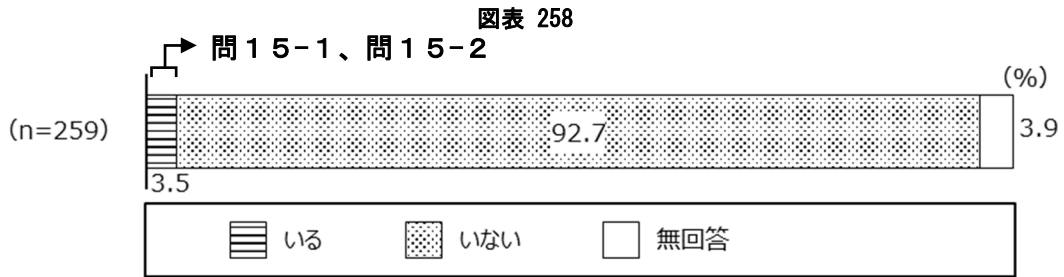
### 問14 ヤングケアラーという言葉を知ったことがあるか

ヤングケアラーという言葉を知ったことがあるかは、「聞いたことがあり、内容も知っている」が47.5%で最も多く、「聞いたことはない」(26.6%)、「聞いたことはあるが、よく知らない」(23.2%)と続く。



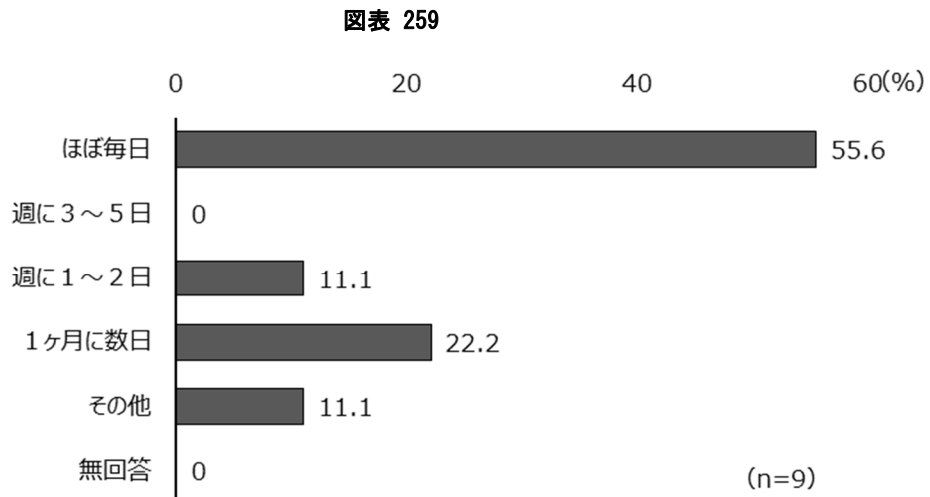
**問 1 5 家族の中に自分が世話をしている人の有無**

家族の中に自分が世話をしている人は、「いない」は 92.7%、「いる」は 3.5%となっている。



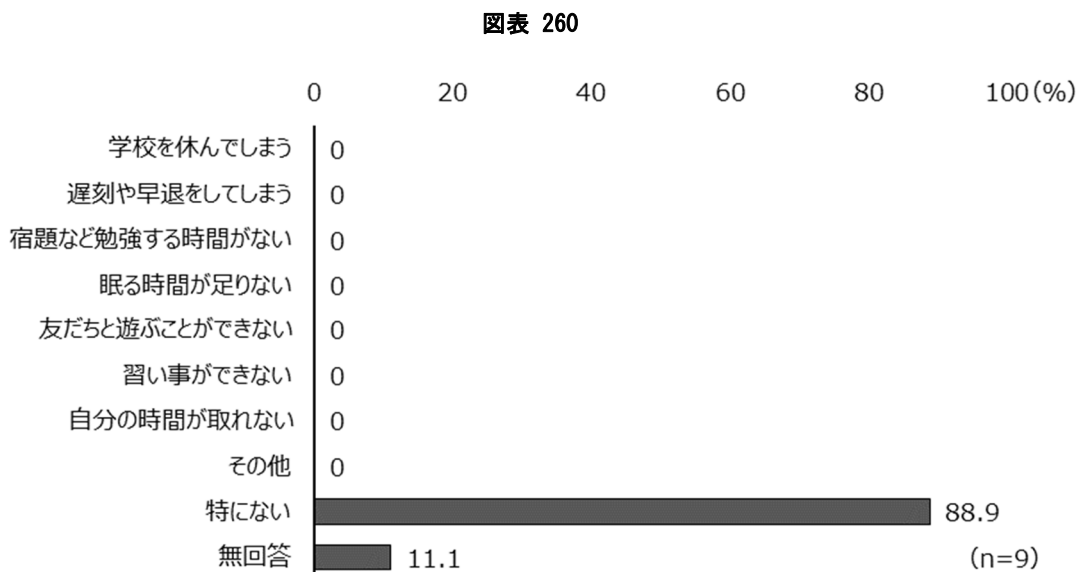
**問 1 5-1 家族の世話をしている頻度**

家族の世話をしている頻度は、「ほぼ毎日」が 55.6%で最も多く、「1ヶ月に数日」(22.2%)、「週に1～2日」(11.1%)と続く。



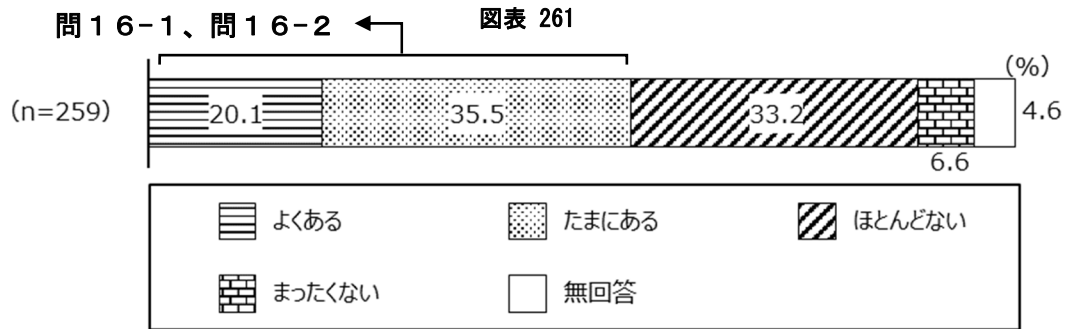
**問 1 5-2 家族の世話をしているために経験をしたこと (複数回答)**

家族の世話をしているために経験をしたことは、「特にない」が 88.9%となっている。



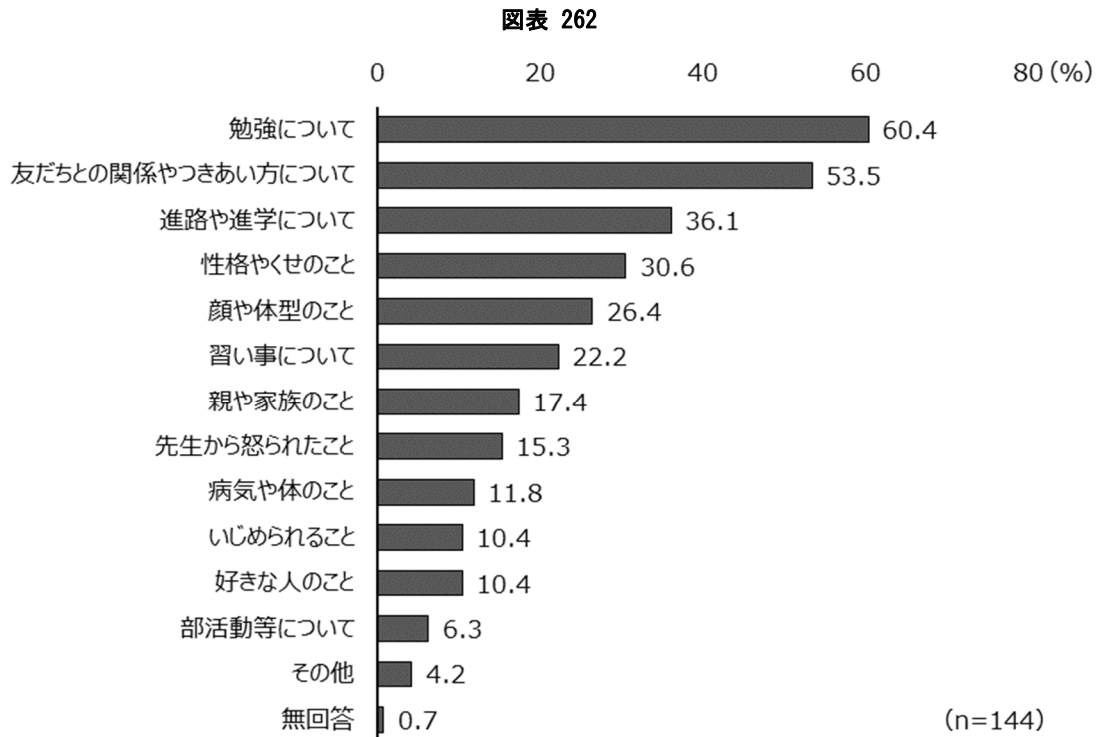
**問16 悩んだり、困ったりすることの有無**

悩んだり、困ったりすることは、「たまにある」が35.5%で最も多く、「ほとんどない」(33.2%)、「よくある」(20.1%)、と続く。



**問16-1 悩んだり、困ったりすること（複数回答）**

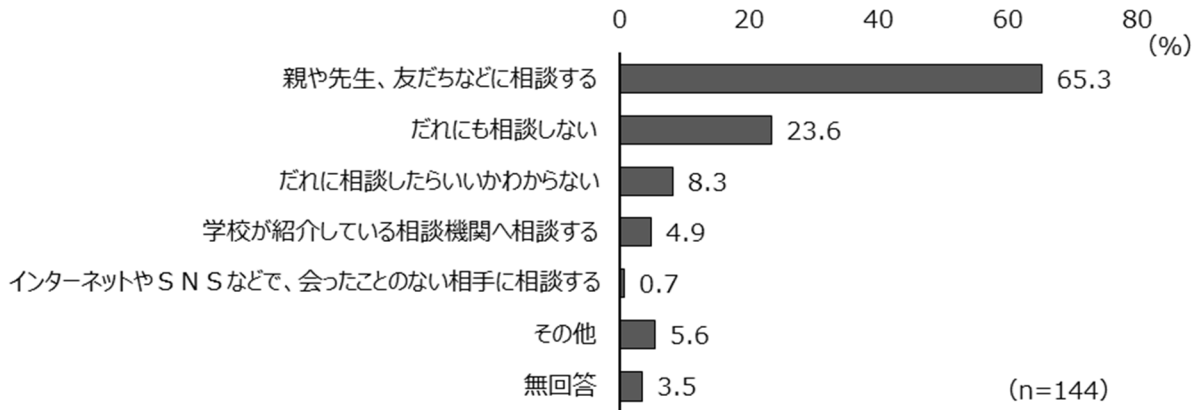
悩んだり、困ったりすることは、「勉強について」が60.4%で最も多く、「友だちとの関係やつきあい方について」(53.5%)、「進路や進学について」(36.1%)と続く。



## 問16-2 悩んだり困ったりしたときに、誰（どこ）かに相談するか（複数回答）

悩んだり困ったりしたときに、誰（どこ）かに相談するかは、「親や先生、友だちなどに相談する」が65.3%で最も多く、「だれにも相談しない」(23.6%)、「だれに相談したらいいかわからない」(8.3%)と続く。

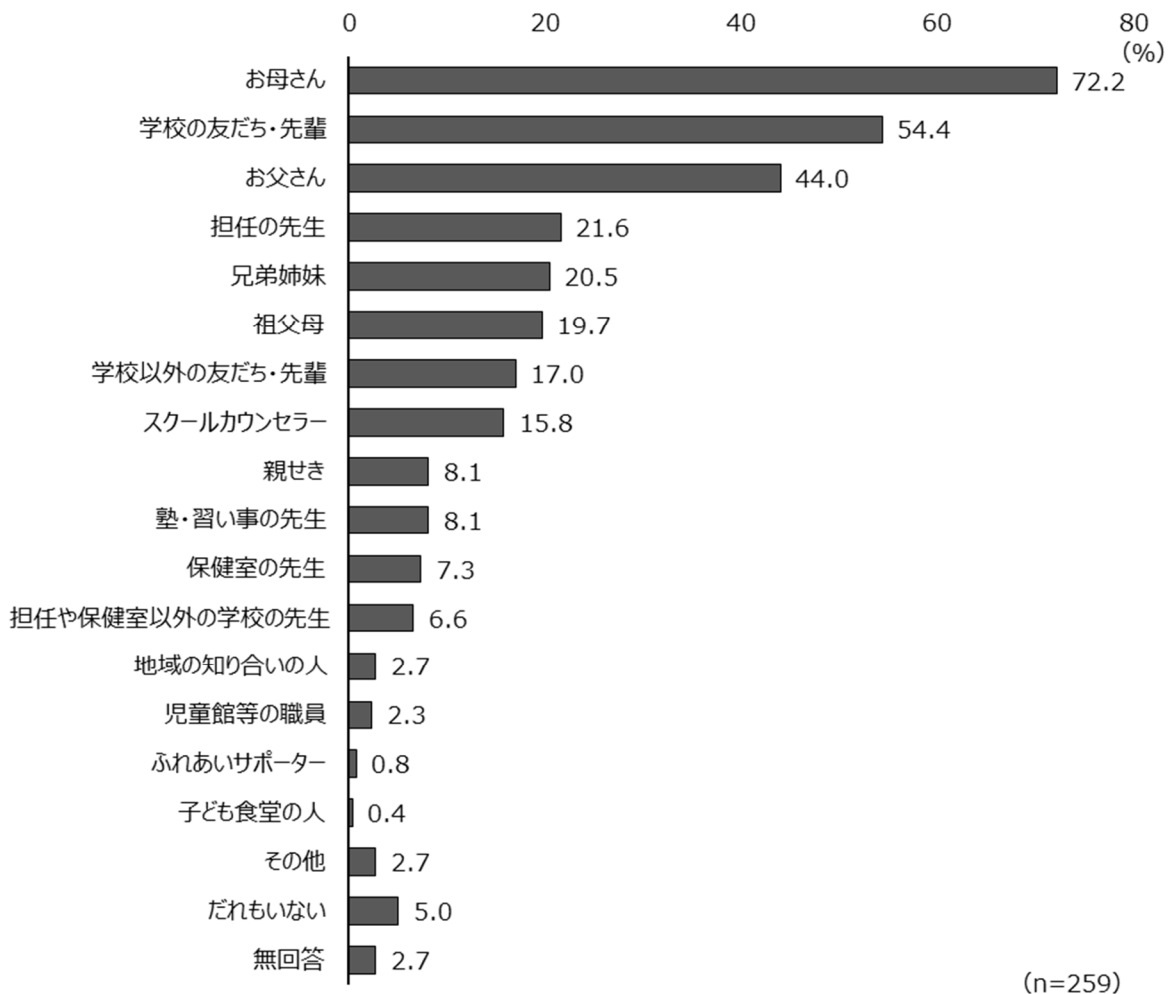
図表 263



## 問17 相談したいことや聞いてほしいことを気軽に話せる人（複数回答）

相談したいことや聞いてほしいことを気軽に話せる人は、「お母さん」が72.2%で最も多く、「学校の友だち・先輩」(54.4%)、「お父さん」(44.0%)と続く。

図表 264

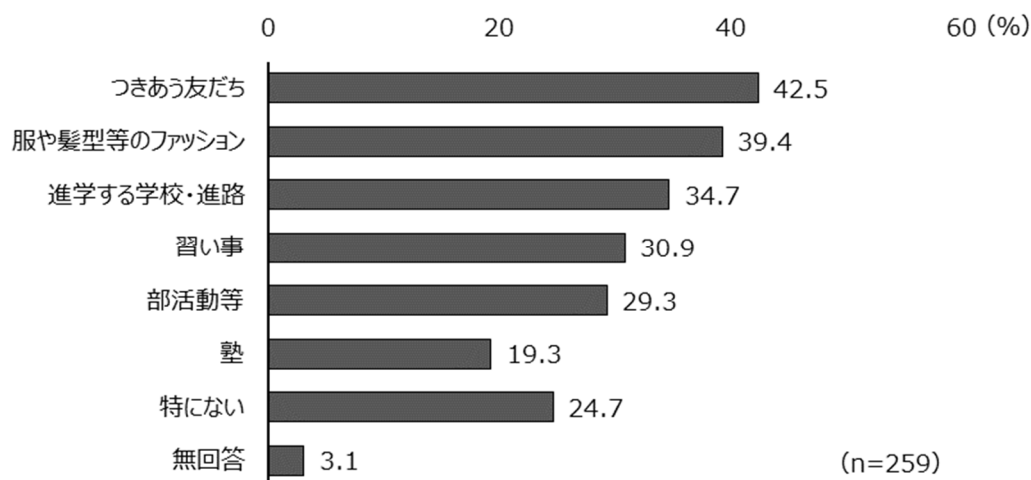


問18 親や周囲の人の意見でなく、自分で決めたいと思っていることと、実際に決めている程度（複数回答）

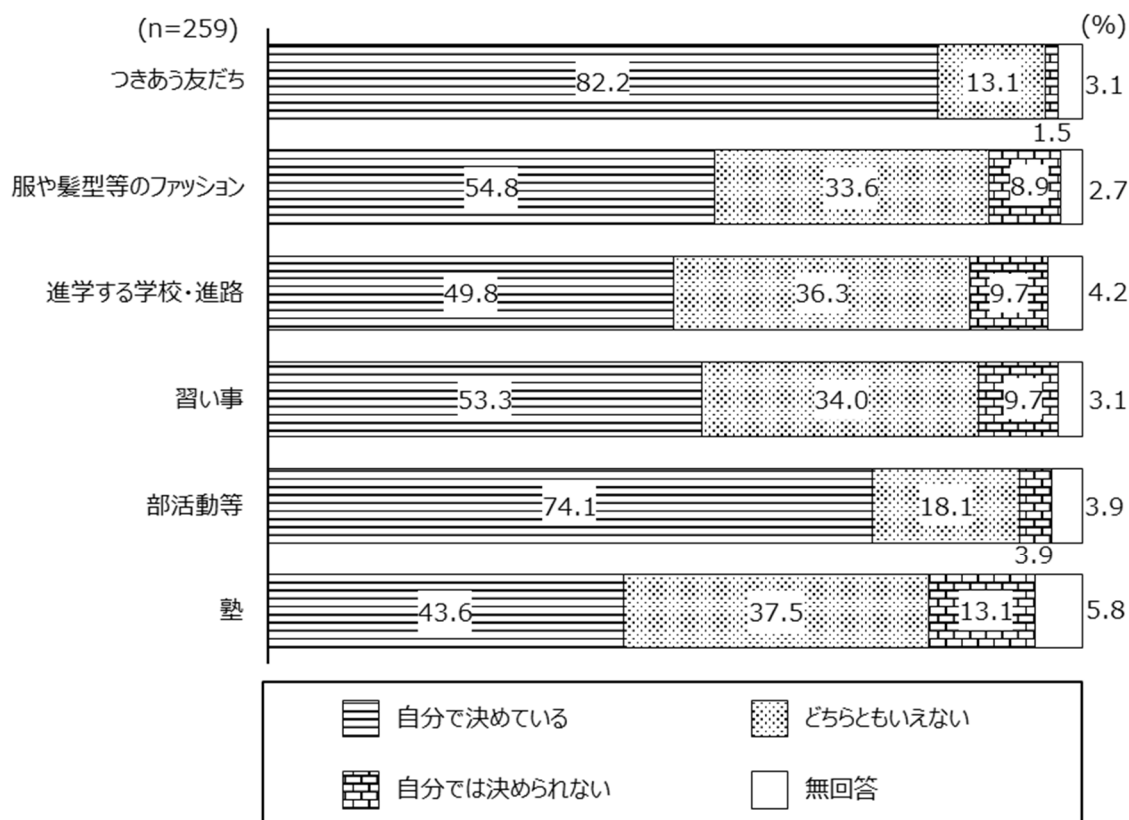
親や周囲の人の意見でなく、自分で決めたいと思っていることは、「つきあう友だち」が42.5%で最も多く、「服や髪型等のファッション」(39.4%)、「進学する学校・進路」(34.7%)と続く。

実際に決めている程度は、「自分で決めている」が最も多かったのは、「つきあう友だち」82.2%で、「部活動等」(74.1%)、「服や髪型等のファッション」(54.8%)と続く。

図表 265 自分で決めたいと思っていること



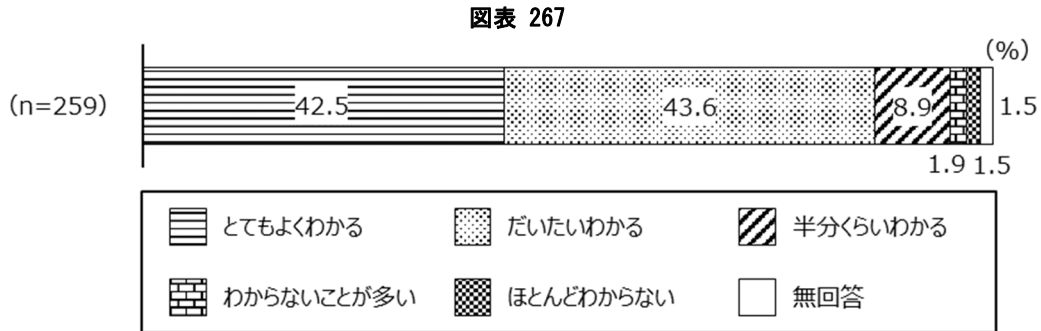
図表 266 実際に自分で決めている程度



### (3) 学校や勉強について

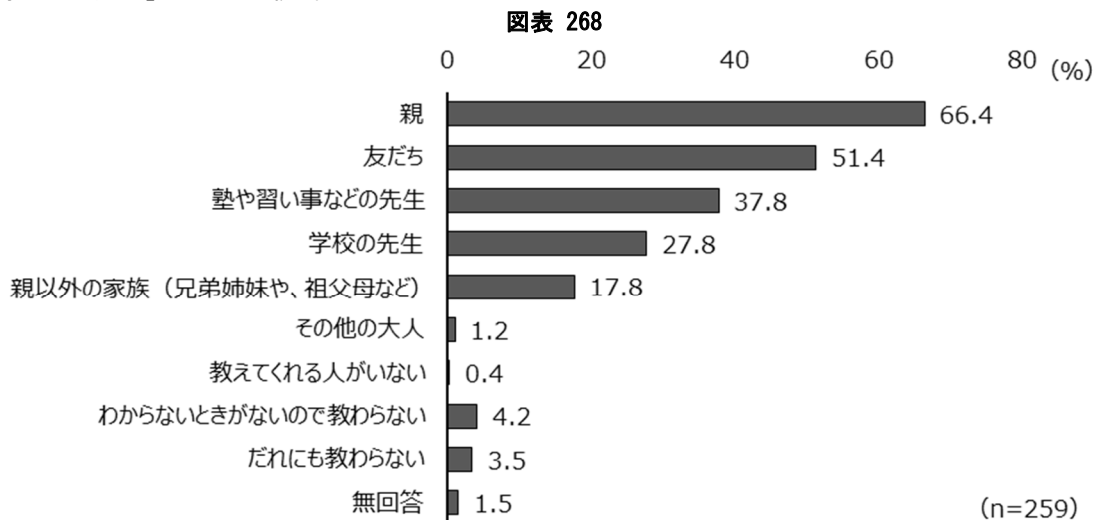
#### 問19 学校の授業の理解度

学校の授業の理解度は、「だいたいわかる」が43.6%で最も多く、「とてもよくわかる」(42.5%)、「半分くらいわかる」(8.9%)と続く。



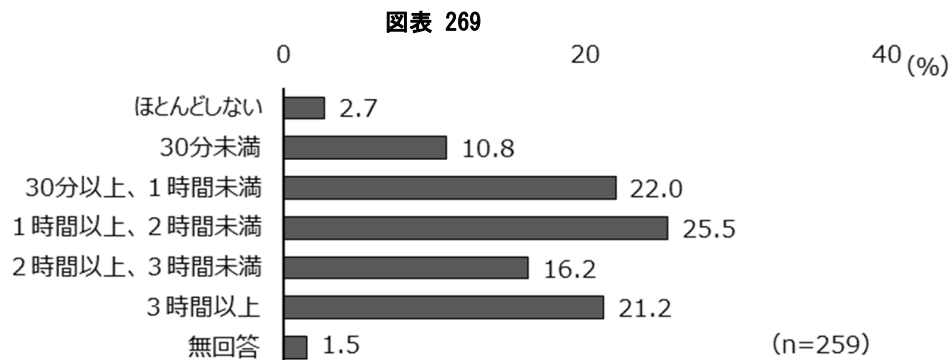
#### 問20 勉強がわからないとき学校の授業以外で教えてもらう人（複数回答）

勉強がわからないとき学校の授業以外で教えてもらう人は、「親」が66.4%で最も多く、「友だち」(51.4%)、「塾や習い事などの先生」(37.8%)と続く。



#### 問21 学校の授業時間以外の普段（月曜日から金曜日）1日当たりの勉強時間

学校の授業時間以外の普段（月曜日から金曜日）1日当たりの勉強時間は、「1時間以上、2時間未満」が25.5%で最も多く、「30分以上、1時間未満」(22.0%)、「3時間以上」(21.2%)と続く。



## (4) 食事等の生活習慣について

### 問 2 2 学校がある平日の朝食・夕食の習慣、長い休みの時の昼食の習慣、食事の時間、食べない理由

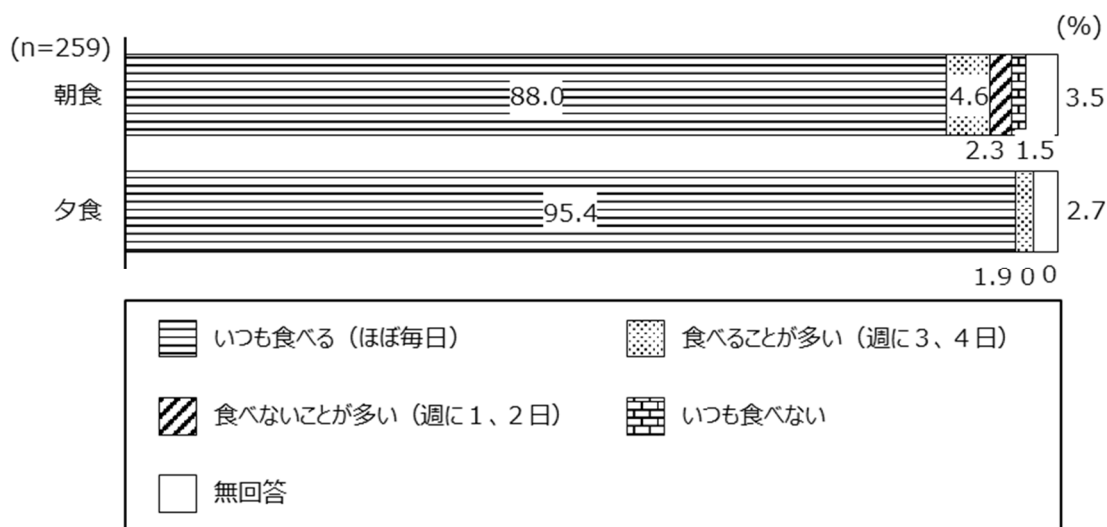
朝食は、「いつも食べる(ほぼ毎日)」が 88.0%で最も多く、「食べることが多い(週に3、4日)」(4.6%)、「食べないことが多い(週に1、2日)」(2.3%)と続く。

夕食は、「いつも食べる(ほぼ毎日)」が 95.4%で最も多く、「食べることが多い(週に3、4日)」(1.9%)と続く。

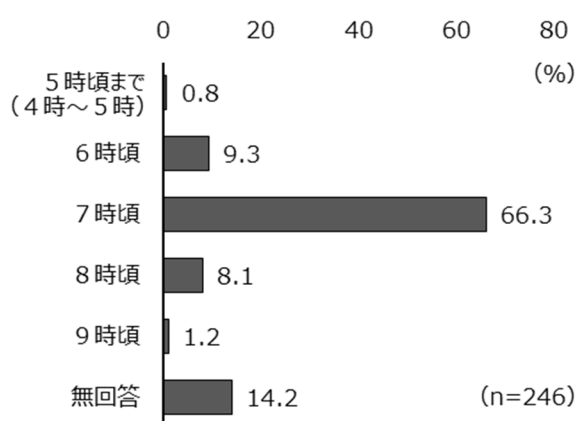
朝食をとる時間は、「7時頃」が 66.3%で最も多く、「6時頃」(9.3%)、「8時頃」(8.1%)と続く。

夕食をとる時間は、「19時頃」が 36.1%で最も多く、「18時頃」(19.0%)、「20時頃」(16.7%)と続く。

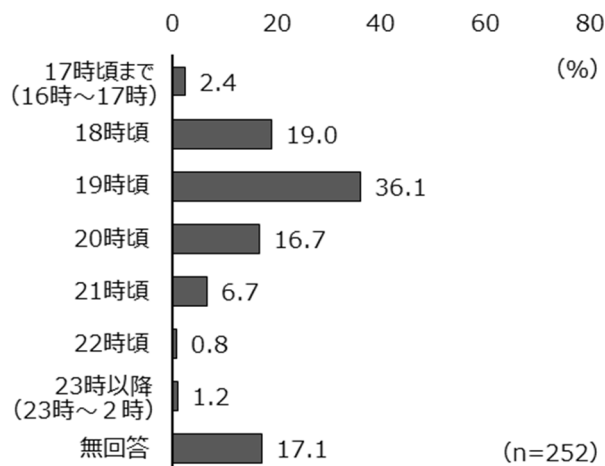
図表 270 学校がある平日の朝食・夕食の習慣



図表 271 朝食の時間



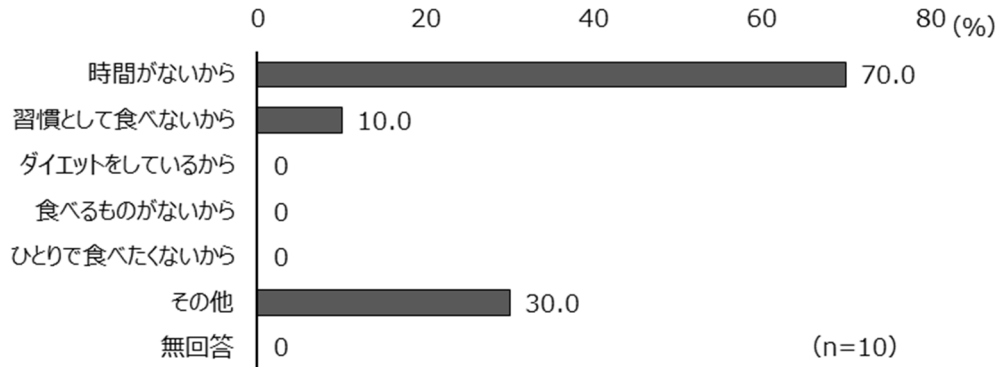
図表 272 夕食の時間





朝食を食べない理由は、「時間がないから」が70.0%で最も多く、「習慣として食べないから」(10.0%)と続く。

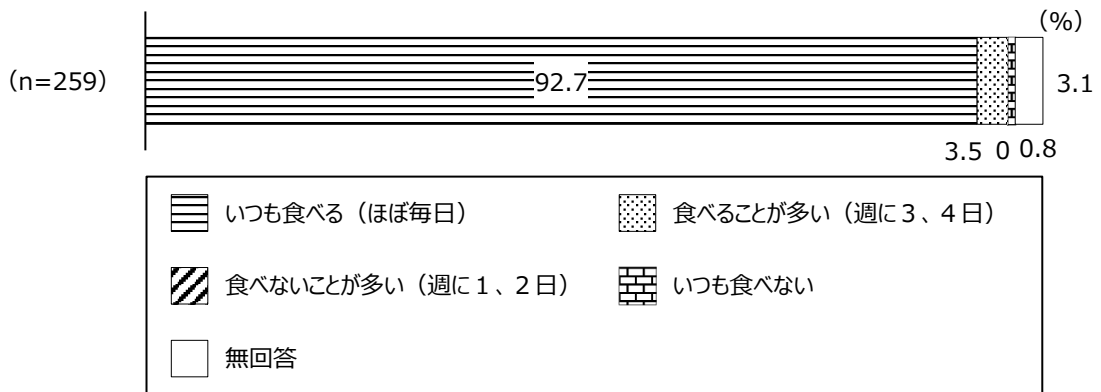
図表 273 朝食を食べない理由



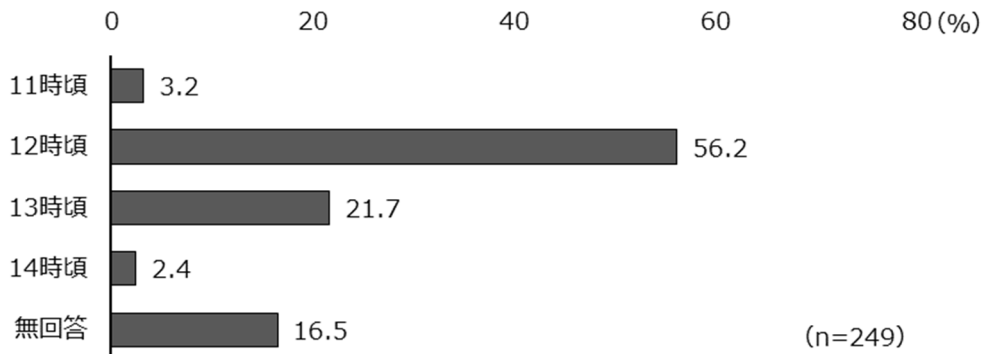
長い休みの時の昼食は、「いつも食べる(ほぼ毎日)」が92.7%で最も多く、「食べることが多い(週に3、4日)」(3.5%)、「いつも食べない」(0.8%)と続く。

昼食をとる時間は、「12時頃」が56.2%で最も多く、「13時頃」(21.7%)、「11時頃」(3.2%)と続く。

図表 274 長期休暇中の昼食の習慣

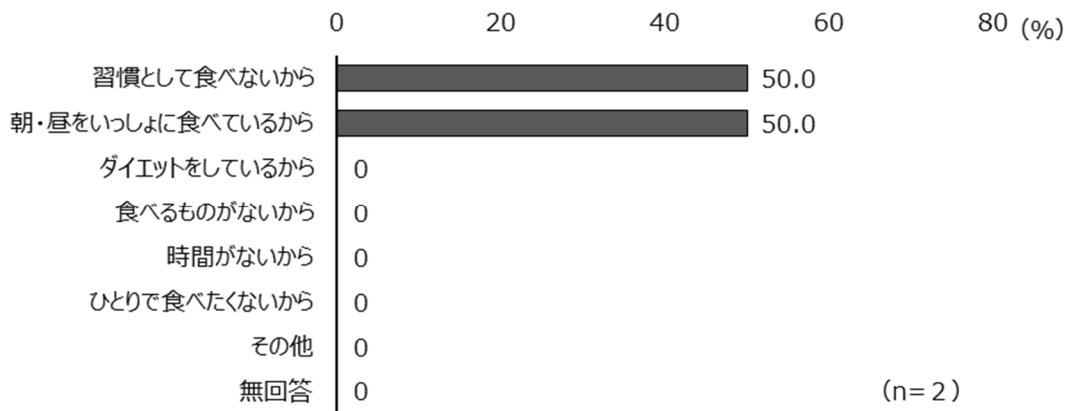


図表 275 長期休暇中の昼食の時間



昼食を食べない理由は、「習慣として食べないから」が50.0%、「朝・昼をいっしょに食べているから」が50.0%となっている。

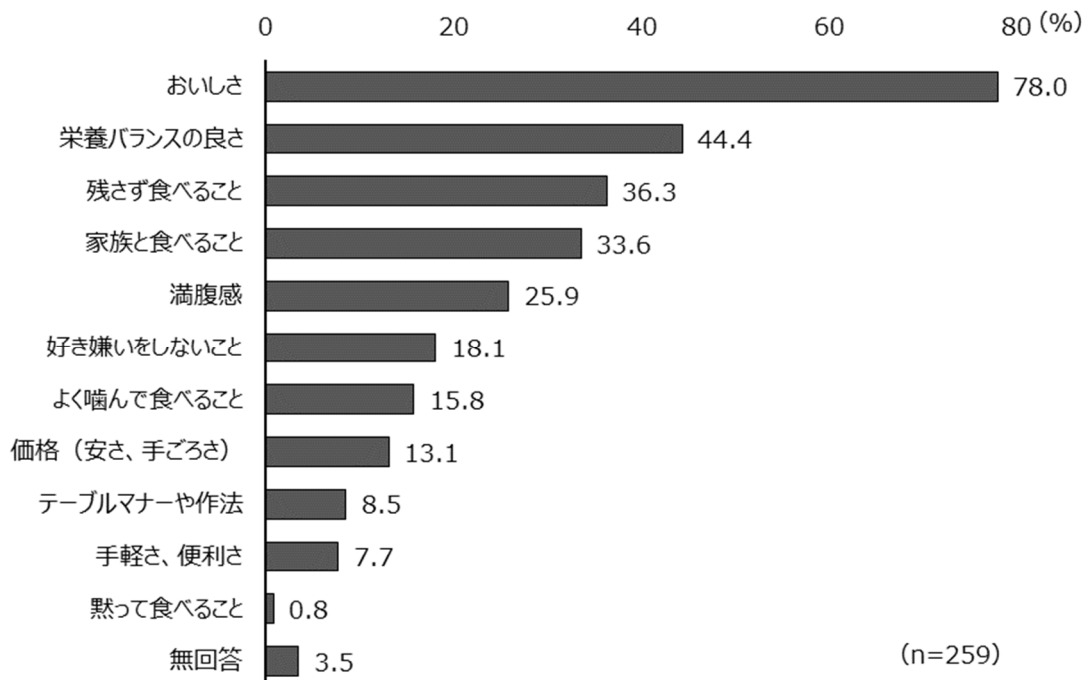
図表 276 長期休暇中の昼食を食べない理由



### 問23 食事をする時に大切だと考えているもの（3つまで）

食事をする時に大切だと考えているものは、「おいしさ」が78.0%で最も多く、「栄養バランスの良さ」(44.4%)、「残さず食べる事」(36.3%)と続く。

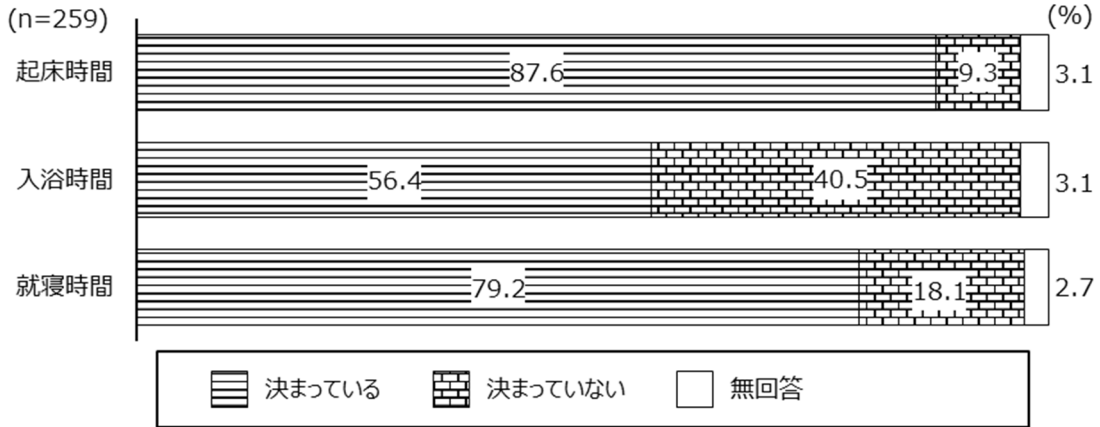
図表 277



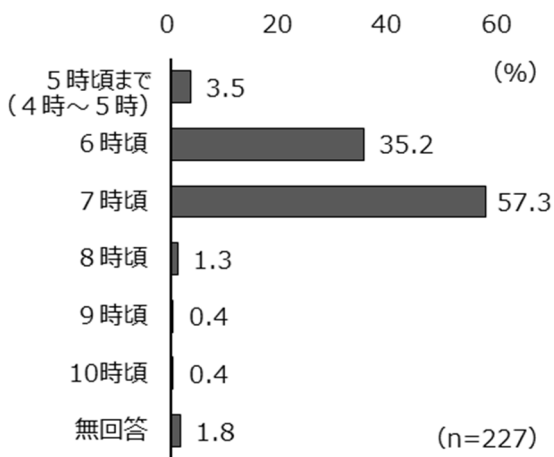
問24 平日の起床・入浴・就寝時間が決まっているか、およその時間

平日の起床・入浴・就寝時間について、「決まっている」は、起床 87.6%、入浴 56.4%、就寝 79.2%となっている。

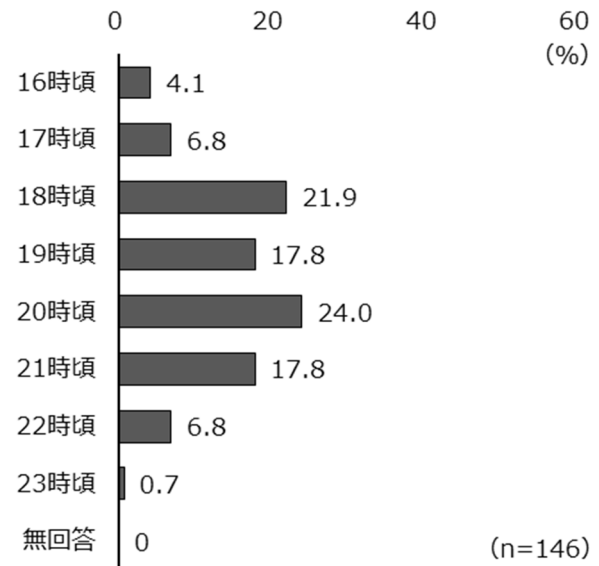
図表 278 平日の起床・入浴・就寝時間が決まっているか



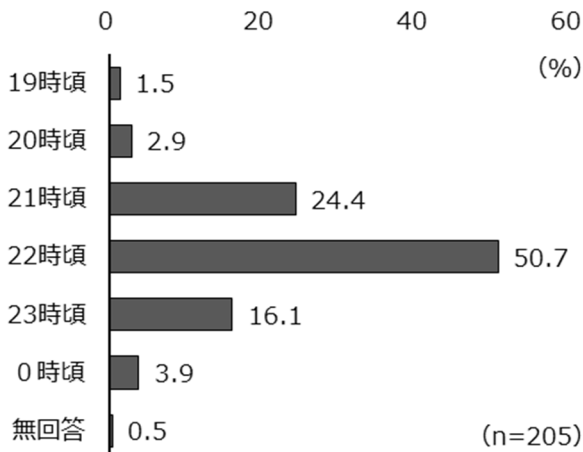
図表 279 起床時間



図表 280 入浴時間



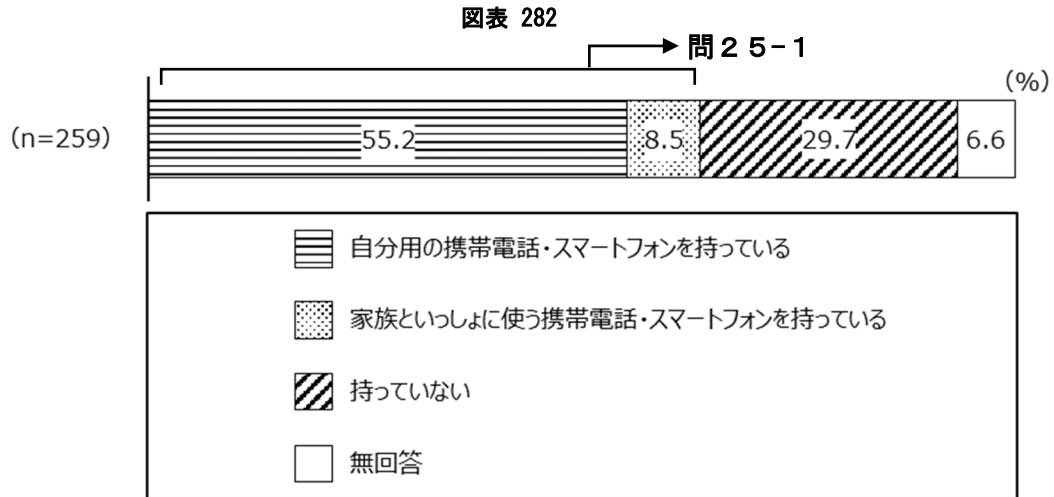
図表 281 就寝時間



## (5) インターネット等の利用について

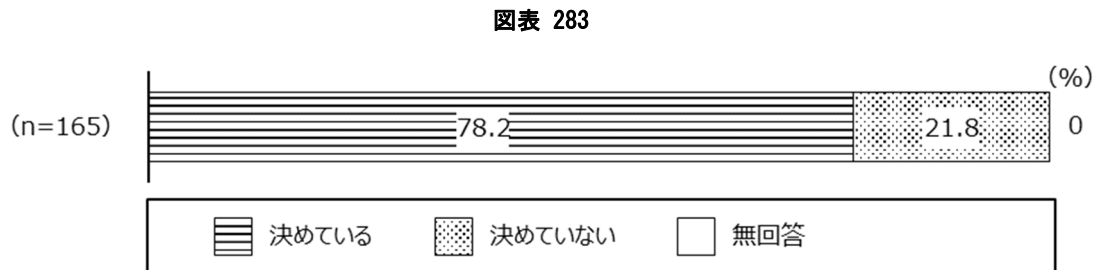
### 問25 携帯電話・スマートフォンの保有状況

携帯電話・スマートフォンの保有状況は、「自分用の携帯電話・スマートフォンを持っている」が55.2%で最も多く、「持っていない」(29.7%)、「家族といっしょに使う携帯電話・スマートフォンを持っている」(8.5%)と続く。



### 問25-1 親子の間で、携帯電話・スマートフォンの使用についてルールを決めているか

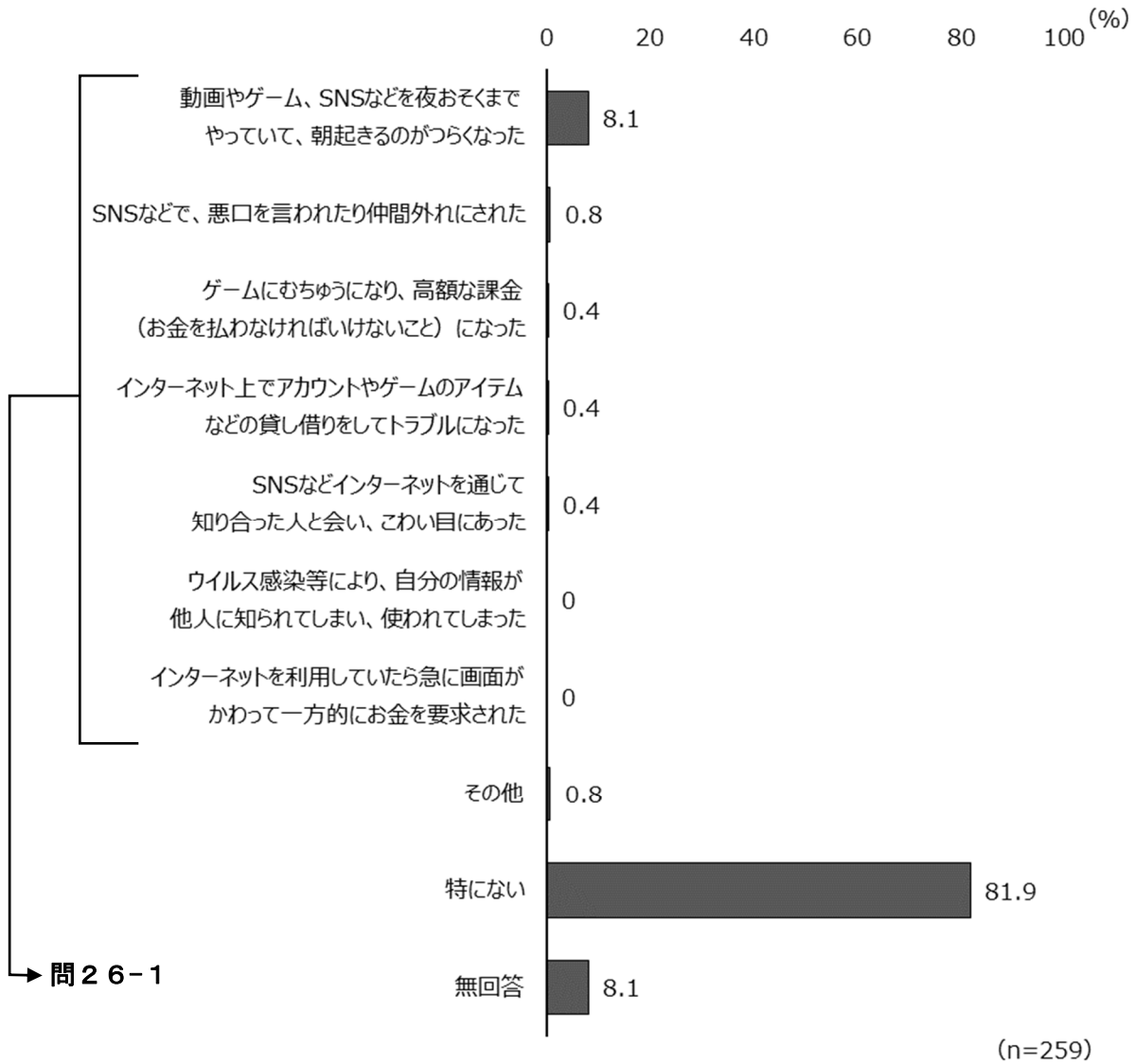
親子の間で、携帯電話・スマートフォンの使用についてルールを決めているかは、「決めている」は78.2%、「決めていない」は21.8%となっている。



問26 インターネットを利用して経験したこと（複数回答）

携帯電話、スマートフォン、パソコン、ゲーム機器等でインターネットを利用して経験したことは、「特にない」が81.9%で最も多く、「動画やゲーム、SNSなどを夜おそくまでやっていて、朝起きるのがつらくなった」(8.1%)、「SNSなどで、悪口を言われたり仲間外れにされた」(0.8%)と続く。

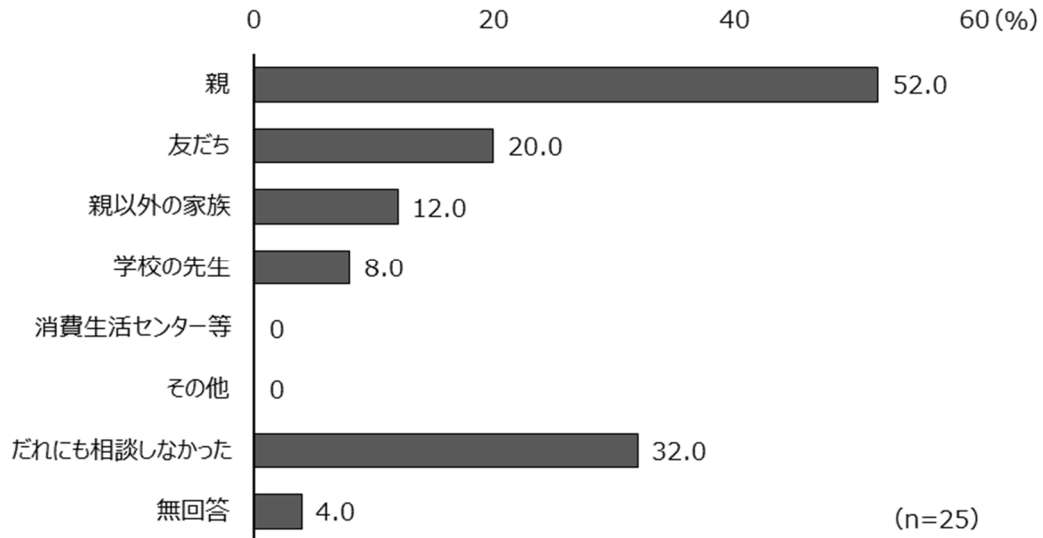
図表 284



問26-1 誰か（どこか）に相談したか（複数回答）

誰か（どこか）に相談したかは、「親」が52.0%で最も多く、「だれにも相談しなかった」(32.0%)、「友だち」(20.0%)と続く。

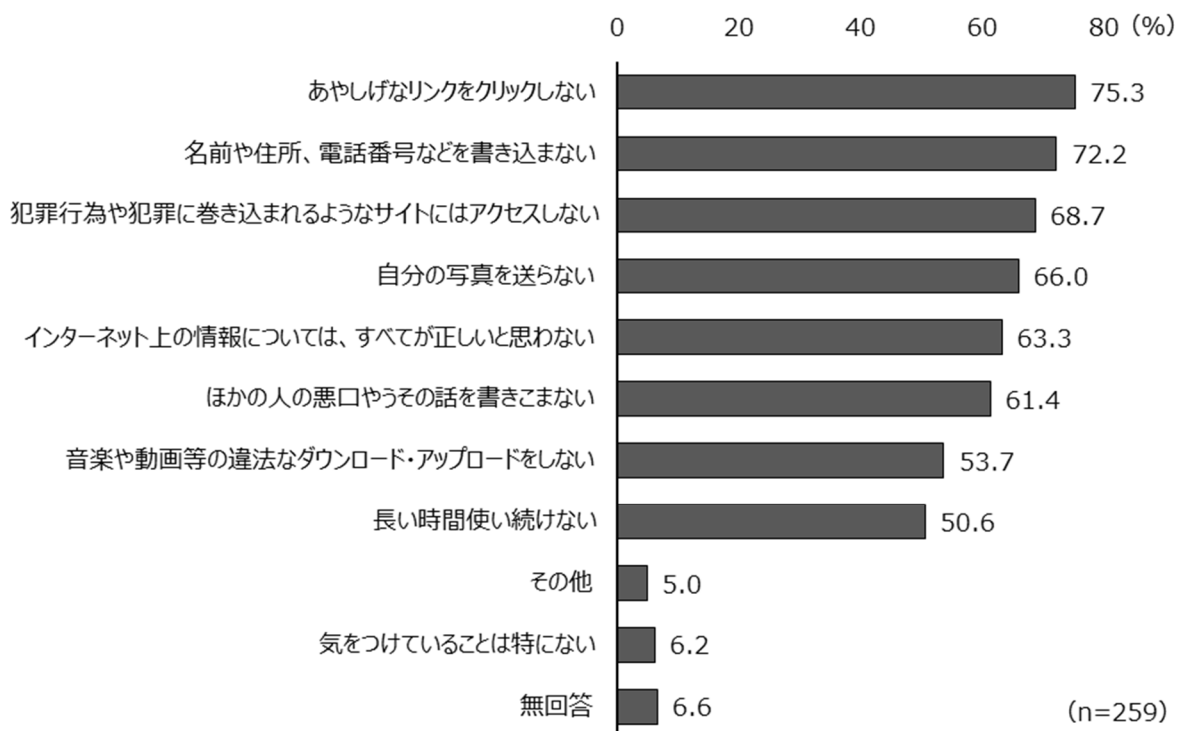
図表 285



問27 インターネットを使うときに気をつけていること（複数回答）

インターネットを使うときに気をつけていることは、「あやしげなリンクをクリックしない」が75.3%で最も多く、「名前や住所、電話番号などを書き込まない」(72.2%)、「犯罪行為や犯罪に巻き込まれるようなサイトにはアクセスしない」(68.7%)と続く。

図表 286

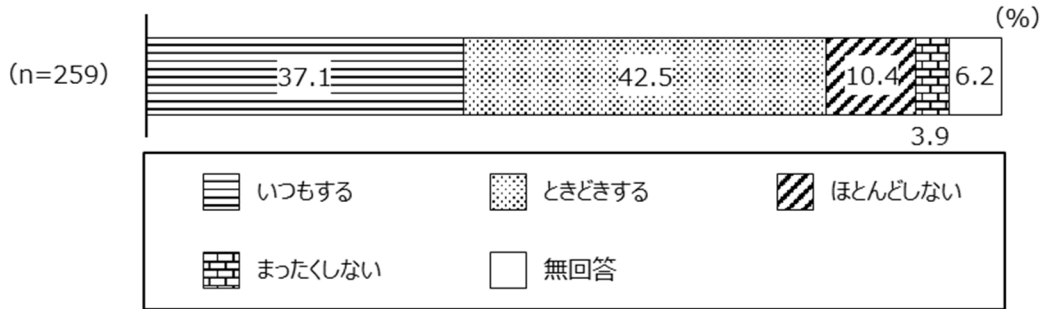


(6) 近所の人や地域との関わり方について

問28 近所や同じ建物に住んでいる人とあいさつや話をするものの有無

近所や同じ建物に住んでいる人とあいさつや話をするのは、「ときどきする」が42.5%で最も多く、「いつもする」(37.1%)、「ほとんどしない」(10.4%)と続く。

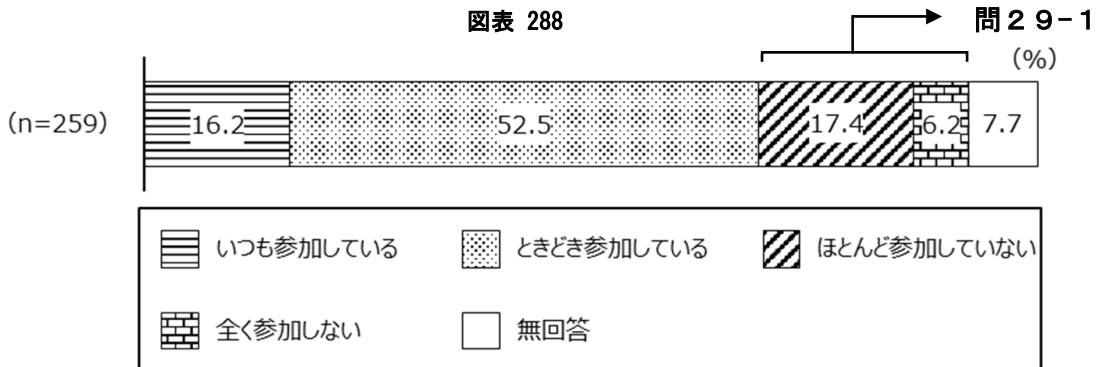
図表 287



問29 学校以外で行われる区や地域のイベントに参加したことがあるか

学校以外で行われる区や地域のイベントに参加したことがあるかは、「ときどき参加している」が52.5%で最も多く、「ほとんど参加していない」(17.4%)、「いつも参加している」(16.2%)と続く。

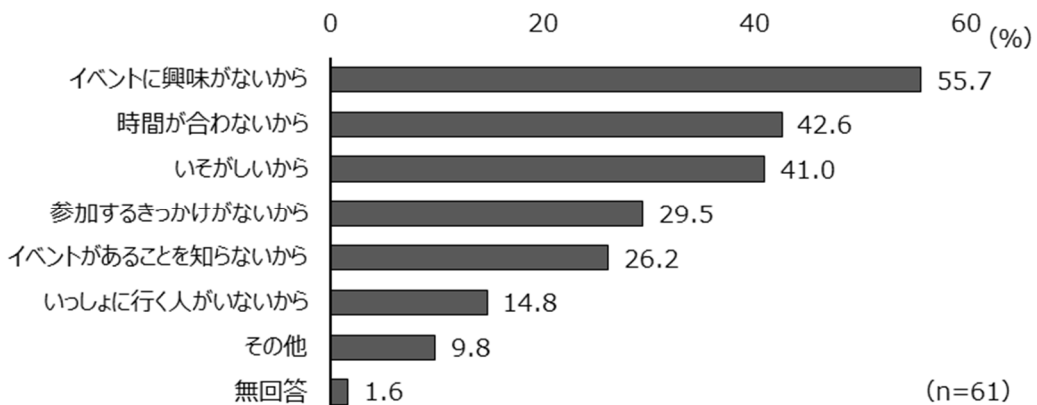
図表 288



問29-1 学校以外で行われる区や地域のイベントに参加しない理由 (複数回答)

学校以外で行われる区や地域のイベントに参加しない理由は、「イベントに興味がないから」が55.7%で最も多く、「時間が合わないから」(42.6%)、「いそがしいから」(41.0%)と続く。

図表 289

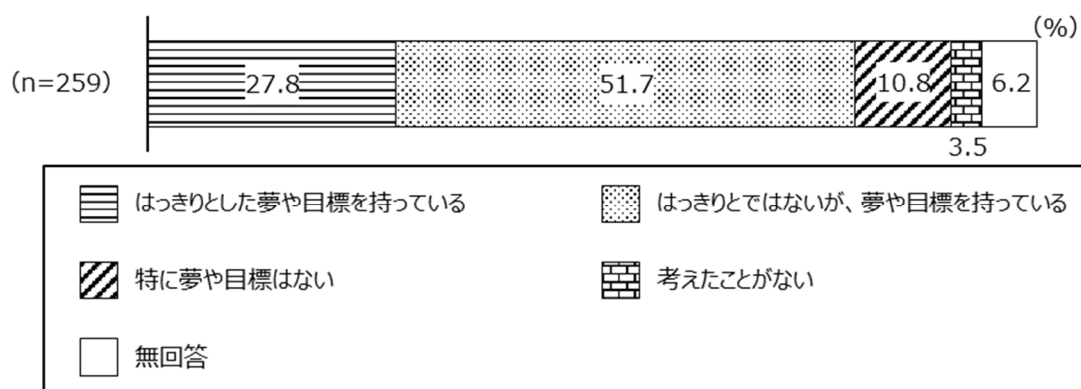


## (7) 将来について

### 問30 将来の夢や目標はあるか

将来の夢や目標はあるかは、「はっきりとではないが、夢や目標を持っている」が51.7%で最も多く、「はっきりとした夢や目標を持っている」(27.8%)、「特に夢や目標はない」(10.8%)と続く。

図表 290

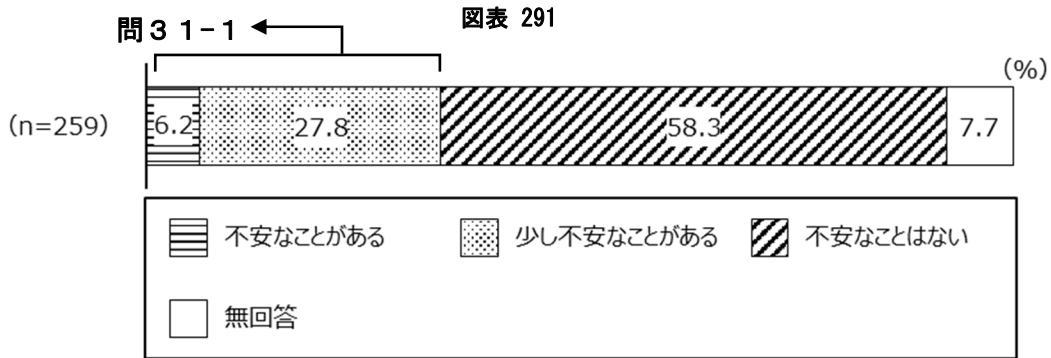




## (8) 生活の安全・安心について

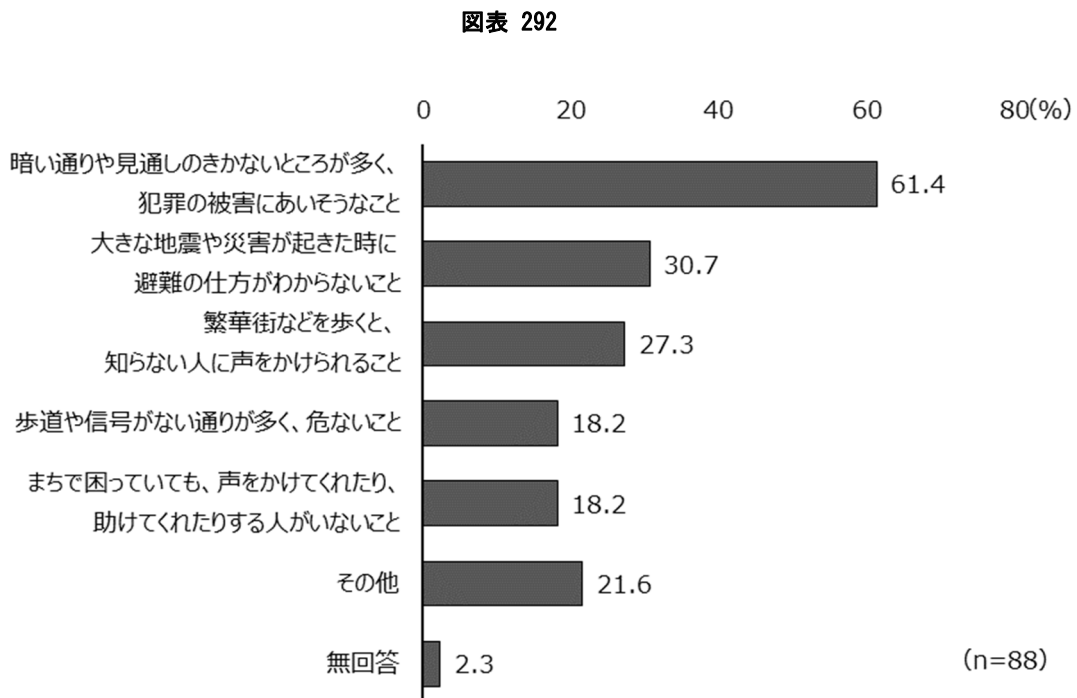
### 問3 1 外出をするときの不安の有無

外出をするときの不安は、「不安なことはない」が58.3%で最も多く、「少し不安なことがある」(27.8%)、「不安なことがある」(6.2%)と続く。



### 問3 1-1 外出するときに感じる不安なこと (複数回答)

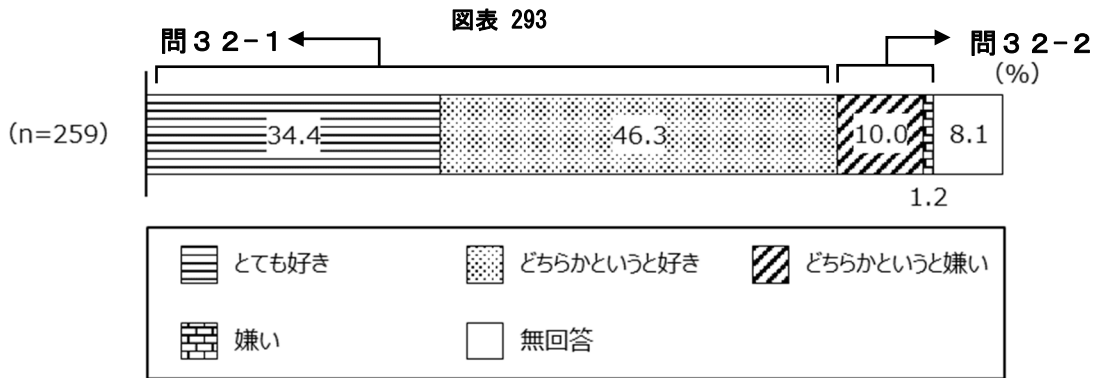
外出するときに感じる不安なことは、「暗い通りや見通しのきかないところが多く、犯罪の被害にあいそうなこと」が61.4%で最も多く、「大きな地震や災害が起きた時に避難の仕方がわからないこと」(30.7%)、「繁華街などを歩くと、知らない人に声をかけられること」(27.3%)と続く。



## (9) 新宿区について

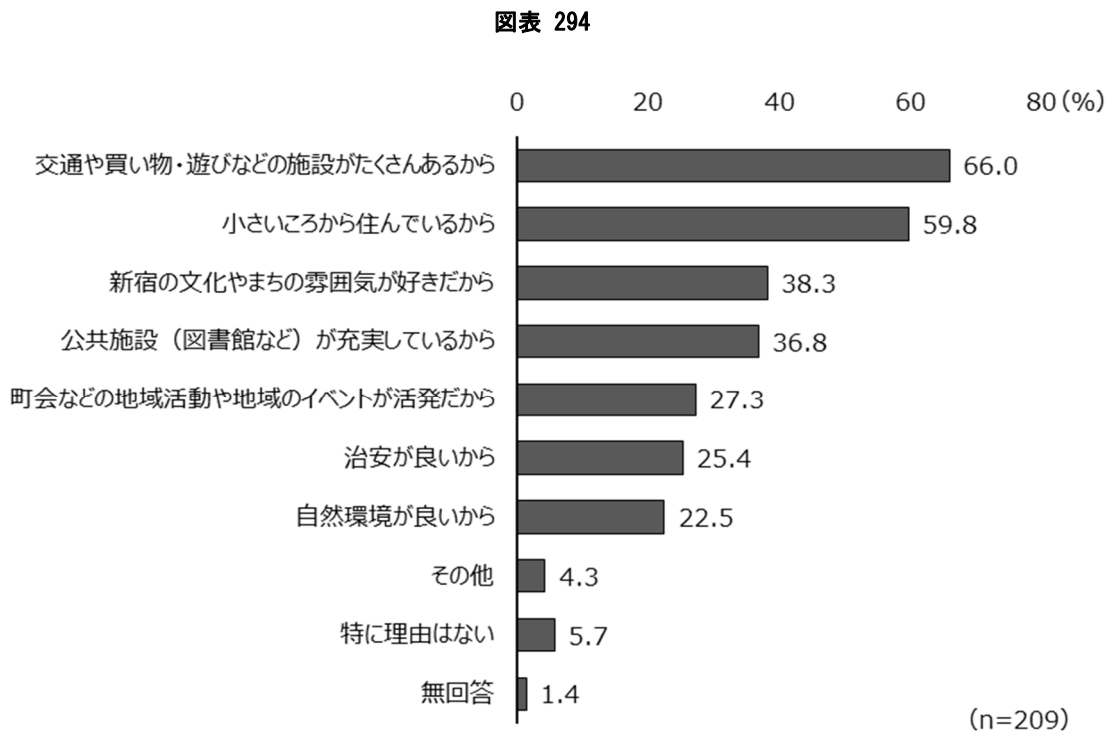
### 問3 2 新宿区への愛着度

新宿区への愛着度は、「どちらかという好き」が46.3%で最も多く、「とても好き」(34.4%)、「どちらかという嫌い」(10.0%)と続く。



### 問3 2-1 新宿区が好きな理由 (複数回答)

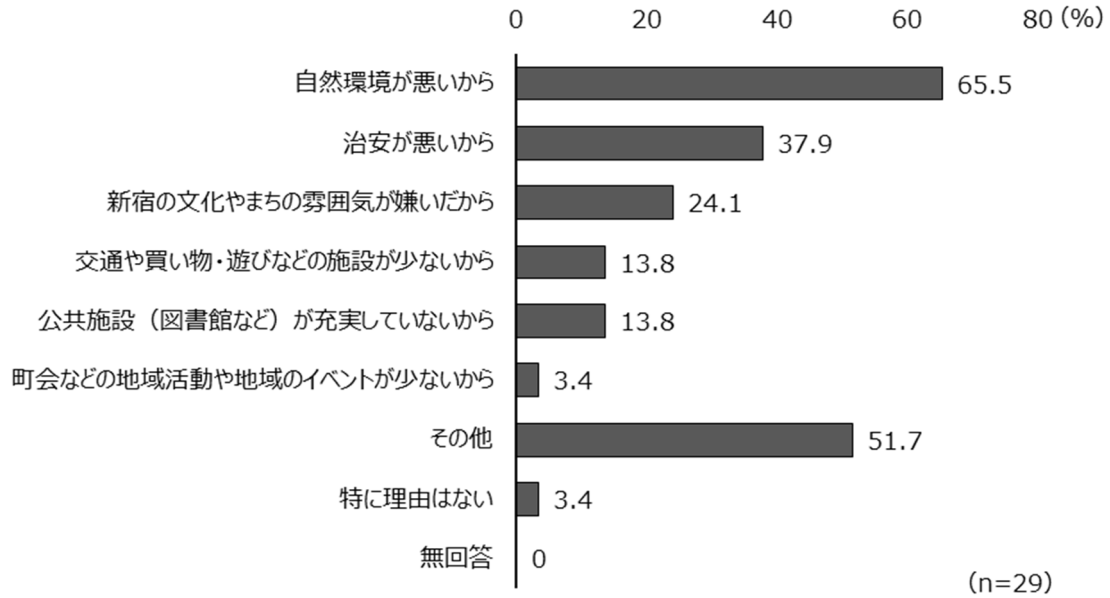
新宿区が好きな理由は、「交通や買い物・遊びなどの施設がたくさんあるから」が66.0%で最も多く、「小さいころから住んでいるから」(59.8%)、「新宿の文化やまちの雰囲気が好きだから」(38.3%)と続く。



問3 2-2 新宿区が嫌いな理由（複数回答）

新宿区が嫌いな理由は、「自然環境が悪いから」が65.5%で最も多く、「治安が悪いから」(37.9%)、「新宿の文化やまちの雰囲気が嫌いだから」(24.1%)と続く。

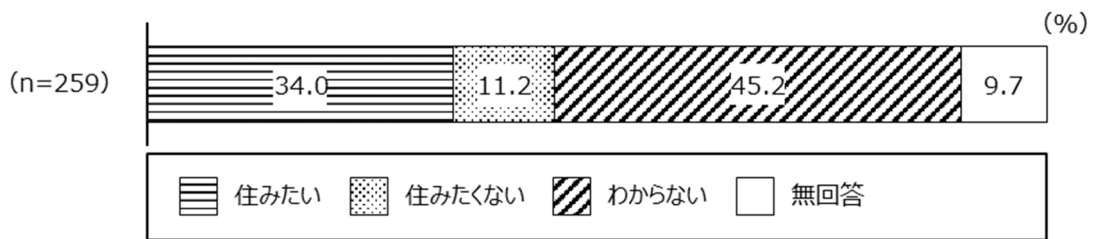
図表 295



問3 3 大人になっても新宿区に住みたいと思うか

大人になっても新宿区に住みたいと思うかは、「わからない」が45.2%で最も多く、「住みたい」(34.0%)、「住みたくない」(11.2%)と続く。

図表 296



(10) その他

問34 コロナ禍を経て、現在も続いている生活変化（複数回答）

コロナ禍を経て、現在も続いている生活変化は、「パソコン、タブレット、スマートフォン、ゲーム機等の使用時間が長くなった」が29.7%で最も多く、「家族と過ごす時間が増えた」と「特にない」がともに27.0%と続く。

図表 297

